

吹田市施設白書

平成25年3月
(2013年)

吹田市

はじめに

本市は、昭和 30～50 年代にかけて、千里ニュータウンをはじめとする住宅地開発によって人口が急増し、その人口増加に合わせ、市民サービスの向上を図るため、多くの施設を整備してきました。これらの施設は、建設後 30 年以上の年数が経過しているため、今後、老朽化に伴う施設の更新や大規模改修が集中的に発生することが予想されます。

また、少子高齢化の進展や生産年齢人口（15 歳～64 歳）の減少により、大幅な経済成長が望めない一方で、社会保障などの需要の更なる増加が想定される中、今後も一層厳しい財政状況が継続することが見込まれます。こうした状況にあって、従来の方法では、将来にわたって施設の更新や維持管理をしていくことは困難です。

こうした現実を踏まえ、本市は、道路や橋りょう、上下水道などの社会生活基盤、公共用地を含めた公共施設を、世代を超えた市民の共有財産と位置付け、総量の縮減及び質的な見直しを図るとともに、計画的な利活用や保全管理、再整備など戦略的かつ効果的な対策を検討し、良好な施設機能を長期的かつ安定的に供給することを目的として、公共施設の最適化に取り組むことといたしました。

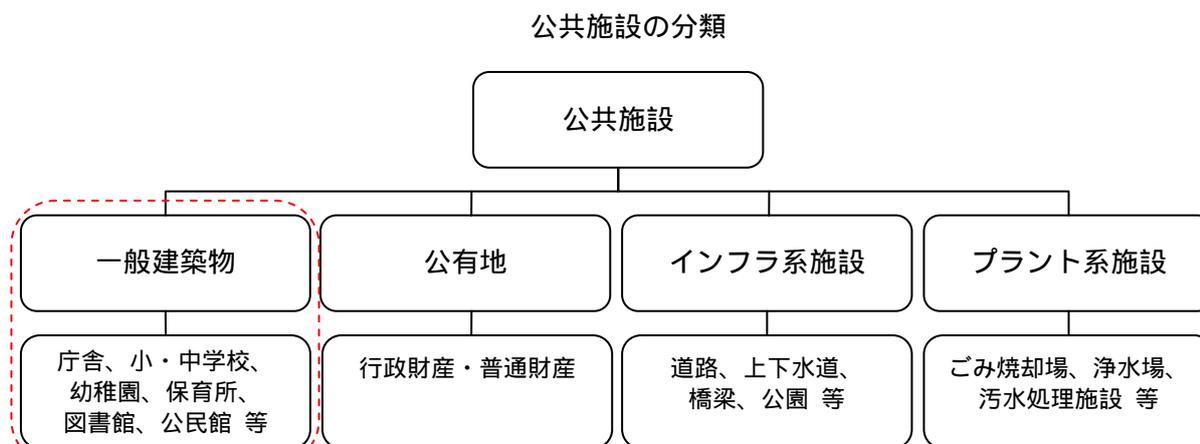
本市が保有する公共施設のうち、道路や橋りょう、上下水道施設などのインフラ、プラント系施設については、所管部局において長寿命化や老朽化対策など、施設の特性に応じた最適化を進めているところです。

学校や保育所、公民館といった一般建築物については、施設の現状と課題を市民の皆様にご覧いただいた上で、皆様のご意見をお聞きしながら、今後のあり方を検討してまいります。そのための基礎資料として、対象施設を用途別に分類し、建設年度や規模などの建物概要、利用者数や利用率などの状況、施設の維持管理や事業運営に係る支出の状況などをとりまとめた「吹田市施設白書」を作成いたしました。

今後、本書を踏まえて、施設の最適な整備・再配置・維持保全に関する方針を策定し、「量の見直し」による総量縮減を進めるとともに、保有すべきとした施設の「質の見直し」を図り、持続可能な政策の実現に向けて、効果的・効率的な公共施設の管理運営に取り組んでまいります。

本書の対象施設について

本市では、公共施設を次のとおり定義します。



本書では、公共施設のうち、一般建築物を対象とします。

なお、公有地については、別途作成する「吹田市公有地利活用の考え方」で、インフラ系施設及びプラント系施設については、所管部局で施設の特性に応じて対応します。

対象施設は、以下のような考え方で選定しています。

行政財産の建築物のうち、インフラ系施設、プラント系施設を除いたものを対象とする。なお、倉庫（備蓄倉庫等）、管理事務所（自転車駐車場等）、自転車置場の上屋、ナイター施設等簡易な施設については、対象外とする。

普通財産の建築物のうち、学校跡地施設の一部利用等、行政目的に準じた利用をしている施設についても対象とする。

指定管理者が管理している施設や民間施設に入居している施設（区分所有、賃貸）についても対象とする。

同一建物内に異なる施設が設置されている場合は、個別検討が必要と考えられることから、それぞれの施設を個別に対象施設とする。

平成 23 年度から平成 24 年度にかけて、移転した旧施設、また廃止した施設については、それぞれ別添リストにて一覧掲載とする。

本書の掲載データについて

本書で掲載する支出状況は、平成 23 年度（2011 年度）の決算データを利用しており、平成 24 年度（2012 年度）に移転及び新設された施設については、支出状況は表記されておりません。また、端数処理により、個々の数値の合計が一致しない場合があります。

施設に係る支出として、施設を維持管理する経費（維持管理費）と、施設において実施される市民サービスなど事務事業運営に係る経費（事業運営費）に大別されます。

維持管理費には、個々の施設の維持管理に係る人件費、設備等の保守、清掃、光熱水費や施設維持に必要な修繕費（ただし、改修工事等の工事請負費など単年度のみ工事費は比較の都合上、除きます。）などが含まれ、事業運営費には、市民サービスに係る人件費も含めた事業運営の経費などが含まれます。

本書においては、これらの経費を調査・掲載することとし、施設に係る経費について、ハード及びソフトという二つ視点から確認ができるように配慮しました。

- 目 次

はじめに

第1章 吹田市の概況・特性

1 吹田市の概況	1
2 人口・世帯数の推移	
(1) 総人口・世帯数の推移	2
(2) 年齢別人口の推移	3
(3) ブロック別人口の推移	4
3 将来の人口動向	6
4 市域の特性(土地利用状況)	7
5 市の財政状況の今後の見通し	8

第2章 一般建築物の概況

1 対象施設	9
2 施設の現況	
(1) 建築年度別用途別延床面積	10
(2) 耐震改修の状況	11
3 施設の管理運営の現況及び分析	
(1) 維持管理費及び事業運営費の現況及び分析	12
(2) 指定管理者による管理状況	13

第3章 施設の実態把握・分析

1 用途別の実態把握・分析	
(1) 行政施設	16
ア 庁舎	16
イ 出張所等	18
ウ その他庁舎等	21
エ 消防施設	26
(2) 文化・交流施設	30
ア 市民交流施設	30
イ 特定テーマ施設等	36
(3) 社会教育施設	39
ア 生涯学習施設	39
イ 青少年施設	48
ウ スポーツ施設	51
(4) 子ども・子育て支援施設	56
ア 児童福祉施設	56
イ 子育て支援施設	65
(5) 学校施設	74
ア 幼稚園	74
イ 小学校	78
ウ 中学校	85
(6) 社会福祉関連施設	89
ア 生きがい活動施設	89

イ 高齢者・障がい者福祉施設	96
ウ 保健・医療施設	99
エ 事務所・その他	102
(7) 住宅施設	104
ア 市営住宅	104
(8) 交通施設	108
ア 交通施設(自転車駐車場等)	108
(9) 環境関連施設	112
ア 火葬場	112
イ 環境啓発施設	113
(10) その他施設	114
ア その他施設	114

第4章 今後の方向性

1 本市の公共施設(一般建築物)の課題と将来推計の結果	116
2 今後の公共施設(一般建築物)の方向性	
(1) 総合的、計画的な保全管理の検討(財務の視点)	117
(2) 公共施設におけるサービスの検討(供給の視点)	118
(3) 公共施設における質向上の検討(品質の視点)	118

資料編：対象施設一覧	119
------------	-----

第1章 吹田市の概況・特性

1 吹田市の概況

本市は大阪府の北部に位置し、南は大阪市、西は豊中市、北は箕面市、東は茨木市及び摂津市に隣接しています。市域内やその周辺には名神高速道路、中国自動車道、近畿自動車道、新大阪駅、大阪国際空港等の国土軸交通幹線や施設が配置され、大阪市の都心部へ10km圏にあるなど、至便な交通条件にあります。

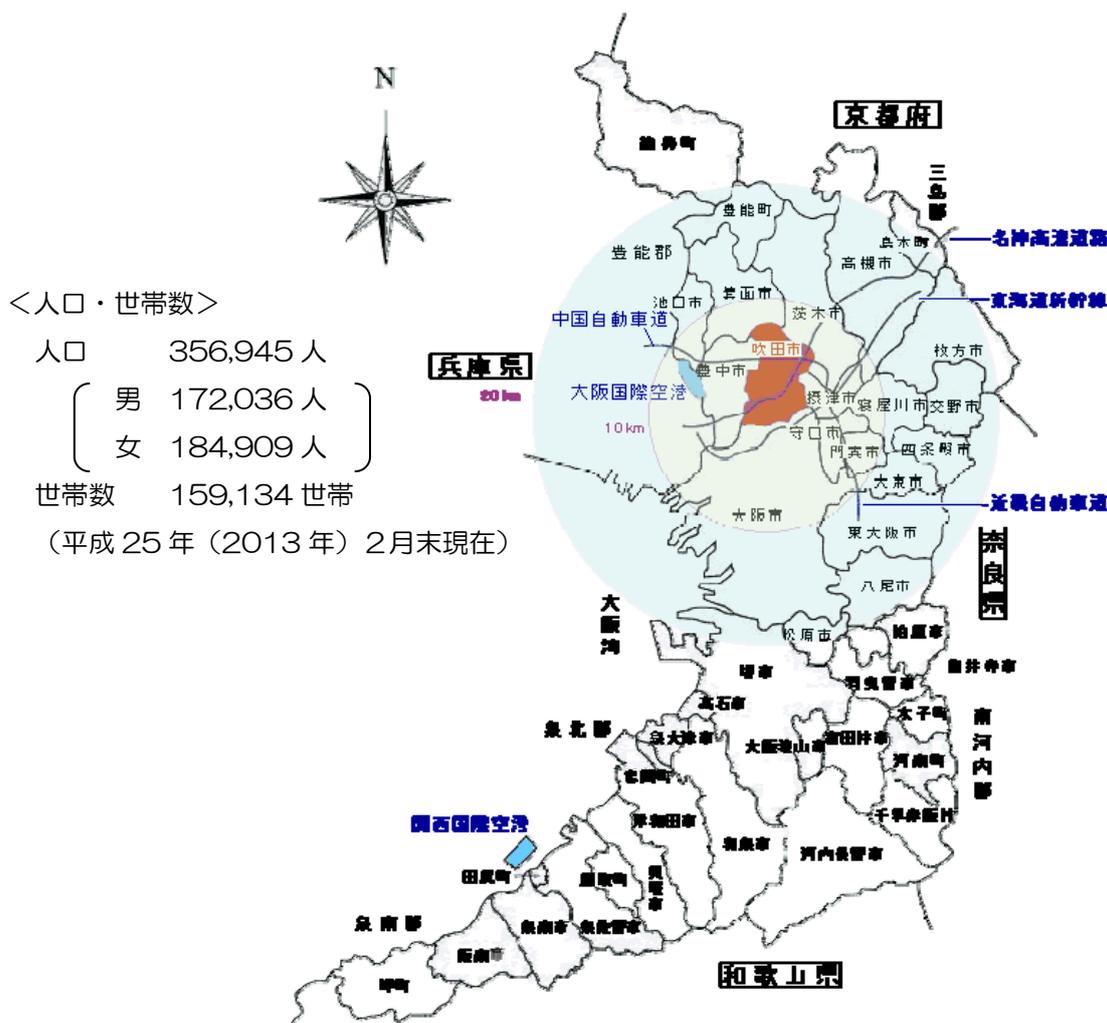
地勢としては、北部は北摂山系を背景としたなだらかな千里丘陵、また、南部は安威川、神崎川や淀川をつくる低地により形成されています。

<基本データ>

市制施行：昭和15年（1940年）4月1日

面積：36.11 km²

市の位置図



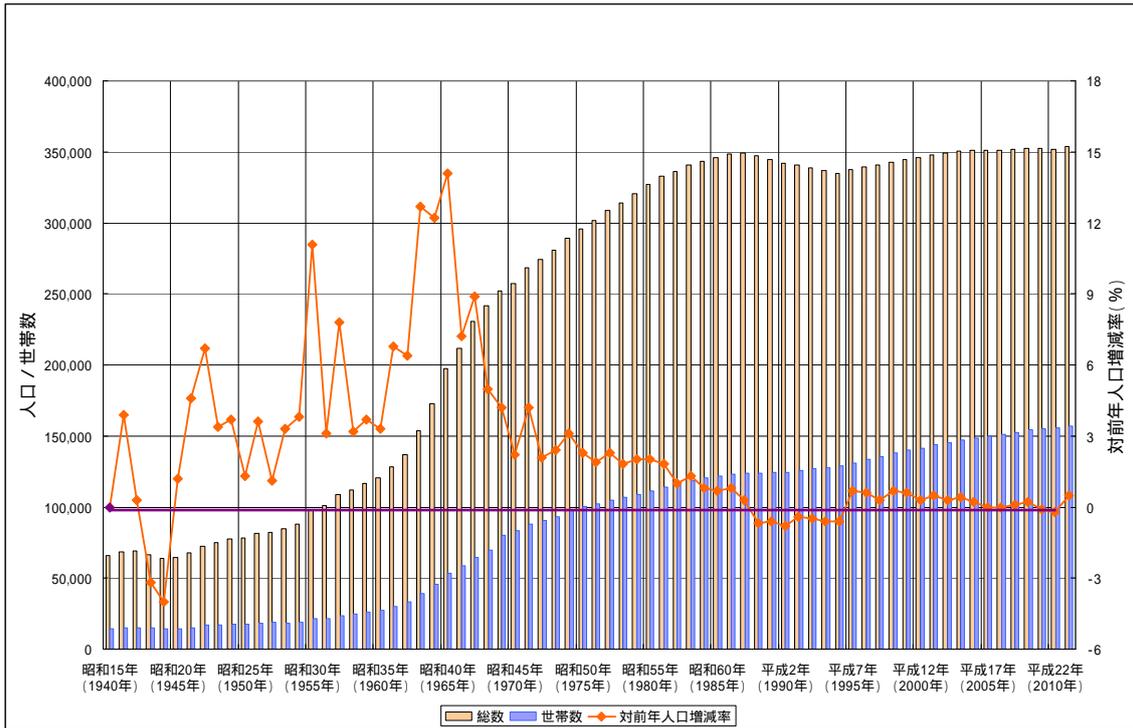
2 人口・世帯数の推移

(1) 総人口・世帯数の推移

本市の人口は、昭和30年代後半（1960年代前半）ごろから急増し、増加傾向は、昭和60年代前半（1980年代後半）ごろまで続き、その後一時的に減少傾向となったものの、近年は、横ばいの状況となっています。

この間、世帯数についても、ほぼ同傾向ですが、人口減少の時期でも増加傾向を示している点は、異なっています。

人口及び世帯数の推移等



出典：吹田市統計書平成23年（2011年）版

人口及び世帯数の推移

年次	人口	世帯数
昭和60年(1985年)	348,948	121,359
平成2年(1990年)	345,206	125,144
平成7年(1995年)	342,760	132,499
平成12年(2000年)	347,929	141,846
平成17年(2005年)	353,885	149,525
平成22年(2010年)	355,798	154,702

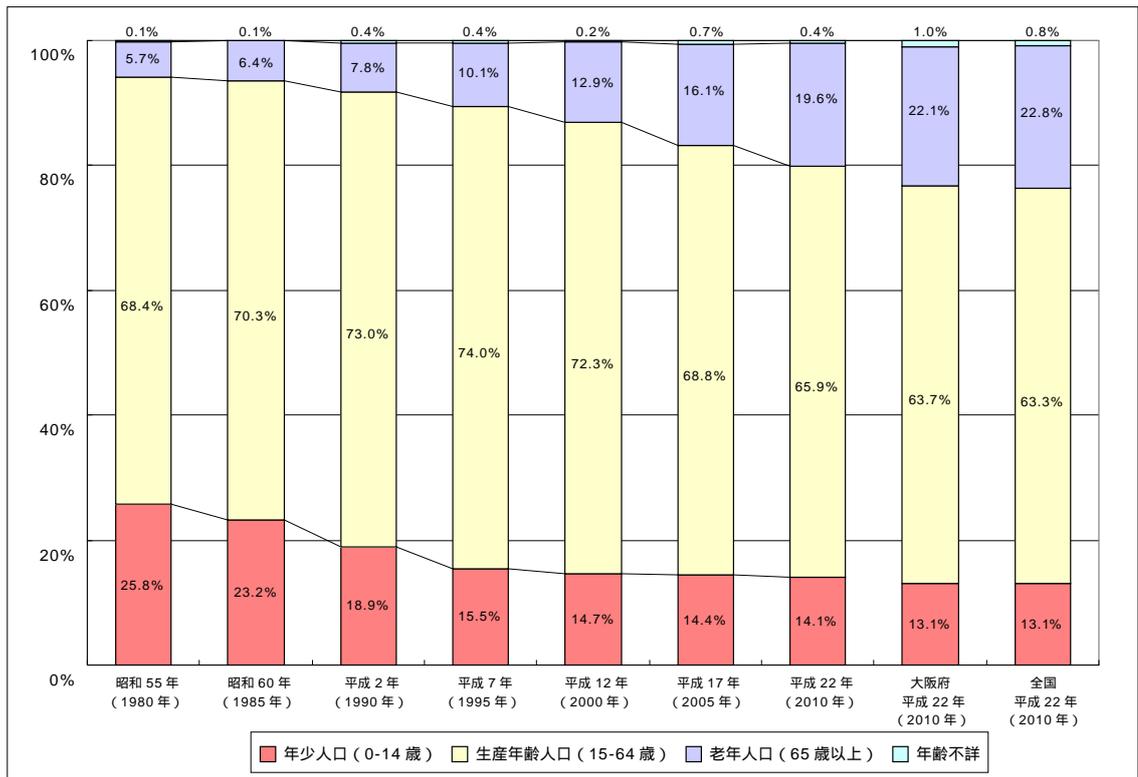
出典：総務省「国勢調査」

(2) 年齢別人口の推移

本市の老年人口（65歳以上）の割合は、昭和55年（1980年）から平成22年（2010年）にかけて、5.7%から19.6%に上昇し、年少人口（14歳以下）の割合は、25.8%から14.1%に下がっており、確実に少子・高齢化が進んでいます。これまでのところその進行は国や大阪府と比較して緩やかとなっています。

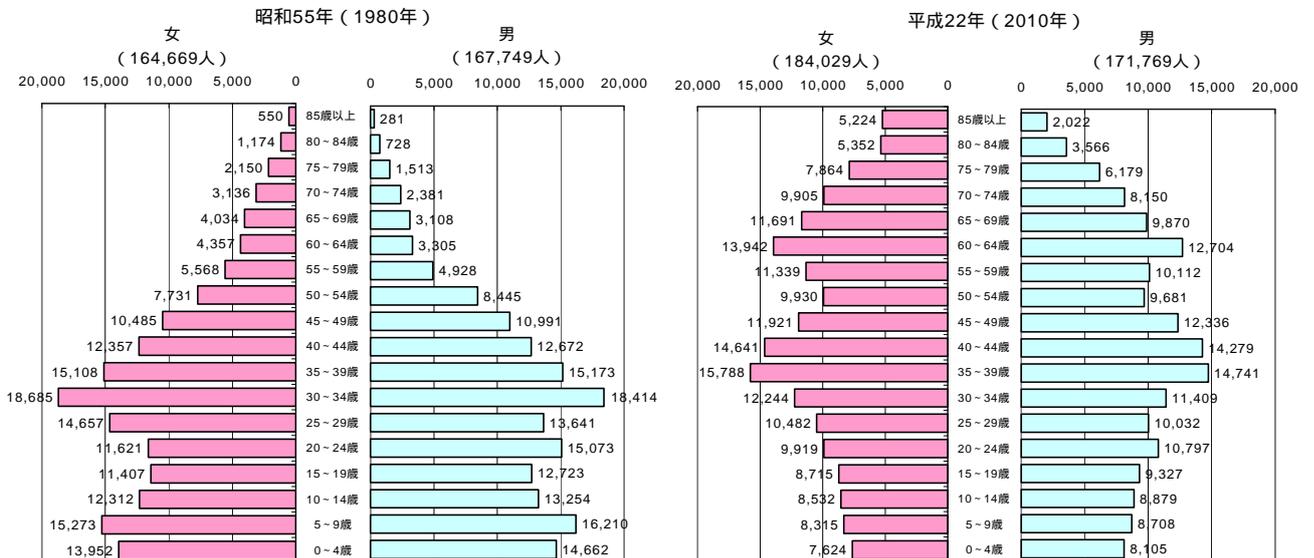
人口ピラミッドをみると、少子高齢化の傾向は続くことが予想され、特に平成22年（2010年）時点では老年人口には含まれていない「団塊の世代」が高齢期を迎える時期には、急激に高齢化が進行するものと思われます。

年齢（3区分）別人口割合の推移



出典：総務省「国勢調査」

人口ピラミッドの比較



出典：総務省「国勢調査」

(3) ブロック別人口の推移

「吹田市第3次総合計画 2006-2020」に基づき、市域を6つのブロックに分割し人口の推移を集計しました。

JR以南地域は、人口が減少傾向にあり、平成22年(2010年)の人口が約35,000人と、6地域の中で最も少ない地域です。片山・岸部地域は、平成22年(2010年)の人口が約55,000人であり、平成17年(2005年)からはほぼ横ばいとなっています。豊津・江坂・南吹田地域は、平成22年(2010年)の人口が約64,000人であり、平成17年(2005年)から約5,000人の増加と、最も人口が増加している地域です。千里山・佐井寺地域は、平成22年(2010年)の人口が約64,000人ですが、平成12年(2000年)以降、減少傾向が続いています。山田・千里丘地域は、平成22年(2010年)の人口が約77,000人であり、地域としては最も多く、平成17年(2005年)から約4,000人増加しています。千里ニュータウン・万博・阪大地域は、平成22年(2010年)の人口が約61,000人であり、平成7年(1995年)以降、減少傾向が続いており、最も減少幅が大きくなっています。

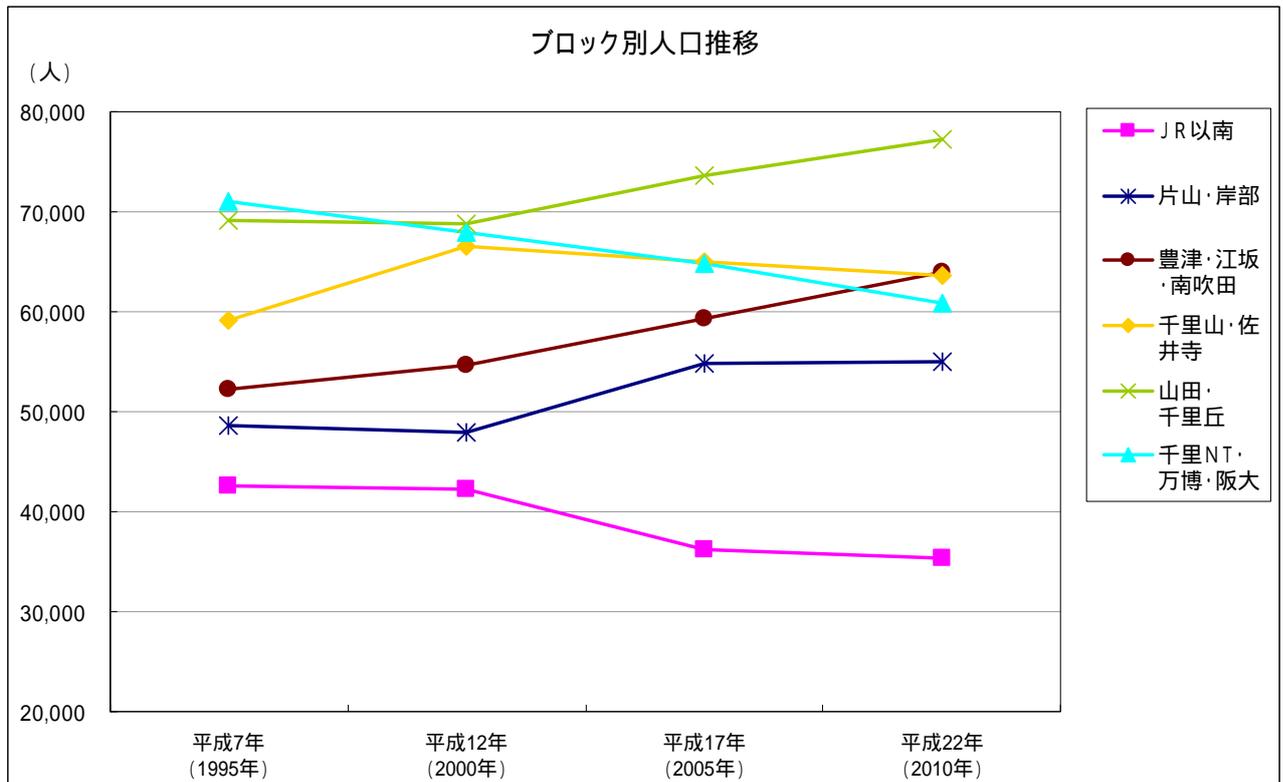
ブロックの区域割図



ブロック別人口の増減状況

年次	平成7年 (1995年)	平成12年 (2000年)	平成17年 (2005年)	平成22年 (2010年)	平成7年 ～平成22年 の人口増減
JR以南	42,592	42,167	36,132	35,275	7,317
片山・岸部	48,564	47,957	54,891	55,020	6,456
豊津・江坂・南吹田	52,288	54,618	59,322	63,912	11,624
千里山・佐井寺	59,133	66,501	65,013	63,536	4,403
山田・千里丘	69,161	68,744	73,626	77,188	8,027
千里NT・万博・阪大	71,022	67,942	64,901	60,867	10,155
総数	342,760	347,929	353,885	355,798	13,038

出典：総務省「国勢調査」

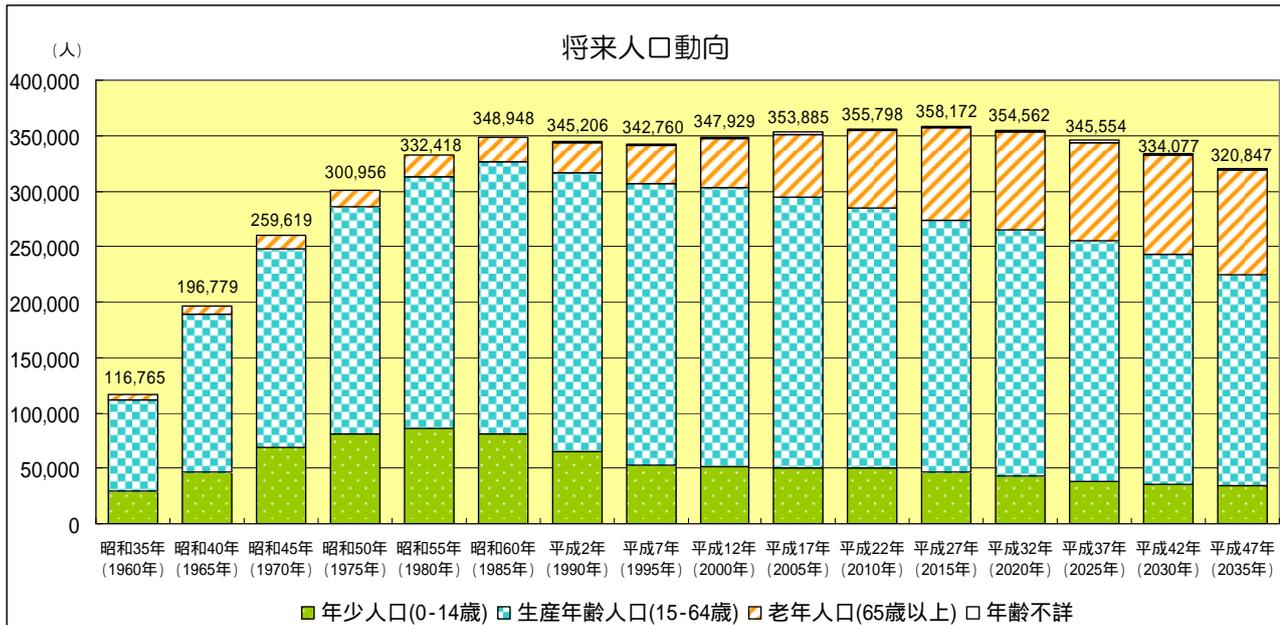


3 将来の人口動向

本市の人口は、平成22年(2010年)に約35.6万人となっており、平成17年(2005年)から約2,000人増加しています。この間、年少人口の割合は、0.3ポイントの減少であるのに対し、老年人口の割合は3.5ポイント増加しています。

将来人口は、平成27年(2015年)以降に減少が予測され、平成47年(2035年)に約32.1万人と、平成22年(2010年)に比べ、約3.5万人の減少になると見込まれます。

老年人口の割合は平成47年(2035年)には29.4%まで上昇すると予測される一方、年少人口の割合は平成47年(2035年)には10.5%まで低下すると予測されています。



将来人口動向

	昭和35年 (1960年)	昭和40年 (1965年)	昭和45年 (1970年)	昭和50年 (1975年)	昭和55年 (1980年)	昭和60年 (1985年)	平成2年 (1990年)	平成7年 (1995年)
合計	116,765	196,779	259,619	300,956	332,418	348,948	345,206	342,760
老年人口 (65歳以上)	5,588 4.8%	8,267 4.2%	11,770 4.5%	15,316 5.1%	19,055 5.7%	22,300 6.4%	26,805 7.8%	34,691 10.1%
生産年齢人口 (15-64歳)	81,525 69.8%	141,854 72.1%	179,656 69.2%	204,762 68.0%	227,341 68.4%	245,333 70.3%	251,866 73.0%	253,511 74.0%
年少人口 (0-14歳)	29,652 25.4%	46,658 23.7%	68,193 26.3%	80,726 26.8%	85,663 25.8%	80,975 23.2%	65,221 18.9%	53,159 15.5%
年齢不詳				152 0.1%	359 0.1%	340 0.1%	1,314 0.4%	1,399 0.4%

	平成12年 (2000年)	平成17年 (2005年)	平成22年 (2010年)	平成27年 (2015年)	平成32年 (2020年)	平成37年 (2025年)	平成42年 (2030年)	平成47年 (2035年)
合計	347,929	353,885	355,798	358,172	354,562	345,554	334,077	320,847
老年人口 (65歳以上)	44,885 12.9%	57,131 16.1%	69,823 19.6%	83,488 23.3%	88,259 24.9%	88,263 25.5%	90,034 27.0%	94,336 29.4%
生産年齢人口 (15-64歳)	251,525 72.3%	243,445 68.8%	234,339 65.9%	226,280 63.2%	222,354 62.7%	217,880 63.1%	207,375 62.1%	191,224 59.6%
年少人口 (0-14歳)	50,990 14.7%	50,904 14.4%	50,163 14.1%	46,931 13.1%	42,476 12.0%	37,938 11.0%	35,195 10.5%	33,814 10.5%
年齢不詳	529 0.2%	2,405 0.7%	1,473 0.4%	1,473 0.4%	1,473 0.4%	1,473 0.4%	1,473 0.4%	1,473 0.5%

出典：国勢調査(昭和35年(1960年)～平成22年(2010年))、行政経営部データ(平成27年(2015年)～平成47年(2035年))

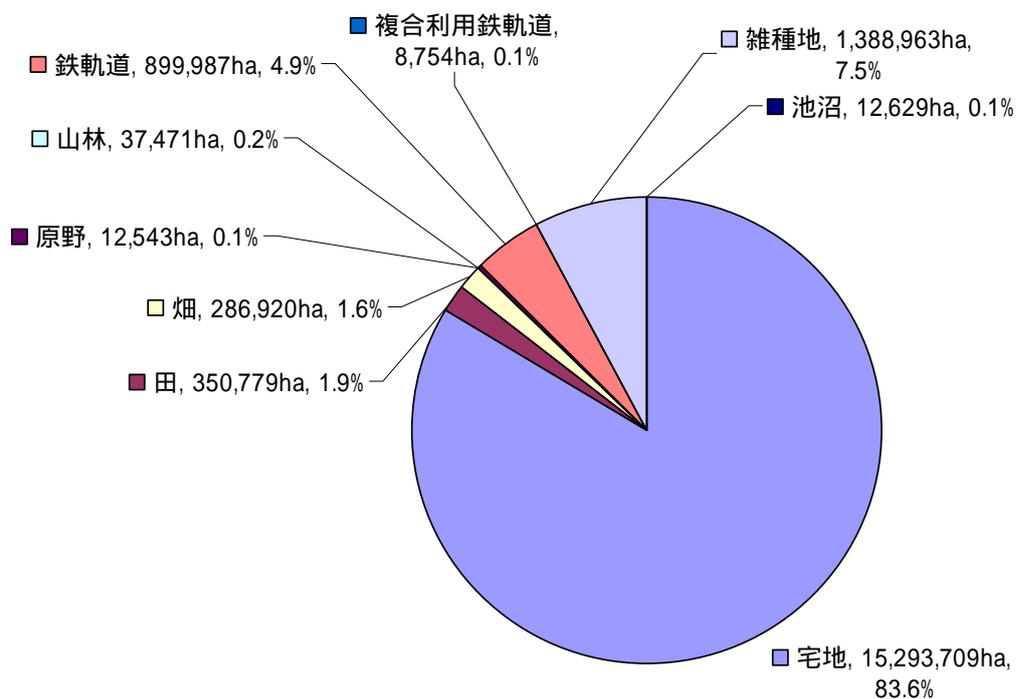
4 市域の特性（土地利用状況）

本市の土地利用をみると全体の8割以上を宅地が占めていることが特徴としてあげられます。

市域南部地域では、他の地域に比べて工場としての利用が多く、南西部の江坂駅周辺では、商業業務地としての利用が多くなっています。

また、市域中部から北部では、一般市街地としての利用が多く、住宅を中心とした土地利用となっています。

地目別地積



出典：吹田市統計書平成 23 年（2011 年）版

5 市の財政状況の今後の見通し

本市は赤字構造の脱却を図るべく、平成 26 年度（2014 年度）までの年次目標やスケジュールをまとめた「改革の工程」を策定し、「行政の維新プロジェクト」を推進しているところです。

事務事業の見直しや公務員制度改革などを通じて経費の削減を図り、平成 25 年度（2013 年度）当初予算編成においては、臨時財政対策債の発行に頼らない、という目標はクリアできたものの、財政調整基金の取り崩しで収支不足を補填せざるを得ないという厳しい事態が続いています。

また、財政の硬直化を示す経常収支比率においては、平成 23 年度（2011 年度）決算で 102.3% となり、目標とする「平成 26 年度（2014 年度）決算で 95%」を達成するには更なる努力を要します。

さらに、福祉サービス利用者の増加に伴う歳出の自然増や、また、高度経済成長期に数多く整備した公共施設の老朽化対策費用の増大が予想されます。

5か年の収支見通し（普通会計）

（単位：百万円）

区 分		平成 25 年度 (2013 年度)	平成 26 年度 (2014 年度)	平成 27 年度 (2015 年度)	平成 28 年度 (2016 年度)	平成 29 年度 (2017 年度)
市 税		61,964	62,348	61,083	61,220	61,447
地方譲与税等		6,711	6,858	7,283	7,301	7,196
その他 収入	経常経費充当分	31,261	31,590	32,993	30,521	30,174
	建設事業費充当分(①)	5,372	16,179	17,075	6,197	4,060
歳入合計 (A)		105,308	116,975	118,434	105,239	102,877
義務的経費		58,214	57,316	56,902	57,151	56,236
建設事業費 (②)		7,008	19,008	18,830	8,946	6,098
その他経費		38,469	39,877	41,451	38,289	38,302
歳出合計 (B)		103,691	116,201	117,183	104,386	100,636
収支差引 (A) - (B)		1,617	774	1,251	853	2,241
財源 措置	臨時財政対策債	0	0	0	0	0
	財政調整基金繰入金	0	0	0	0	0
実質収支		1,617	774	1,251	853	2,241
単年度収支		1,617	▲ 843	477	▲ 398	1,388
建設事業充当一般財源額 (②) - (①)		1,636	2,829	1,755	2,749	2,038
財政調整基金年度末現在高		6,705	7,514	7,901	8,527	8,954

第2章 一般建築物の概況

1 対象施設

本書では、公共施設のうち、一般建築物を対象に、下記、用途分類別施設数に示すとおり、368施設を対象としています。一般建築物の延床面積の合計は813,900㎡で、市民1人当たりの床面積は約2.3㎡となります。

この他に、廃止した施設（9施設）、24年度中に移転した旧施設（7施設）が、あります。

用途分類別施設数

平成25年（2013年）3月現在

大分類	中分類	小分類	施設数	延床面積 (㎡)	構成比 (%)		
行政施設	庁舎	出張所等	2	31,244	3.8	6.2	
		出張所等	8	1,124	0.1		
		その他庁舎等	7	4,724	0.6		
	消防施設	消防署所 其他消防施設	20	13,709	1.7		
文化・交流施設	市民交流施設		17	27,663	3.4	4.4	
	特定テーマ施設等		9	8,529	1.0		
社会教育施設	生涯学習施設	地区公民館	30	10,451	1.3	11.9	
		図書館	9	11,654	1.4		
		博物館	1	3,298	0.4		
		地域交流室	1	144	0.0		
		その他	2	2,289	0.3		
	青少年施設		5	12,787	1.6		
	スポーツ施設	総合運動場		1	9,766		1.2
		スポーツグラウンド		4	1,920		0.2
		市民プール		4	5,991		0.7
		体育館等		6	38,791		4.8
子ども・子育て支援施設	児童福祉施設	保育所	18	17,103	2.1	3.9	
		児童厚生施設	11	5,110	0.6		
		児童発達支援センター	2	3,438	0.4		
	子育て支援施設	拠点施設(のびのび子育てプラザ)		1	626		0.1
		放課後児童健全育成施設		35	5,224		0.6
		その他		3	851		0.1
学校施設	幼稚園		16	10,965	1.3	49.5	
	小学校		35	253,631	31.2		
	中学校		18	138,172	17.0		
社会福祉関連施設	生きがい活動施設		37	2,959	0.4	8.6	
	高齢者・障がい者福祉施設		11	22,766	2.8		
	保健・医療施設		5	40,281	5.0		
	事務所・その他		4	2,926	0.4		
住宅施設	市営住宅		22	74,567	9.2	9.2	
交通施設	交通施設(自転車駐車場等)		16	36,917	4.5	4.5	
環境関連施設	火葬場		1	2,396	0.3	0.9	
	環境啓発施設		1	4,947	0.6		
その他施設	その他施設		6	6,937	0.9	0.9	
合計			368	813,900	100%		

2 施設の現況

(1) 建築年度別用途別延床面積

対象施設の整備状況を建築年度別延床面積で見ると、昭和30年代後半(1960年代前半)ごろから急増し、年ごとのばらつきはあるものの、昭和40年代後半(1970年代前半)をピークに、昭和60年代前半(1980年代後半)ごろまで比較的多くの施設整備が続いています。

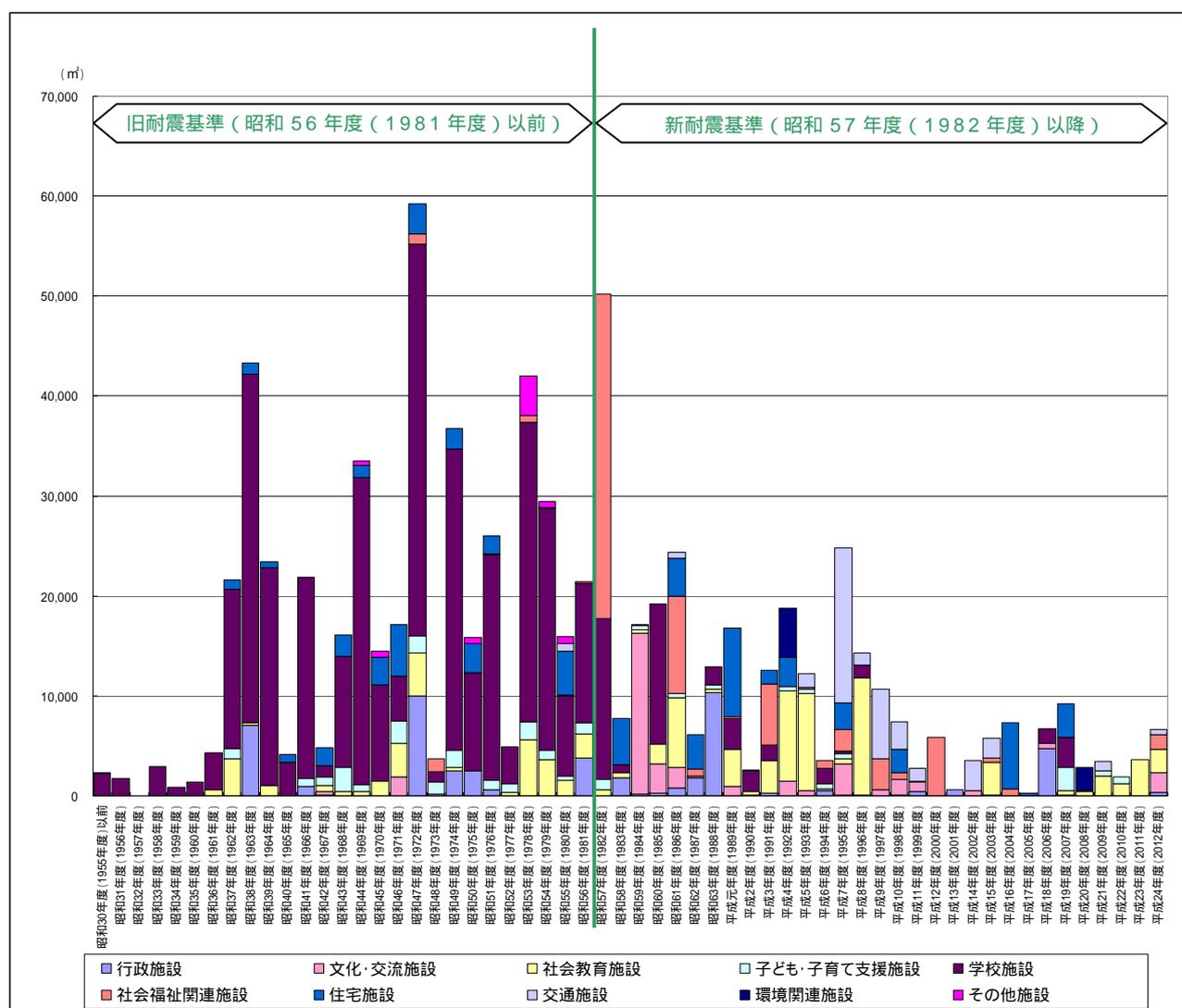
その後は、一時的な増減が続いた後、近年は、低い値で横ばいの状況となっています。

こうした傾向はほぼ、人口の推移に沿った動きとなっています。

用途別延床面積で見ると、特に施設整備が急増した昭和30年代後半(1960年代前半)からは、学校施設の整備がその中で多くの割合を占めていることが分かります。また、面積は少ないものの、その他の施設も一定の割合で含まれていることが分かります。

昭和30年代後半(1960年代前半)に建てられた建物は、築後50年に差し掛かっており、今後は、これらの建物が更新時期を迎えていくことが予想されます。

建築年度別用途別の延床面積 (㎡)



(2) 耐震改修の状況

本市においては、「大阪府住宅・建築物耐震10ヵ年戦略プラン」に沿って策定した「吹田市耐震改修促進計画」に基づいて、計画的に耐震改修を行っています。

市有建築物のなかでも、災害対策等の指揮命令中枢機能施設である市役所本庁舎及び消防本部、医療拠点となる市民病院については最優先で耐震診断を実施し、耐震性がないと判定された建築物については耐震改修または建替えによる対策を既に実施しています。

また、災害時の応急活動拠点となる消防署、避難所となる小中学校等、市民の生活の場となる市営住宅、その他の建築物についても、順次の耐震診断を行い、耐震改修に取り組んでいます。

平成32年度(2020年度)までを計画期間とする市有建築物耐震化促進計画を策定し、年次計画に沿って目標達成に向けた取り組みを進めています。

耐震化の目標

- ・平成27年度(2015年度)までの耐震化率90%(耐震改修促進法に該当する施設)
- ・耐震改修促進法に該当しない施設も含めて、平成32年度(2020年度)(吹田市第3次総合計画の最終年度)までに耐震化率95%

市有建築物の耐震化促進計画年次計画表

平成24年(2012年)12月現在

項目	内容	平成19年度 (2007年度)	平成20年度 (2008年度)	平成21年度 (2009年度)	平成22年度 (2010年度)	平成23年度 (2011年度)	平成24年度 (2012年度)	平成25年度 (2013年度)
----	----	--------------------	--------------------	--------------------	--------------------	--------------------	--------------------	--------------------

【耐震化実施計画】

実施件数	耐震診断	12	12	35	19	17	10	3
	耐震設計	6	15	7	30	17	14	19
	耐震化工事	4	5	11	13	28	24	18
耐震化率	法対象	37.3%	40.1%	45.6%	52.5%	61.9%	70.0%	74.2%
	全体	42.1%	44.6%	48.6%	54.1%	62.8%	69.5%	73.1%

【耐震化費用】

(百万円)

耐震化費用 (診断・設計・工事)	147	210	703	1,195	1,791	3,008	2,456
---------------------	-----	-----	-----	-------	-------	-------	-------

項目	内容	平成26年度 (2014年度)	平成27年度 (2015年度)	平成28年度 (2016年度)	平成29年度 (2017年度)	平成30年度 (2018年度)	平成31年度 (2019年度)	平成32年度 (2020年度)
----	----	--------------------	--------------------	--------------------	--------------------	--------------------	--------------------	--------------------

【耐震化実施計画】

実施件数	耐震診断	5	5	2	2	1		
	耐震設計	14	5	5	2	2	1	
	耐震化工事	27	22	5	5	2	2	1
耐震化率	法対象	81.0%	93.2%	94.9%	96.6%	96.6%	96.6%	96.6%
	全体	78.9%	88.3%	90.4%	92.5%	93.3%	94.2%	94.6%

【耐震化費用】

(百万円)

耐震化費用 (診断・設計・工事)	2,856	1,586	138	164	23	30	9
---------------------	-------	-------	-----	-----	----	----	---

平成19年度(2007年度)を初年度とする

3 施設の管理運営の現況及び分析

(1) 維持管理費及び事業運営費の現況及び分析

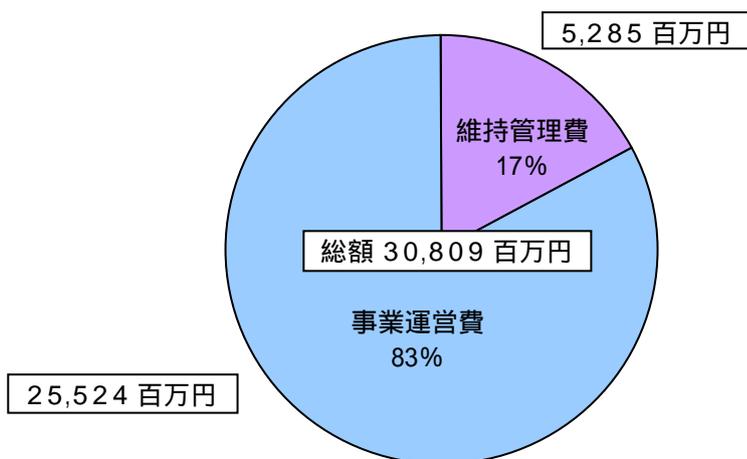
対象施設の維持管理・事業運営に掛かった費用は、総額 308 億円です。

その内訳は、維持管理費が 53 億円（17%）、事業運営費が 255 億円（83%）となっています。

また施設の用途別で見ると、社会福祉関連施設が 109 億円（35%）で最も多く、次いで行政施設 55 億円（18%）、子ども・子育て支援施設 54 億円（17%）と続いています。

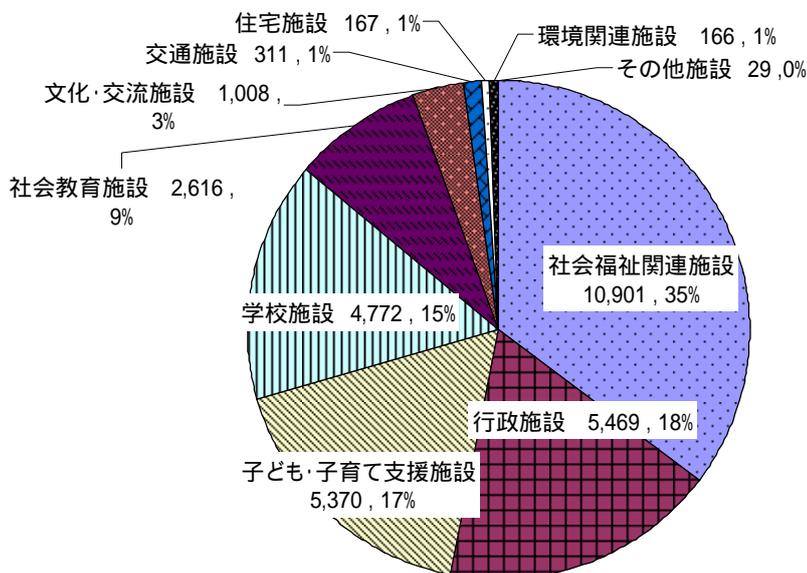
維持管理費・事業運営費の内訳

平成 23 年度（2011 年度）



維持管理費と事業運営費の合計額の用途別内訳

平成 23 年度（2011 年度）



凡例：施設用途、維持管理費と事業運営費の合計額（百万円）、割合（%）

(2) 指定管理者による管理状況

指定管理者制度は、民間事業者や地域団体を地方公共団体が指定管理者として指定し、公の施設の管理、運営を担うことができる制度です。

本制度は、公の施設のより効率的かつ効果的な管理を目指して、管理主体の範囲に民間事業者も含めるとともに、使用許可等の権限も行使できることとしたものであり、市民サービスの向上と経費の節減などの効果が期待されています。

本市では、指定管理者制度への円滑な対応を図るため、平成 17 年(2005 年)1 月に「指定管理者制度についての運用指針」を制定し、指定管理者制度の導入を図っています。

指定管理者制度を導入している施設一覧

平成 25 年(2013 年)4 月(予定)

施設分類	施設名称	指定管理者名	指定期間
その他庁舎等	消費生活センター	吹田市立消費生活センター運営委員会	平成24年(2012年)4月1日 ～平成27年(2015年)3月31日
市民交流施設	文化会館 メイシアター	公益財団法人吹田市文化振興事業団	平成24年(2012年)4月1日 ～平成29年(2017年)3月31日
	吹田歴史文化まちづくりセンター 浜屋敷	特定非営利活動法人吹田歴史文化まちづくり協会	平成25年(2013年)4月1日 ～平成28年(2016年)3月31日
	津雲台市民ホール	吹田市津雲台市民ホール運営委員会	平成24年(2012年)4月1日 ～平成27年(2015年)3月31日
	高野台市民ホール	吹田市高野台市民ホール運営委員会	
	佐竹台市民ホール	吹田市佐竹台市民ホール運営委員会	
	桃山台市民ホール	吹田市桃山台市民ホール運営委員会	
	青山台市民ホール	吹田市青山台市民ホール運営委員会	
	藤白台市民ホール	吹田市藤白台市民ホール運営委員会	
	古江台市民ホール	吹田市古江台市民ホール運営委員会	
	竹見台市民ホール	吹田市竹見台市民ホール運営委員会	
	岸部市民センター	大阪ガスビジネスクリエイト株式会社	
	豊一市民センター		
	千里丘市民センター		
	山田ふれあい文化センター	吹田市JR以南コミュニティ協議会	
内本町コミュニティセンターコミュニティプラザ			
亥の子谷コミュニティセンターコミュニティプラザ	吹田市亥の子谷コミュニティ協議会		
特定テーマ施設等	南山田市民ギャラリー	南山田地域文化推進協議会	平成25年(2013年)4月1日 ～平成28年(2016年)3月31日
	千里花とみどりの情報センター	特定非営利活動法人緑の蝶々	平成25年(2013年)4月1日 ～平成28年(2016年)3月31日
	江坂花とみどりの情報センター	特定非営利活動法人緑の蝶々	平成25年(2013年)4月1日 ～平成28年(2016年)3月31日
	勤労者会館	株式会社コナミスポーツ&ライフ	平成25年(2013年)4月1日 ～平成30年(2018年)3月31日
	市民公益活動センター	NPO法人市民ネットすいた	平成24年(2012年)8月1日 ～平成29年(2017年)3月31日
青少年施設	勤労青少年ホーム	株式会社ビケンテクノ	平成21年(2009年)4月1日 ～平成26年(2014年)3月31日
	自然体験交流センター わくわくの郷	一般財団法人大阪市青少年活動協会	平成24年(2012年)4月1日 ～平成29年(2017年)3月31日
スポーツ施設	片山市民プール	特定非営利活動法人吹田市体育協会	平成25年(2013年)4月1日 ～平成26年(2014年)3月31日
	北千里市民プール		
	南千里市民プール		
	中の島市民プール		
	片山市民体育館	吹田市体育協会・ミズノ・南海ビルサービスグループ	平成25年(2013年)4月1日 ～平成30年(2018年)3月31日
	北千里市民体育館		
	山田市民体育館		
	南吹田市民体育館		
	目黒市民体育館	特定非営利活動法人吹田市体育協会	平成25年(2013年)4月1日 ～平成28年(2016年)3月31日
	武道館「洗心館」		
	総合運動場	特定非営利活動法人吹田市体育協会	平成25年(2013年)4月1日 ～平成28年(2016年)3月31日
中の島スポーツグラウンド	スポーツテクノ和広・吹田市体育協会グループ	平成25年(2013年)4月1日 ～平成30年(2018年)3月31日	
桃山台スポーツグラウンド			
山田スポーツグラウンド			
南正雀スポーツグラウンド			
児童福祉施設	千里山竹園児童センター(クローバーセンター)	吹田市立千里山竹園児童センター管理運営協議会	平成24年(2012年)4月1日 ～平成27年(2015年)3月31日
生きがい活動施設	高齢者生きがい活動センター	吹田市高齢クラブ連合会	平成24年(2012年)7月1日 ～平成29年(2017年)3月31日
高齢者・障がい者福祉施設	内本町デイサービスセンター	社会福祉法人吹田市社会福祉協議会	平成21年(2009年)4月1日 ～平成26年(2014年)3月31日
	亥の子谷デイサービスセンター		
	南山田デイサービスセンター		
	千里山西デイサービスセンター	社会福祉法人英芳会	
	藤白台デイサービスセンター	社会福祉法人寿楽福祉会	
	岸部中デイサービスセンター	社会福祉法人吹田みどり福祉会	
	岸部中グループホーム	特定非営利活動法人いきいきライフ	
介護老人保健施設	財団法人吹田市介護老人保健施設事業団	平成23年(2011年)4月1日 ～平成26年(2014年)3月31日	
環境啓発施設	資源リサイクルセンター(くるくるプラザ)	公益財団法人千里リサイクルプラザ	平成23年(2011年)4月1日 ～平成26年(2014年)3月31日

平成 25 年度(2013 年度)から新たに導入する施設

第3章 施設の実態把握・分析

本章では、対象施設を用途分類別にその実態把握・分析を行います。その際に用いたデータや各種の指標等は、以下のとおりです。

本章で使用するデータや各種の指標等について

利用者数

利用者数：施設利用者数、来館者数等

維持管理費・事業運営費（平成23年度（2011年度）決算データで掲載）

A．維持管理費：施設内にて施設の維持管理に関わるもの（ハード事業）

施設があるだけで発生する経常的な費用を対象とします。

B．事業運営費：施設内にて行われる行政活動、市民への公共サービス提供業務（ソフト事業）

維持管理費を除いた事業の運営のために発生する経常的な費用を対象とします。

具体的な項目については下表のとおりです。

	費目	説明
維持管理費	人件費等 ¹	施設の維持管理に関わる業務で施設内に配置されているもの
	建築設備保守管理費	外部委託等で実施しているもの
	清掃・環境衛生費	外部委託等で実施しているもの
	警備費	外部委託等で実施しているもの
	光熱水費	電気、ガス、水道料金の合計
	維持補修費	工事請負費や修繕料で執行する経常的なもの
	その他	土地建物賃借料、通信運搬費等
事業運営費	人件費等 ¹	施設の事業運営に関わる業務で施設内に配置されているもの
	外部委託等	委託料、備品購入費、消耗品費等

¹ 正職員のほか、非常勤職員や臨時雇用員を含みます。正職員の人件費の単価は、主要な施策の単価の7,758千円/人・年とします。

利用者1人当たりの支出

施設に係る維持管理費と事業運営費の合計額を の利用者数(市営住宅の場合は戸数)で除した値とします。

市民1人当たりの支出

施設に係る維持管理費と事業運営費の合計額を市の人口で除した値とします。

市の人口については、平成23年(2011年)9月30日現在の住民登録人口353,493人で算出しています。

延床面積1㎡当たりの支出

施設に係る維持管理費と事業運営費の合計額を該当施設の延床面積(共用部分の持ち分を含む)で除した値とします。

その他

表中の『単独・複合』は、同一敷地内に2以上の施設が設置されている場合は『複合』とし、それ以外は『単独』としています。

表・グラフ中の施設名称に がついている施設は、本市が指定する指定管理者が管理・運営を行っている施設を示しています。なお、指定管理者制度を導入している施設では、事業運営費に維持管理費が含まれている場合もあります。

施設ごとに維持管理費を分けていますが、複合施設においては、個別に分けることが困難な場合があります。

表中の建設年度の欄は、市が区分所有している施設や民間施設に入居している施設等の場合は、開設年度を示しています。

グラフについては、一部施設名を省略して表示しています。

グラフ中の平均値は、個々の施設の値の合計を施設数で割った値となっています。

1 用途別の実態把握・分析

(1) 行政施設

ア 庁舎

(ア) 概要

本市の市庁舎は、本庁舎（低・中・高層棟・職員会館等）と南千里庁舎で構成されています。

(イ) 建物の状況

本庁舎の低層棟は、昭和38年度（1963年度）に建設後49年が経過しています。その他の庁舎も建設後24年～40年が経過しています。

南千里庁舎は、昭和56年度（1981年度）に建設後31年が経過しています。

<配置図（庁舎）>



番号	施設名称	建設年度	単独・複合	延床面積 (㎡)	支出(千円)		
					維持管理費	事業運営費	総額
1	市役所本庁舎(低・中・高層棟・職員会館等)	昭和38年	1963 単独	27,770	254,653	36,611	291,264
2	市役所南千里庁舎	昭和56年	1981 単独	3,474	25,739	79	25,818

(ウ) 利用状況

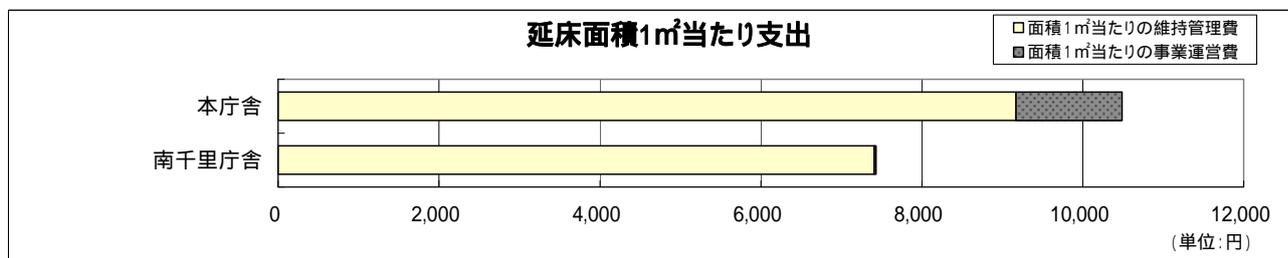
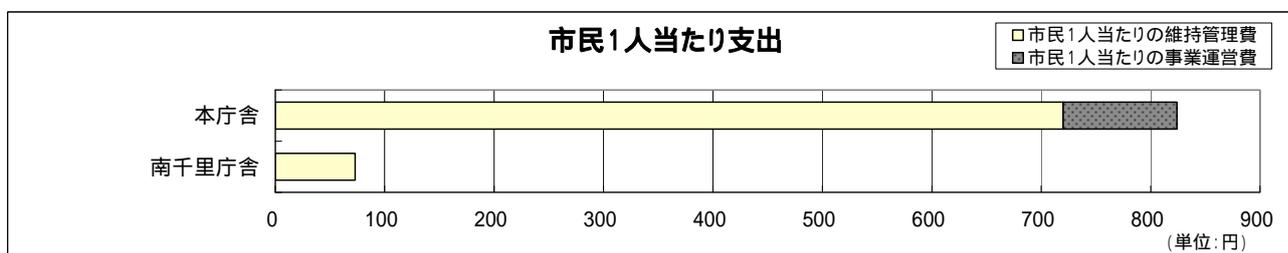
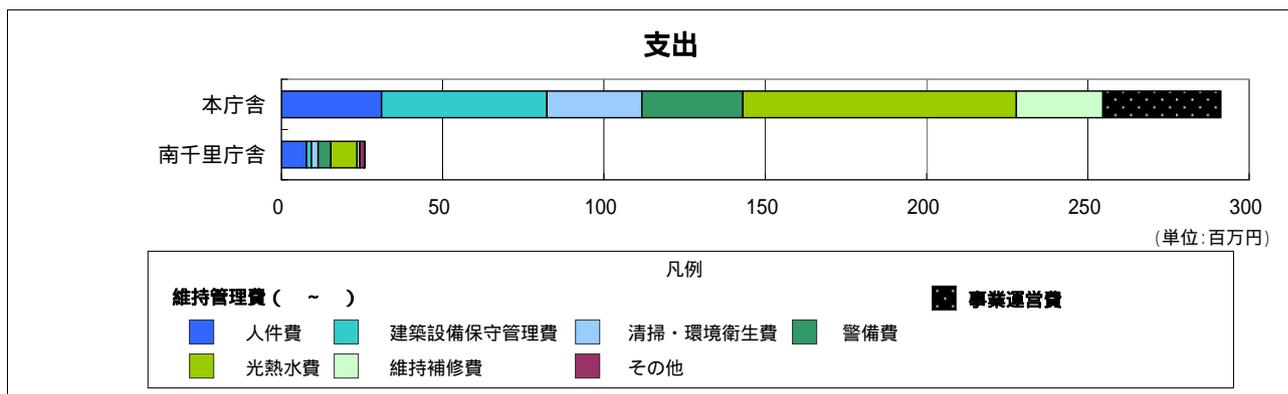
本庁舎は、市民サービスの中心機能並びに議会等の機能を担っています。本庁舎のうち職員会館は、総務部の事務所としての利用のほか職員厚生会に管理・運営を委託し、職員の福利厚生施設として利用しています。また、南千里庁舎は、道路公園部が利用しています。

(エ) 支出の状況

本庁舎には、255 百万円/年の維持管理費と 36 百万円/年の事業運営費がかかっており、合わせて 291 百万円/年の支出となっています。また、南千里庁舎は維持管理費と事業運営費を合わせて、26 百万円/年の支出となっています。

支出状況を市民 1 人当たりで見ると、本庁舎 824 円/人、南千里庁舎 73 円/人となっています。

施設規模の違いを踏まえ、延床面積 1 m² 当たりで見ると、本庁舎 10,488 円/m²、南千里庁舎 7,432 円/m² となっています。



イ 出張所等

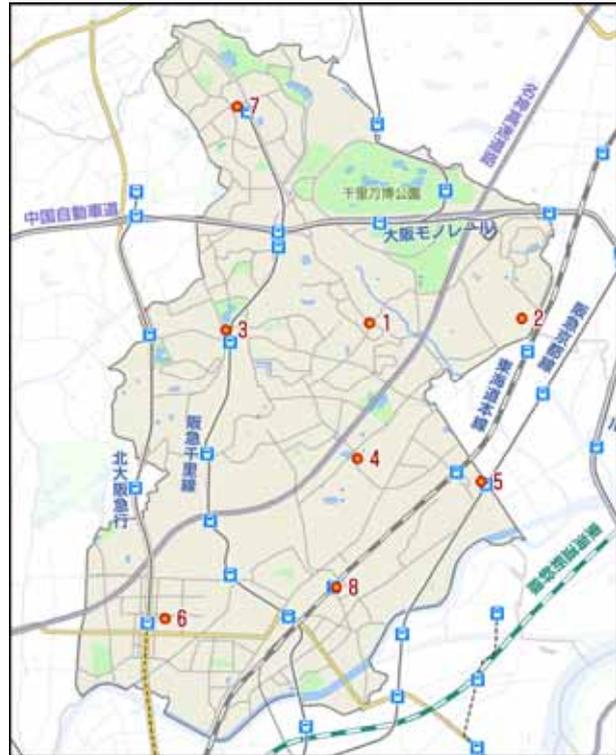
(ア) 概要

本市の出張所は、市内の3か所（山田、千里丘、千里）にあります。

千里出張所については、平成24年度（2012年度）に建設された千里ニュータウンプラザに移転し、業務を行っています。

市民サービスコーナーは、市内の5か所（原、岸部、江坂、北千里、さんくす）で業務を行っています。

<配置図（出張所等）>



(イ) 建物の状況

山田出張所は、西山田地区高齢者いこいの間、西山田地区公民館、山田図書館との複合施設として昭和56年度（1981年度）に建設され、千里丘出張所は、昭和60年度（1985年度）に建設されており、いずれも約30年程度経過しています。

江坂市民サービスコーナーと原町市民サービスコーナーは平成元年度（1989年度）、岸部市民サービスコーナーは平成2年度（1990年度）に開設され、その後江坂市民サービスコーナーは、平成8年度（1996年度）に現在地に移転しました。3施設とも他の施設との複合施設となっています。

さんくす市民サービスコーナーは平成元年度（1989年度）、北千里市民サービスコーナーは平成2年度（1990年度）に開設されています。それぞれ民間施設（さんくす市民サービスコーナーは、市所有部分）に入居しています。

番号	施設名称	建設年度	単独・複合	延床面積(m ²)	支出(千円)			
					維持管理費	事業運営費	総額	
1	山田出張所	昭和56年	1981	複合	300	11,032	64,120	75,152
2	千里丘出張所	昭和60年	1985	単独	252	6,865	39,208	46,073
3	千里出張所*1	平成24年	2012	複合	360	-	-	-
4	原市民サ - ビスコ - ナ -	平成元年	1989	複合	21	400	9,082	9,482
5	岸部市民サ - ビスコ - ナ -	平成2年	1990	複合	28	0	9,498	9,498
6	江坂市民サ - ビスコ - ナ -	平成8年	1996	複合	109	621	11,676	12,297
7	北千里市民サ - ビスコ - ナ -	平成2年	1990	複合	29	1,349	9,560	10,909
8	さんくす市民サ - ビスコ - ナ -	平成元年	1989	複合	25	484	10,972	11,456

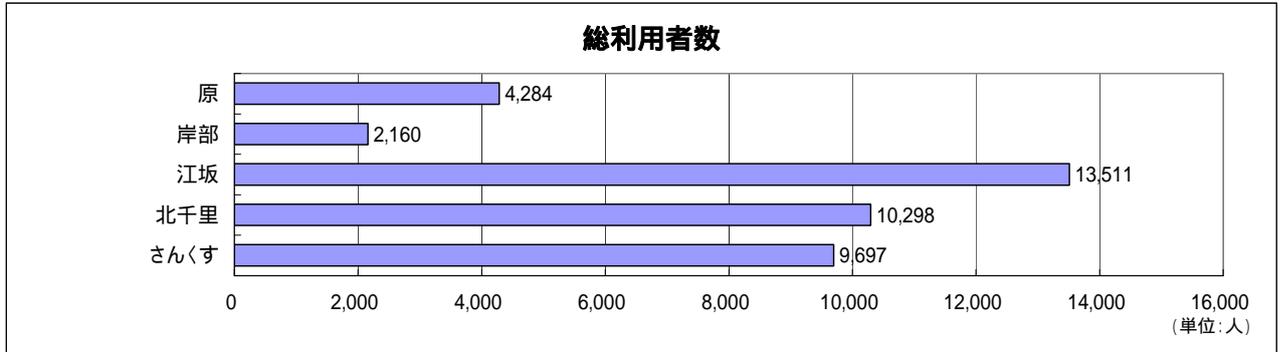
*1 千里ニュータウンプラザに設置
注) サービスコーナーは開設年度

(ウ) 利用状況

出張所及び市民サービスコーナーは、本庁舎における市民サービスの補完的機能を担っています。出張所では、住民登録・戸籍・印鑑登録の届出及び証明書発行のほか、税証明の発行や国民健康保険・国民年金の届出等を行っており、市民サービスコーナーでは、住民票の写し、印鑑登録証明書（事前に印鑑の登録が必要）及び母子健康手帳の発行を行っています。

市民サービスコーナーは、本庁舎及び出張所が閉庁となる土曜日でも午前中は開庁しており（祝日を除く）本庁舎や出張所まで出向かなくても身近な場所で証明書等を取得できる市民サービスを提供しています。

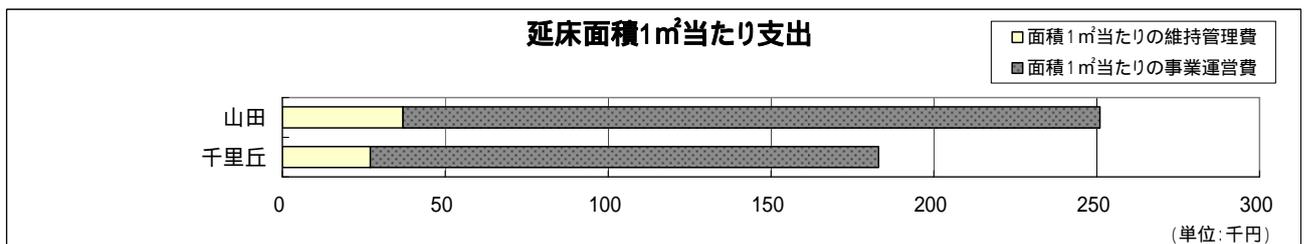
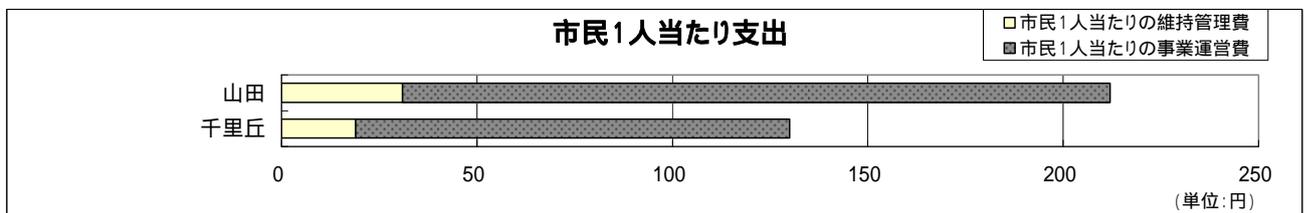
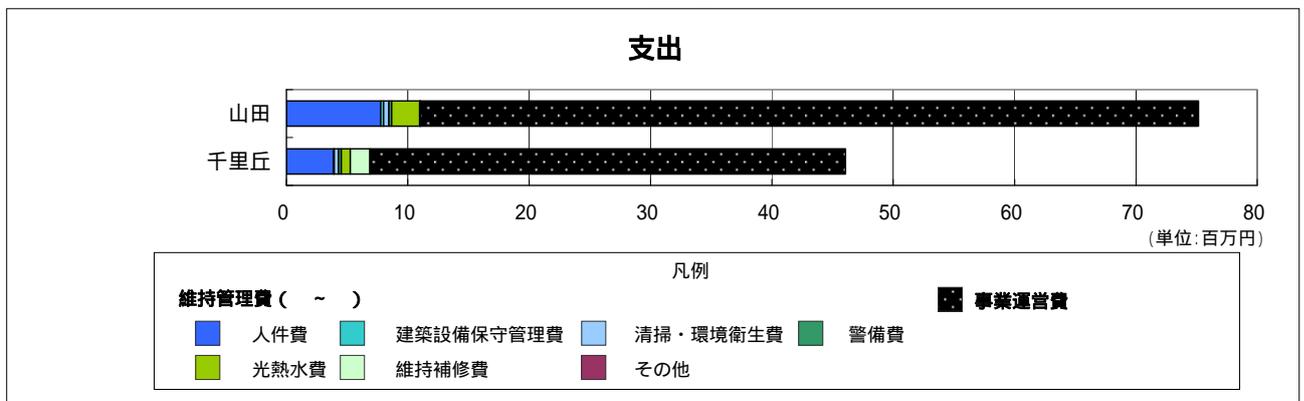
市民サービスコーナー



(エ) 支出の状況

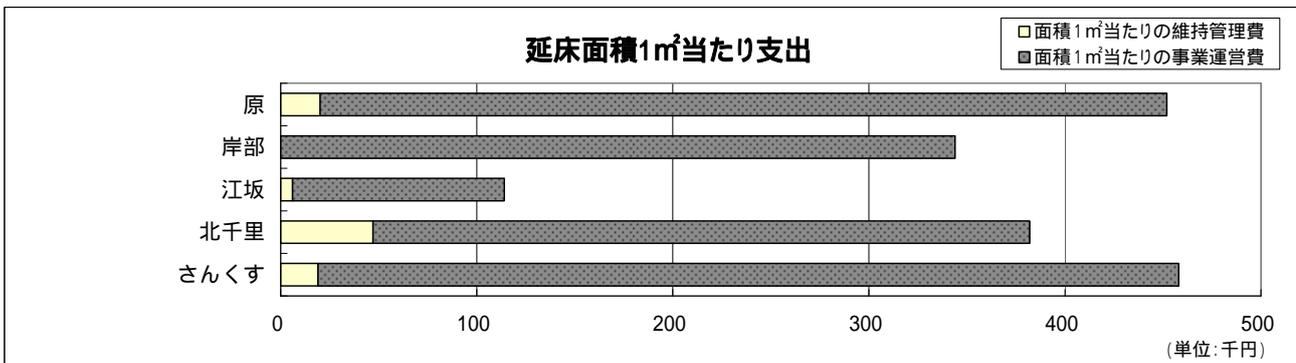
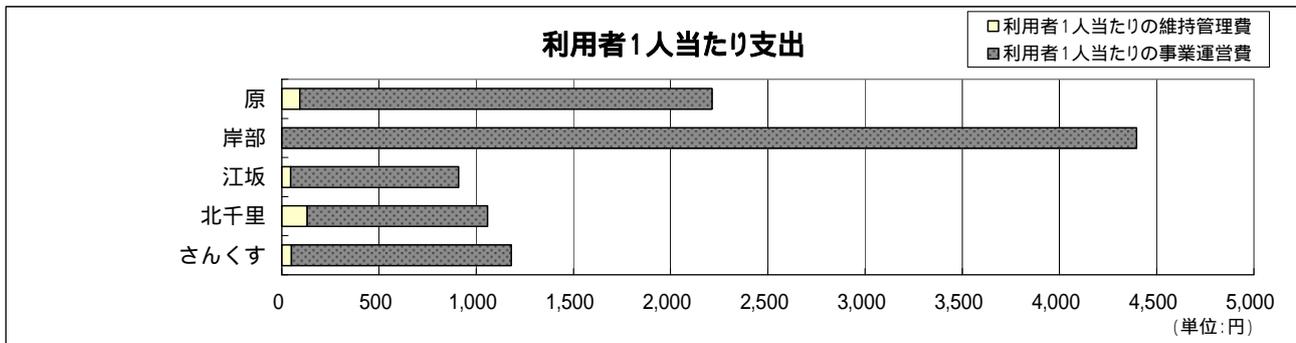
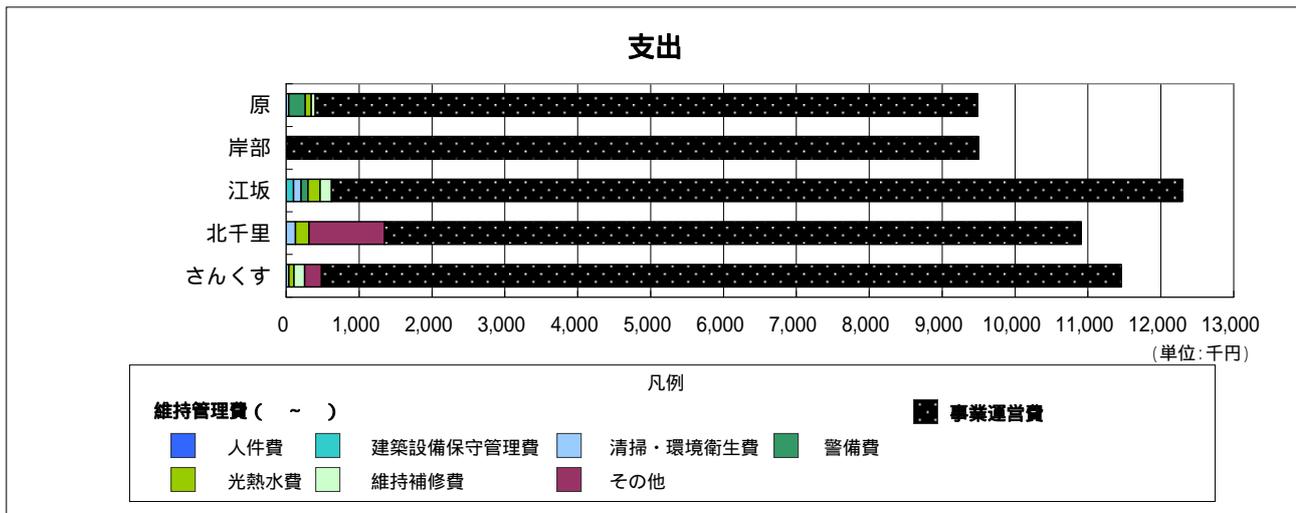
山田出張所は、11 百万円/年の維持管理費と 64 百万円/年の事業運営費がかかっており、合わせて 75 百万円/年の支出となっています。また千里丘出張所には、7 百万円/年の維持管理費と 39 百万円/年の事業運営費がかかっており、合わせて 46 百万円/年の支出となっています。支出状況を市民 1 人当たりで見ると、山田出張所 213 円/人、千里丘出張所 130 円/人となります。

出張所



一方、市民サービスコーナーをみると、最も多い江坂市民サービスコーナーは 12 百万円/年（維持管理費 621 千円/年、事業運営費 11,676 千円/年）最も少ない原町市民サービスコーナーは 9 百万円/年（維持管理費 400 千円/年、事業運営費 9,082 千円/年）の費用がかかっています。支出状況を利用者 1 人当たりでみると、910 円/人（江坂市民サービスコーナー）～ 4,397 円/人（岸部市民サービスコーナー）となっています。延床面積 1 m²当たりでみると、113 千円/m²（江坂市民サービスコーナー）～ 458 千円/m²（さんくす市民サービスコーナー）となっています。

市民サービスコーナー



ウ その他庁舎等

(ア) 概要

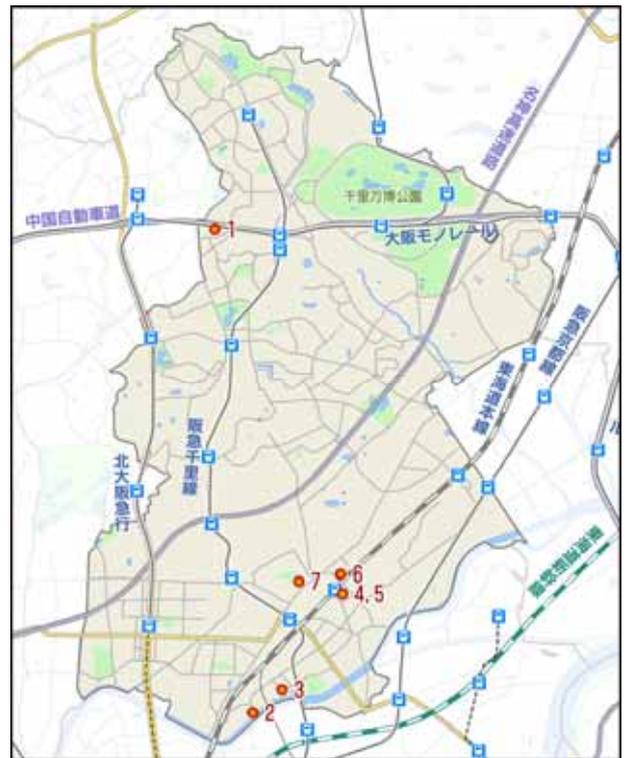
本市には、本庁舎、南千里庁舎、各出張所、各市民サービスコーナー以外の庁舎として、以下のような庁舎があります。

環境部の庁舎として事業課庁舎、環境保全課環境監視庁舎、事業課業務グループ庁舎があります。

また、訪問販売による契約トラブルなど消費生活全般に関する相談窓口として消費生活センター、市内の観光情報を発信する施設として観光センター、吹田市内の求職者と地元企業の橋渡しを行う就職支援センターとしてJOBナビすいた JOB カフェすいたがあります。

また、吹田市の学校教育の調査・研究や教職員の研修などを行う施設として教育センターがあります。

<配置図 (その他庁舎等)>



(イ) 建物の状況

環境部庁舎（事業課庁舎、環境保全課環境監視庁舎、事業課業務グループ庁舎）は、それぞれ昭和49年度（1974年度）、昭和62年度（1987年度）、昭和51年度（1976年度）に建設され、30年以上経過しているものが2棟あります。

教育センターは、男女共同参画センターとの複合施設として昭和61年度（1986年度）に建設されており、26年が経過しています。その他の施設は、民間施設内に入居しており、消費生活センターは昭和55年度（1980年度）、観光センターは平成21年度（2009年度）、JOBナビすいた JOB カフェすいたは平成20年度（2008年度）に開設されています。

番号	施設名称	建設年度	単独・複合	延床面積(m ²)	支出(千円)			
					維持管理費	事業運営費	総額	
1	事業課庁舎	昭和49年	1974	単独	2,484	18,200	2,529,001	2,547,201
2	環境保全課環境監視庁舎	昭和62年	1987	複合	529	5,563	47,764	53,327
3	事業課業務グループ庁舎	昭和51年	1976	単独	474	2,675	46,548	49,223
4	消費生活センター	昭和55年	1980	複合	156	2,533	17,947	20,480
5	観光センター	平成21年	2009	複合	37	0	3,962	3,962
6	JOBナビすいた JOBカフェすいた	平成20年	2008	複合	258	14,882	43,454	58,336
7	教育センター	昭和61年	1986	複合	786	8,187	53,697	61,884

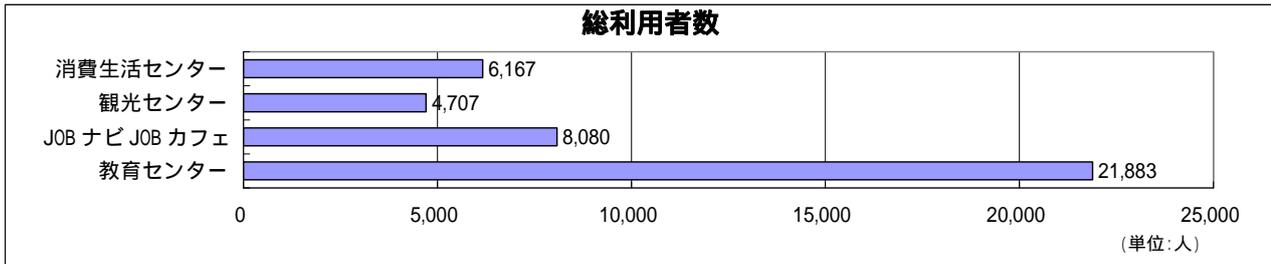
指定管理者制度活用施設

注)消費生活センター、観光センター、JOBナビすいたJOBカフェすいたは開設年度

(ウ) 利用状況

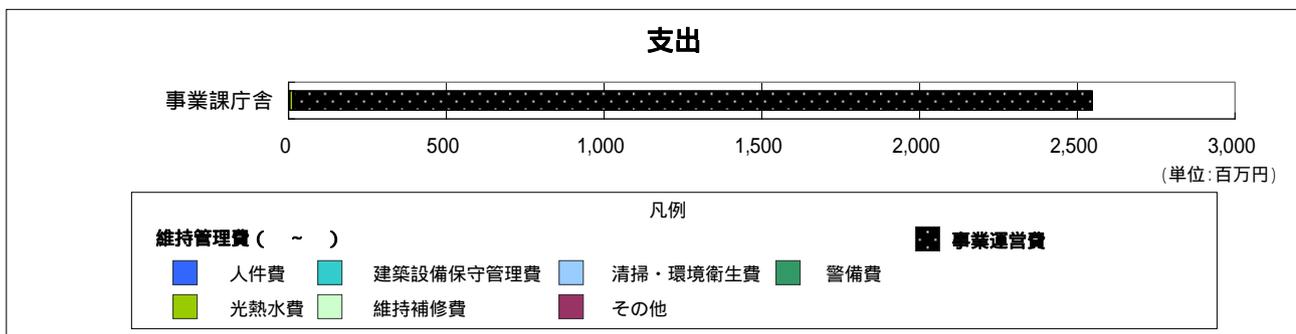
環境部庁舎（事業課庁舎、環境保全課環境監視庁舎、事業課業務グループ庁舎）は、環境部の業務に関する庁舎として利用しています。

市民向け施設である消費生活センターの来所者、会議室利用者、相談者数の総数は、6,167人/年、観光センターの来所者の総数は、4,707人/年、JOB ナビすいた JOB カフェすいたの延利用者数は 8,080 人/年となっています。また、教育センターには教職員に対する研修事業や教育相談事業、情報教育推進事業などがあり、教職員研修の利用者を除くと、総利用者数は 21,883 人/年となっています。（注：教職員研修利用者数は男女共同参画センターの利用者数に含まれています。）

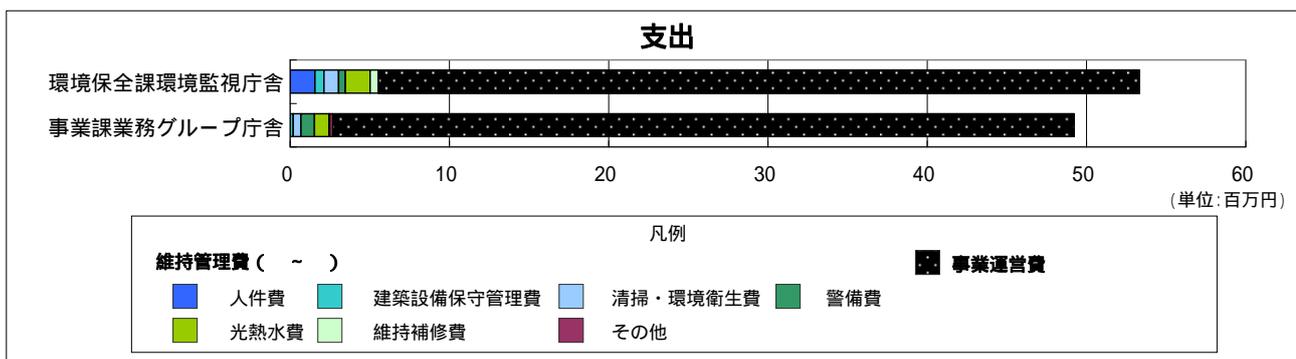


(エ) 支出の状況

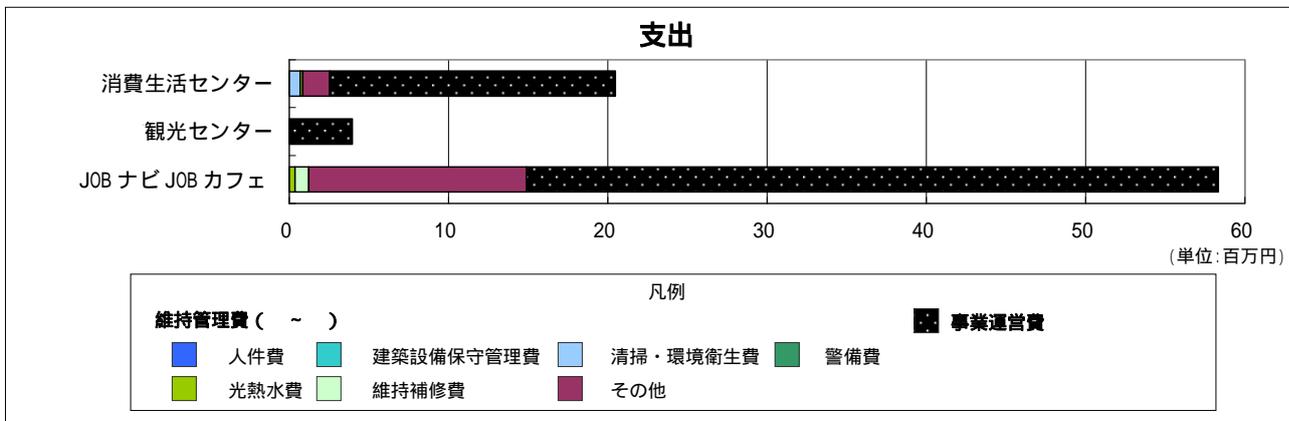
事業課庁舎は、18 百万円/年の維持管理費と 2,529 百万円/年の事業運営費がかかっており、合わせて 2,547 百万円/年の支出となっています。



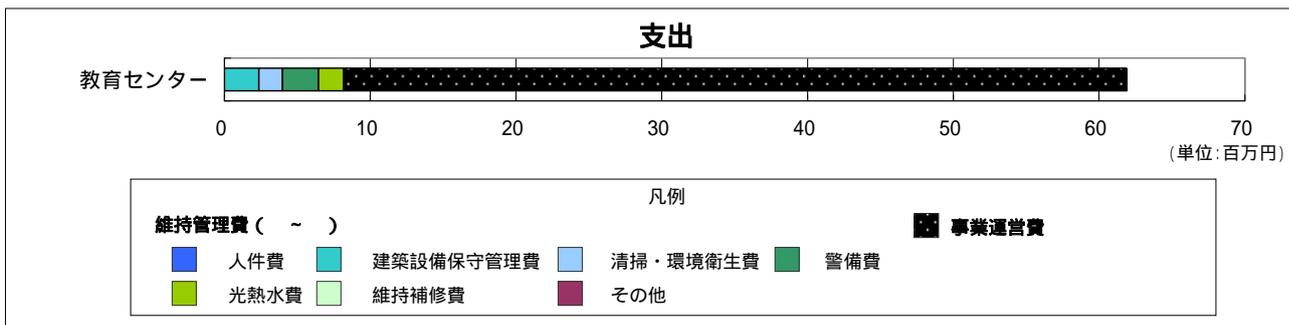
環境保全課環境監視庁舎は、5 百万円/年の維持管理費と 48 百万円/年の事業運営費がかかっており、合わせて 53 百万円/年の支出となっています。また、事業課業務グループ庁舎は、3 百万円/年の維持管理費と 46 百万円/年の事業運営費がかかっており、合わせて 49 百万円/年の支出となっています。



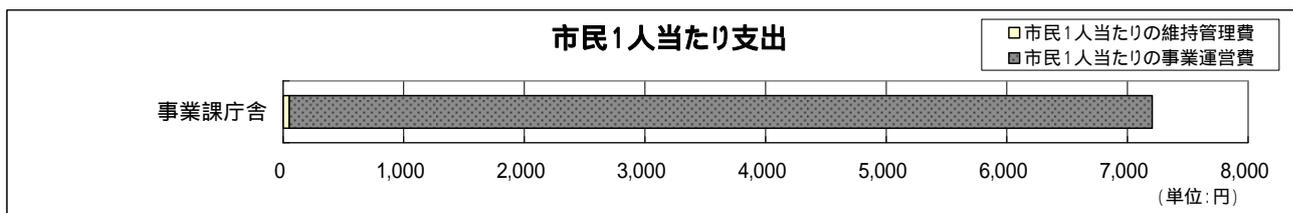
市民利用施設である消費生活センターは 20 百万円/年（維持管理費 2,533 千円/年、事業運営費 17,947 千円/年）、観光センターは 4 百万円/年（事業運営費 3,962 千円/年）、JOB ナビすいた JOB カフェすいたは 58 百万円/年（維持管理費 14,882 千円/年、事業運営費 43,454 千円/年）の支出となっています。



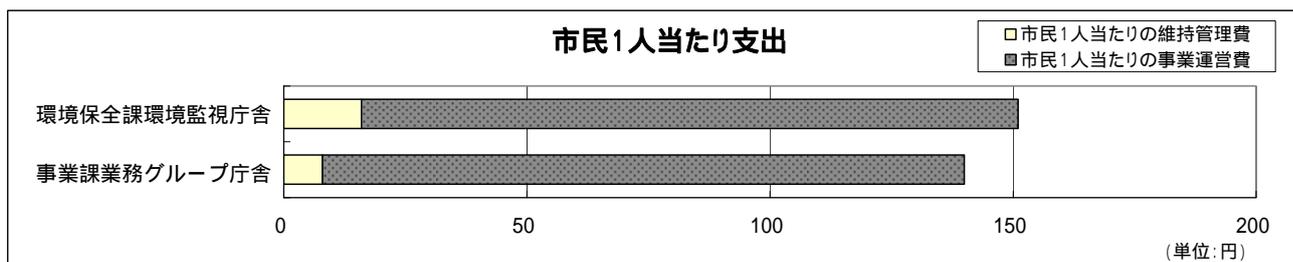
教育センターは 62 百万円/年（維持管理費 8,187 千円/年、事業運営費 53,697 千円/年）の支出となっています。



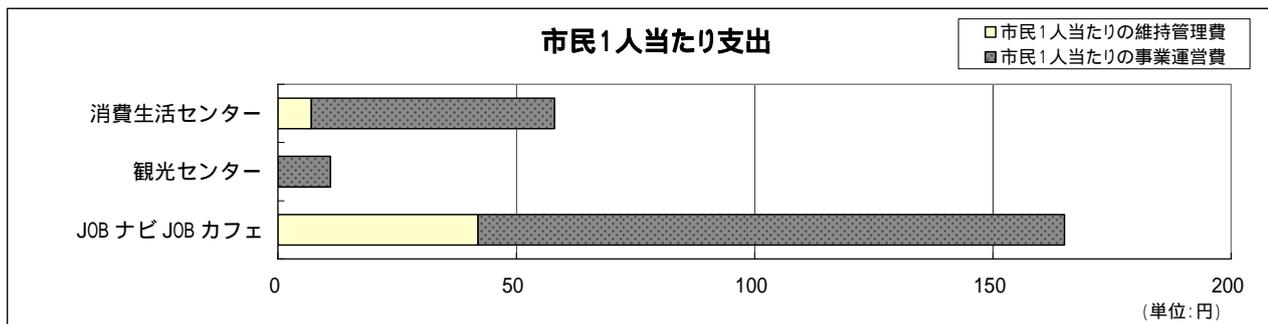
事業課庁舎の支出状況を市民 1 人当たりで見ると、7,206 円/人となっています。



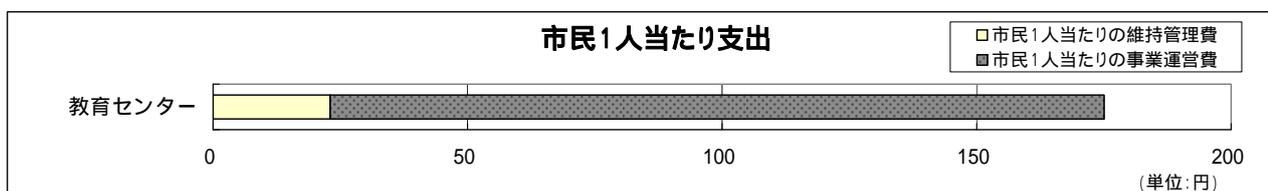
環境保全課環境監視庁舎の支出状況を市民 1 人当たりで見ると 151 円/人となっています。また、事業課業務グループ庁舎は、市民 1 人当たりで見ると 139 円/人となっています。



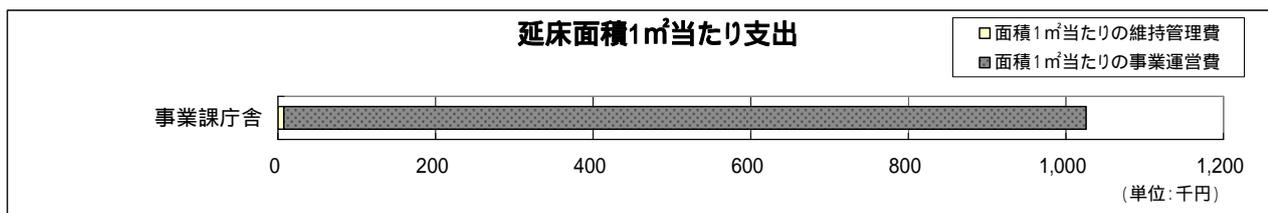
消費生活センターの支出状況を市民1人当たりで見ると58円/人、観光センターは11円/人、JOBナビすいたJOBカフェすいたは165円/人となっています。



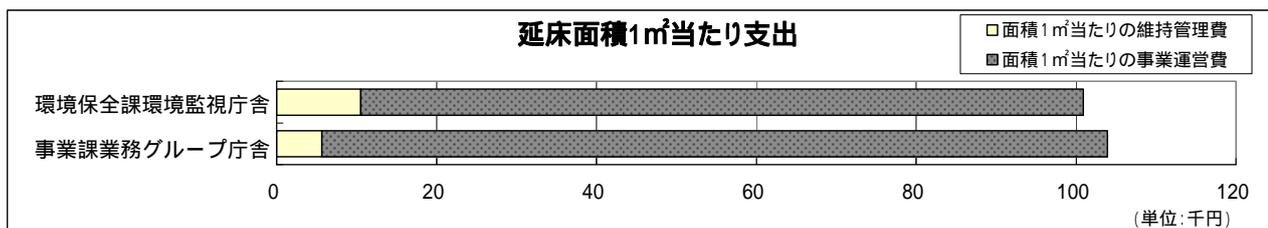
教育センターの支出状況を市民1人当たりで見ると175円/人となっています



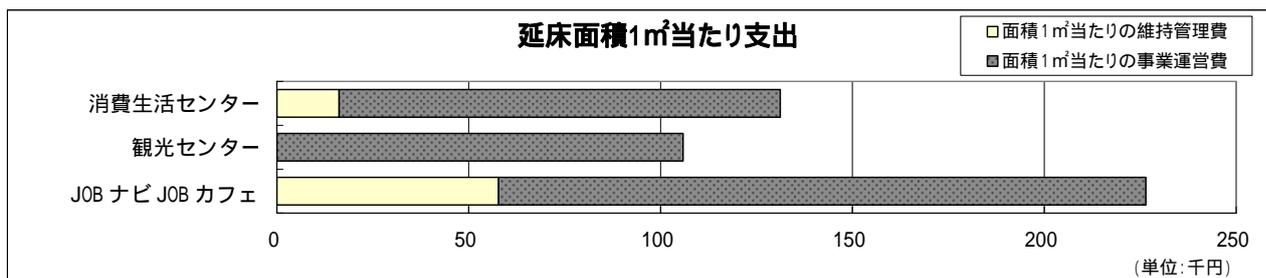
事業課庁舎の支出状況を施設の延床面積1㎡あたりで見ると1,025千円/㎡となっています。



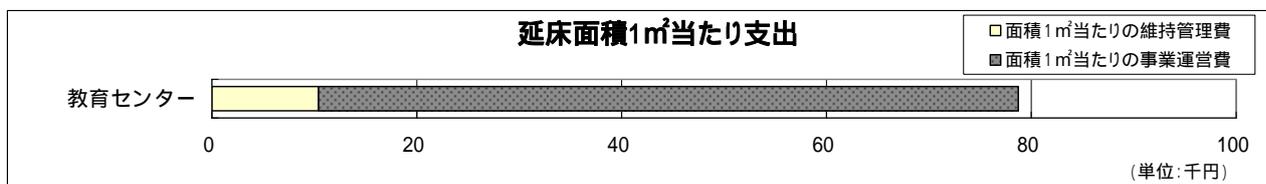
施設の延床面積1㎡あたりで見ると、環境保全課環境監視庁舎は101千円/㎡、事業課業務グループ庁舎は104千円/㎡となっています。



施設の延床面積 1 m²あたりで見ると、消費生活センターは 131 千円/m²、観光センターは 107 千円/m²、JOB ナビすいた JOB カフェすいたは 226 千円/m²となっています。



施設の延床面積 1 m²あたりで見ると、教育センターは 79 千円/m²となっています。



エ 消防施設

(ア) 概要

本市の消防施設としては、消防本部西消防署合同庁舎、中消防庁舎、消防署（東・南・北）と出張所（千里・岸部・南正雀）、消防団施設が 10 か所、その他に消防署長公舎、安威川防災詰所があります。

(イ) 建物の状況

消防署は、北消防署が昭和 41 年度（1966 年度）、南消防署が昭和 50 年度（1975 年度）に建設され、それぞれ 46 年、37 年が経過しています。中消防庁舎は昭和 58 年度（1983 年度）、東消防署は昭和 62 年度（1987 年度）に建設され、それぞれ 29 年、25 年経過しています。

出張所及び消防団施設は、山田分団・山田分団別所班が昭和 42 年度（1967 年度）の建設で最も古く、千二分団が昭和 48 年度（1973 年度）、千一分団が昭和 51 年度（1976 年度）、南正雀出張所が昭和 59 年度（1984 年度）、千里丘分団が昭和 62 年度（1987 年度）に建設されています。消防本部西消防署合同庁舎などそれ以外の施設は、平成 2 年（1990 年）以降に建設された施設です。

また、千里丘分団は東消防署、岸部分団は岸部出張所との複合施設、安威川防災詰所は吹三地区高齢者いこいの間との複合施設、山田分団、山田分団別所班は山一地区公民館との複合施設となっています。

< 配置図 （消防施設） >



番号	施設名称	建設年度		単独・複合	延床面積(m ²)	支出(千円)		
		昭和	平成			維持管理費	事業運営費	総額
1	中消防庁舎	昭和58年	1983	単独	1,827	12,043	225,546	237,589
2	消防本部西消防署合同庁舎	平成18年	2006	単独	4,728	26,397	509,523	535,920
3	東消防署	昭和62年	1987	複合	1,109	8,871	294,930	303,801
4	南消防署	昭和50年	1975	単独	2,538	15,507	310,411	325,918
5	北消防署	昭和41年	1966	単独	959	9,378	364,833	374,211
6	西消防署千里出張所	平成13年	2001	単独	634	5,301	155,302	160,603
7	東消防署岸部出張所	平成6年	1994	複合	429	2,989	155,287	158,276
8	南消防署南正雀出張所	昭和59年	1984	単独	141	1,525	62,097	63,622
9	山田分団、山田分団別所班	昭和42年	1967	複合	70	27	3,060	3,087
10	千里丘分団	昭和62年	1987	複合	169	0	1,317	1,317
11	岸部分団	平成6年	1994	複合	93	0	1,865	1,865
12	吹一分団	平成7年	1995	単独	74	1,189	4,054	5,243
13	吹二分団	平成10年	1998	単独	68	41	1,472	1,513
14	吹三分団	平成19年	2007	単独	83	110	2,003	2,113
15	千一分団	昭和51年	1976	単独	164	83	3,154	3,237
16	千二分団	昭和48年	1973	単独	194	54	1,167	1,221
17	豊津分団	平成8年	1996	単独	70	106	1,921	2,027
18	千二分団春日班	昭和45年	1970	単独	26	0	350	350
19	消防署長公舎	平成3年	1991	単独	224	77	0	77
20	安威川防災詰所	平成2年	1990	複合	109	186	177	363

注) 千二分団春日班は開設年度

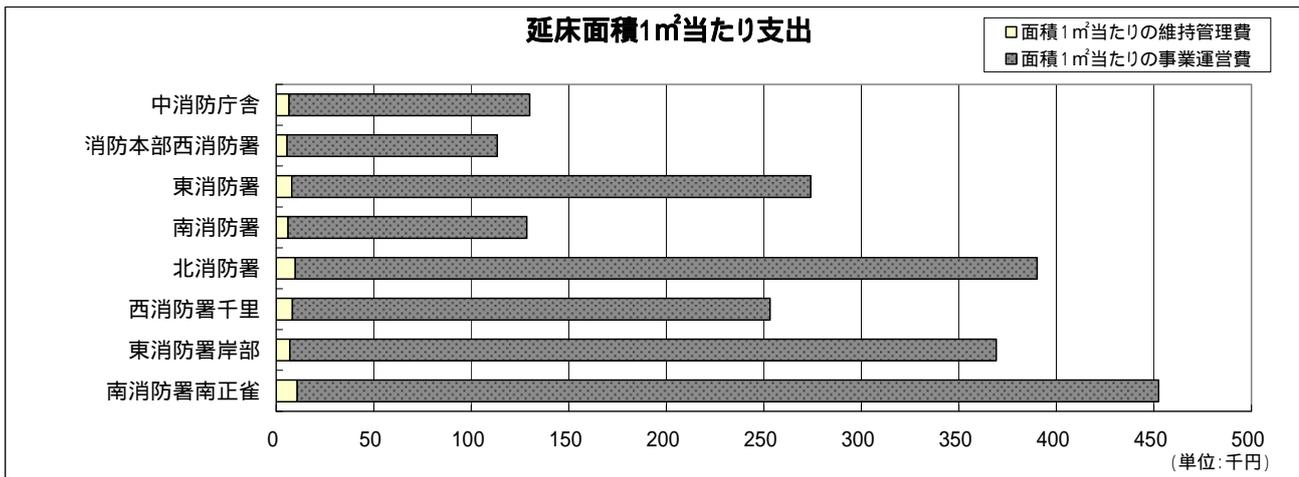
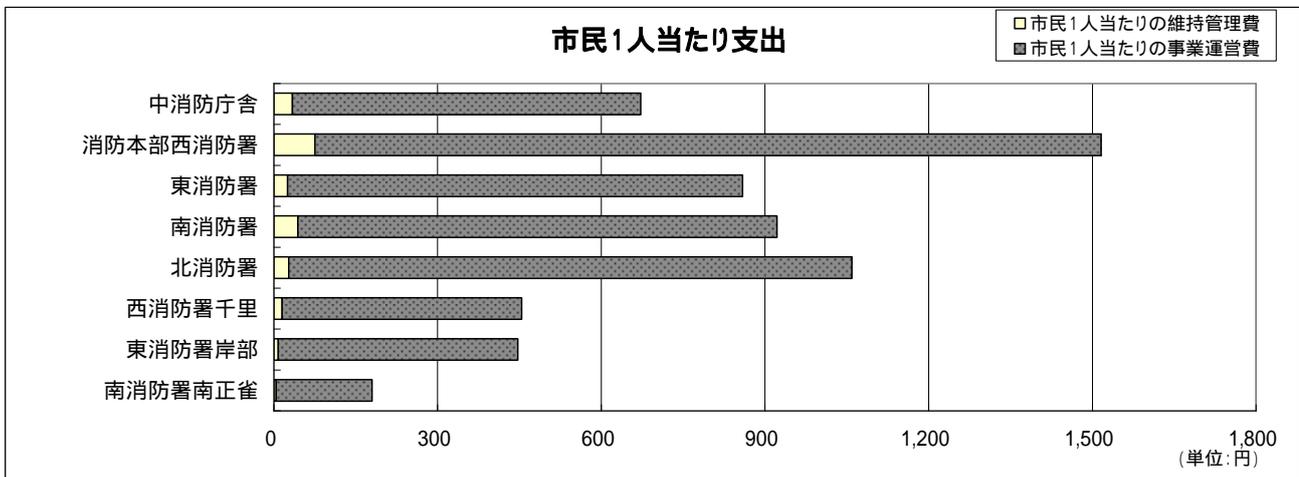
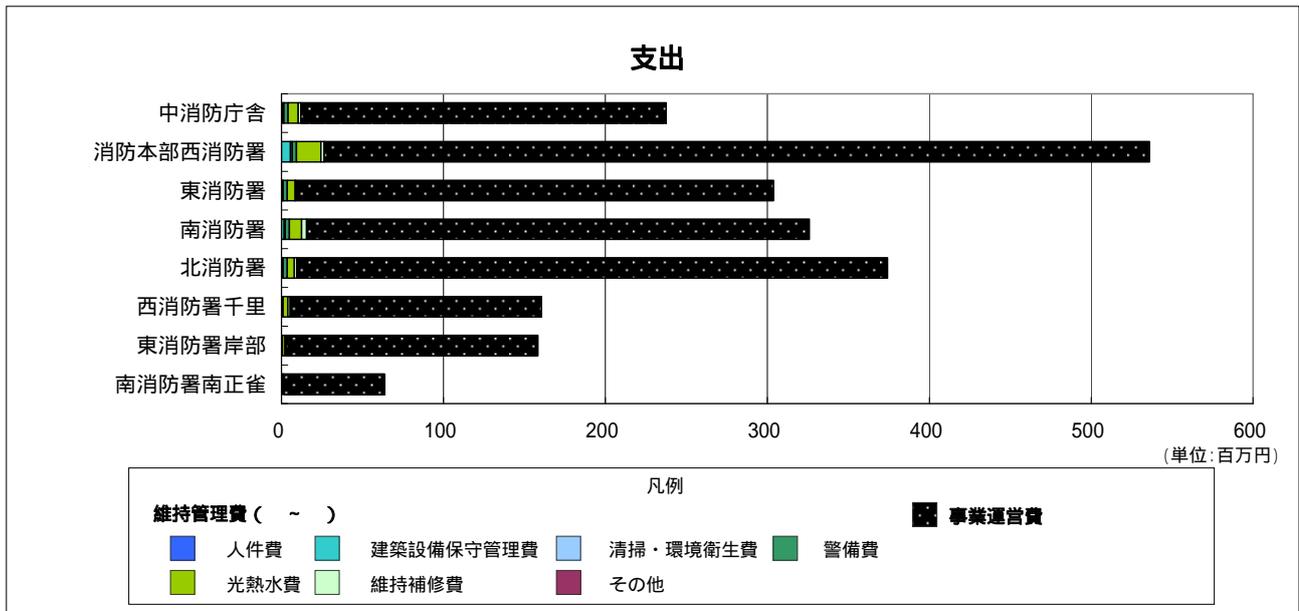
(ウ) 利用状況

消防署・消防出張所は、消防署職員の消防事務施設として利用されています。消防団施設は、地域住民によって組織された公設の消防機関である消防団のための活動拠点施設であり、地域ごとに編成された各分団の専用施設として利用されています。消防署長公舎は、消防署長の居住施設として利用されています。また、安威川防災詰所は、風水害等の緊急時にその対策のための現地詰所として利用されています。

(エ) 支出の状況

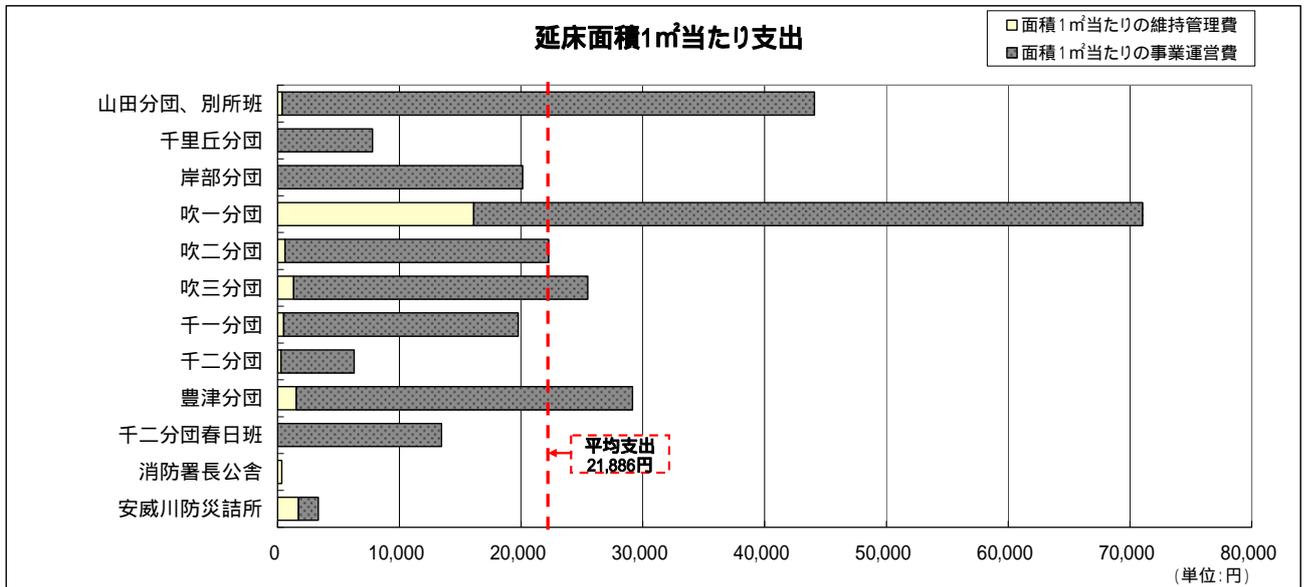
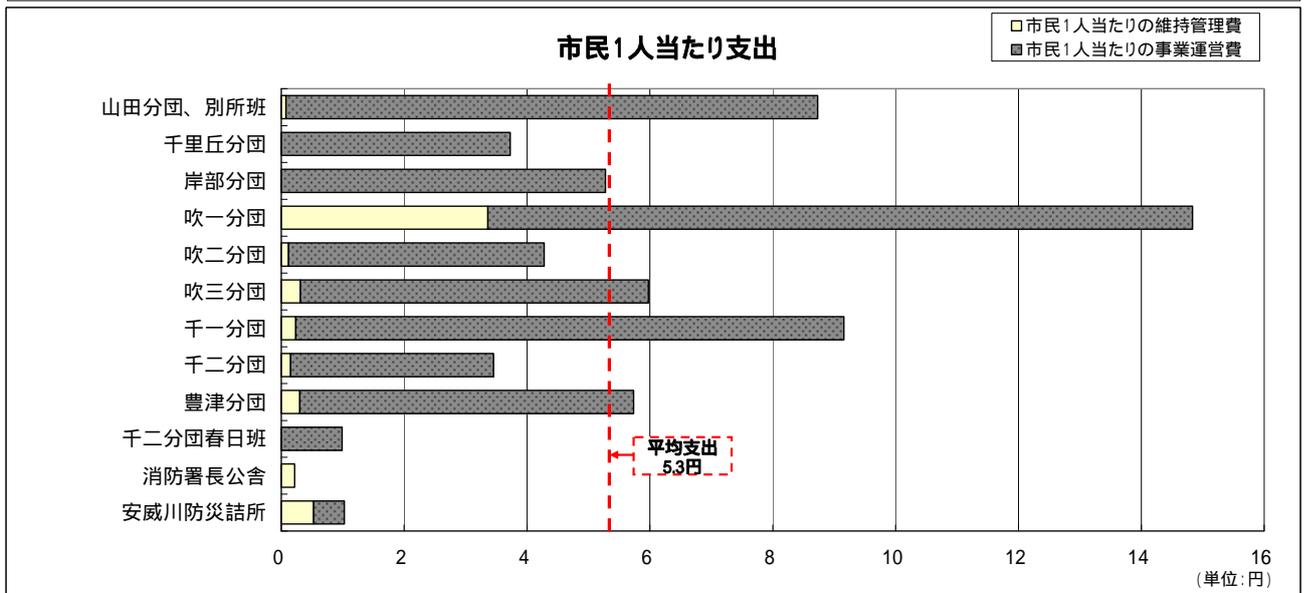
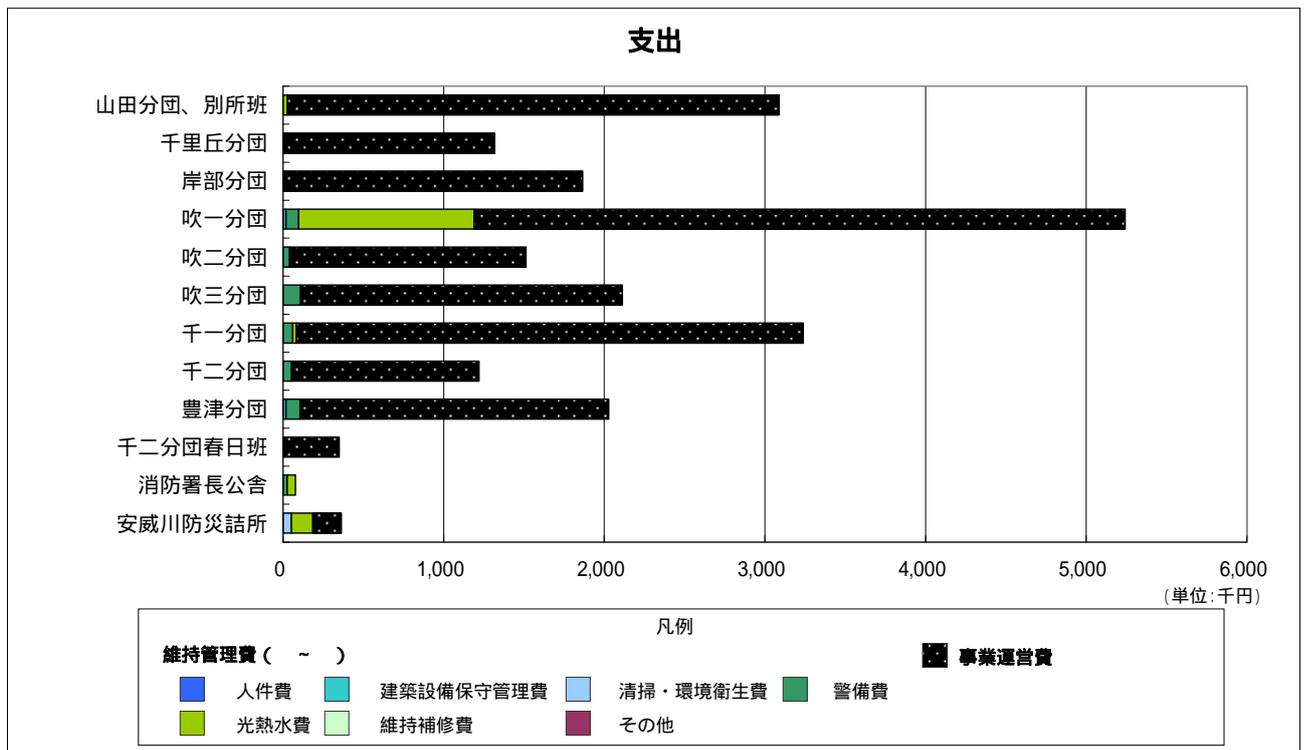
消防署・出張所の支出状況は、そのほとんどが人件費(消防・救急・救助活動による)となっており、消防本部西消防署合同庁舎は536百万円/年(維持管理費26百万円/年、事業運営費510百万円/年)となっています。その他の消防署は238百万円/年(中消防庁舎)~374百万円/年(北消防署)、出張所は64百万円/年(南消防署南正雀出張所)~161百万円/年(西消防署千里出張所)となっています。支出状況を市民1人当たりで見ると、消防本部西消防署1,516円/人で、その他の消防署は672円/人(中消防庁舎)~1,059円/人(北消防署)、出張所は、180円/人(南消防署南正雀出張所)~454円/人(西消防署千里出張所)となっています。

施設規模の違いがありますので延床面積1m²当たりで見ると、113千円/m²(消防本部西消防署合同庁舎)~451千円/m²(南消防署南正雀出張所)となっています。



その他消防施設の支出状況は、吹一分団が最も多く 5,243 千円/年で、維持補修費の支出がその要因と考えられます。その他の施設にも、ばらつきがみられます。

支出状況を市民1人当たりで見ると平均 5 円/人、延床面積 1 ㎡あたりで見ると平均 22 千円/㎡となっています。



(2) 文化・交流施設

ア 市民交流施設

(ア) 概要

本市の全市的な市民交流施設としては、大・中・小ホール等を有する文化会館（メイシアター）、江戸時代後期の歴史的な古民家を保存・修復した歴史文化まちづくりセンター（浜屋敷）、市民センター（千里、岸部、豊一、千里丘）、山田ふれあい文化センターがあります。

また、広域的なコミュニティ施設としては、多目的ホールや各種の貸室等を備えたコミュニティセンター・コミュニティプラザ（内本町、亥の子谷）があります。

さらに、千里ニュータウンの各住区には市民ホール（津雲台、高野台、佐竹台、桃山台、青山台、藤白台、古江台、竹見台）があります。

これらの市民交流施設において、地域活動が活発に展開されており、地域コミュニティの醸成が図られています。

< 配置図 (市民交流施設) >



(イ) 建物の状況

文化会館は昭和 59 年度（1984 年度）に建設され 28 年が経過しています。

歴史文化まちづくりセンターは江戸時代吹田村の旧庄屋屋敷を吹田市が寄贈を受け、修復保存し、平成 15 年度（2003 年度）に開設された施設です。

市民ホールは、青山台が昭和 62 年度（1987 年度）、古江台、竹見台、津雲台、高野台、藤白台、佐竹台の 6 施設が平成 5 年度（1993 年度）以降平成 18 年度（2006 年度）までに改修・改築されています。桃山台は、昭和 42 年度（1967 年度）に建設された施設で、平成 23 年度（2011 年度）に耐震補強工事を実施しています。

岸部市民センターは、平成元年度（1989 年度）、千里丘市民センターは、平成 7 年度（1995 年度）、豊一市民センターは、平成 9 年度（1997 年度）に建設された施設です。また、千里市民センターは、平成 24 年度（2012 年度）に建設された千里ニュータウンプラザに移転しました。

山田ふれあい文化センターは平成 4 年度（1992 年度）、内本町コミュニティセンターは平成 7 年度（1995 年度）、亥の子谷コミュニティセンターは平成 10 年度（1998 年度）に、それぞれ建設された施設です。

番号	施設名称	建設年度		単独・複合	延床面積 (㎡)	支出(千円)		
						維持管理費	事業運営費	総額
1	文化会館 メイシアター	昭和59年	1984	単独	16,120	205,065	199,800	404,865
2	吹田歴史文化まちづくりセンター 浜屋敷	平成15年	2003	単独	524	5,219	19,033	24,252
3	津雲台市民ホール	平成11年	1999	複合	438	2,786	1,829	4,615
4	高野台市民ホール	平成11年	1999	複合	507	3,310	1,831	5,141
5	佐竹台市民ホール	平成18年	2006	複合	555	1,980	1,833	3,813
6	桃山台市民ホール	昭和42年	1967	複合	384	503	1,819	2,322
7	青山台市民ホール	昭和62年	1987	複合	169	805	1,832	2,637
8	藤白台市民ホール	平成14年	2002	複合	474	1,728	1,829	3,557
9	古江台市民ホール	平成5年	1993	複合	298	1,132	1,821	2,953
10	竹見台市民ホール	平成5年	1993	複合	205	788	1,828	2,616
11	岸部市民センター	平成元年	1989	複合	952	1,055	33,427	34,482
12	豊一市民センター	平成9年	1997	単独	628	242	26,010	26,252
13	千里丘市民センター	平成7年	1995	単独	1,496	1,170	34,631	35,801
14	千里市民センター - *1	平成24年	2012	複合	667	-	-	-
15	山田ふれあい文化センター	平成4年	1992	単独	1,453	1,444	50,774	52,218
16	内本町コミュニティセンター - コミュニティプラザ	平成7年	1995	複合	1,264	20,348	19,019	39,367
17	亥の子谷コミュニティセンター - コミュニティプラザ	平成10年	1998	複合	1,529	21,261	19,444	40,705

*1 千里ニュータウンプラザに設置、指定管理者制度活用施設
注) 吹田歴史文化まちづくりセンター浜屋敷は開設年度

(ウ) 利用状況

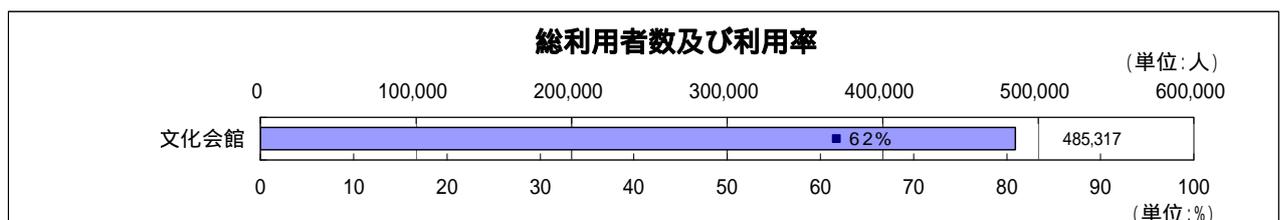
貸室利用状況は、文化会館（貸室利用率 62%、利用者数 485 千人/年）、歴史文化まちづくりセンター（貸室利用率 54%、貸室利用者数 20 千人/年）となっています。

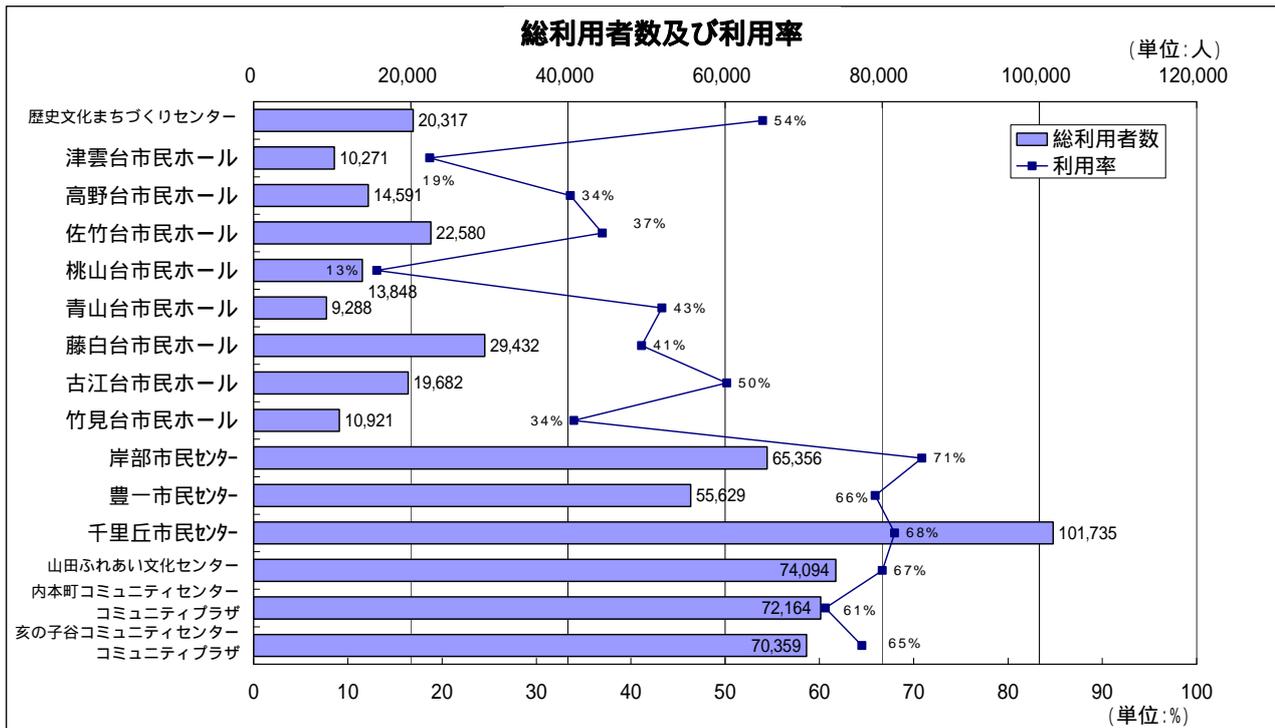
市民ホールは、施設によってばらつきがありますが、貸室利用率は最も高い古江台市民ホールで 50%、利用者数は 9 千人/年（青山台市民ホール）～ 29 千人/年（藤白台市民ホール）となっています。

同様に、各市民センター、山田ふれあい文化センター、各コミュニティセンターは、貸室利用率は 60%以上、利用者数は、56 千人/年（豊一市民センター）～ 102 千人/年（千里丘市民センター）となっています。

千里市民センターの利用状況は、新設のため、未集計となっています。

また、文化会館、吹田歴史文化まちづくりセンター、各市民センター、山田ふれあい文化センター、各コミュニティセンターについては、貸室だけでなく、施設管理者による事業も実施されています。





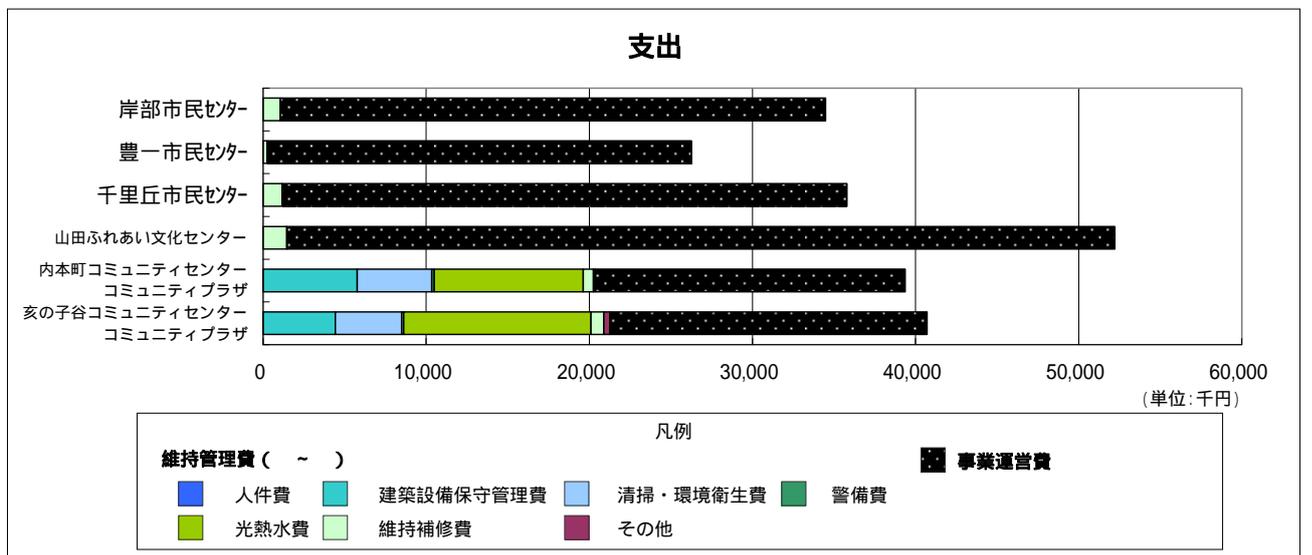
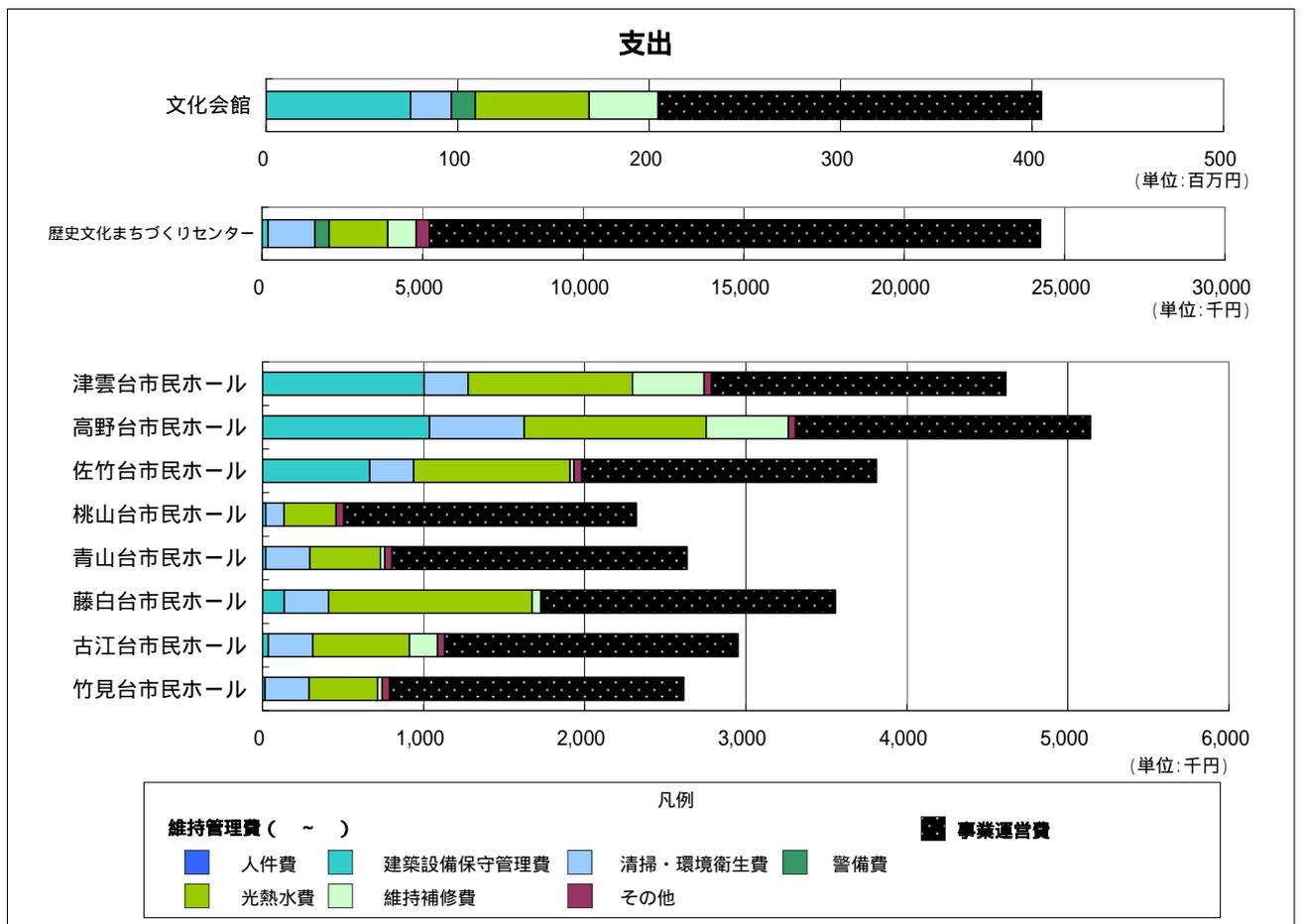
(エ) 支出の状況

市民交流施設は、千里市民センター以外の全ての施設が指定管理者による管理運営となっており、いずれの施設も事業運営費として外部委託費が計上されています。

文化会館は、205 百万円/年の維持管理費と 200 百万円/年の事業運営費がかかっており、合わせて 405 百万円/年の支出となっています。また、歴史文化まちづくりセンターは、5 百万円/年の維持管理費と 19 百万円/年の事業運営費がかかっており、合わせて 24 百万円/年の支出となっています。

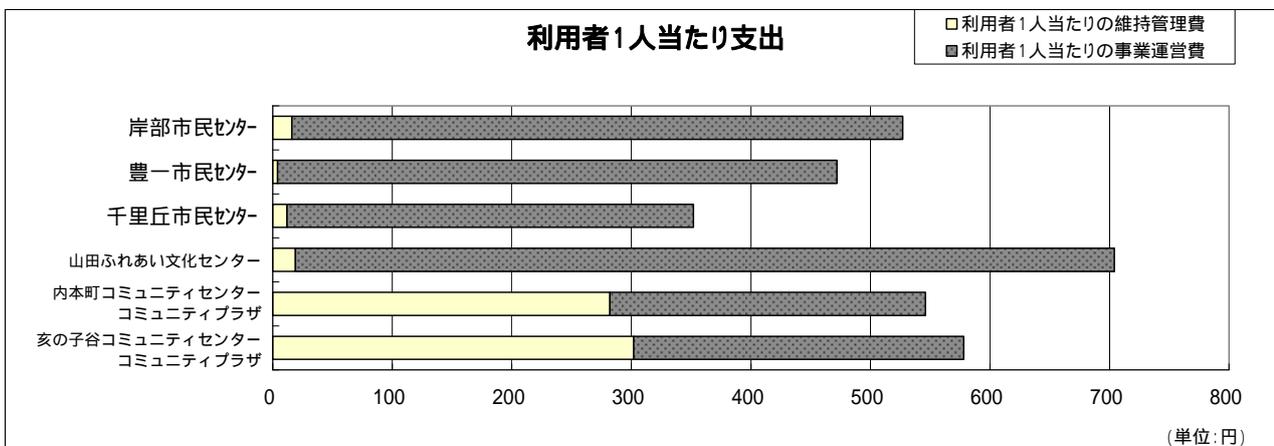
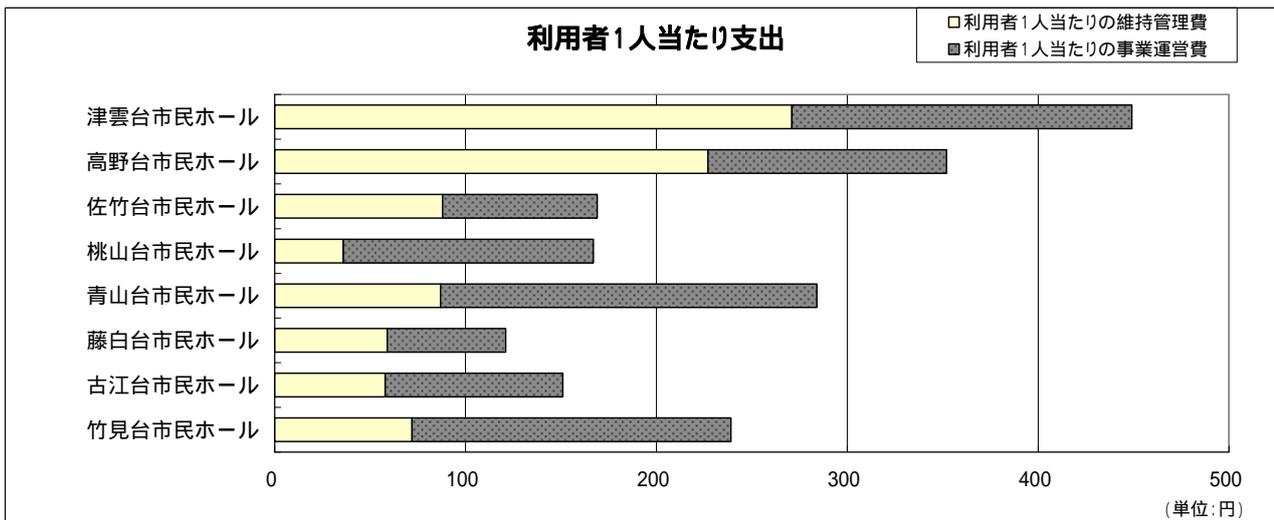
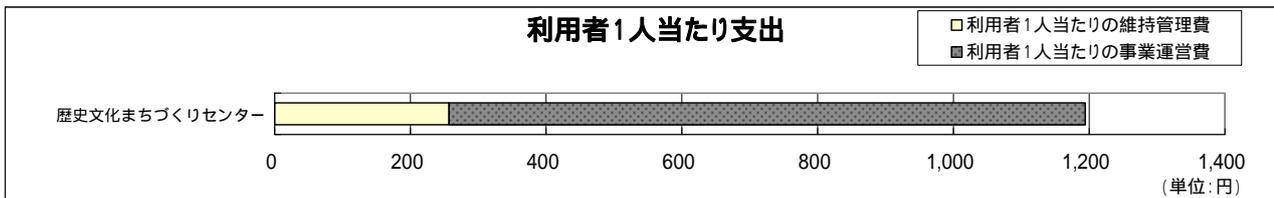
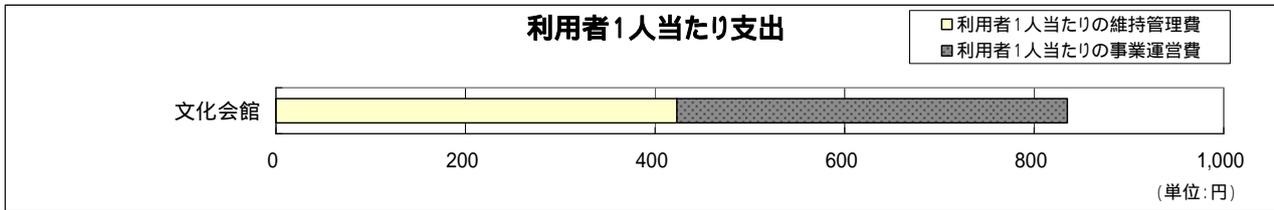
また、市民ホールは、2 百万円/年（桃山台市民ホール）～ 5 百万円/年（高野台市民ホール）となっています。

各市民センター、山田ふれあい文化センター、各コミュニティセンターは 26 百万円/年（豊一市民センター）～ 52 百万円/年（山田ふれあい文化センター）となっています。

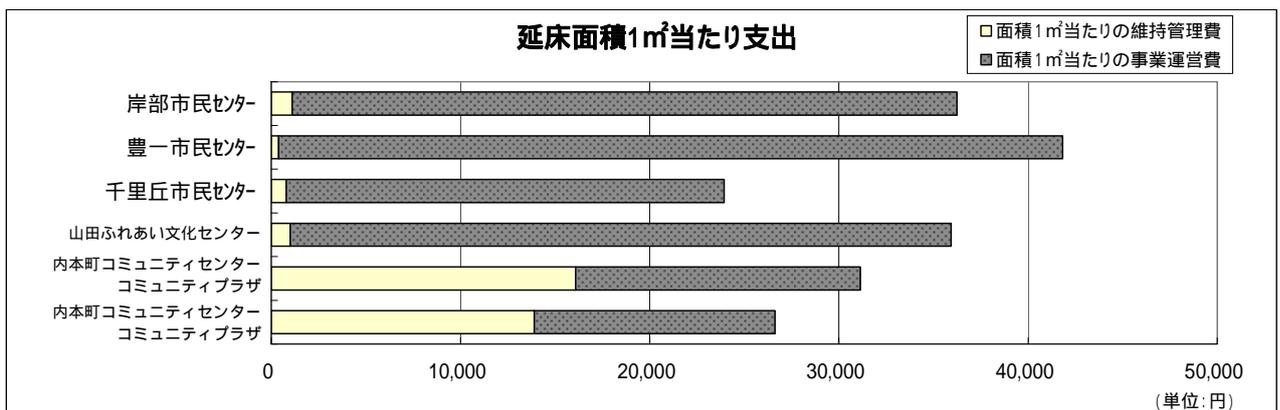
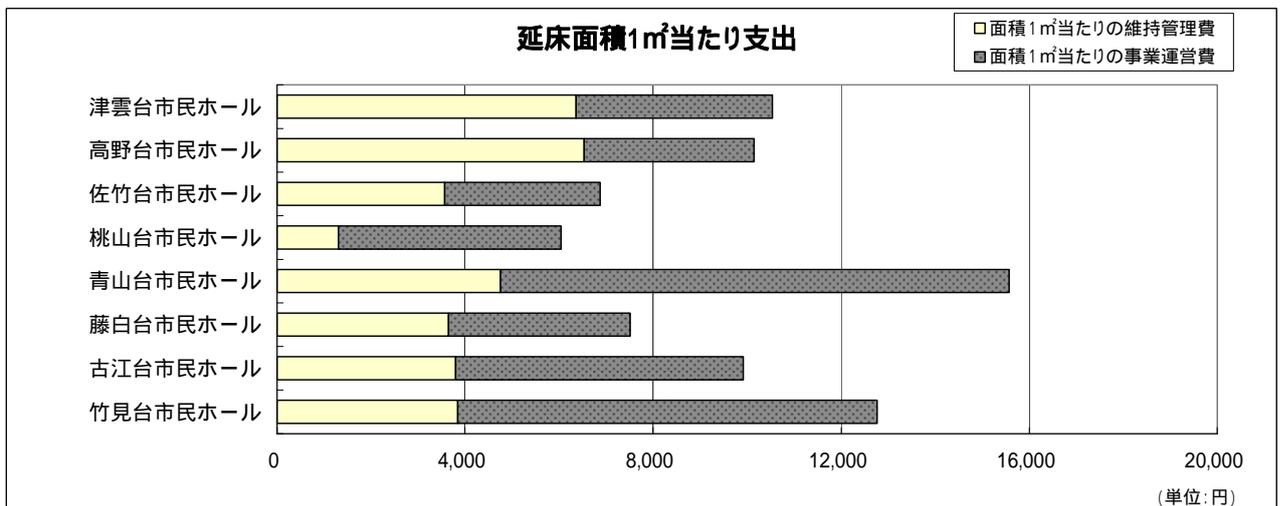
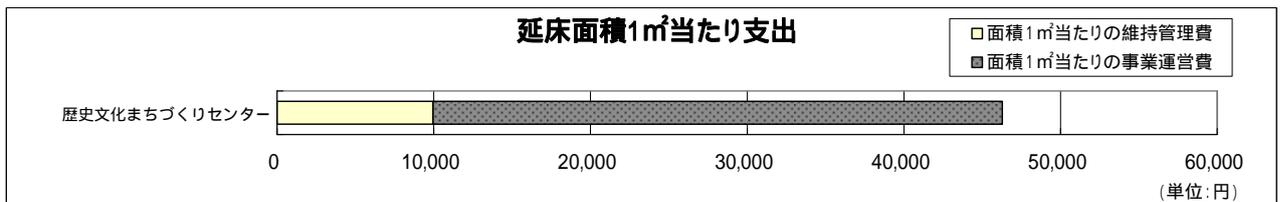
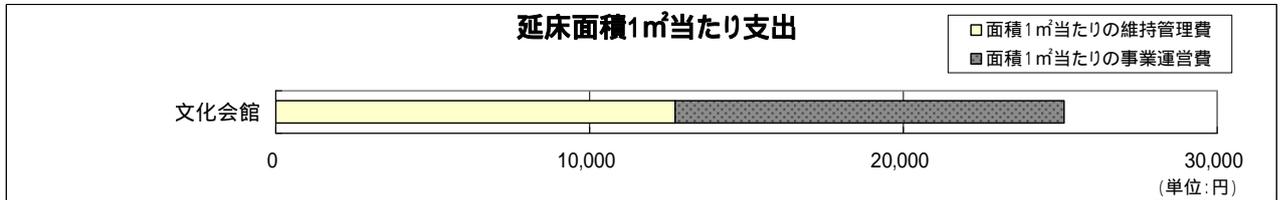


利用者 1 人当たりでみると、文化会館 834 円/人、歴史文化まちづくりセンター1,194 円/人となっています。

また、市民ホールは、121 円/人（藤白台市民ホール）～ 449 円/人（津雲台市民ホール）となっています。各市民センター、山田ふれあい文化センター、各コミュニティセンターは、352 円/人（千里丘市民センター）～ 705 円/人（山田ふれあい文化センター）となっています。



支出状況を施設規模の違いを踏まえ、延床面積 1㎡当たりでみると、文化会館 25,116 円/㎡、歴史文化まちづくりセンター46,282 円/㎡となっています。また、各市民ホール、各市民センター、山田ふれあい文化センター、各コミュニティセンターは、6,047 円/㎡（桃山台市民ホール）～ 41,803 円/㎡（豊一市民センター）となっています。



イ 特定テーマ施設等

(ア) 概要

本市には、特定テーマに沿った施設として、次のような施設があります。

男女共同参画の推進に関する事業を実施し、推進を支援する男女共同参画センター（デュオ）すべての人権課題の解決を目指し地域住民の交流を支援する交流活動館、戦争の惨禍、平和の尊さを伝え、平和に対する市民意識の高揚、明るく住みよい社会を実現するための施設としての平和祈念資料館があります。

また、くらしに身近な場で、美術作品を展示し、鑑賞する機会を提供する南山田市民ギャラリー、千里ニュータウンのまちづくりの歴史、住民の生活文化などを伝える千里ニュータウン情報館、花とみどりに関する基礎知識や実践の講習会の実施、展示・発表スペースなどを備えた花とみどりの情報センター（千里、江坂）があります。

市民公益活動の促進を図り、地域社会の発展に寄与するための市民公益活動センター、勤労者の福祉の増進と雇用の安定を図ることを目的とした施設である勤労者会館があります。

< 配置図 （特定テーマ施設等） >



(イ) 建物の状況

交流活動館は、昭和46年度（1971年度）に建設され41年が経過しています。

男女共同参画センターは昭和61年度（1986年度）、勤労者会館は昭和60年度（1985年度）に建設され、それぞれ26年、27年が経過しています。

千里ニュータウン情報館、平和祈念資料館、千里花とみどりの情報センター、市民公益活動センターは、平成24年度（2012年度）に建設された千里ニュータウンプラザに開設又は移転された施設です。

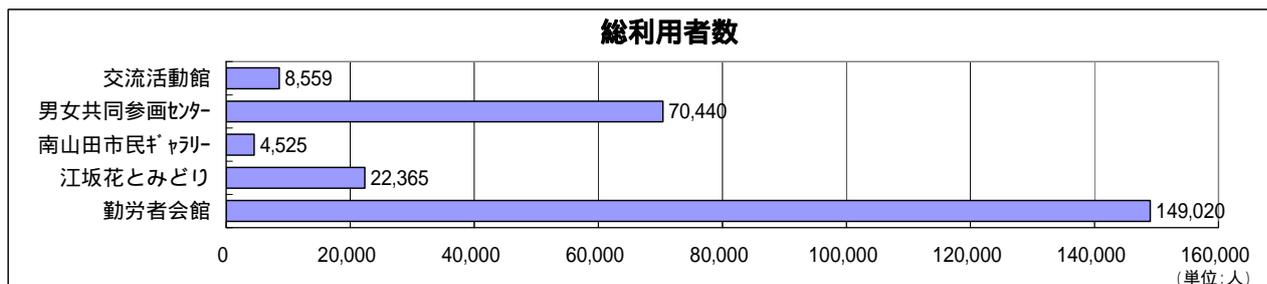
番号	施設名称	建設年度		単独・複合	延床面積(m ²)	支出(千円)		
						維持管理費	事業運営費	総額
1	千里ニュータウン情報館*1	平成24年	2012	複合	207	-	-	-
2	交流活動館	昭和46年	1971	単独	1,863	35,976	40,552	76,528
3	男女共同参画センター - デュオ	昭和61年	1986	複合	2,062	20,810	88,920	109,730
4	南山田市民ギャラリー	平成15年	2003	単独	54	299	2,551	2,850
5	平和祈念資料館*1	平成24年	2012	複合	304	-	-	-
6	千里花とみどりの情報センター*1	平成24年	2012	複合	252	-	-	-
7	江坂花とみどりの情報センター	平成7年	1995	複合	385	15,572	6,897	22,469
8	勤労者会館	昭和60年	1985	単独	2,903	59,465	51,720	111,185
9	市民公益活動センター*1	平成24年	2012	複合	499	-	-	-

*1 千里ニュータウンプラザに設置、指定管理者制度活用施設

(ウ) 利用状況

貸室利用状況は、交流活動館（貸室利用率 2 %、総利用者数 8.6 千人/年）男女共同参画センター（貸室利用率 45 %、施設利用者数 70 千人/年）江坂花とみどり情報センター（貸室利用率 42 %、施設利用者数 22 千人/年）勤労者会館（貸室利用率 73 %、集会施設とプールの利用者数の合計 149 千人/年）となっています。

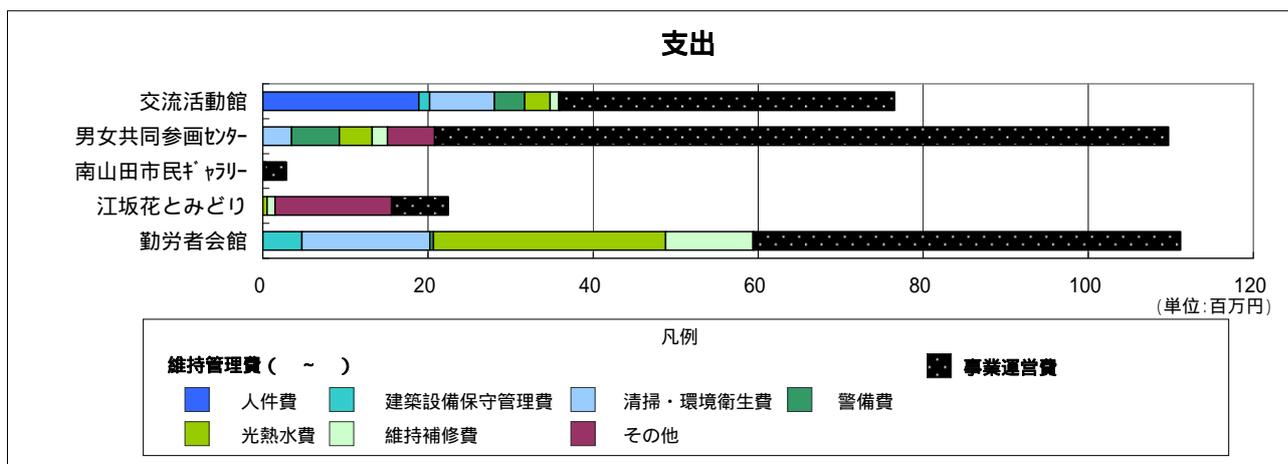
千里ニュータウン情報館、平和祈念資料館、千里花とみどりの情報センター、市民公益活動センターの利用状況は、新設のため、未集計となっています。



(エ) 支出の状況

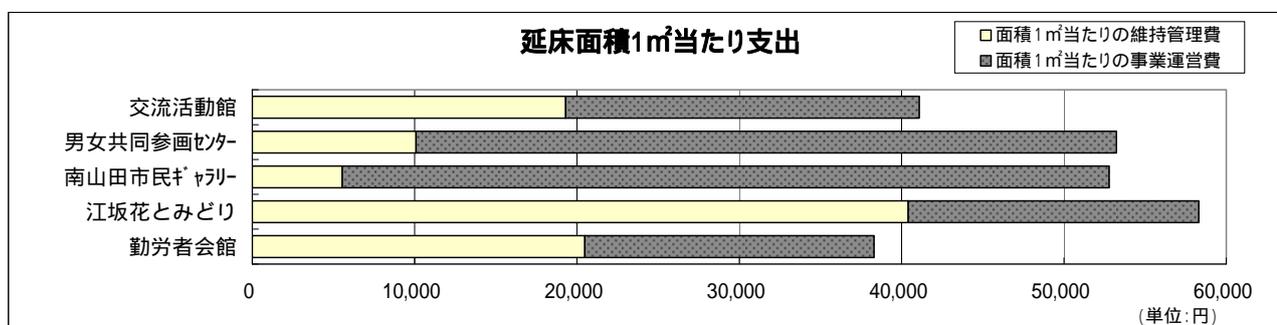
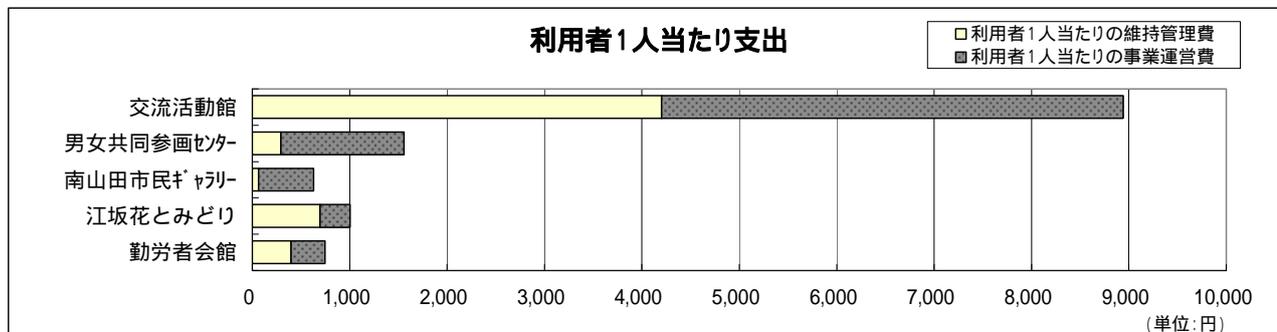
特定テーマ施設のうち、南山田市民ギャラリー、江坂花とみどりの情報センター、勤労者会館、市民公益活動センターの管理は、いずれも指定管理者が行っています。

支出の状況を見ると、交流活動館 77 百万円/年（維持管理費 35,976 千円/年、事業運営費 40,552 千円/年）男女共同参画センター 110 百万円/年（維持管理費 20,810 千円/年、事業運営費 88,920 千円/年）南山田市民ギャラリー 3 百万円/年（維持管理費 299 千円/年、事業運営費 2,551 千円/年）江坂花とみどりの情報センター 22 百万円/年（維持管理費 15,572 千円/年、事業運営費 6,897 千円/年）勤労者会館 111 百万円/年（維持管理費 59,465 千円/年、事業運営費 51,720 千円/年）となっています。特に勤労者会館については、温水プールがあることから光熱水費に多くの費用がかかっていることがわかります。



支出状況を利用者 1 人当たりで見ると、630 円/人（南山田市民ギャラリー）～8,941 円/人（交流活動館）となっています。

また、施設規模の違いを踏まえ、延床面積 1 m²あたりで見ると、38,300 円/m²（勤労者会館）～58,361 円/m²（江坂花とみどりの情報センター）となっています。



(3) 社会教育施設

ア 生涯学習施設

(ア) 概要

本市には、生涯学習施設として、次のような施設があります。

各種講座をはじめ、講演会の開催やグループ活動等を行う地区公民館（分館を含めて市内各地区に 30 施設）、図書の貸し出しのほか、ビデオ、DVD、CD などの視聴覚資料も所蔵している図書館（分室を含めて市内に 9 施設）、歴史資料の収集・調査研究とその展示等を行っている博物館、寄贈された江戸時代の大庄屋屋敷を保存し公開している旧中西家住宅（吹田吉志部文人墨客迎賓館）、国指定重要文化財旧西尾家住宅（吹田文化創造交流館）、地域住民の学習、文化、交流活動などの場として山手小学校地域交流室があります。

<配置図（生涯学習施設）>



(イ) 建物の状況

地区公民館は、最も古い吹一地区公民館と山二地区公民館が昭和 36 年度（1961 年度）に建設され 51 年が経過しており、最も新しいものは南千里地区公民館で、平成 24 年度（2012 年度）に千里ニュータウンプラザ内に移転設置されています。全般的にみると昭和 55 年度（1980 年度）以前に建設されたものが多く、老朽化が問題になっているものがあります。

図書館については、中央図書館が最も古く昭和 46 年度（1971 年度）に建設され、41 年が経過しており、千里図書館北千里分室は、建設から 32 年が経過しています。

このほか、平成 24 年度（2012 年度）に千里図書館が千里ニュータウンプラザ内に移転設置され、千里丘図書館が新規設置されました。

また、千里山・佐井寺図書館（ちさと）、山田駅前図書館（夢つながり未来館内）は、建設後 10 年以内の比較的新しい施設です。

番号	施設名称	建設年度	単独・複合	延床面積 (㎡)	支出(千円)			
					維持管理費	事業運営費	総額	
1	吹一地区公民館	昭和36年	1961	単独	185	3,534	1,239	4,773
2	吹一地区公民館さんくす分館	平成16年	2004	複合	96	6,342	0	6,342
3	吹二地区公民館	昭和43年	1968	複合	201	3,590	1,434	5,024
4	吹三地区公民館	昭和38年	1963	単独	272	3,734	1,248	4,982
5	吹六地区公民館	昭和55年	1980	複合	350	3,554	1,196	4,750
6	千一地区公民館	昭和39年	1964	単独	199	3,572	1,305	4,877
7	千二地区公民館	昭和44年	1969	複合	400	7,538	1,235	8,773
8	千三地区公民館	昭和53年	1978	複合	352	4,037	1,272	5,309
9	山一地区公民館	昭和42年	1967	複合	399	3,373	1,446	4,819
10	山二地区公民館	昭和36年	1961	複合	412	4,213	1,794	6,007
11	山三地区公民館	昭和52年	1977	複合	338	3,859	1,459	5,318
12	岸一地区公民館	平成20年	2008	複合	412	5,783	1,235	7,018
13	岸二地区公民館	昭和54年	1979	複合	346	3,717	1,898	5,615
14	豊一地区公民館	昭和45年	1970	単独	454	4,839	1,927	6,766
15	豊二地区公民館	昭和55年	1980	複合	341	3,720	1,065	4,785
16	南吹田地区公民館	昭和43年	1968	単独	220	3,681	1,897	5,578
17	南千里地区公民館 * 1	平成24年	2012	複合	566	-	-	-
18	南山田地区公民館	昭和54年	1979	複合	362	3,787	1,212	4,999
19	山手地区公民館	昭和42年	1967	単独	205	3,701	2,602	6,303
20	吹田東地区公民館	昭和49年	1974	単独	332	3,553	2,000	5,553
21	北千里地区公民館	昭和55年	1980	複合	744	10,305	1,415	11,720
22	西山田地区公民館	昭和56年	1981	複合	341	3,228	1,931	5,159
23	東山田地区公民館	昭和57年	1982	複合	362	4,212	1,680	5,892
24	片山地区公民館	昭和58年	1983	複合	380	3,267	2,359	5,626
25	江坂大池地区公民館	昭和59年	1984	複合	360	3,635	1,310	4,945
26	東佐井寺地区公民館	昭和60年	1985	複合	380	3,236	2,188	5,424
27	北山田地区公民館	昭和60年	1985	複合	361	3,618	1,525	5,143
28	佐井寺地区公民館	昭和61年	1986	複合	359	3,672	2,520	6,192
29	千里新田地区公民館	昭和61年	1986	複合	360	3,652	1,637	5,289
30	山五地区公民館	昭和63年	1988	複合	362	3,814	2,400	6,214
31	中央図書館	昭和46年	1971	単独	3,392	57,116	229,238	286,354
32	千里図書館 * 1	平成24年	2012	複合	931	-	-	-
33	千里図書館北千里分室	昭和55年	1980	複合	155	426	41,130	41,556
34	さんくす図書館	平成5年	1993	複合	883	49,225	109,922	159,147
35	江坂図書館	平成7年	1995	複合	512	4,807	71,741	76,548
36	千里山・佐井寺図書館(ちさと)	平成15年	2003	単独	3,328	31,378	113,228	144,606
37	千里丘図書館	平成24年	2012	単独	840	-	-	-
38	山田駅前図書館 * 2	平成22年	2010	複合	1,233	13,282	104,629	117,911
39	山田駅前図書館山田分室	昭和61年	1986	複合	380	2,442	47,038	49,480
40	博物館	平成3年	1991	単独	3,298	89,955	55,649	145,604
41	旧西尾家住宅 吹田文化創造交流館	平成17年	2005	単独	1,477	21,270	1,716	22,986
42	旧中西家住宅 吹田吉志部文人墨客迎賓館	平成19年	2007	単独	812	12,100	0	12,100
43	山手小学校地域交流室	平成10年	1998	複合	144	37	1,807	1,844

* 1 千里ニュータウンプラザに設置、* 2 子育て青少年拠点夢つながり未来館に設置

注) 吹一地区公民館さんくす分館、さんくす図書館、旧西尾家住宅、旧中西家住宅、山手小学校地域交流室は開設年度

(ウ) 利用状況

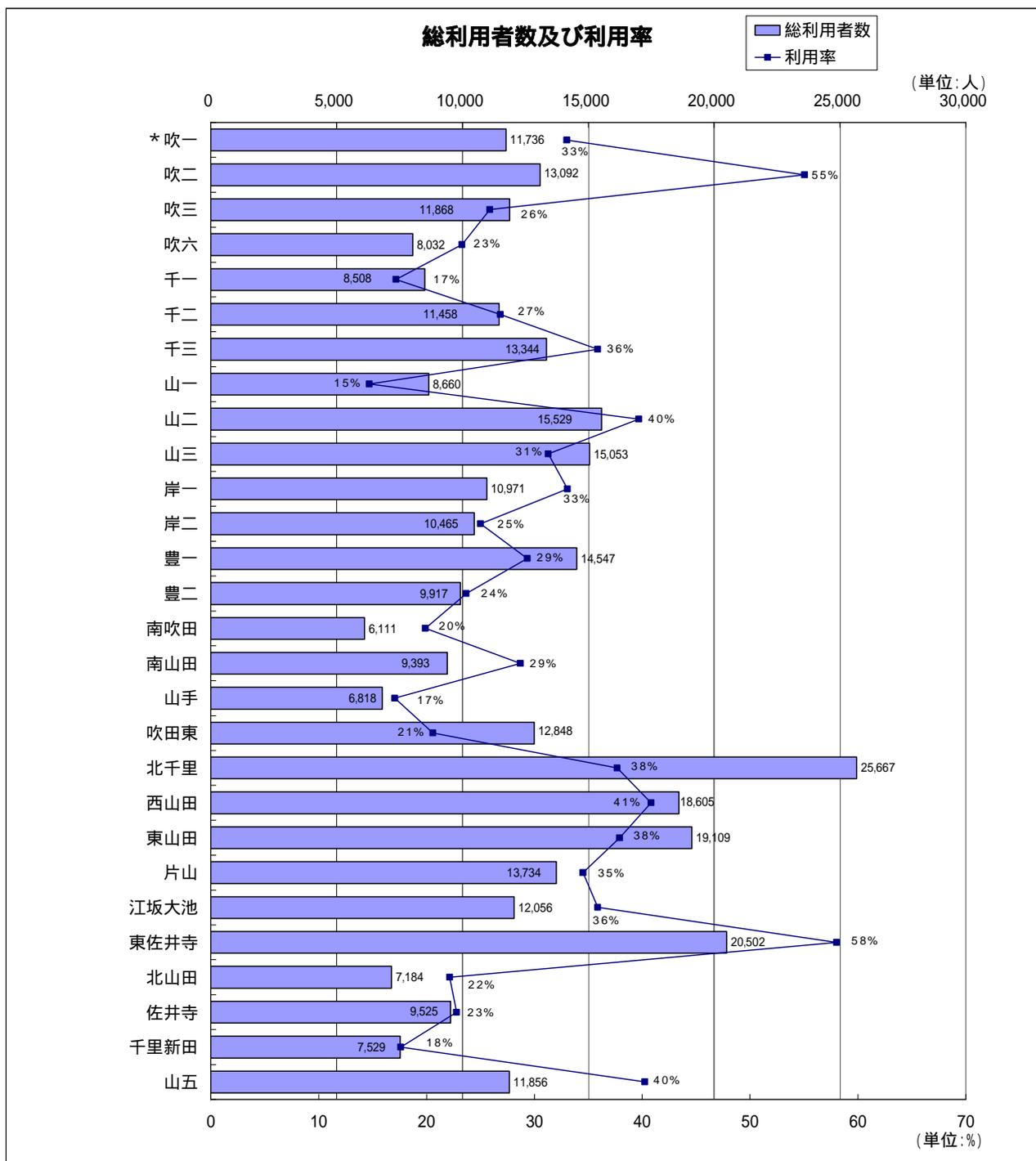
地区公民館の利用状況は、6.1 千人/年（南吹田地区公民館）～25.7 千人/年（北千里地区公民館）となっています。利用率についてはおおむね 20～40%程度となっています。

図書館の利用者（延貸出利用者数）は、69 千人/年（千里図書館北千里分室）～135 千人/年（山田駅前図書館）となっています。

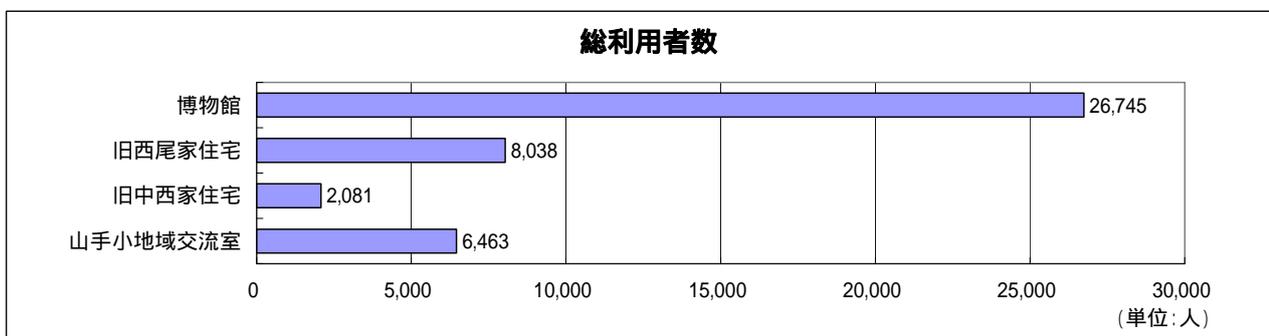
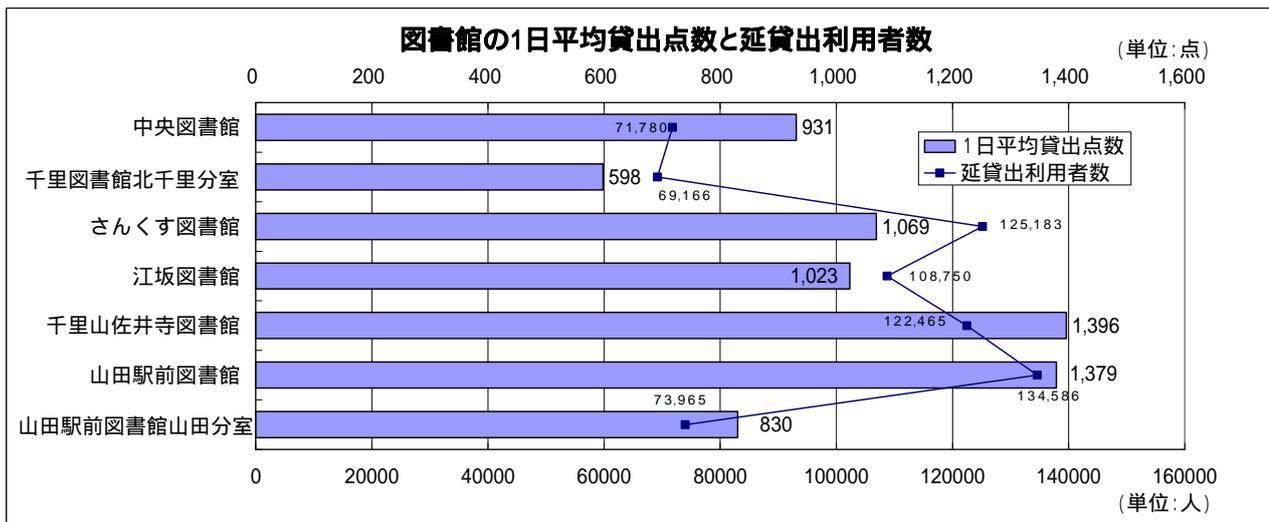
博物館、旧西尾家住宅、旧中西家住宅についてみると、博物館（26.7 千人/年）、旧西尾家住宅（8.0 千人/年）、旧中西家住宅（2.1 千人/年）となっています。

山手小学校地域交流室についてみると、6.4 千人/年となっています。

地区公民館



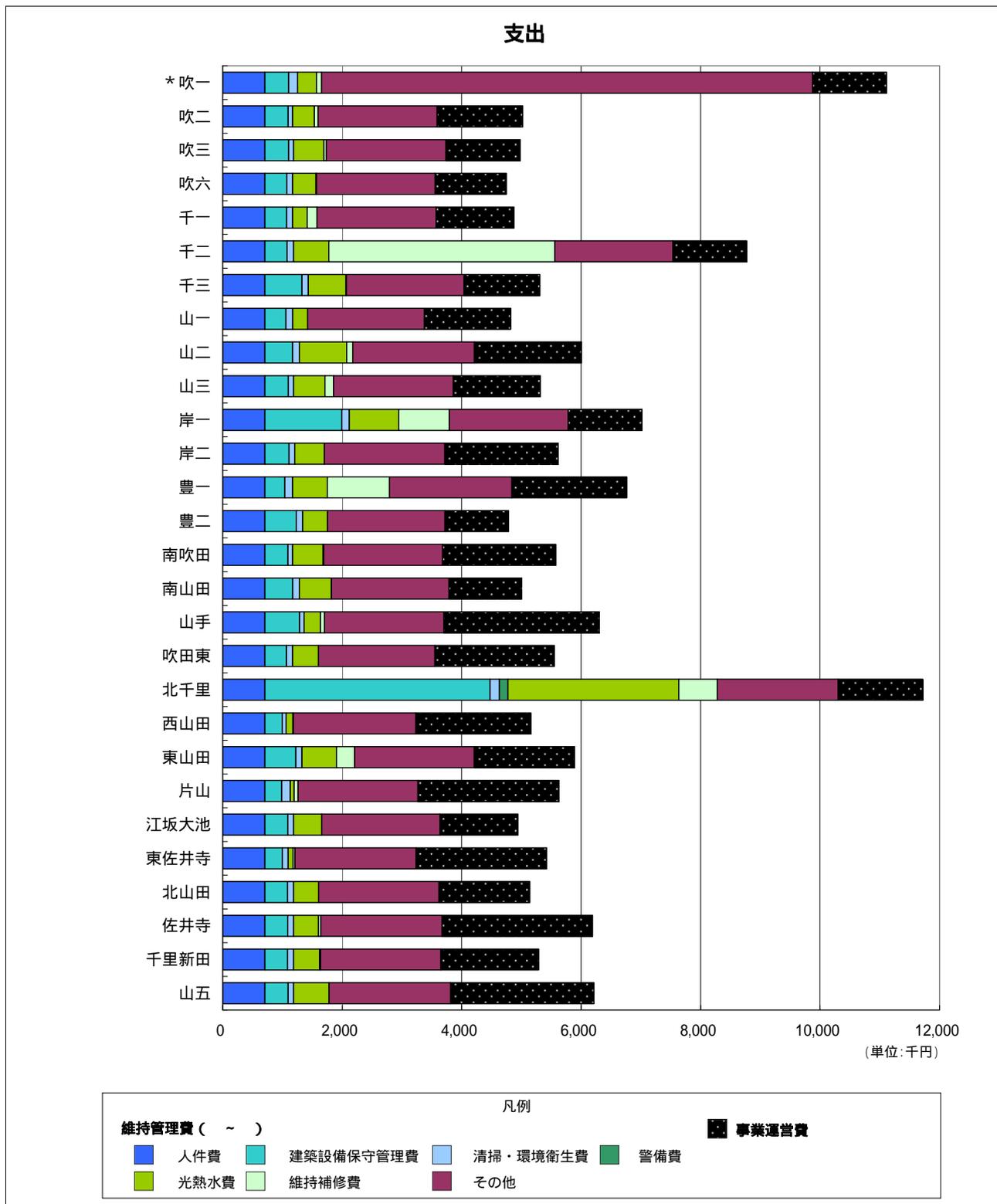
* 吹一地区公民館の利用者数は吹一地区公民館さんくす分館のものを含んでいます。



(エ) 支出の状況

地区公民館の支出の状況は、北千里地区公民館、吹一地区公民館、千二地区公民館を除いて、おおむね 4～6 百万円/年程度となっています。千二地区公民館は維持補修費、北千里地区公民館は建築設備保守管理費と光熱水費が高くなっています。吹一地区公民館は吹一地区公民館さんくす分館の支出を含んでおり、高くなっています。

地区公民館

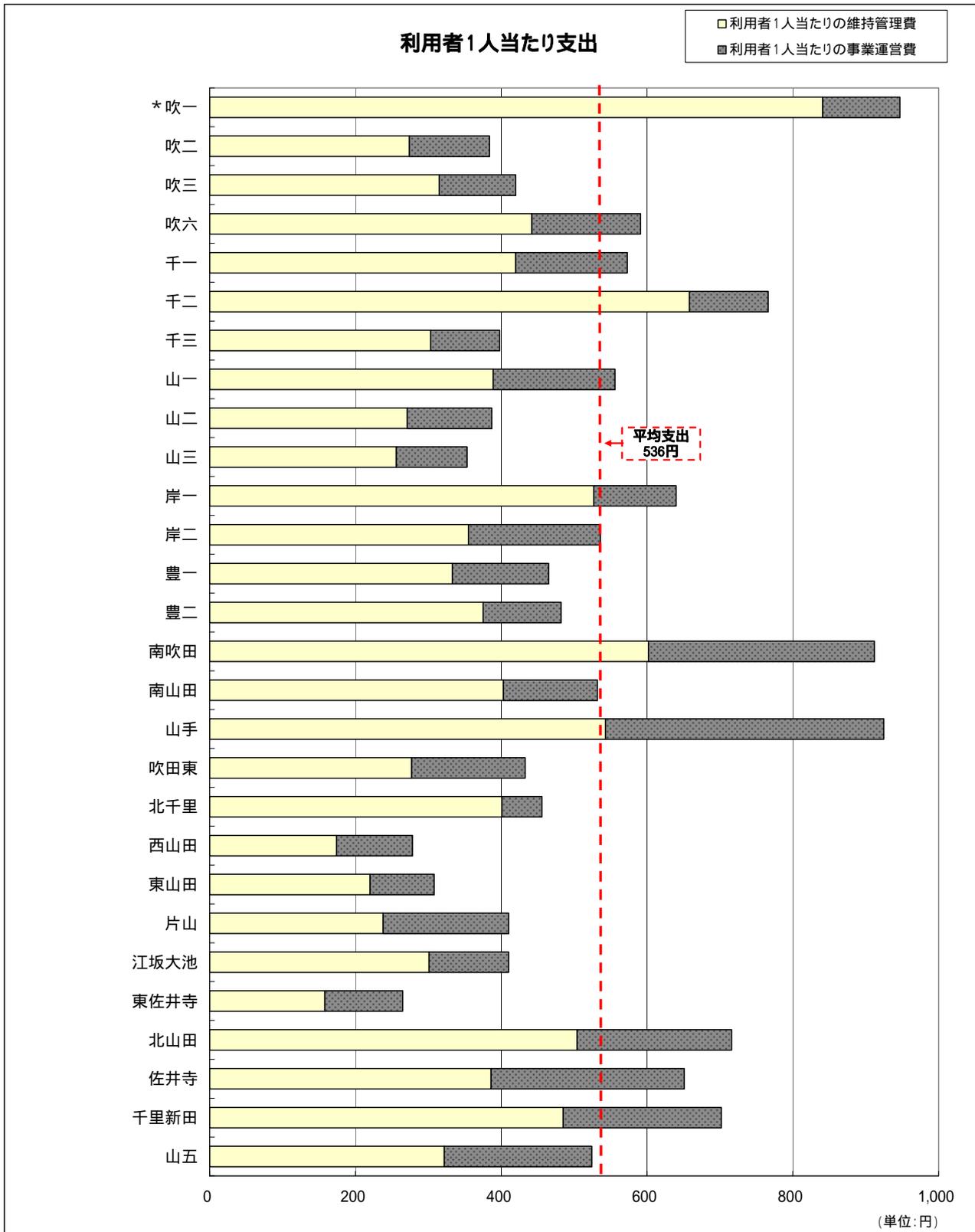


* 吹一地区公民館の支出は吹一地区公民館さんくす分館のものを含んでいます。

支出状況を利用者1人当たりで見ると、265円/人(東佐井寺地区公民館)～947円/人(吹一地区公民館・吹一地区公民館さんくす分館の合計)となっています。

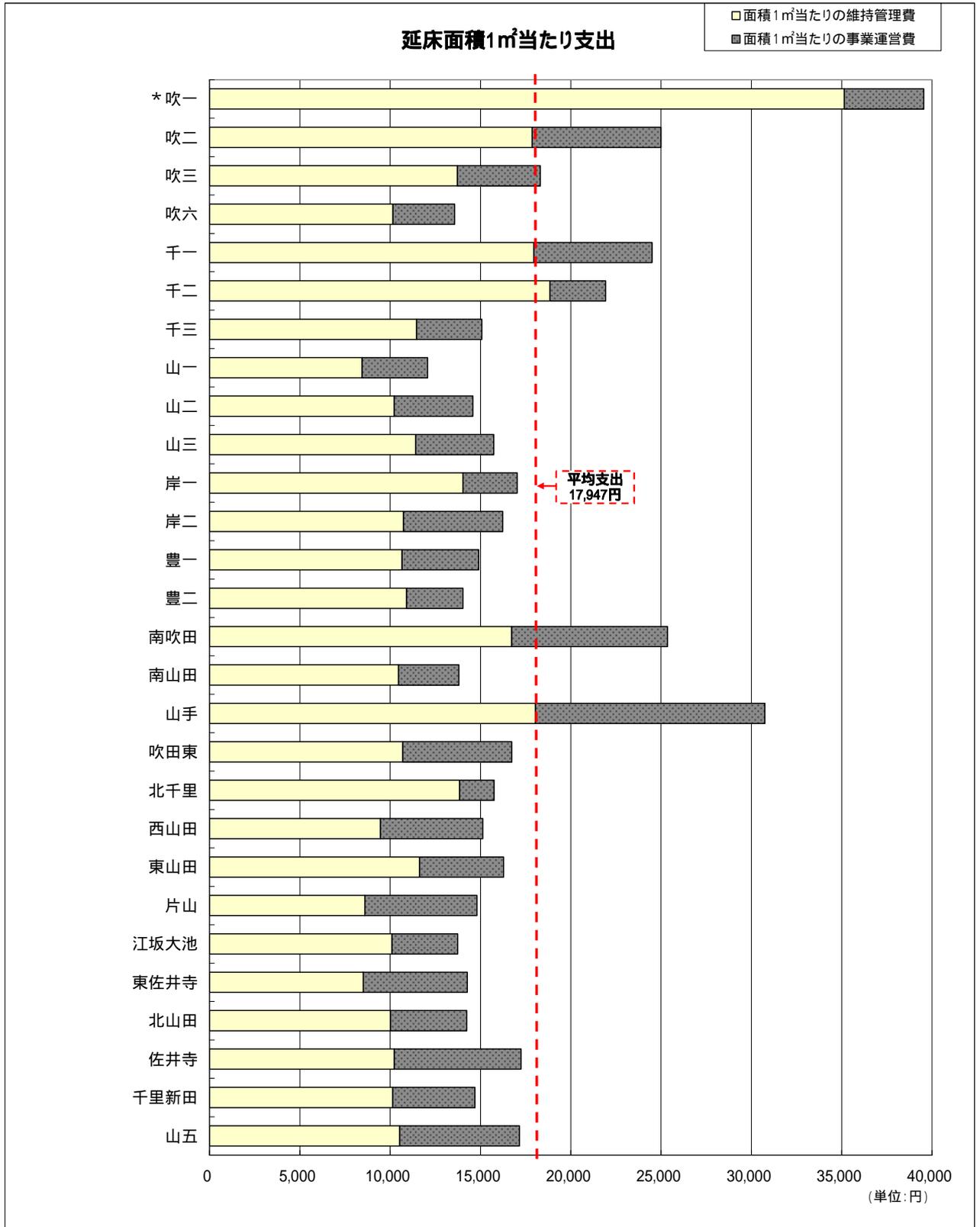
施設の延床面積1㎡当たりでは、12,078円/㎡(山一地区公民館)～39,555円/㎡(吹一地区公民館・吹一地区公民館さんくす分館の合計)となっています。

地区公民館



* 吹一地区公民館の利用者1人当たり支出は吹一地区公民館さんくす分館のものを含んでいます。

地区公民館

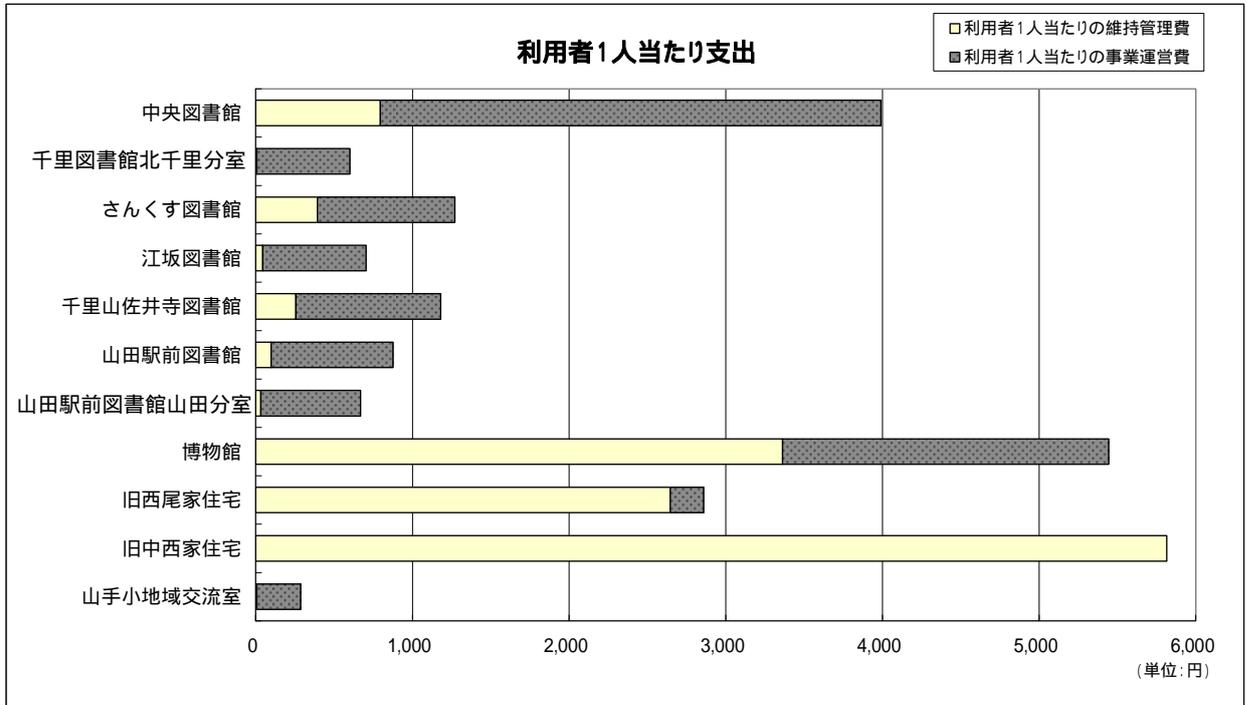


* 吹一地区公民館の延床面積1㎡当たり支出は吹一地区公民館さんくす分館のものを含んでいます。

支出状況を利用者1人当たりで見ると、図書館では、市内にある図書館全体の中心機能を担っている中央図書館(3,989円/人)を除くと、601円/人(千里図書館北千里分室)~1,271円/人(さんくす図書館)となっています。

博物館、旧西尾家住宅、旧中西家住宅についてみると、博物館 5,444円/人、旧西尾家住宅 2,860円/人、旧中西家住宅 5,815円/人となっています。

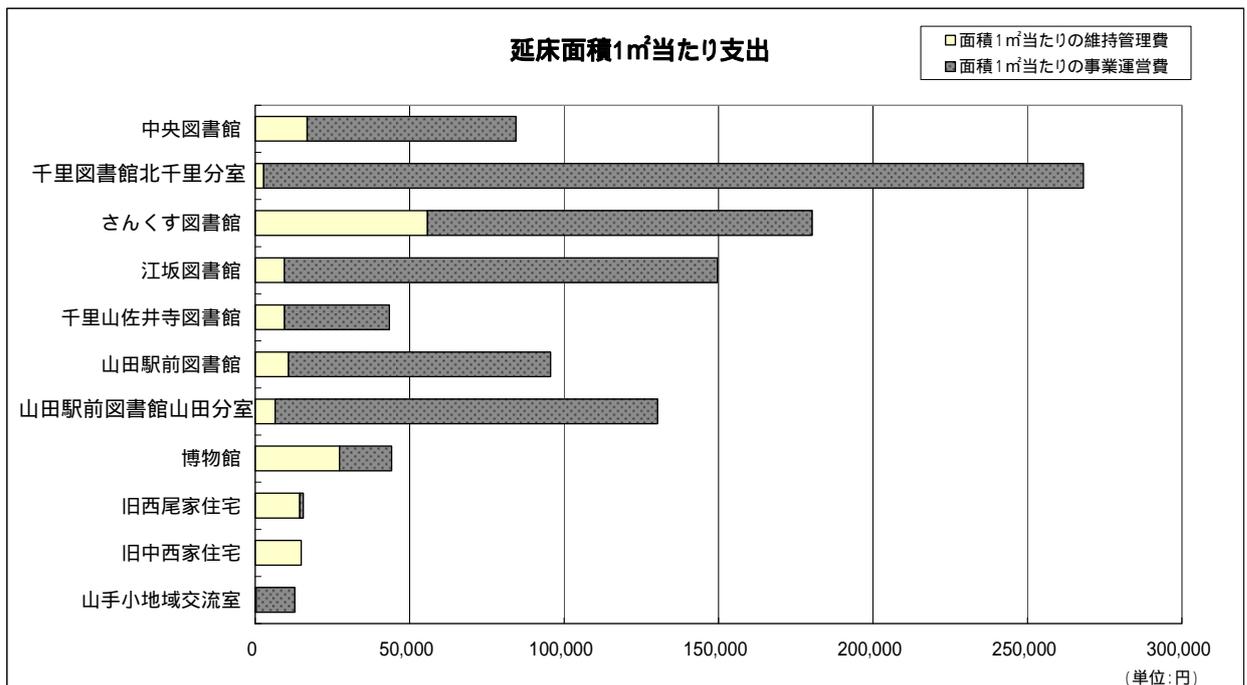
山手小学校地域交流室では、285円/人となっています。



延床面積1㎡あたりで見ると、図書館では、43,451円/㎡(千里山・佐井寺図書館)~268,103円/㎡(千里図書館北千里分室)となっています。

博物館、旧西尾家住宅、旧中西家住宅についてみると、博物館 44,149円/㎡、旧西尾家住宅 15,563円/㎡、旧中西家住宅 14,901円/㎡となっています。

山手小学校地域交流室では、12,806円/㎡となっています。



イ 青少年施設

(ア) 概要

本市には、健全な青少年の育成を目指す施設として、勤労青少年ホーム、自然体験交流センター（わくわくの郷）、少年自然の家（もくもくの里）（滋賀県高島市今津町）、青少年クリエイティブセンターがあり、夢つながり未来館の青少年支援機能を担う施設として青少年活動サポートプラザ（夢つながり未来館内）があります。なお、自然体験交流センター、少年自然の家については、宿泊もできる施設です。

(イ) 建物の状況

青少年施設については、勤労青少年ホームが昭和44年度（1969年度）、少年自然の家は昭和55年度（1980年度）、青少年クリエイティブセンターは昭和56年度（1981年度）に建設されており、いずれも30年以上が経過しています。また、自然体験交流センターは平成21年度（2009年度）に、青少年活動サポートプラザは平成22年度（2010年度）に建設された施設です。

< 配置図 （青少年施設） >



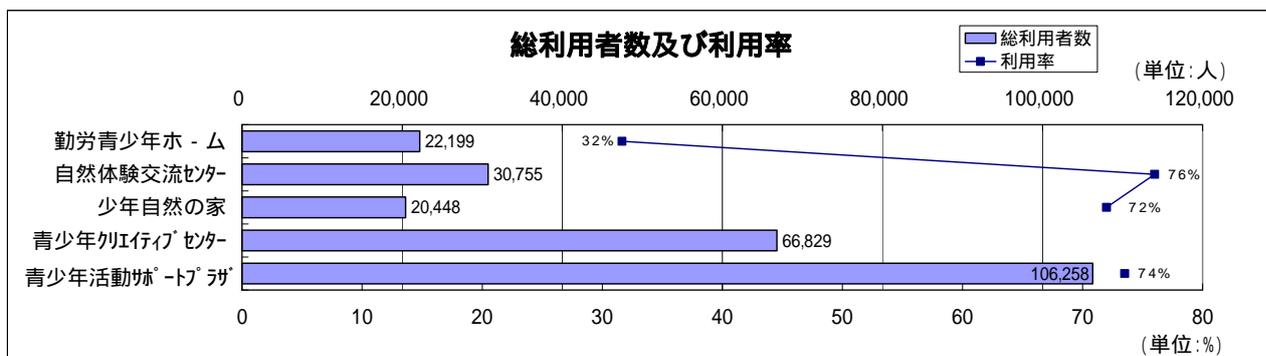
番号3少年自然の家は滋賀県高島市今津町の施設

番号	施設名称	建設年度	単独・複合	延床面積 (㎡)	支出(千円)			
					維持管理費	事業運営費	総額	
1	勤労青少年ホ - ム	昭和44年	1969	単独	1,047	5,111	24,862	29,973
2	自然体験交流センター わくわくの郷	平成21年	2009	単独	1,976	33,472	32,604	66,076
3	少年自然の家 もくもくの里	昭和55年	1980	単独	2,744	29,110	50,313	79,423
4	青少年クリエイティブセンター	昭和56年	1981	単独	3,406	52,417	38,806	91,223
5	青少年活動サポートプラザ*1	平成22年	2010	複合	3,614	100,663	67,442	168,105

*1 子育て青少年拠点夢つながり未来館に設置、 指定管理者制度活用施設

(ウ) 利用状況

青少年施設の利用状況は、最も多いのが青少年活動サポートプラザで106.3千人/年となっており、青少年クリエイティブセンター66.8千人/年、自然体験交流センター30.8千人/年、勤労青少年ホーム22.2千人/年、最も少ない少年自然の家で20.4千人/年となっています。青少年活動サポートプラザの貸室は、幼児から高齢者まで幅広い年齢層が利用するため、他の青少年施設と比較すると総利用者数は多くなっています。



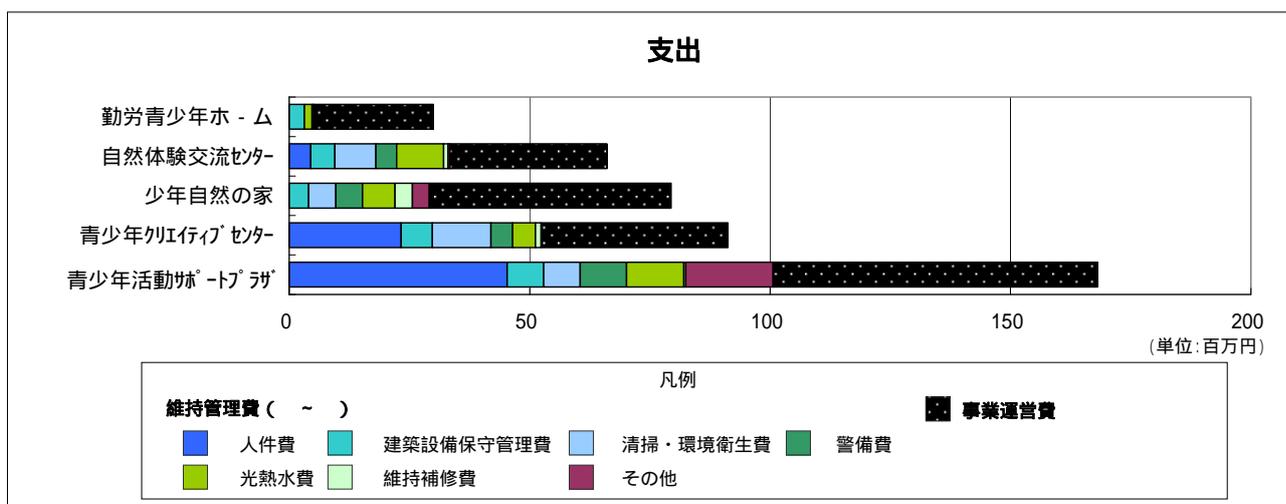
(エ) 支出の状況

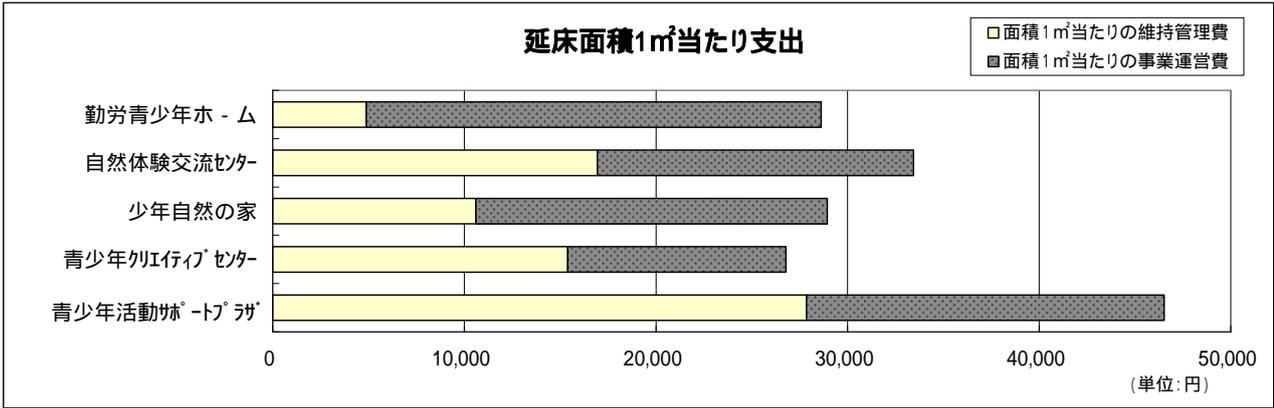
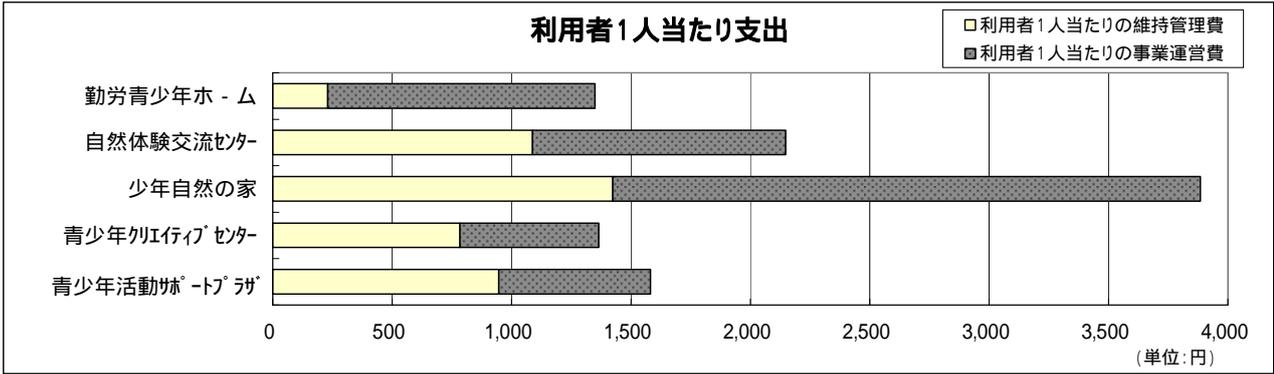
勤労青少年ホームの管理は、指定管理者が行っており、支出のほとんどが事業運営費となっています。

青少年施設の支出状況は、30百万円/年(勤労青少年ホーム)～168百万円/年(青少年活動サポートプラザ)となっています。

支出状況を利用者1人当たりで見ると、1,350円/人(勤労青少年ホーム)～3,884円/人(少年自然の家)となっています。

延床面積1㎡あたりで見ると、26,783円/㎡(青少年クリエイティブセンター)～46,515円/㎡(青少年活動サポートプラザ)となっています。





ウ スポーツ施設

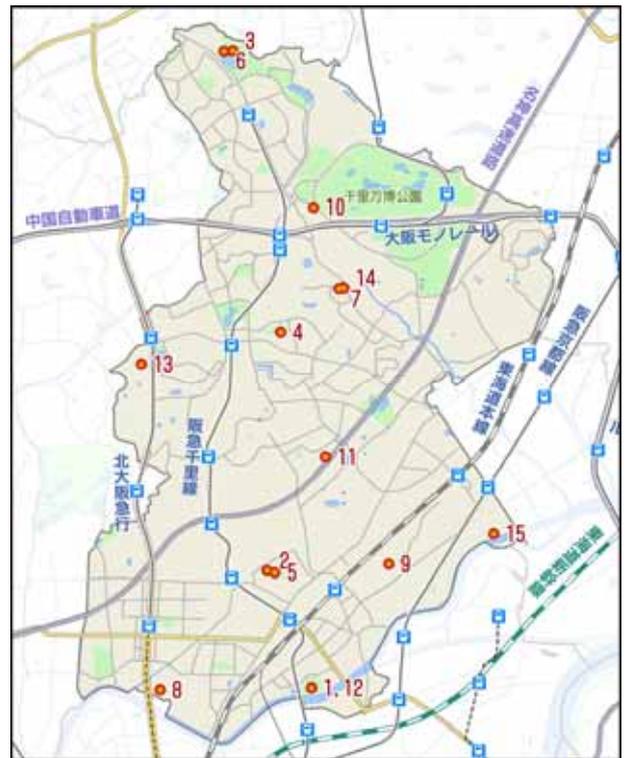
(ア) 概要

本市には、4か所の市民プール（中の島、片山、北千里、南千里）があります。片山市民プールは、屋外プールと室内プールを保有しており、屋外プールのオフシーズン（9月～6月）には、屋内プールを温水プールとして利用しています。

市民のスポーツ活動の場として、5か所の市民体育館（片山、北千里、山田、南吹田、目依）、武道を通じて健全な精神と身体を養う武道館（洗心館）があります。

また、陸上競技全般、サッカーなどフィールド競技も楽しめる総合運動場、野球場とテニスコートを備えた桃山台スポーツグラウンド・中の島スポーツグラウンド・山田スポーツグラウンド、テニスコートを備えた南正雀スポーツグラウンドがあります。

<配置図（スポーツ施設）>



(イ) 建物の状況

市民プールについては、片山市民プール（屋外プール部分）が昭和37年度（1962年度）、中の島市民プールが昭和53年度（1978年度）にそれぞれ建設されており、最も新しい施設でも34年が経過しています。北千里市民プールと南千里市民プールは、昭和48年度（1973年度）に大阪府から移管を受けて開設した施設です。

片山市民体育館は昭和47年度（1972年度）に、山田市民体育館は昭和61年（1986年度）、南吹田市民体育館は平成元年度（1989年度）、目依市民体育館は平成8年度（1996年度）に建設されています。北千里市民体育館は昭和53年度（1978年度）に大阪府により建設され、昭和55年度（1980年度）に移管を受けたものです。最も新しい目依を除く3館はいずれも20年以上が経過しています。

また、武道館は平成4年度（1992年度）の建設後20年が経過しています。

総合運動場は、平成5年度（1993年度）に建設された施設ですが、日本陸上競技連盟公認の陸上競技場となっているため、5年に1度、認定を受けるために改修工事が必要となる施設です。

中の島スポーツグラウンドは昭和39年度（1964年度）、山田スポーツグラウンドは昭和57年度（1982年度）、南正雀スポーツグラウンドは平成2年度（1990年度）にそれぞれ建設されており、最も新しい施設でも22年が経過しています。桃山台スポーツグラウンドは昭和46年度（1971年度）に大阪府から移管を受けて開設した施設です。

番号	施設名称	建設年度		単独・複合	延床面積 (㎡)	支出(千円)		
		昭和	平成			維持管理費	事業運営費	総額
1	中の島市民プ-ル	昭和53年	1978	単独	771	0	17,949	17,949
2	片山市民プ-ル	昭和37年	1962	単独	3,683	3,447	129,664	133,111
3	北千里市民プ-ル	昭和48年	1973	単独	1,274	0	17,949	17,949
4	南千里市民プ-ル	昭和48年	1973	単独	263	0	17,193	17,193
5	片山市民体育館	昭和47年	1972	単独	4,347	63,101	34,361	97,462
6	北千里市民体育館	昭和53年	1978	単独	4,487	67,955	29,665	97,620
7	山田市民体育館	昭和61年	1986	単独	5,445	66,054	27,978	94,032
8	南吹田市民体育館	平成元年	1989	単独	3,717	55,585	23,925	79,510
9	目黒市民体育館	平成8年	1996	単独	11,731	105,823	24,986	130,809
10	武道館「洗心館」	平成4年	1992	単独	9,064	1,621	92,510	94,131
11	総合運動場	平成5年	1993	単独	9,766	1,995	85,924	87,919
12	中の島スポーツグラウンド	昭和39年	1964	単独	819	500	34,772	35,272
13	桃山台スポ-ツグラウンド	昭和46年	1971	単独	479	45	22,394	22,439
14	山田スポ-ツグラウンド	昭和57年	1982	単独	263	0	10,759	10,759
15	南正雀スポ-ツグラウンド	平成2年	1990	単独	359	833	16,535	17,368

指定管理者制度活用施設

注) 北千里市民プール、南千里市民プール、桃山台スポーツグラウンドは開設年度

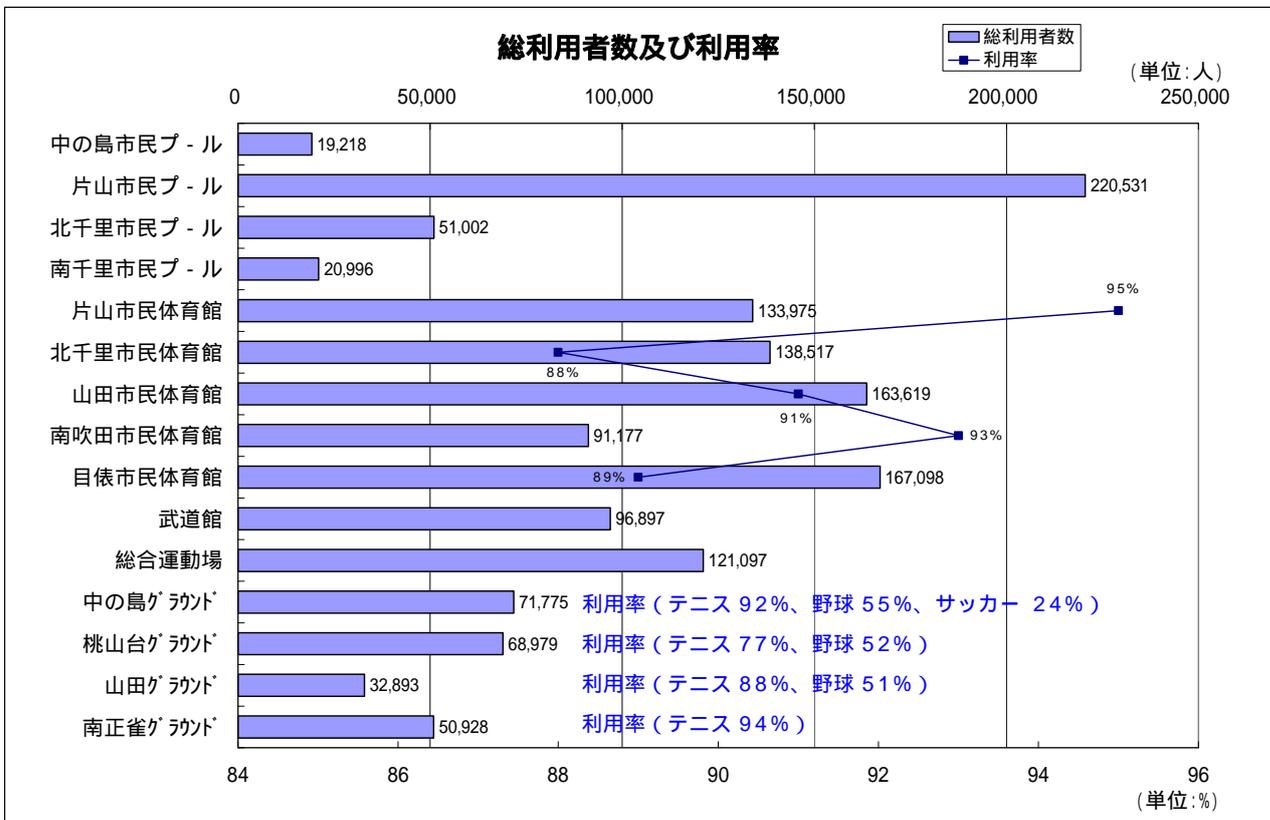
(ウ) 利用状況

市民プールの利用状況は、19.2千人/年(中の島市民プール)～220.5千人/年(片山市民プール)となっています。なお、片山市民プール以外は7・8月のシーズン利用者数となっています。

市民体育館の利用状況は、91.2千人/年(南吹田市民体育館)～167.1千人/年(目依市民体育館)となっており、利用率(利用枠に対する利用コマ数)は、88%～95%の利用率となっています。

武道館の利用状況は、96.9千人/年、総合運動場は、121.1千人/年となっています。

スポーツグラウンドの利用状況は、中の島スポーツグラウンド(テニスコート4面、野球場2面)で71.8千人/年となっており、桃山台スポーツグラウンド(テニスコート4面、野球場1面)69.0千人/年、南正雀スポーツグラウンド(テニスコート5面)50.9千人/年、山田スポーツグラウンド(テニスコート2面、野球場1面)で32.9千人/年となっています。



(エ) 支出の状況

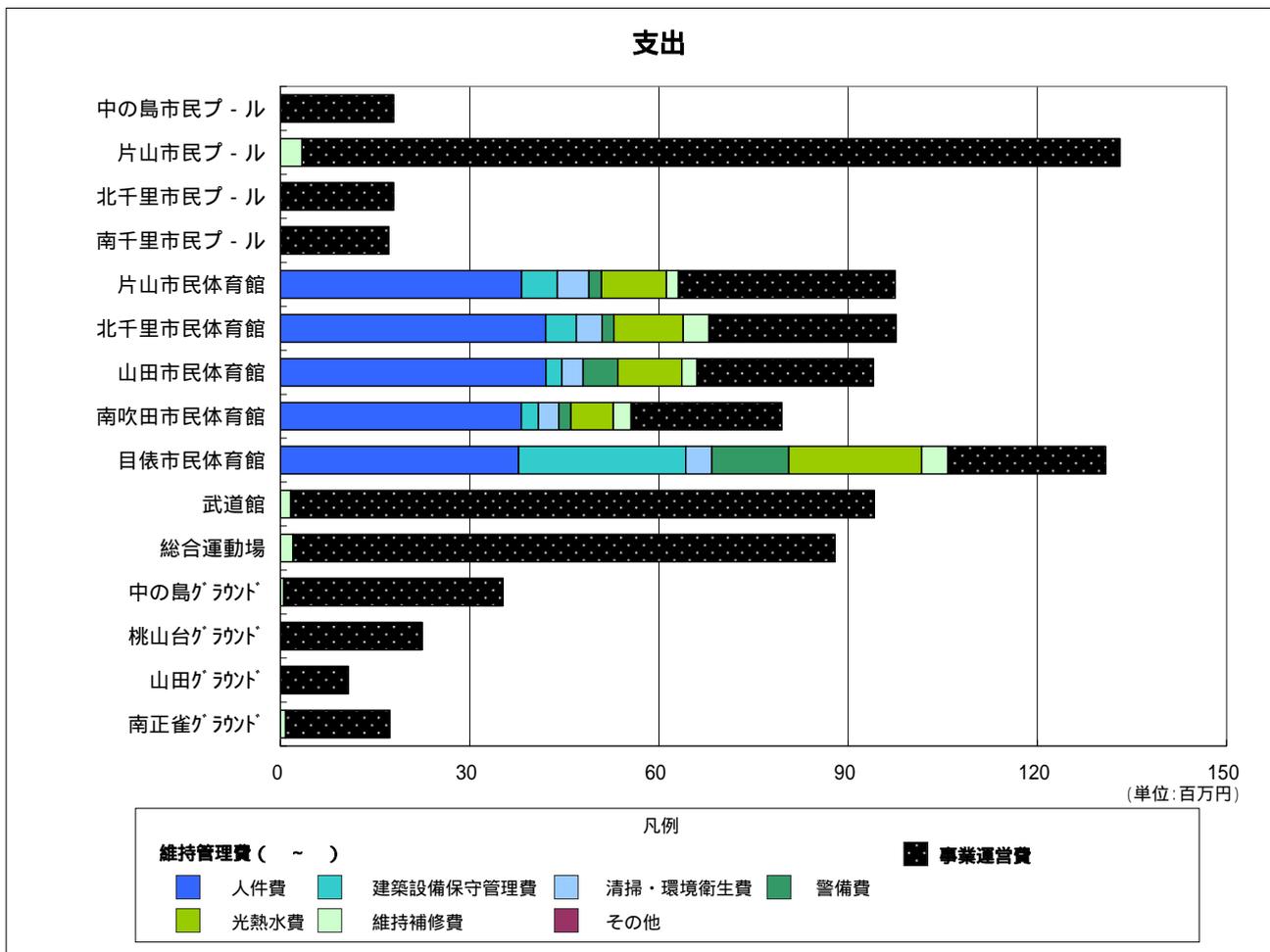
市民プール、武道館、総合運動場、スポーツグラウンドの管理は、いずれも指定管理者となっており、支出の大半が事業運営費となっています。

市民プールの支出状況は、片山市民プールが最も多く 133 百万円/年（維持管理費 3,447 千円/年、事業運営費 129,664 千円/年）となっており、その他は中の島市民プール 18 百万円/年、北千里市民プール 18 百万円/年、南千里市民プール 17 百万円/年で、同程度となっています。

市民体育館の支出状況は、80 百万円/年（南吹田市民体育館）～131 百万円/年（目依市民体育館）となっています。目依市民体育館の支出内訳をみると、建築設備保守管理費が他と比べて多く、それ以外は他と同程度となっています。

武道館の支出状況は、94 百万円/年、総合運動場は、88 百万円/年となっています。

スポーツグラウンドの支出状況は、11 百万円/年（山田スポーツグラウンド）～35 百万円/年（中の島スポーツグラウンド）となっています。



利用者 1 人当たりの支出を市民プールについてみると、352 円/人（北千里市民プール）～934 円/人（中の島市民プール）となっています。

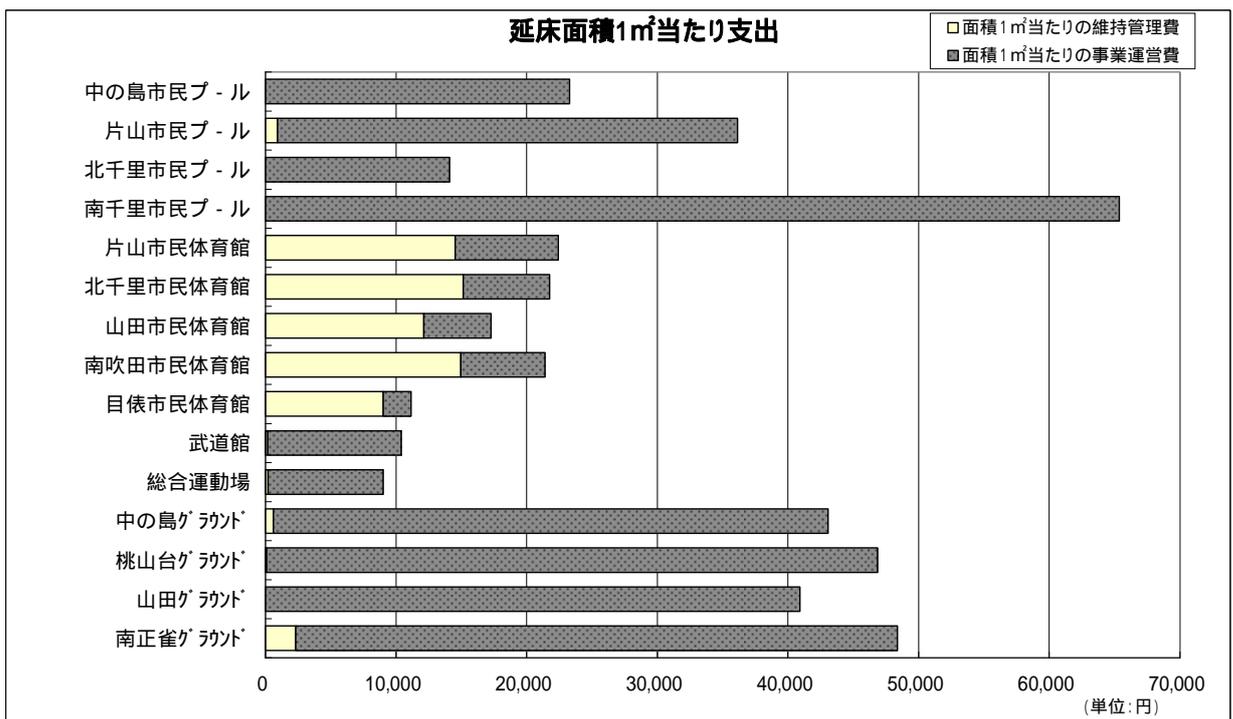
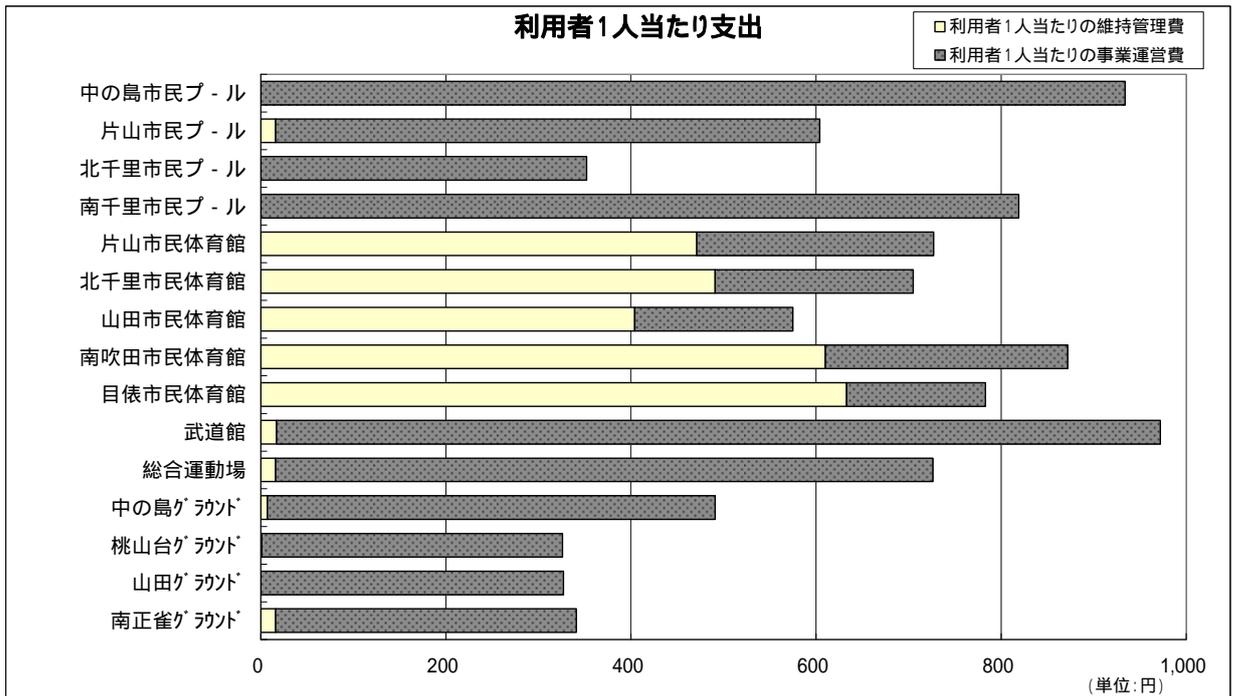
市民体育館についてみると、575 円/人（山田市民体育館）～872 円/人（南吹田市民体育館）となっています。武道館は、971 円/人となっています。

また、スポーツグラウンドについてみると、325 円/人（桃山台スポーツグラウンド）～491 円/人（中の島スポーツグラウンド）となっています。総合運動場は、726 円/人となっています。

延床面積 1 m²当たりの支出を市民プールについてみると、14,089 円/m²（北千里市民プール）～65,373 円/m²（南千里市民プール）となっています。

市民体育館についてみると、11,151 円/m²（目依市民体育館）～22,421 円/m²（片山市民体育館）となっています。武道館は、10,385 円/m²となっています。

また、スポーツグラウンドについてみると、40,909 円/m²（山田スポーツグラウンド）～48,379 円/m²（南正雀スポーツグラウンド）となっています。総合運動場は、9,003 円/m²となっています。



(4) 子ども・子育て支援施設

ア 児童福祉施設

(ア) 概要

本市には、市立と私立を合わせて 45 園の保育所（市立 18 園、私立 27 園）がありますが、本書では、市立保育所 18 園を対象とします。なお、市立保育所については、就学前の子どもの健やかな育ちを保障するため、「就学前の子どもの教育・保育に関する将来ビジョン」（平成 24 年度（2012 年度）中策定予定）に基づき、市立幼稚園とともに幼保一体化施設への移行を進めていきます。

また、市立の児童厚生施設である児童会館・児童センターは、市内に 11 か所あり、0 歳から小学生までの幅広い年齢の児童が、遊び等を通じて心身の健全な育成を図っていくことを目的に運営されています。

さらに、それぞれのこどもに応じた福祉的、教育的及び医療的側面からの総合的な援助を行うとともに、その保護者を支援するための拠点施設としてこども発達支援センター（地域支援センター、杉の子学園）とわかたけ園の 2 施設があります。

< 配置図 （児童福祉施設） >



(イ) 建物の状況

保育所は、最も古いいずみ保育園が昭和 41 年度（1966 年度）、最も新しい山三保育園でも昭和 57 年度（1982 年度）に建設されており、建設後 30 年以上経過し、施設の劣化が報告されている施設がみられます。

児童会館・児童センターは、平成 21 年度（2009 年度）に建設された千里山竹園児童センターを除き建設後 20 年以上を経過しています。高城児童会館は昭和 58 年度（1983 年度）厚生省（当時）から、原町児童センターは平成元年度（1989 年度）に大阪府から、それぞれ移管を受け開設された施設です。

こども発達支援センターは、平成 19 年度（2007 年度）建設の新しい施設ですが、わかたけ園は、昭和 56 年度（1981 年度）に建設されてから 30 年が経過しており、老朽化が問題になっていますが、こども発達支援センターへの合築計画（第二次整備計画）が予定されています。

番号	施設名称	建設年度		単独 複合	延床 面積 (㎡)	支出(千円)		
		昭和	平成			維持管理費	事業運営費	総額
1	吹田保育園	昭和46年	1971	単独	1,046	13,833	184,558	198,391
2	山田保育園	昭和44年	1969	単独	694	14,699	178,906	193,605
3	いずみ保育園	昭和41年	1966	単独	790	14,010	188,042	202,052
4	北千里保育園	昭和42年	1967	単独	799	15,573	181,936	197,509
5	南千里保育園	昭和43年	1968	単独	1,403	18,125	242,714	260,839
6	ことぶき保育園	昭和46年	1971	単独	1,154	16,698	183,469	200,167
7	岸部保育園	昭和43年	1968	単独	987	15,434	170,954	186,388
8	千里山保育園	昭和47年	1972	複合	756	17,272	188,019	205,291
9	東保育園	昭和47年	1972	単独	974	13,797	158,919	172,716
10	藤白台保育園	昭和48年	1973	単独	1,213	17,207	240,036	257,243
11	垂水保育園	昭和49年	1974	単独	882	15,251	174,789	190,040
12	吹一保育園	昭和49年	1974	単独	865	14,851	167,764	182,615
13	南保育園	昭和51年	1976	単独	873	14,540	176,783	191,323
14	吹六保育園	昭和52年	1977	単独	865	14,217	167,096	181,313
15	片山保育園	昭和53年	1978	単独	888	14,836	184,715	199,551
16	千三保育園	昭和53年	1978	単独	943	15,526	178,879	194,405
17	西山田保育園	昭和54年	1979	単独	993	16,143	172,588	188,731
18	山三保育園	昭和57年	1982	単独	978	15,256	185,072	200,328
19	原町児童センター(スマイルハラーセン)	昭和37年	1962	複合	467	5,865	23,941	29,806
20	朝日が丘児童センター(仲良しハウス)	昭和59年	1984	複合	448	6,418	20,138	26,556
21	五月が丘児童センター(さつきっこ)	昭和61年	1986	複合	420	6,061	22,014	28,075
22	南吹田児童センター(ワクワク キッズセンター)	昭和63年	1988	複合	415	5,422	23,757	29,179
23	山田西児童センター(ジーセンター)	平成4年	1992	単独	451	6,153	20,503	26,656
24	豊一児童センター(SMILEセンター)	平成6年	1994	単独	486	6,123	21,911	28,034
25	寿町児童センター(キッズランド寿)	平成7年	1995	単独	450	5,721	21,067	26,788
26	竹見台児童センター(たけのっこ)	平成5年	1993	複合	451	6,240	22,271	28,511
27	千里山竹園児童センター(クローバーセンター)	平成21年	2009	単独	526	1,977	20,915	22,892
28	千里丘児童会館(あそまな館)	昭和55年	1980	単独	392	6,373	23,447	29,820
29	高城児童会館(吹田っ子ひろば たかしろ)	昭和37年	1962	単独	604	6,961	21,430	28,391
30	こども発達支援センター	平成19年	2007	複合	2,309	25,073	371,592	396,665
31	わかたけ園	昭和56年	1981	単独	1,129	14,444	153,320	167,764

指定管理者制度活用施設

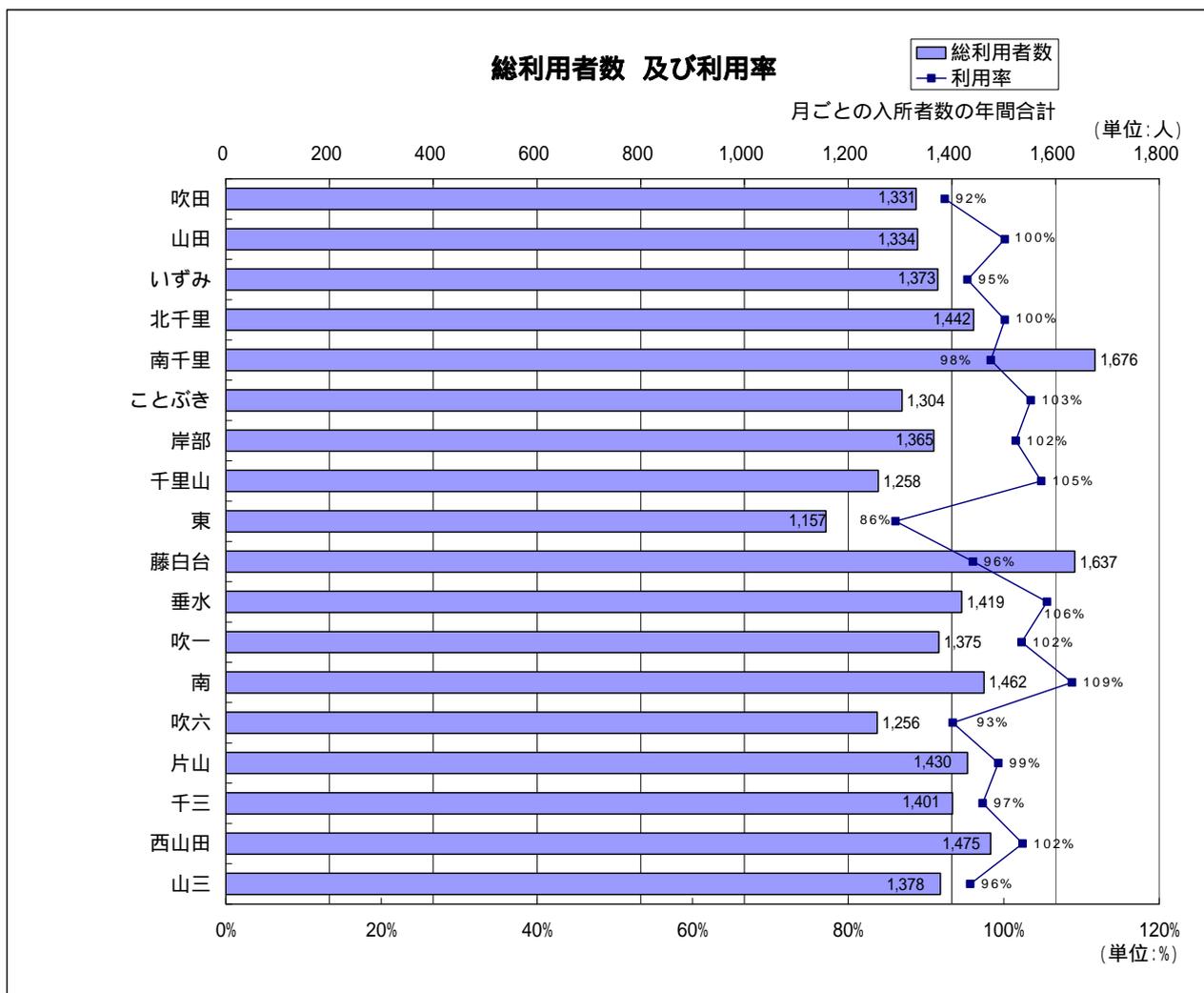
(ウ) 利用状況

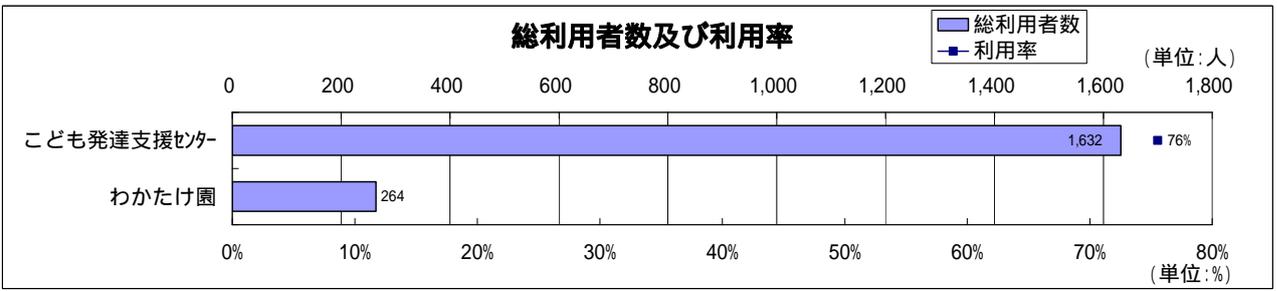
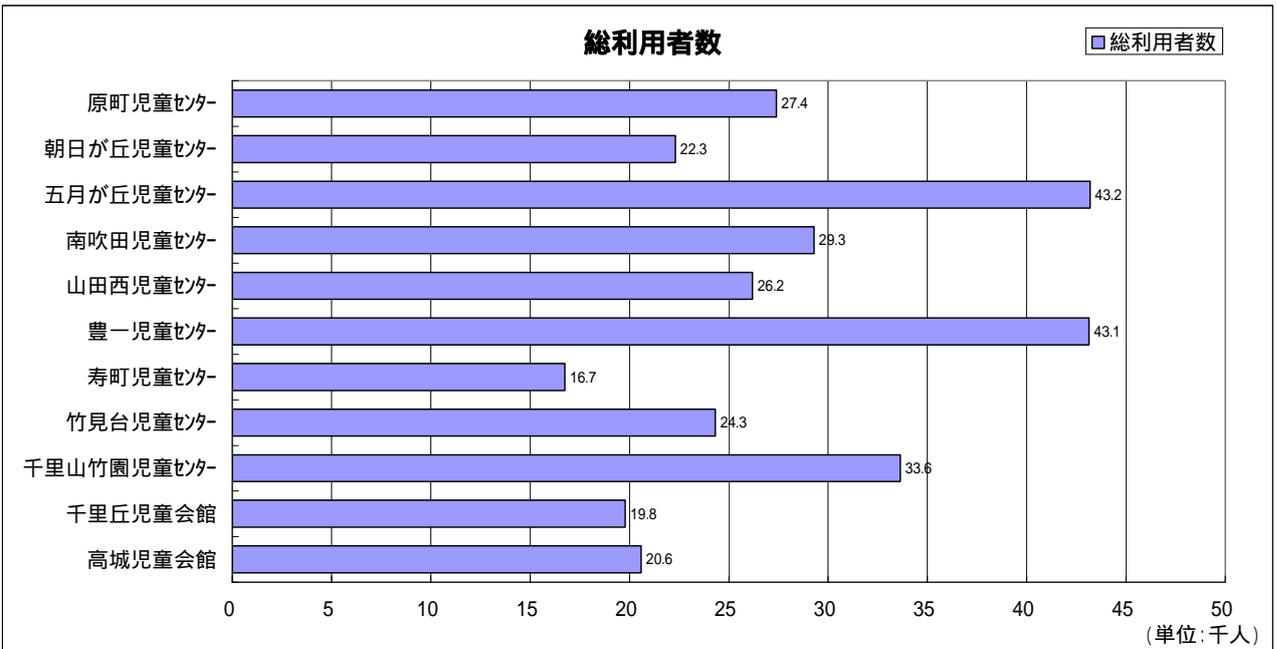
保育所の定員に対する入所園児数は、ほとんどの保育所で 90%以上となっており、半数が 100%を超えている状況となっています。

児童会館・児童センターの利用状況は、16.7 千人/年(寿町児童センター)～43.2 千人/年(五月が丘児童センター)となっています。

また、こども発達支援センターの利用状況は 1.6 千人/年、わかたけ園は 264 人/年の利用となっています。

保育所

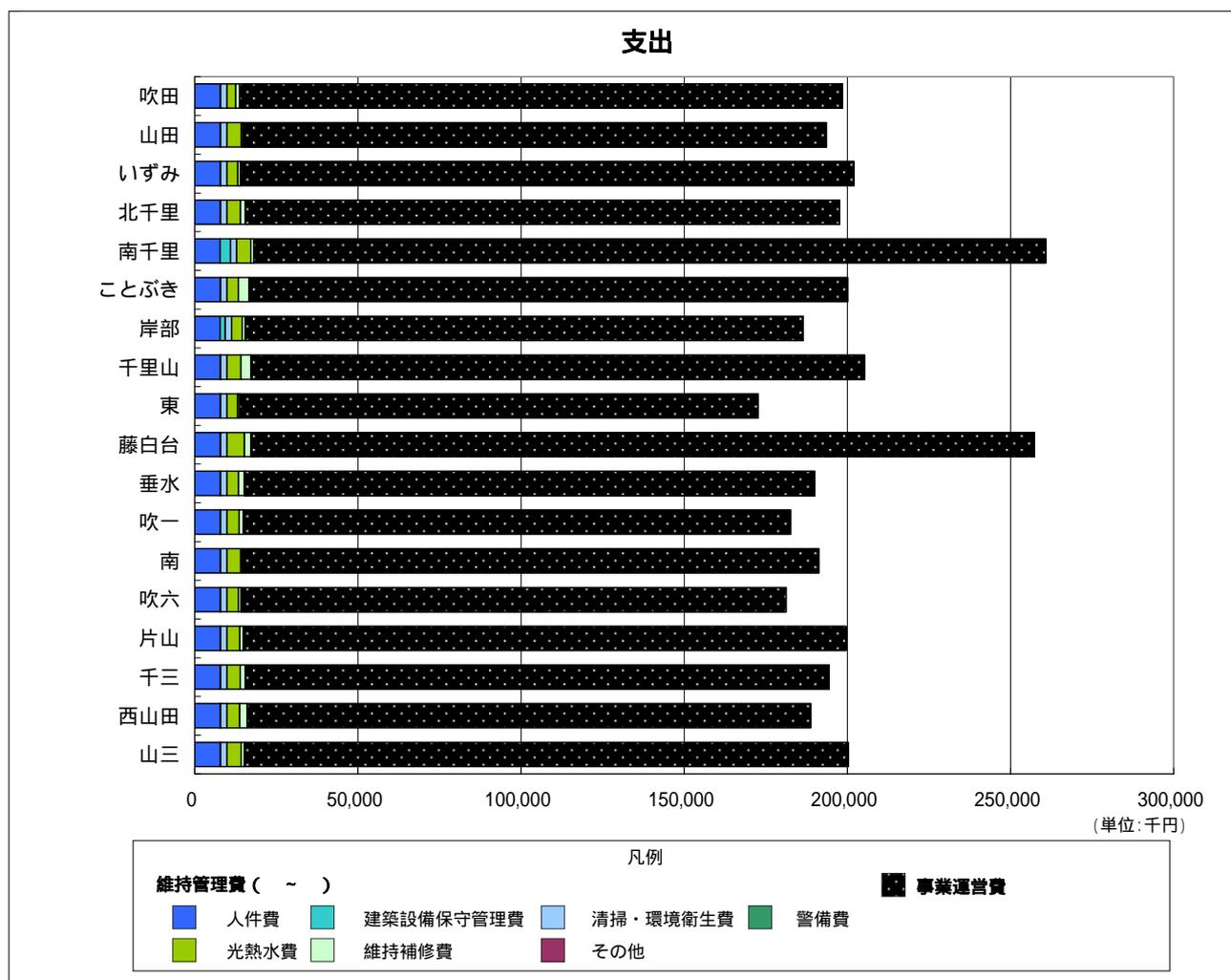




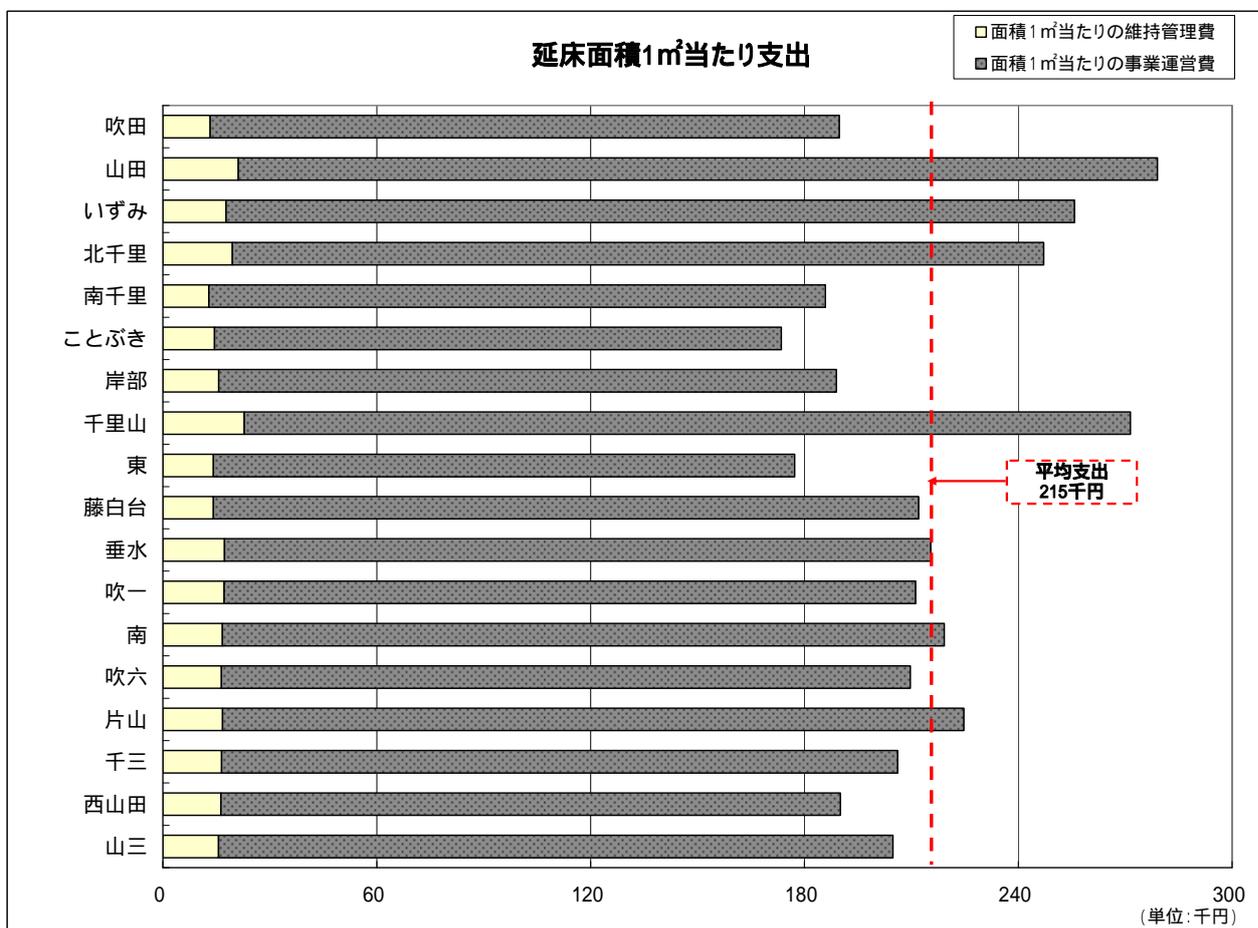
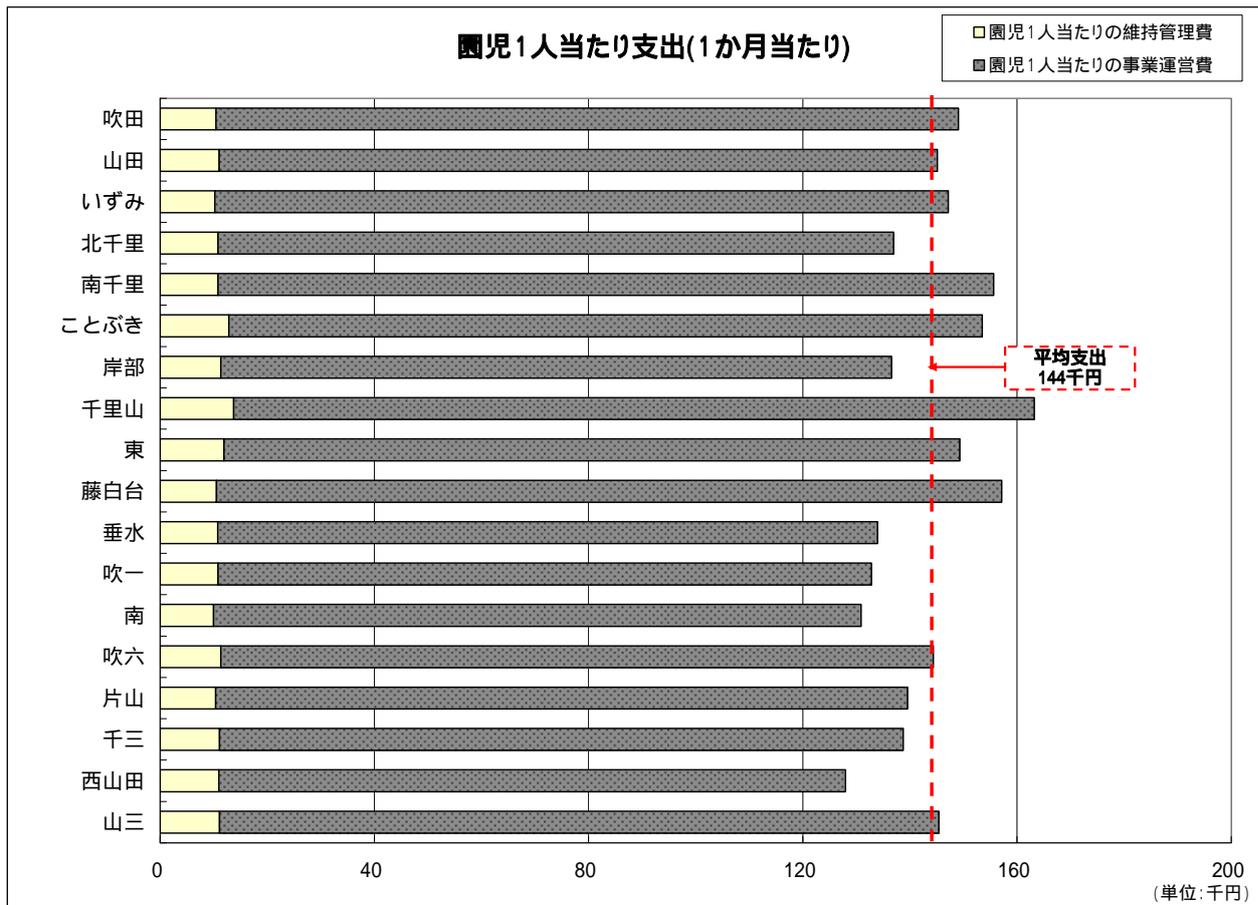
(エ) 支出の状況

保育所の支出状況は、大規模園である南千里保育園（261百万円/年）と藤白台保育園（257百万円/年）が他と比較して多く、その他の保育園はおおむね170～200百万円/年程度となっています。南千里保育園、藤白台保育園については、事業運営費が他の保育所より多く、これは、園児数が他より多いことによるもので、支出状況を園児1人当たり（1か月当たり）で見ると、128千円/人（西山田保育園）～163千円/人（千里山保育園）となっており、施設ごとの差異はほとんどみられません。施設の延床面積1㎡当たりで見ると、173千円/㎡（ことぶき保育園）～279千円/㎡（山田保育園）となっています。

保育所

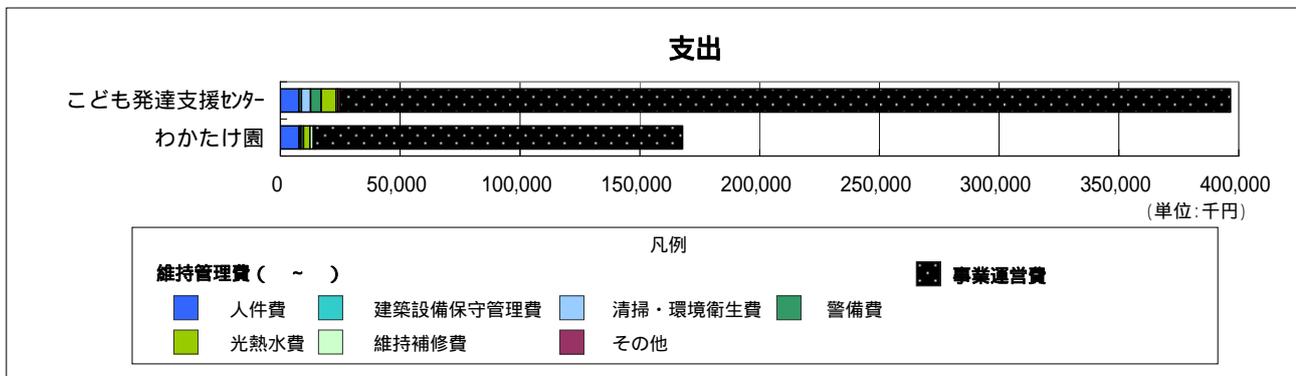
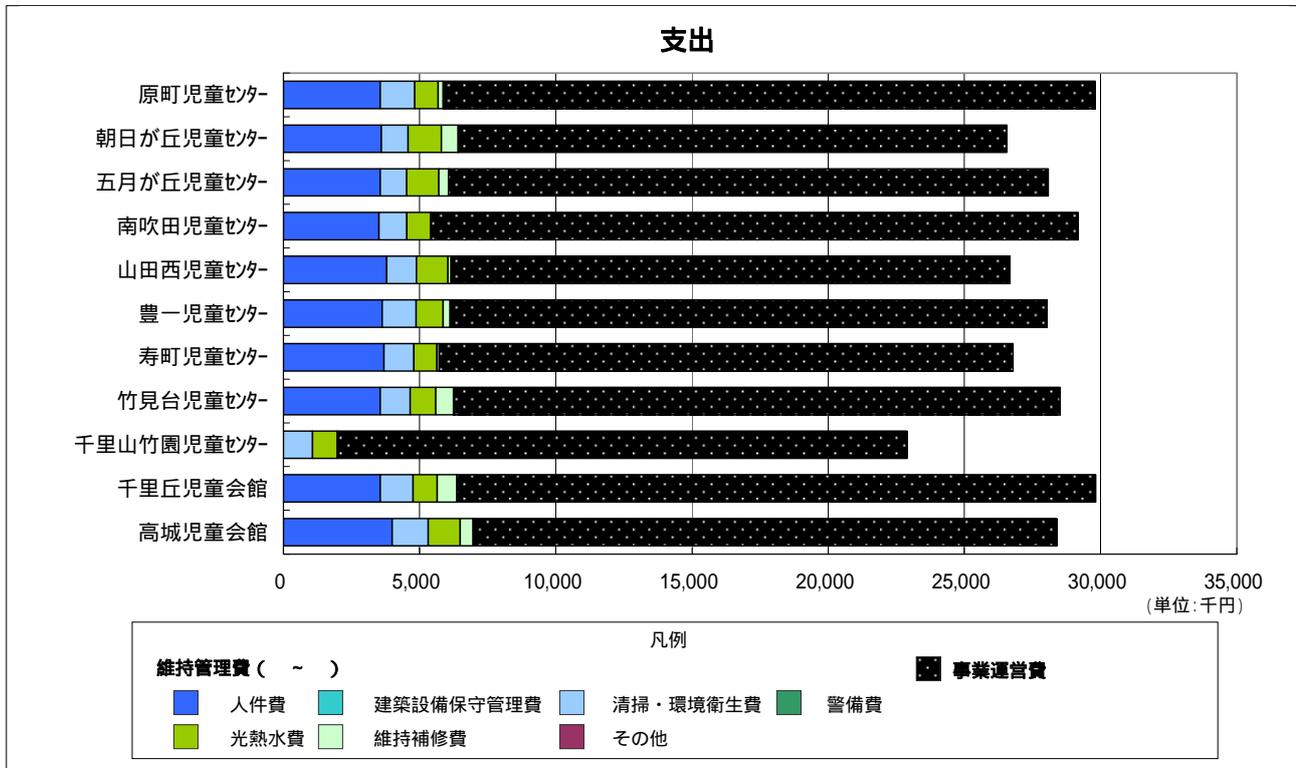


保育所



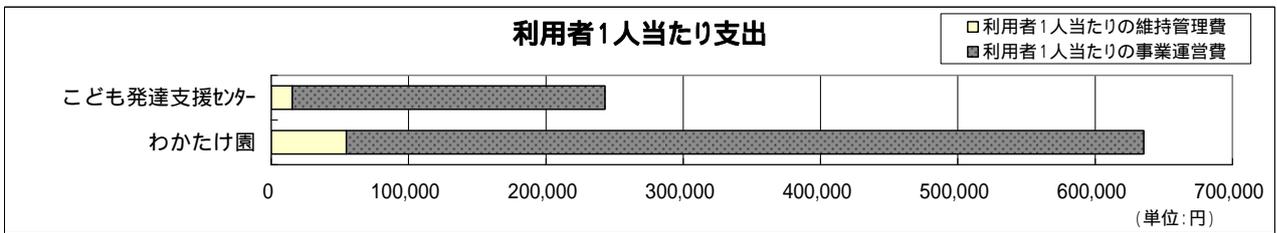
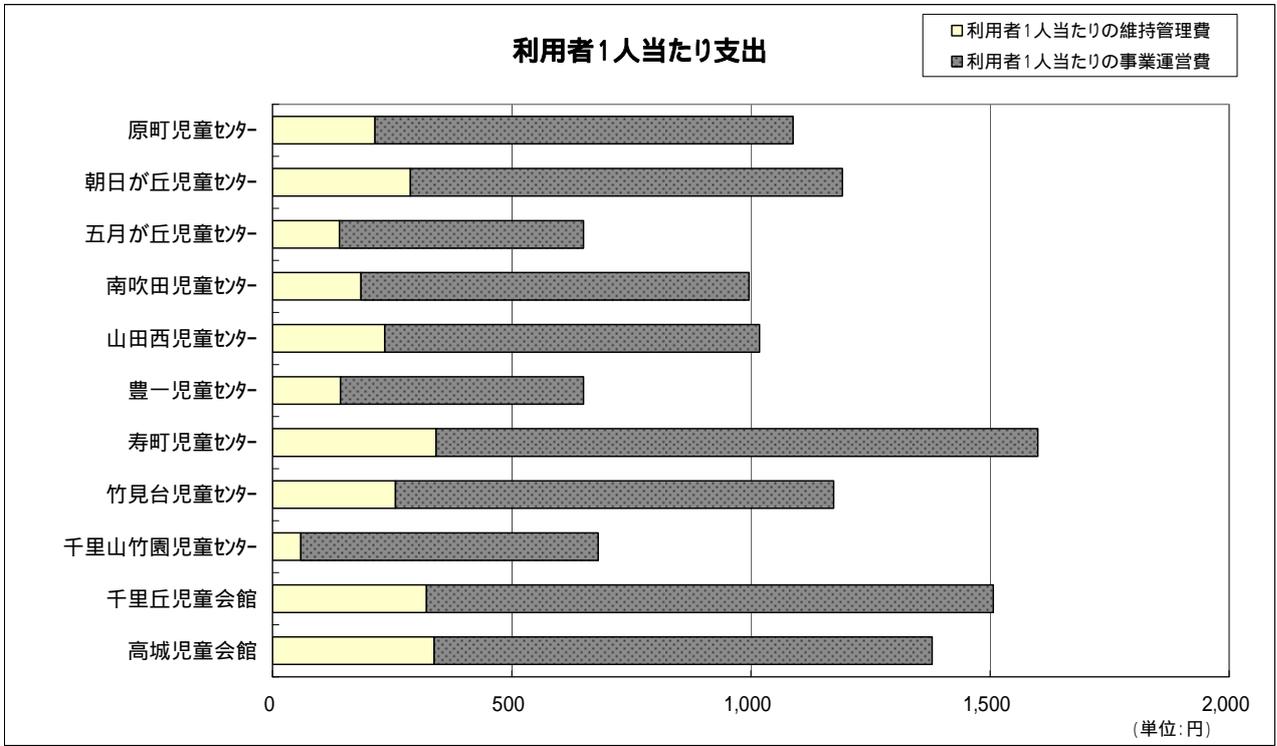
児童会館・児童センターの支出状況を見ると、おおむね 23～30 百万円/年程度となっています。

また、こども発達支援センターは、397 百万円/年、わかたけ園は、168 百万円/年となっています。



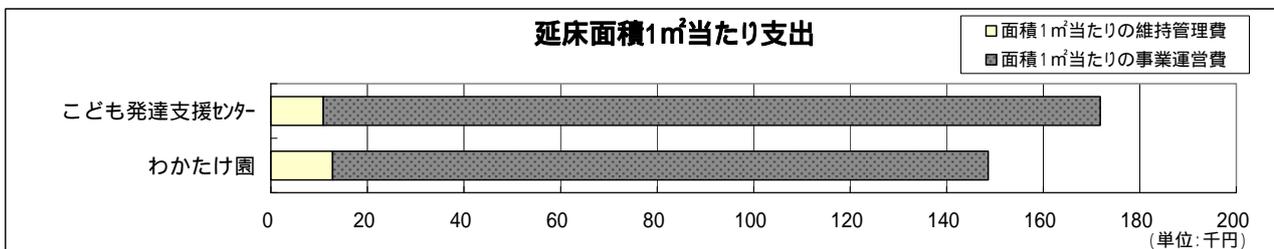
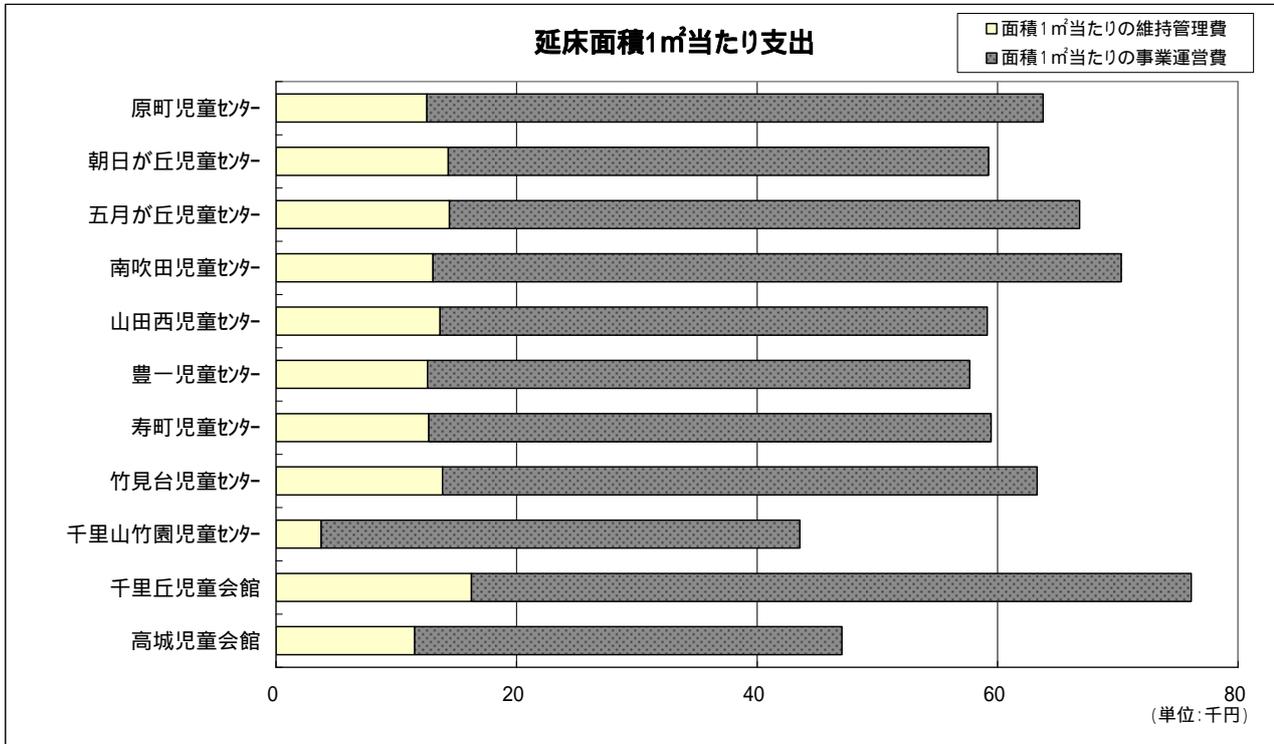
児童会館・児童センターの支出状況を利用者1人当たりで見ると、1千円/人程度となっています。

こども発達支援センターの支出状況を利用者1人当たりで見ると243千円/人、わかたけ園は、635千円/人となっています。



児童会館・児童センターの支出状況を延床面積 1㎡当たりで見ると、44 千円/㎡（千里山竹園児童センター）～76 千円/㎡（千里丘児童会館）となっています。

こども発達支援センターは、172 千円/㎡、わかたけ園は、149 千円/㎡となっています。



イ 子育て支援施設

(ア) 概要

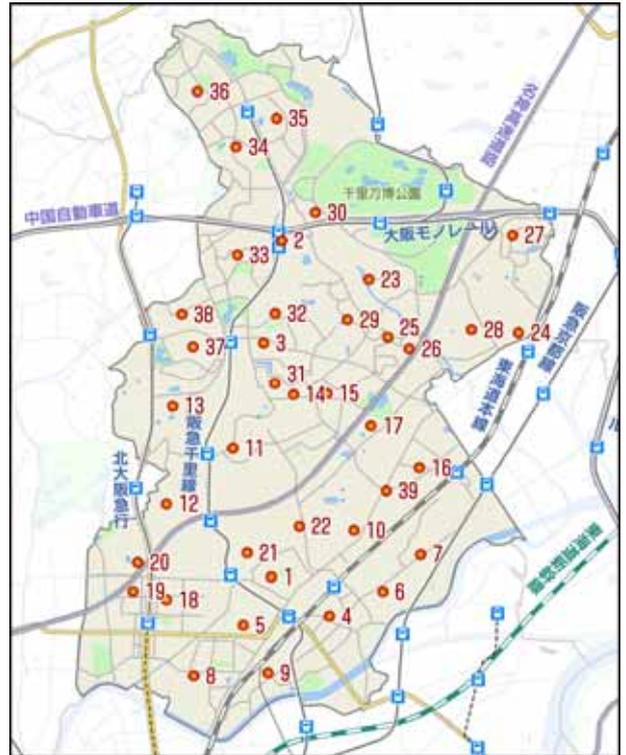
夢つながり未来館の子育て支援機能を担う施設として、のびのび子育てプラザがあります。

また、保護者が働いていたり、病気などのため、放課後、家庭に帰っても留守家庭になる児童の健全育成を図るため、すべての小学校内に留守家庭児童育成室を開設しています。

その他、育児上の課題を持った子どもとその保護者に対し、親子で楽しく遊ぶことを中心に、よりよい親子関係づくりをすすめ、学習会や育児の相談を通して、安心して子育てができるよう援助するバンビ親子教室、育児サークルで子育ての仲間づくりの活動をしている市民の皆さんが、親子で利用する佐竹台地域交流室があります。

また、市内の認可保育所等の入所児童で、病期中又は病気の回復期にある児童を預かることにより、子育て世帯の就労を支援する岸部診療所病児・病後児保育室があります。

< 配置図 (子育て支援施設) >



(イ) 建物の状況

のびのび子育てプラザは、平成 22 年度(2010 年度)に建設された夢つながり未来館に設置されている施設です。

留守家庭児童育成室は、市内の小中学校内に開設している施設であり、一部のプレハブ校舎を除き、既存の校舎を利用しているため、建物状況については、小中学校と同様となります。

バンビ親子教室は、昭和 62 年度(1987 年度)に開設しましたが、昭和 61 年度(1986 年度)に建設された総合福祉会館内にあり、建設後 26 年が経過しています。

佐竹台地域交流室は、府営住宅建替事業に伴い建設された分譲マンションの 1 室の寄附を受け平成 22 年度(2010 年度)に開設した施設です。

岸部診療所病児・病後児保育室は、岸部診療所内に平成 20 年度(2008 年度)に開設した施設です。

番号	施設名称	建設年度	単独 ・ 複合	延床 面積 (㎡)	支出(千円)			
					維持管理費	事業運営費	総額	
1	バンビ親子教室	昭和62年	1987	複合	248	0	86,651	86,651
2	のびのび子育てプラザ*1	平成22年	2010	複合	626	16,952	47,756	64,708
3	佐竹台地域交流室	平成22年	2010	複合	156	420	0	420
4	吹一留守家庭児童育成室	昭和50年	1975	複合	95	587	20,044	20,631
5	吹二留守家庭児童育成室	昭和46年	1971	複合	131	604	25,500	26,104
6	吹三留守家庭児童育成室	昭和47年	1972	複合	192	729	32,296	33,025
7	東留守家庭児童育成室	昭和50年	1975	複合	128	641	17,493	18,134
8	南留守家庭児童育成室	平成20年	2008	複合	273	791	30,914	31,705
9	吹六留守家庭児童育成室	昭和50年	1975	複合	128	709	8,034	8,743
10	千一留守家庭児童育成室	昭和53年	1978	複合	128	586	18,911	19,497
11	千二留守家庭児童育成室	昭和50年	1975	複合	112	589	16,342	16,931
12	千三留守家庭児童育成室	昭和52年	1977	複合	224	605	28,259	28,864
13	千里新田留守家庭児童育成室	平成11年	1999	複合	164	551	21,469	22,020
14	佐井寺留守家庭児童育成室	昭和58年	1983	複合	172	571	20,140	20,711
15	東佐井寺留守家庭児童育成室	平成元年	1989	複合	130	624	14,860	15,484
16	岸一留守家庭児童育成室	昭和54年	1979	複合	98	534	8,105	8,639
17	岸二留守家庭児童育成室	昭和51年	1976	複合	130	565	21,421	21,986
18	豊一留守家庭児童育成室	平成18年	2006	複合	265	947	44,354	45,301
19	豊二留守家庭児童育成室	昭和54年	1979	複合	131	553	24,137	24,690
20	江坂大池留守家庭児童育成室	昭和55年	1980	複合	68	545	8,068	8,613
21	山手留守家庭児童育成室	昭和48年	1973	複合	159	713	30,921	31,634
22	片山留守家庭児童育成室	昭和61年	1986	複合	146	568	24,101	24,669
23	山一留守家庭児童育成室	平成20年	2008	複合	201	544	14,789	15,333
24	山二留守家庭児童育成室	昭和52年	1977	複合	119	559	14,880	15,439
25	山三留守家庭児童育成室	昭和51年	1976	複合	128	560	17,518	18,078
26	山五留守家庭児童育成室	昭和61年	1986	複合	64	719	10,720	11,439
27	東山田留守家庭児童育成室	昭和61年	1986	複合	149	582	18,886	19,468
28	南山田留守家庭児童育成室	平成20年	2008	複合	213	618	40,399	41,017
29	西山田留守家庭児童育成室	昭和54年	1979	複合	128	723	10,984	11,707
30	北山田留守家庭児童育成室	昭和55年	1980	複合	128	1,054	21,634	22,688
31	佐竹台留守家庭児童育成室	昭和43年	1968	複合	202	716	14,803	15,519
32	高野台留守家庭児童育成室	昭和41年	1966	複合	174	531	12,058	12,589
33	津雲台留守家庭児童育成室	昭和45年	1970	複合	176	918	14,789	15,707
34	古江台留守家庭児童育成室	昭和45年	1970	複合	177	954	22,801	23,755
35	藤白台留守家庭児童育成室	昭和46年	1971	複合	130	767	24,229	24,996
36	青山台留守家庭児童育成室	昭和42年	1967	複合	128	749	21,340	22,089
37	桃山台留守家庭児童育成室	昭和46年	1971	複合	105	1,830	8,069	9,899
38	千里たけみ留守家庭児童育成室	平成15年	2003	複合	128	537	10,772	11,309
39	岸部診療所病児・病後児保育室	平成20年	2008	複合	447	2,070	26,478	28,548

*1 子育て青少年拠点夢つながり未来館に設置

注) バンビ親子教室、佐竹台地域交流室と全ての留守家庭児童育成室、岸部診療所病児・病後児保育室は開設年度

(ウ) 利用状況

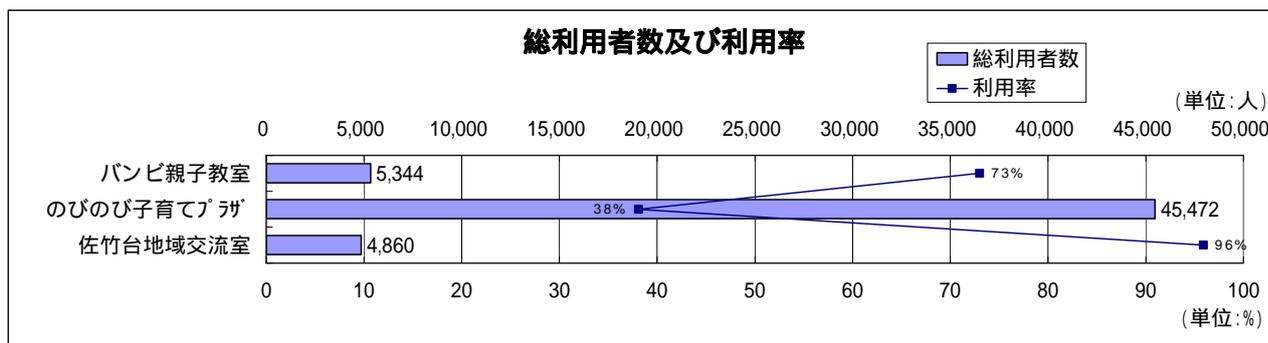
バンビ親子教室の利用状況は、5.3 千人/年となっており、入室児の出席率は 73%となっています。

のびのび子育てプラザの利用状況は、45.5 千人/年となっており、貸室の利用率は 38%となっています。

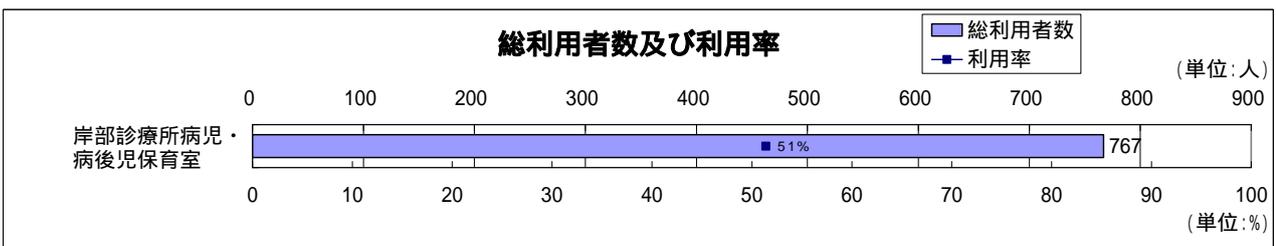
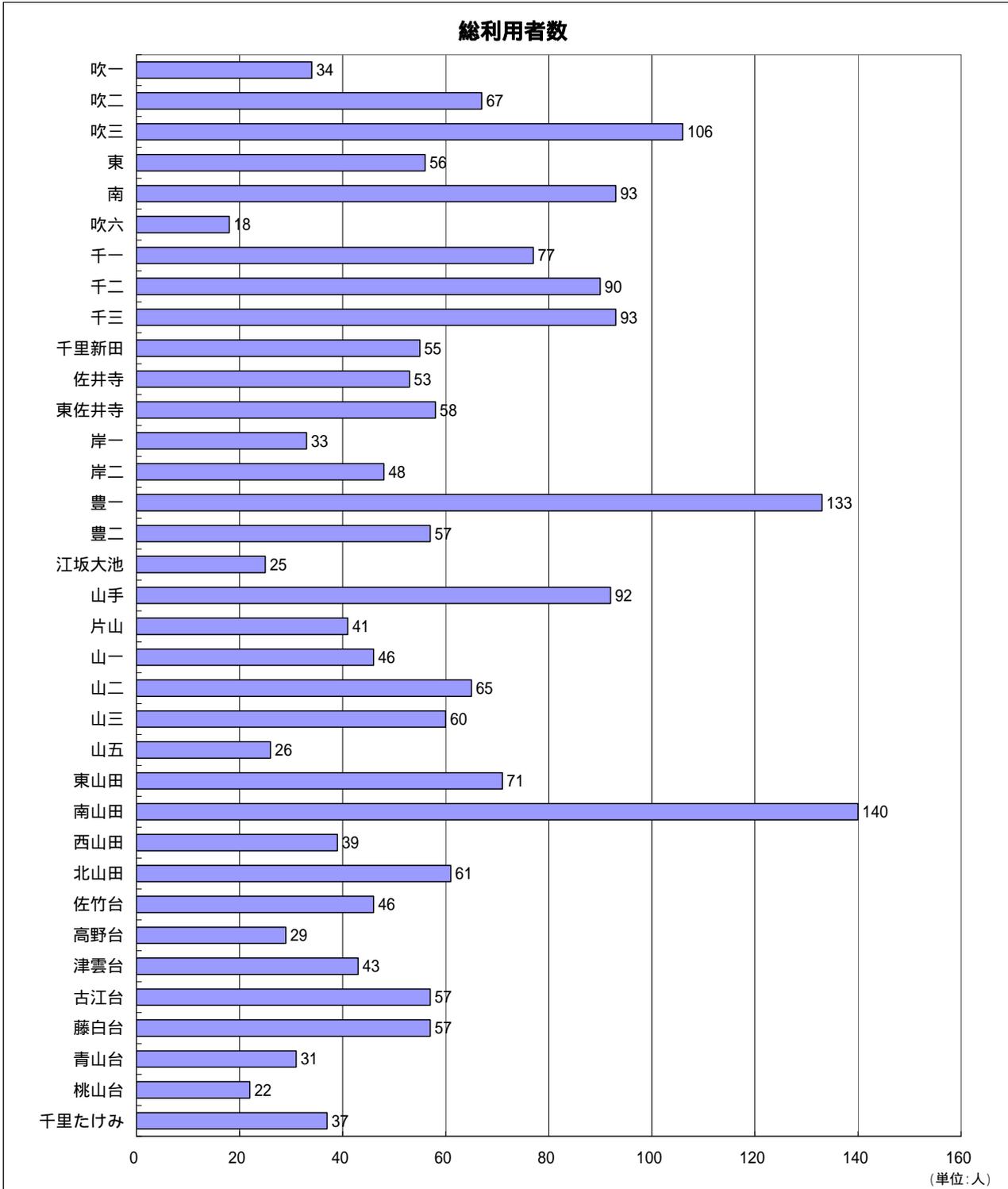
佐竹台地域交流室の利用状況は、4.9 千人/年となっており、貸室の利用率は 96%と高い利用率となっています。

留守家庭児童育成室の利用状況（登録児童数）は、18 人/室（吹六育成室）～140 人/室（南山田育成室）となっています。平均利用者数は 59 人/室となっております。

岸部診療所病児・病後児保育室の利用状況は、767 人/年、施設の性質上キャンセル率が高く、利用率は 51%となっています。



留守家庭児童育成室

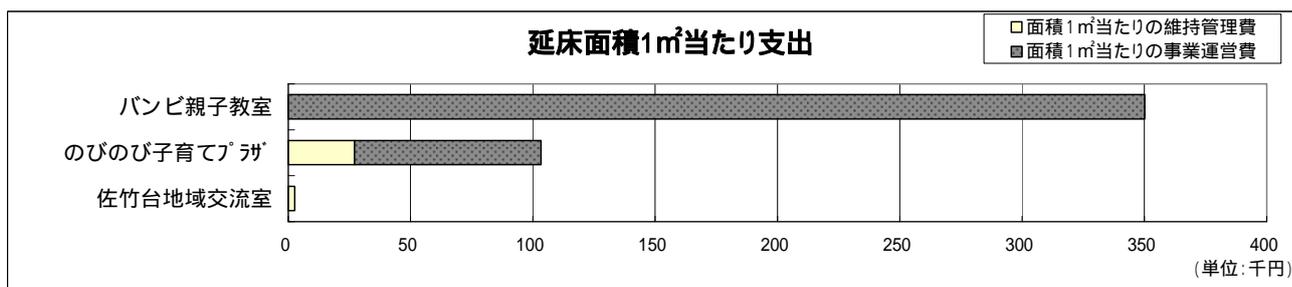
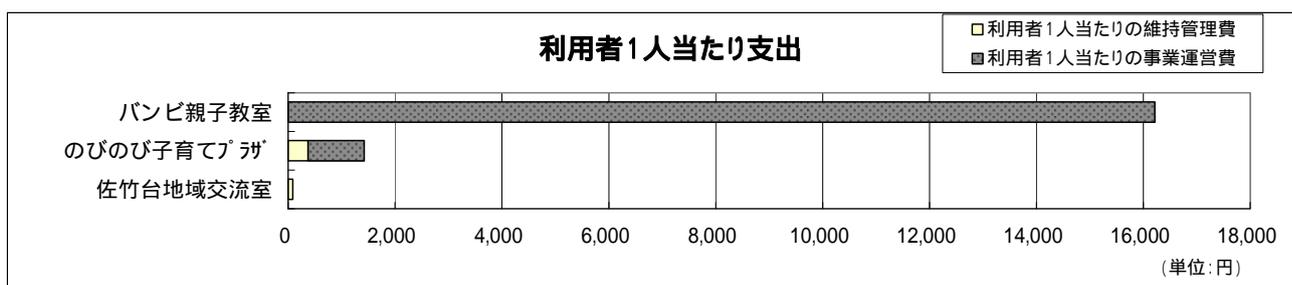
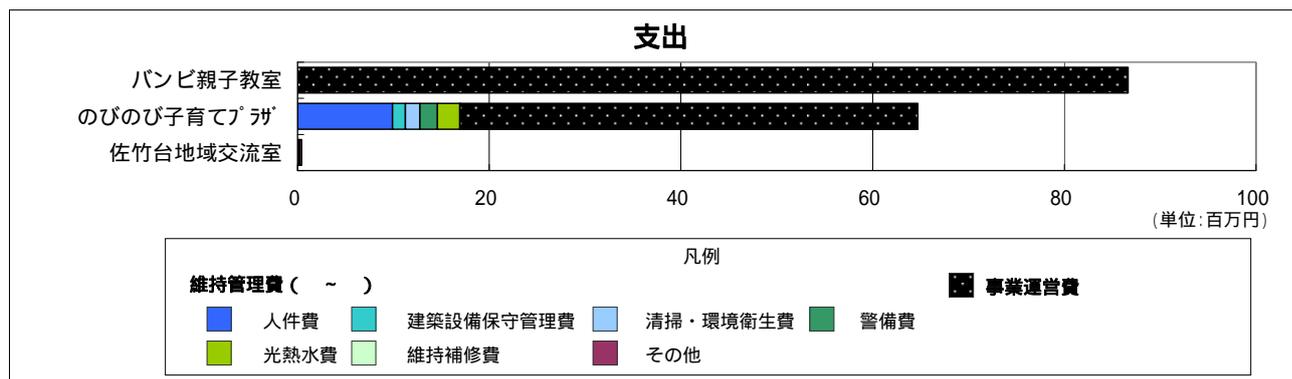


(エ) 支出の状況

バンビ親子教室の支出状況をみると、87百万円/年で、利用者1人当たりで見ると16千円/人、延床面積1㎡当たりで見ると349千円/㎡となっています。

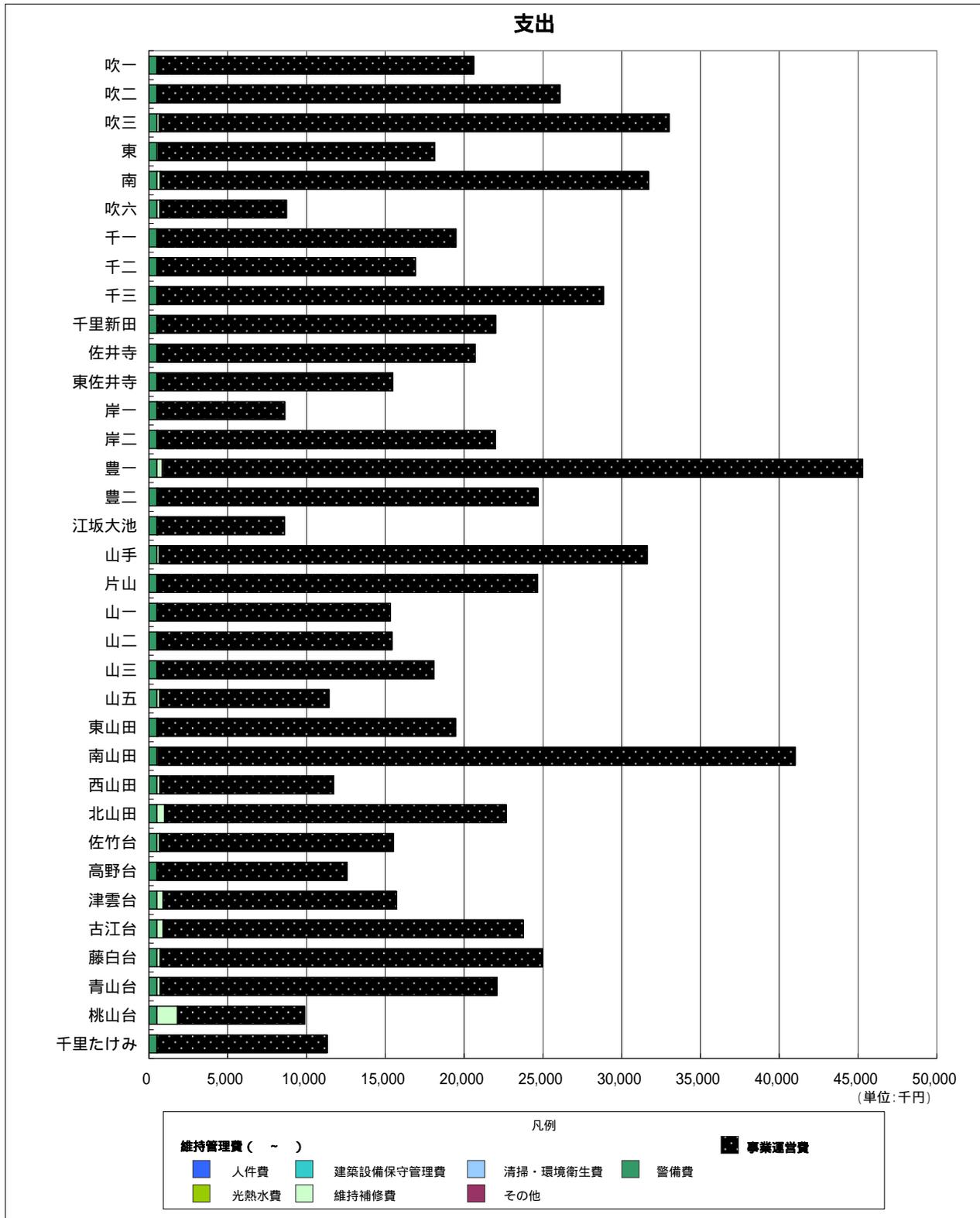
のびのび子育てプラザは、65百万円/年で、利用者1人当たりで見ると1,423円/人、延床面積1㎡当たりで見ると103千円/㎡となっています。

佐竹台地域交流室は、420千円/年で、利用者1人当たりで見ると86円/人、延床面積1㎡当たりで見ると2,692円/㎡となっています。



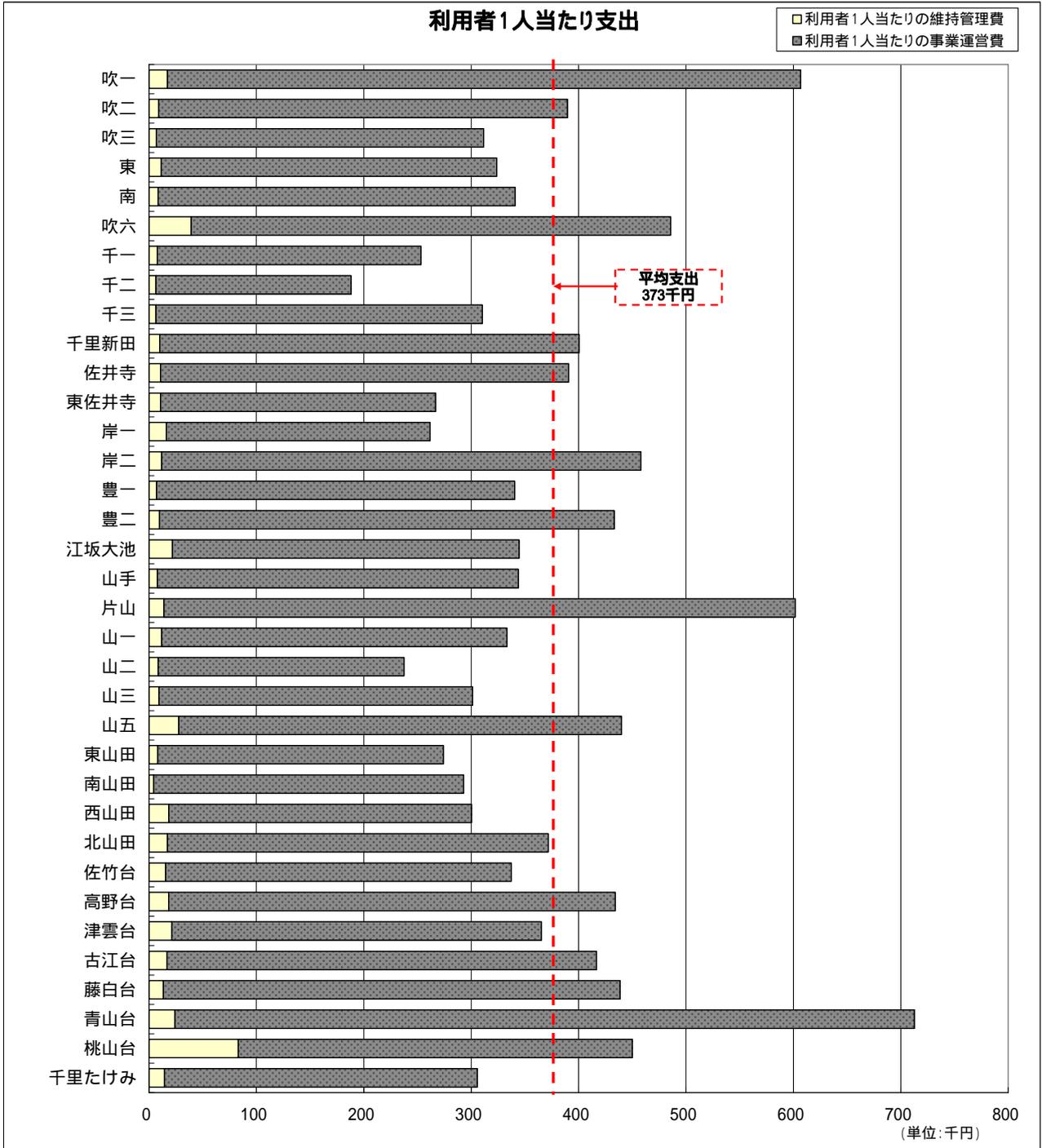
留守家庭児童育成室の支出状況をみると、9百万円/年(江坂大池育成室)～45百万円/年(豊一育成室)となっています。支出状況を利用者1人当たりで見ると、188千円/人(千二育成室)～713千円/人(青山台育成室)で、平均は373千円/人となっています。

留守家庭児童育成室



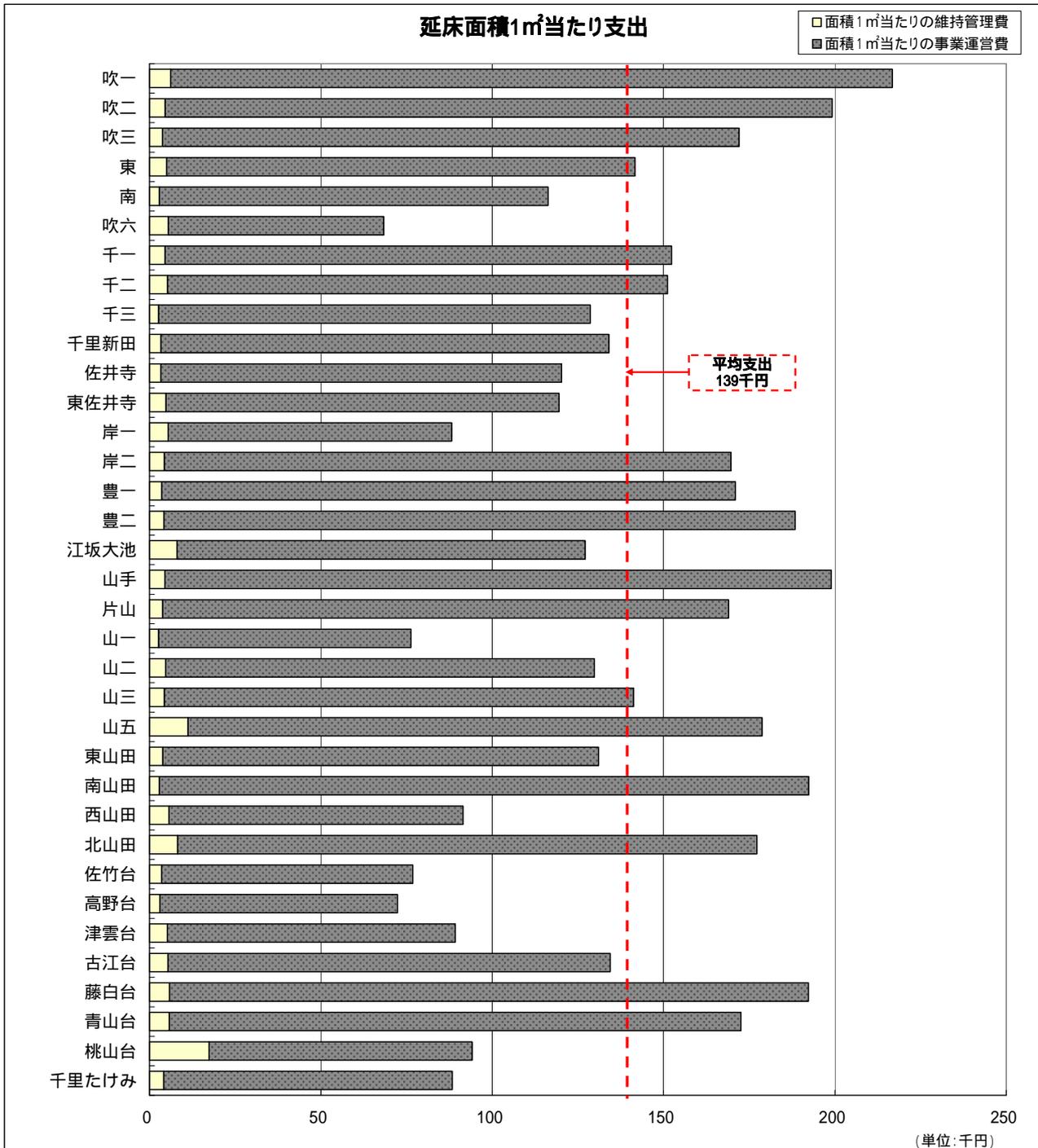
留守家庭児童育成室

利用者1人当たり支出

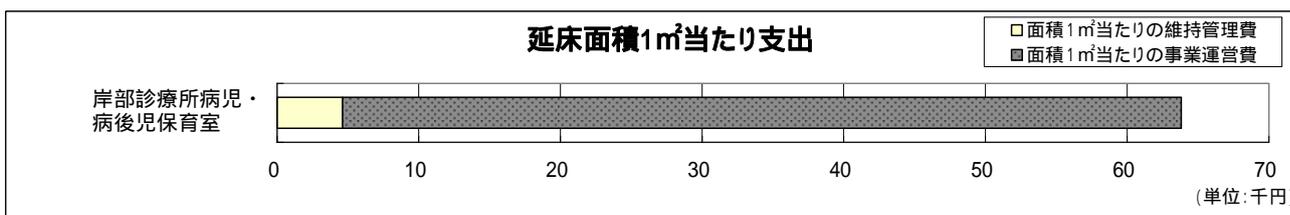
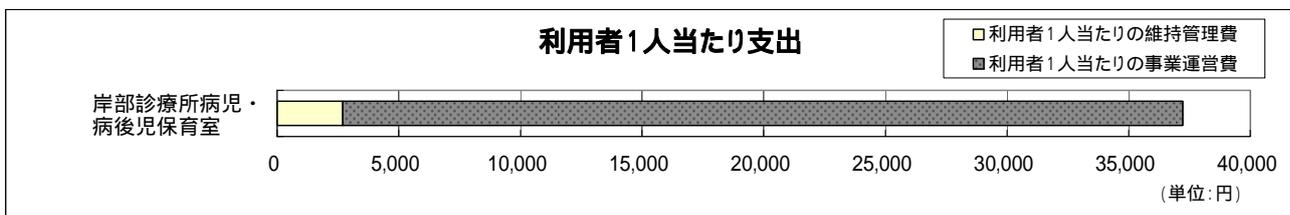
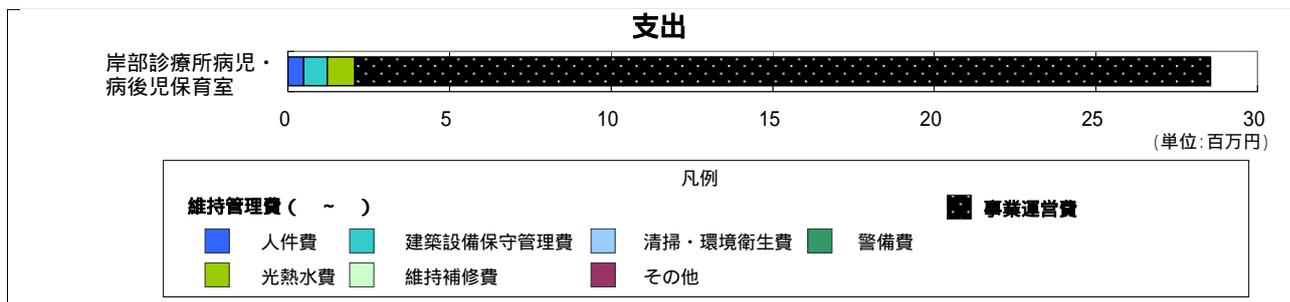


留守家庭児童育成室の支出状況を延床面積 1 m²あたりで見ると、68 千円/m²（吹六育成室）～217 千円/m²（吹一育成室）で、平均は 139 千円/m²となっています。

留守家庭児童育成室



岸部診療所病児・病後児保育室の支出状況を見ると、29 百万円/年で、利用者 1 人当たりで見ると 37 千円/人、延床面積 1 m²当たりで見ると 64 千円/m²となっています。



(5) 学校施設

ア 幼稚園

(ア) 概要

本市には、市立と私立を合わせて 33 園の幼稚園（市立 16 園、私立 17 園）がありますが、本書では、市立幼稚園 16 園を対象とします。

なお、市立幼稚園については、就学前の子どもの健やかな育ちを保障するため、「就学前の子どもの教育・保育に関する将来ビジョン」（平成 24 年度（2012 年度）中策定予定）に基づき、市立保育所とともに幼保一体化施設への移行を進めていきます。

<配置図（幼稚園）>



(イ) 建物の状況

佐竹台幼稚園と古江台幼稚園は、単独の施設として設置されていますが、他の 14 園は、小学校の施設の一部を幼稚園舎として使用しています。

現在の施設は、佐竹台幼稚園が最も古く昭和 37 年度（1962 年度）に佐竹台小学校として建設されたものを昭和 39 年度（1964 年度）から幼稚園として使用しています。また、最も新しい東佐井寺幼稚園でも昭和 56 年度（1981 年度）に建設されており、全ての施設が建設後 30 年以上を経過しています。

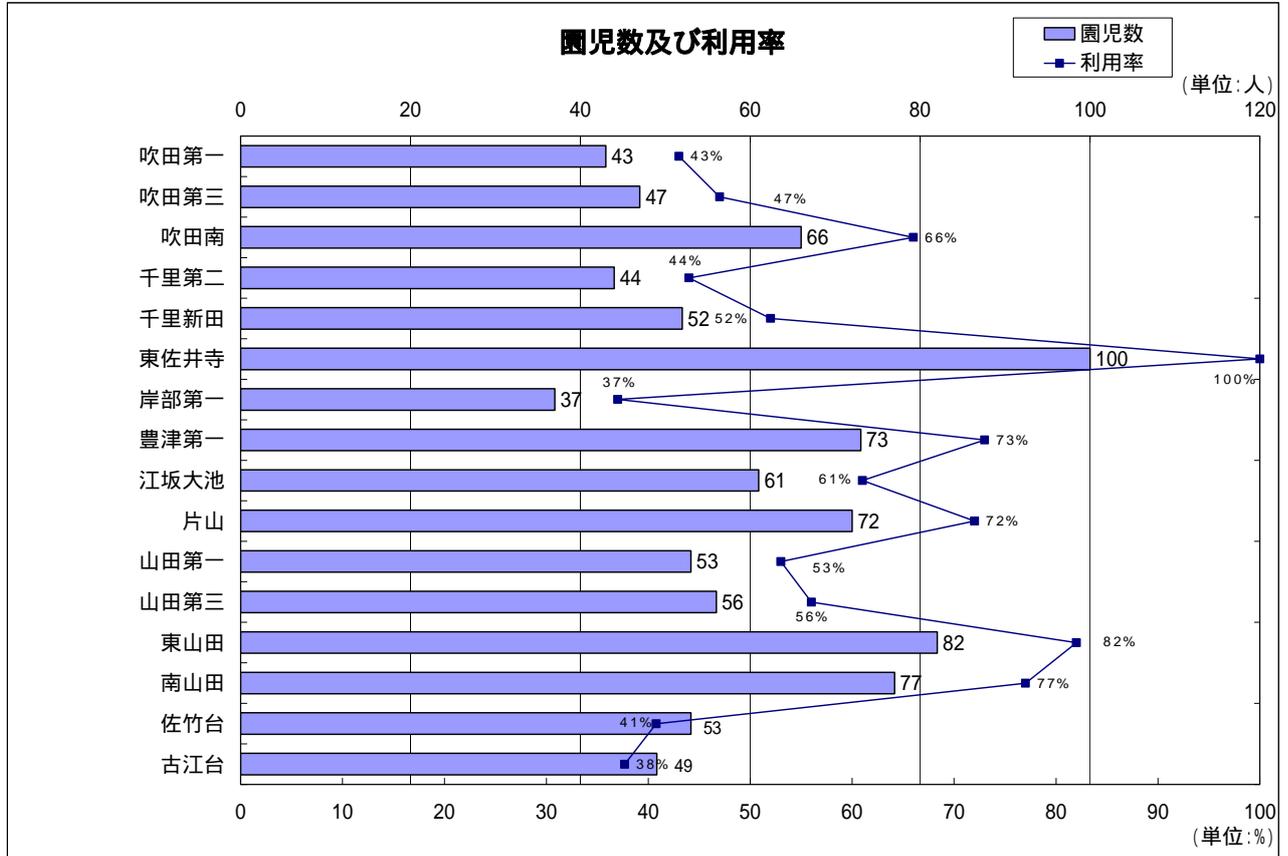
番号	施設名称	建設年度	単独・複合	延床面積 (㎡)	支出(千円)			
					維持管理費	事業運営費	総額	
1	吹田第一幼稚園	昭和40年	1965	複合	831	2,843	30,971	33,814
2	吹田第三幼稚園	昭和54年	1979	複合	683	9,971	35,240	45,211
3	吹田南幼稚園	昭和47年	1972	複合	746	4,902	35,390	40,292
4	千里第二幼稚園	昭和54年	1979	複合	626	11,938	36,202	48,140
5	千里新田幼稚園	昭和53年	1978	複合	701	5,836	30,067	35,903
6	東佐井寺幼稚園	昭和56年	1981	複合	628	2,221	39,015	41,236
7	岸部第一幼稚園	昭和46年	1971	複合	813	2,858	29,982	32,840
8	豊津第一幼稚園	昭和47年	1972	複合	703	4,207	38,966	43,173
9	江坂大池幼稚園	昭和53年	1978	複合	607	2,592	31,013	33,605
10	片山幼稚園	昭和54年	1979	複合	626	6,478	38,934	45,412
11	山田第一幼稚園	-	-	-	-	3,700	30,930	34,630
12	山田第三幼稚園	昭和53年	1978	複合	783	2,520	34,363	36,883
13	東山田幼稚園	昭和55年	1980	複合	629	2,719	35,669	38,388
14	南山田幼稚園	昭和51年	1976	複合	600	2,828	39,054	41,882
15	佐竹台幼稚園	昭和37年	1962	単独	1,300	4,817	34,594	39,411
16	古江台幼稚園	昭和44年	1969	単独	689	4,770	43,343	48,113

1 山田第一幼稚園は平成 25 年 3 月まで仮設リース園舎を使用

(ウ) 利用状況

幼稚園の入園児数は、平成 16 年度の 1,250 人をピークに減少が続き、平成 23 年度の園児数は 965 人で、定員 1,660 人に対する充足率では 58.1%となっています。

幼稚園



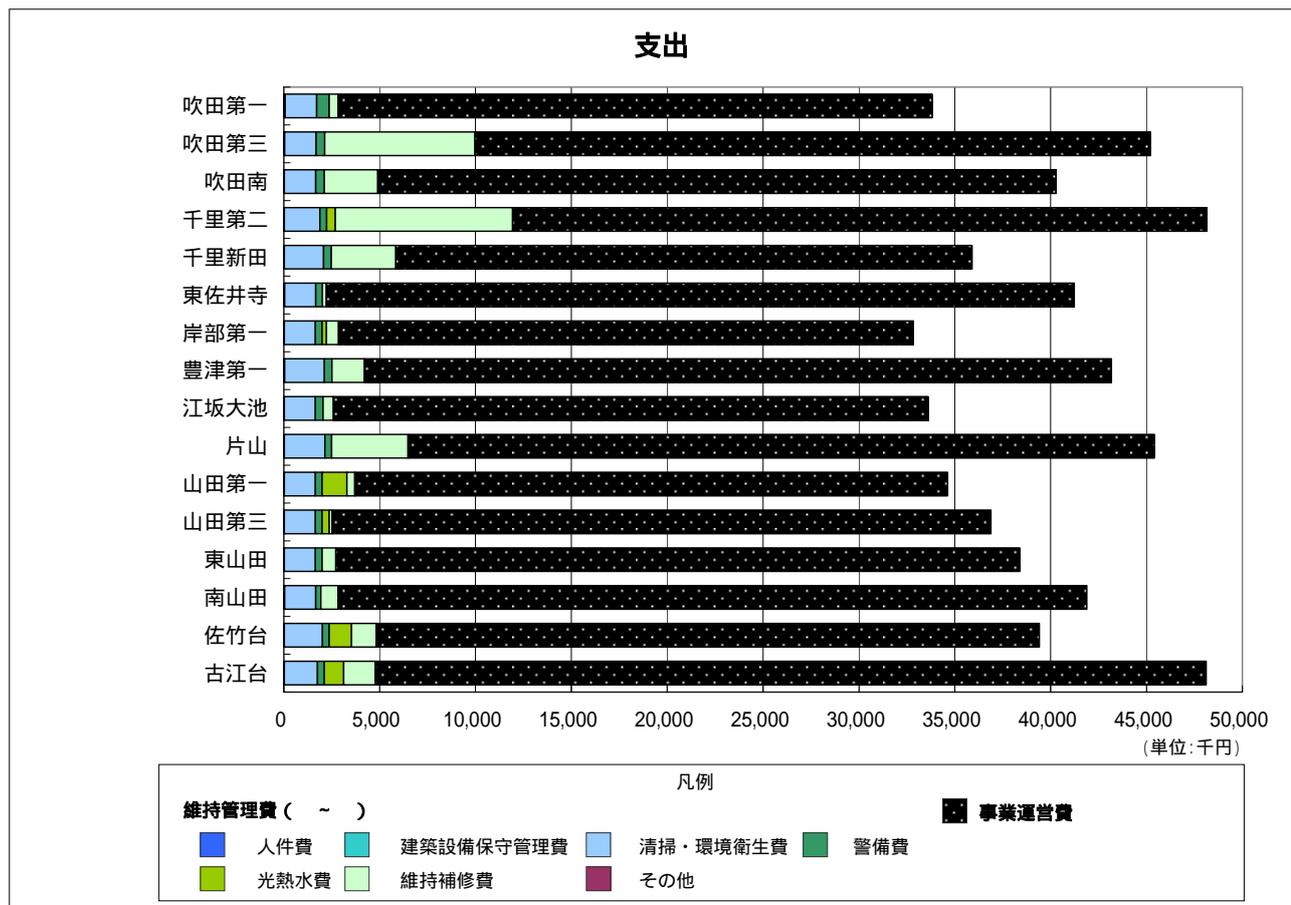
(エ) 支出の状況

幼稚園の支出状況は、維持補修費については、吹田第三幼稚園・千里第二幼稚園が多くなっていますが、これらの差異は、年次的に幼稚園ごとに行っている、建具改修工事等の大規模な維持補修工事を実施したことによるものです。今後も、年度ごとに園間で差異は生じます。

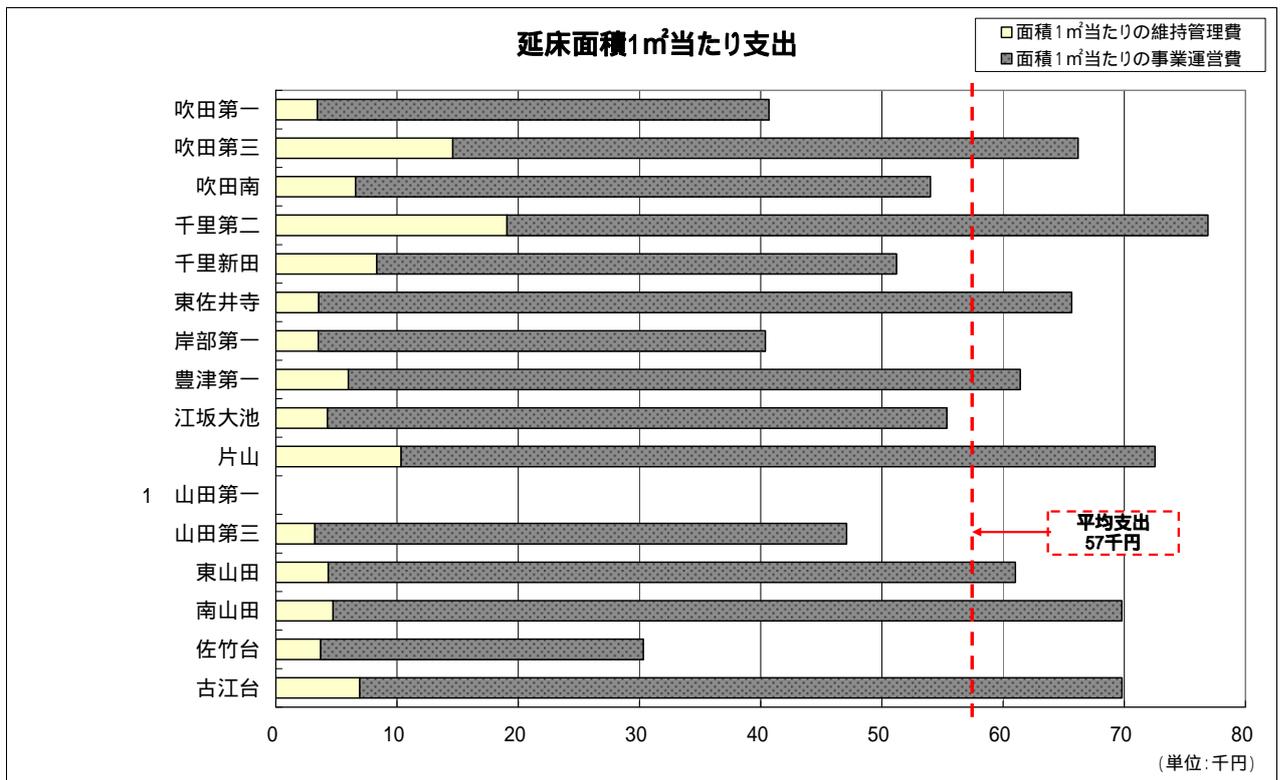
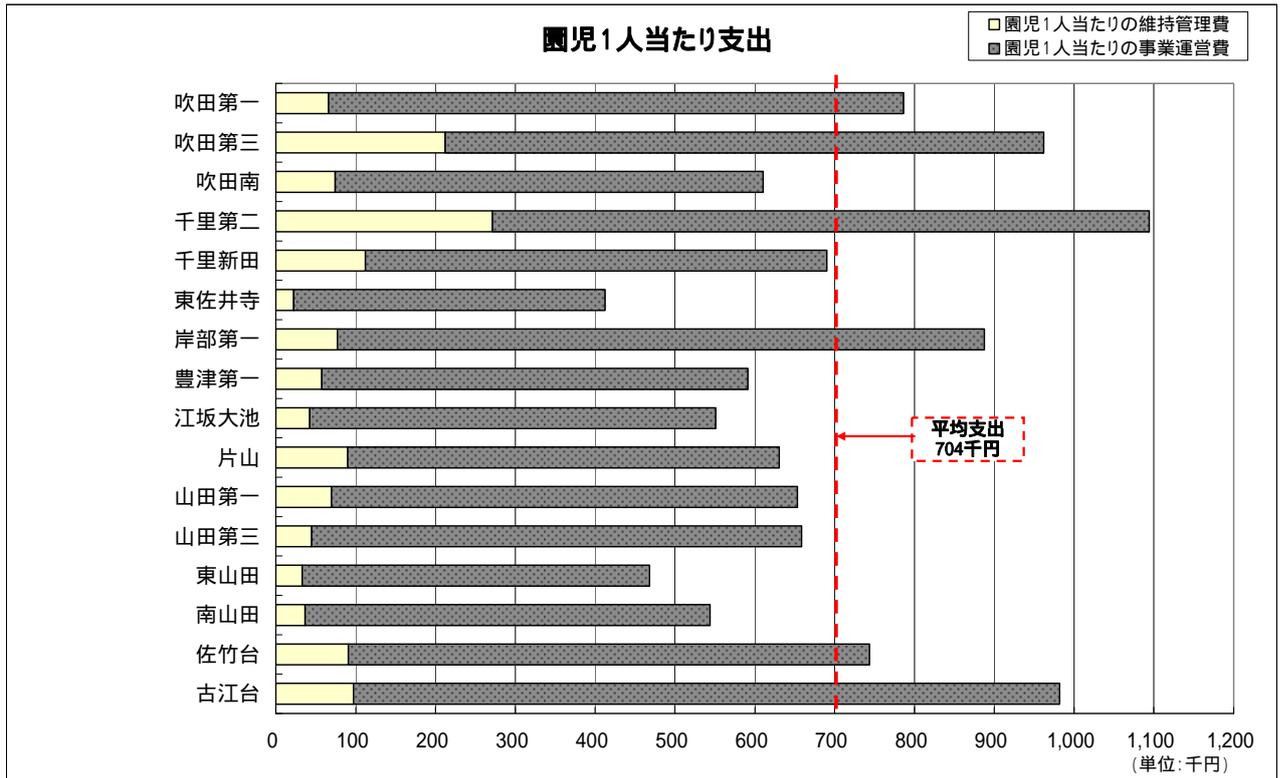
支出状況を園児1人当たりで見ると、412千円/人(東佐井寺幼稚園)～1,094千円/人(千里第二幼稚園)となっています。また、施設の延床面積1㎡あたりで見ると、30千円/㎡(佐竹台幼稚園)～77千円/㎡(千里第二幼稚園)となっています。

幼稚園

支出



幼稚園



1 山田第一幼稚園は平成 25 年 3 月まで仮設リース園舎を使用

イ 小学校

(ア) 概要

本市には、市立小学校が 35 校あります。

小学校のグラウンドや体育館等は、「学校体育施設開放事業」などによる地域コミュニティ活動の場となり、また、災害時における一時避難地や避難所にも指定されていることから、市民主体のまちづくり推進の場としても利用されています。

<配置図 (小学校)>



(イ) 建物の状況

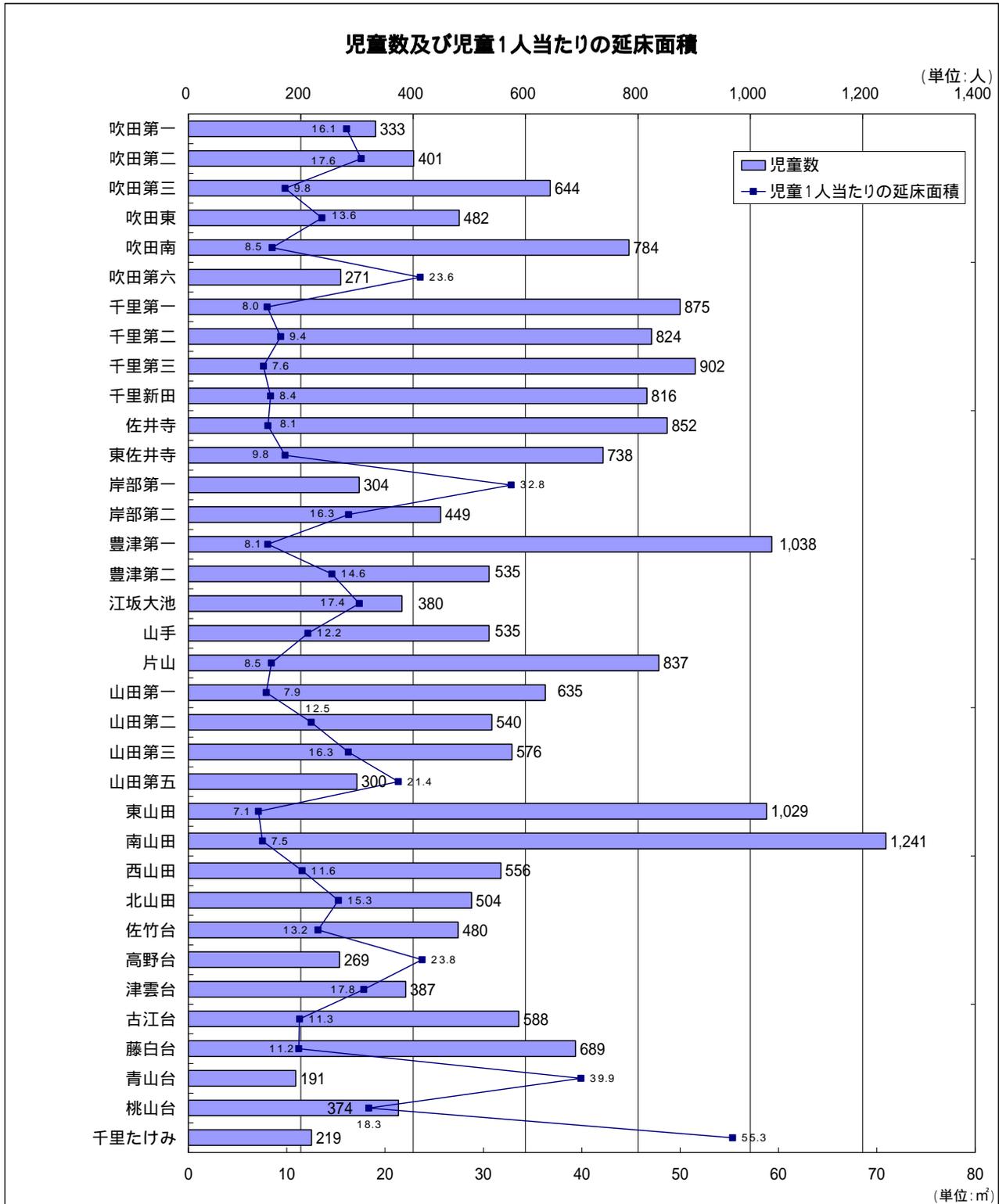
小学校は、最も古い吹田第一小学校の一部校舎が昭和 4 年度(1929 年度)、最も新しい山田第五小学校でも昭和 60 年度(1985 年度)に建設されています。昭和 40 年代から 50 年代にかけての児童数の急増により、分離、新設校を建設してきましたが、現在では、建物の経過年数で 50 年以上が 10 校、40～49 年が 14 校、30～39 年が 10 校、30 年未満が 1 校となっています。

番号	施設名称	建設年度		単独 複合	延床 面積 (㎡)	支出(千円)		
		昭和	平成			維持管理費	事業運営費	総額
1	吹田第一小学校	昭和4年	1929	複合	5,358	44,105	47,038	91,143
2	吹田第二小学校	昭和37年	1962	複合	7,047	40,093	52,745	92,838
3	吹田第三小学校	昭和45年	1970	複合	6,336	34,056	46,951	81,007
4	吹田東小学校	昭和32年	1957	複合	6,549	28,713	40,552	69,265
5	吹田南小学校	昭和44年	1969	複合	6,684	60,286	64,631	124,917
6	吹田第六小学校	昭和47年	1972	複合	6,391	25,200	35,086	60,286
7	千里第一小学校	昭和10年	1935	複合	7,012	41,757	67,797	109,554
8	千里第二小学校	昭和31年	1956	複合	7,733	42,457	55,040	97,497
9	千里第三小学校	昭和43年	1968	複合	6,885	38,123	62,868	100,991
10	千里新田小学校	昭和53年	1978	複合	6,828	45,775	57,168	102,943
11	佐井寺小学校	昭和57年	1982	複合	6,887	28,487	60,033	88,520
12	東佐井寺小学校	昭和56年	1981	複合	7,257	30,151	58,542	88,693
13	岸部第一小学校	昭和38年	1963	複合	9,977	41,555	51,753	93,308
14	岸部第二小学校	昭和36年	1961	複合	7,313	36,631	49,078	85,709
15	豊津第一小学校	昭和47年	1972	複合	8,379	31,434	65,756	97,190
16	豊津第二小学校	昭和44年	1969	複合	7,803	62,674	40,645	103,319
17	江坂大池小学校	昭和53年	1978	複合	6,608	26,296	48,342	74,638
18	山手小学校	昭和33年	1958	複合	6,506	27,208	46,637	73,845
19	片山小学校	昭和54年	1979	複合	7,075	32,131	54,142	86,273
20	山田第一小学校	昭和37年	1962	複合	5,036	45,698	52,680	98,378
21	山田第二小学校	昭和37年	1962	複合	6,746	40,724	44,107	84,831
22	山田第三小学校	昭和49年	1974	複合	9,372	28,083	45,670	73,753
23	山田第五小学校	昭和60年	1985	複合	6,405	26,231	34,932	61,163
24	東山田小学校	昭和55年	1980	複合	7,341	33,735	74,746	108,481
25	南山田小学校	昭和51年	1976	複合	9,359	44,493	76,228	120,721
26	西山田小学校	昭和53年	1978	複合	6,433	37,037	44,138	81,175
27	北山田小学校	昭和54年	1979	複合	7,692	31,253	42,981	74,234
28	佐竹台小学校	昭和38年	1963	複合	6,333	34,463	40,458	74,921
29	高野台小学校	昭和37年	1962	複合	6,393	26,628	64,311	90,939
30	津雲台小学校	昭和38年	1963	複合	6,906	41,505	46,383	87,888
31	古江台小学校	昭和38年	1963	複合	6,652	30,871	42,807	73,678
32	藤白台小学校	昭和39年	1964	複合	7,731	63,253	51,365	114,618
33	青山台小学校	昭和39年	1964	複合	7,625	30,837	39,492	70,329
34	桃山台小学校	昭和41年	1966	複合	6,861	32,553	54,757	87,310
35	千里たけみ小学校	昭和41年	1966	複合	12,118	23,769	42,430	66,199

(ウ) 利用状況

小学校の児童数をみると、市内各地域の住区の特徴や民間による住宅開発状況による差異が大きく、最も少ない青山台小学校の191人に対し、最も多い南山田小学校は、1,241人となっています。小学校の場合、定員はありませんが、児童1人当たりの延床面積で各校をみると、千里たけみ小学校、青山台小学校、岸部第一小学校が大きいことがうかがえます。

小学校



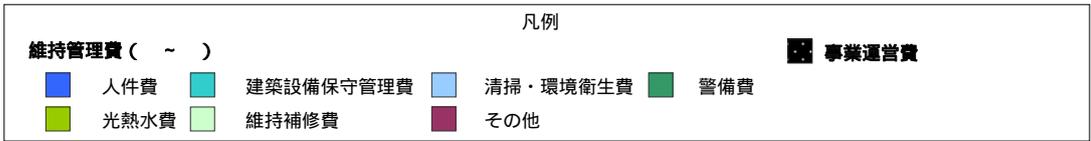
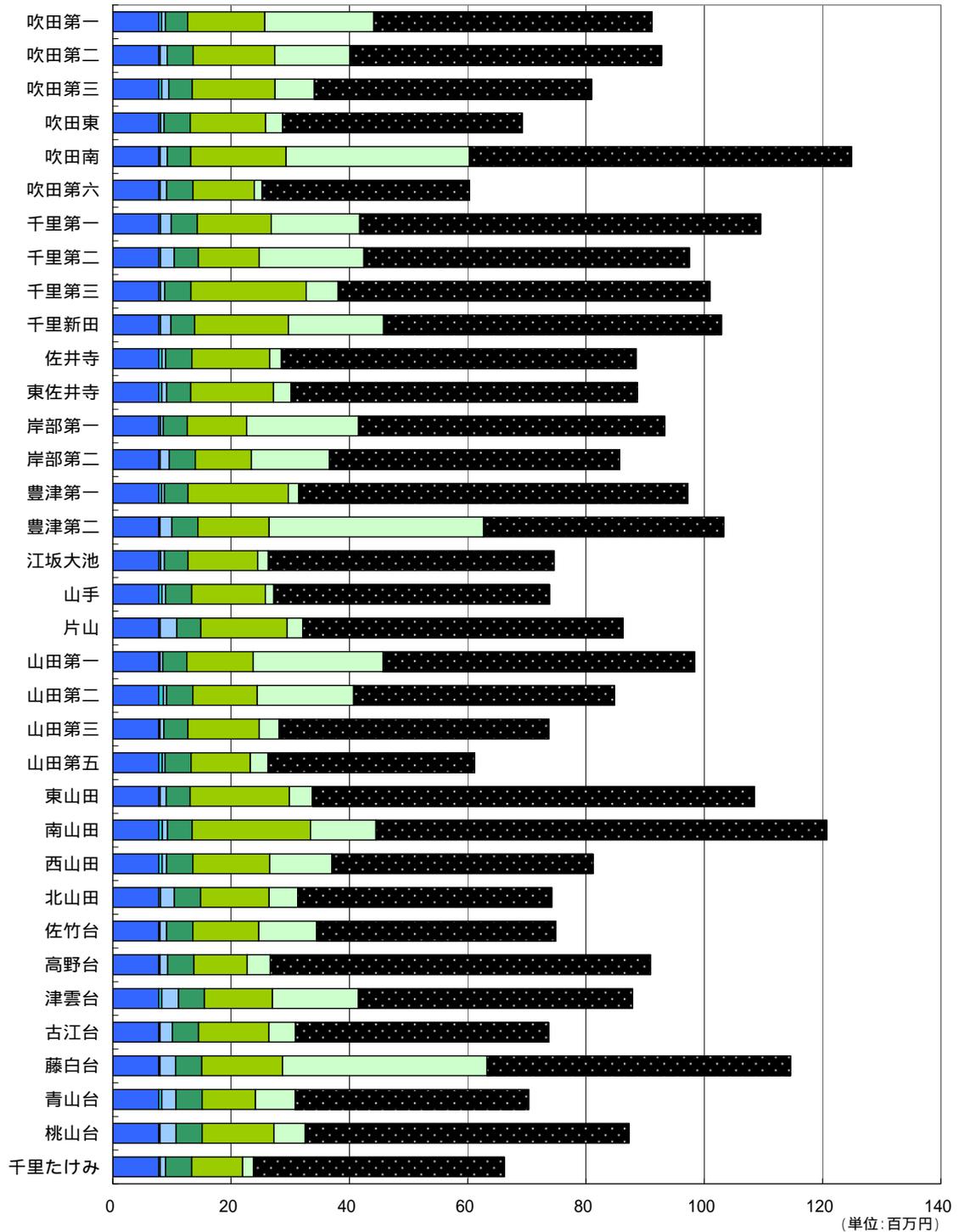
(エ) 支出の状況

小学校の支出状況を見ると、吹田南小学校、南山田小学校、藤白台小学校が他と比較して多くなっていますが、これらの差異は、年次的に実施している防水改修工事などの大規模な維持補修工事や児童数により給食調理に係る費用等が多いことによるものです。今後も、年度ごとに学校間で差異は生じます。

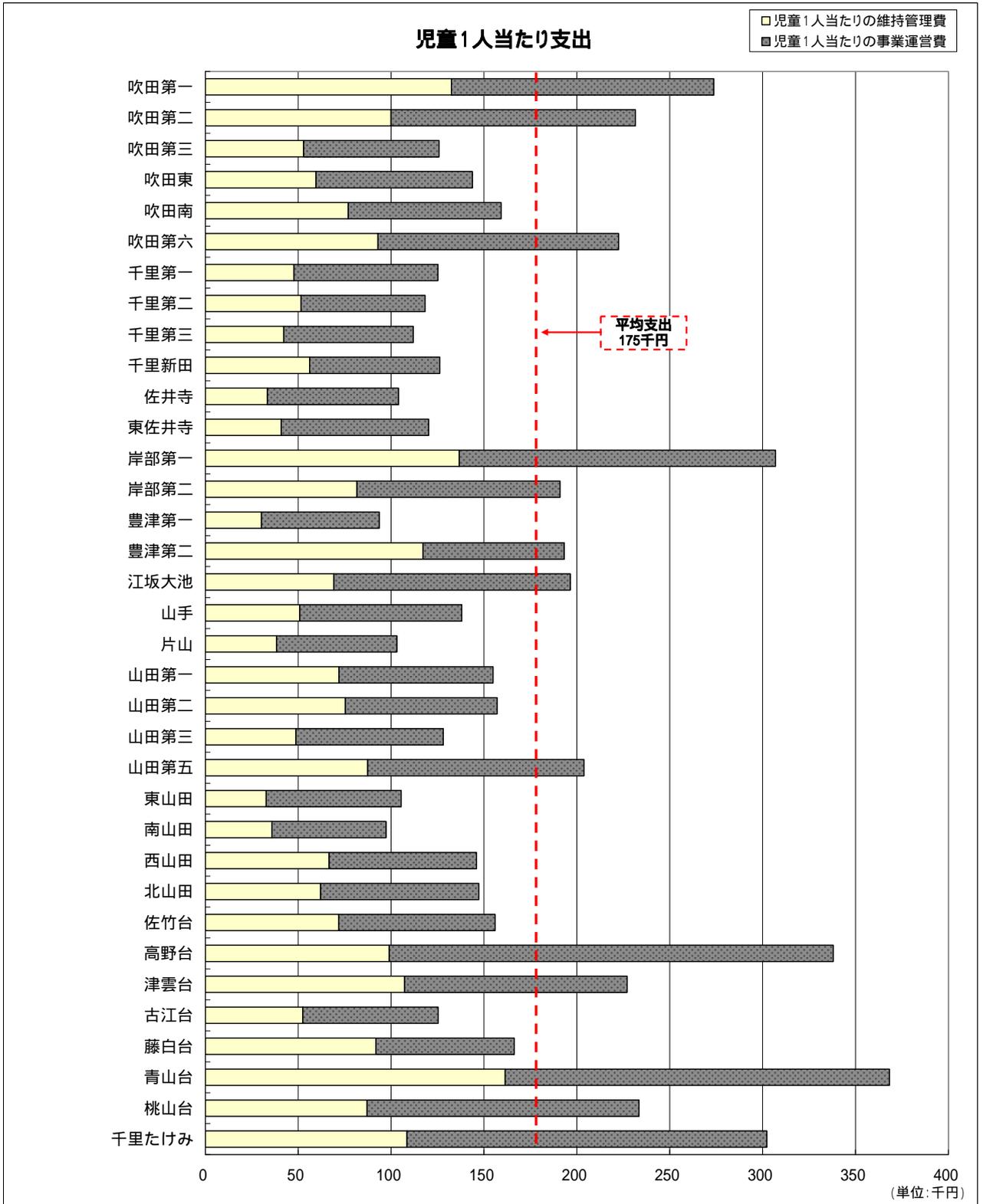
支出状況を単純に児童1人当たりで見ると、94千円/人(豊津第一小学校)～368千円/人(青山台小学校)となっています。また、施設の延床面積1㎡あたりで見ると、5,463円/㎡(千里たけみ小学校)～19,535円/㎡(山田第一小学校)となっています。

小学校

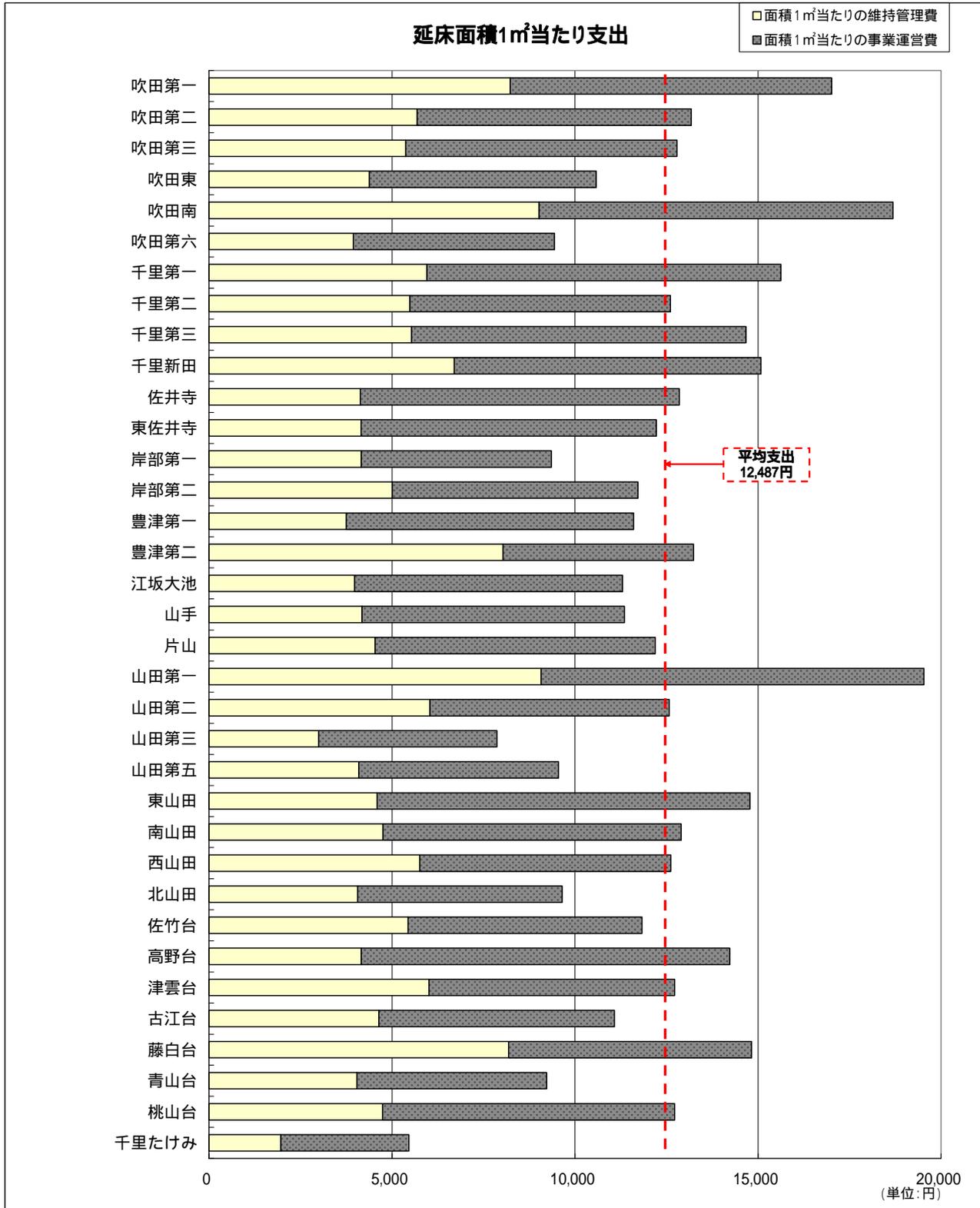
支出



小学校



小学校



ウ 中学校

(ア) 概要

本市には、市立中学校が 18 校あります。

中学校のグラウンドや体育館等は、「学校体育施設開放事業」や「中学校運動場ナイター施設開放事業」などによる地域コミュニティ活動の場となり、また、災害時における一時避難地や避難所にも指定されていることから、市民主体のまちづくり推進の場としても利用されています。

(イ) 建物の状況

中学校は、最も古い豊津中学校が昭和 34 年度(1959 年度)、最も新しい山田東中学校でも昭和 60 年度(1985 年度)に建設されています。昭和 40 年代から 50 年代にかけての生徒数の急増により、新設校を建設してきましたが、現在では、建物の経過年数で 50 年以上が 4 校、40～49 年が 6 校、30～39 年が 7 校、30 年未満が 1 校となっています。

< 配置図 (中学校) >

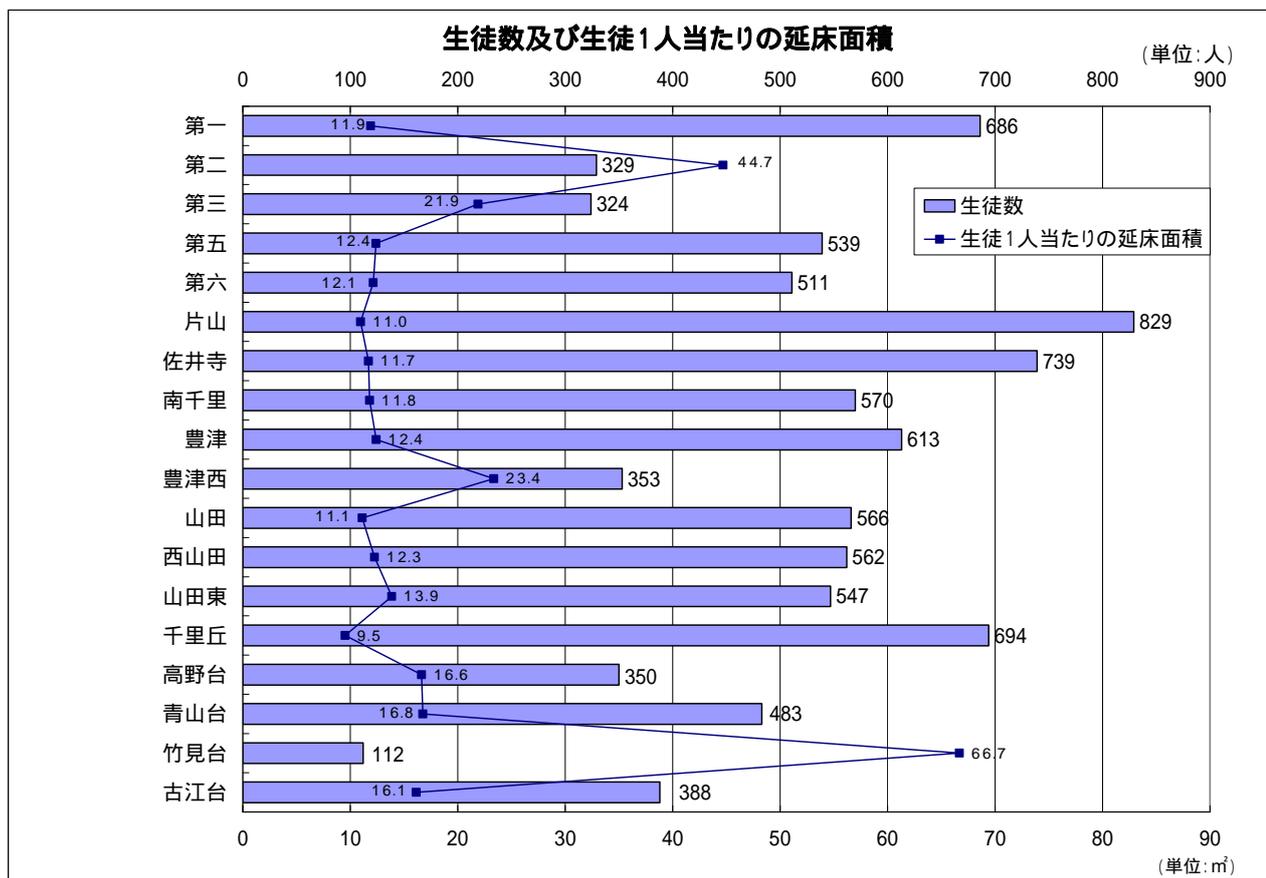


番号	施設名称	建設年度	単独・複合	延床面積 (㎡)	支出(千円)			
					維持管理費	事業運営費	総額	
1	第一中学校	昭和39年	1964	単独	8,158	38,874	27,595	66,469
2	第二中学校	昭和47年	1972	単独	14,702	52,349	17,938	70,287
3	第三中学校	昭和50年	1975	単独	7,091	21,650	17,323	38,973
4	第五中学校	昭和35年	1960	単独	6,676	23,399	23,945	47,344
5	第六中学校	昭和44年	1969	単独	6,205	36,231	29,249	65,480
6	片山中学校	昭和51年	1976	単独	9,086	29,436	34,988	64,424
7	佐井寺中学校	昭和57年	1982	単独	8,641	26,539	27,832	54,371
8	南千里中学校	昭和54年	1979	単独	6,724	57,787	25,082	82,869
9	豊津中学校	昭和34年	1959	単独	7,612	30,758	26,461	57,219
10	豊津西中学校	昭和49年	1974	単独	8,244	33,000	21,453	54,453
11	山田中学校	昭和36年	1961	単独	6,293	25,539	23,736	49,275
12	西山田中学校	昭和53年	1978	単独	6,892	24,414	26,128	50,542
13	山田東中学校	昭和60年	1985	単独	7,585	24,674	21,213	45,887
14	千里丘中学校	昭和51年	1976	単独	6,619	29,139	25,170	54,309
15	高野台中学校	昭和37年	1962	単独	5,821	40,131	19,414	59,545
16	青山台中学校	昭和38年	1963	単独	8,091	36,144	18,216	54,360
17	竹見台中学校	昭和41年	1966	単独	7,468	44,435	15,293	59,728
18	古江台中学校	昭和47年	1972	単独	6,264	49,232	18,031	67,263

(ウ) 利用状況

中学校の生徒数をみると、市内各地域の住区の特徴や民間による住宅開発状況による差異が大きく、最も少ない竹見台中学校の112人に対し、最も多い片山中学校は、829人となっています。中学校の場合、定員はありませんが、生徒1人当たりの延床面積で各校をみると、竹見台中学校や第二中学校が大きいことがうかがえます。

中学校

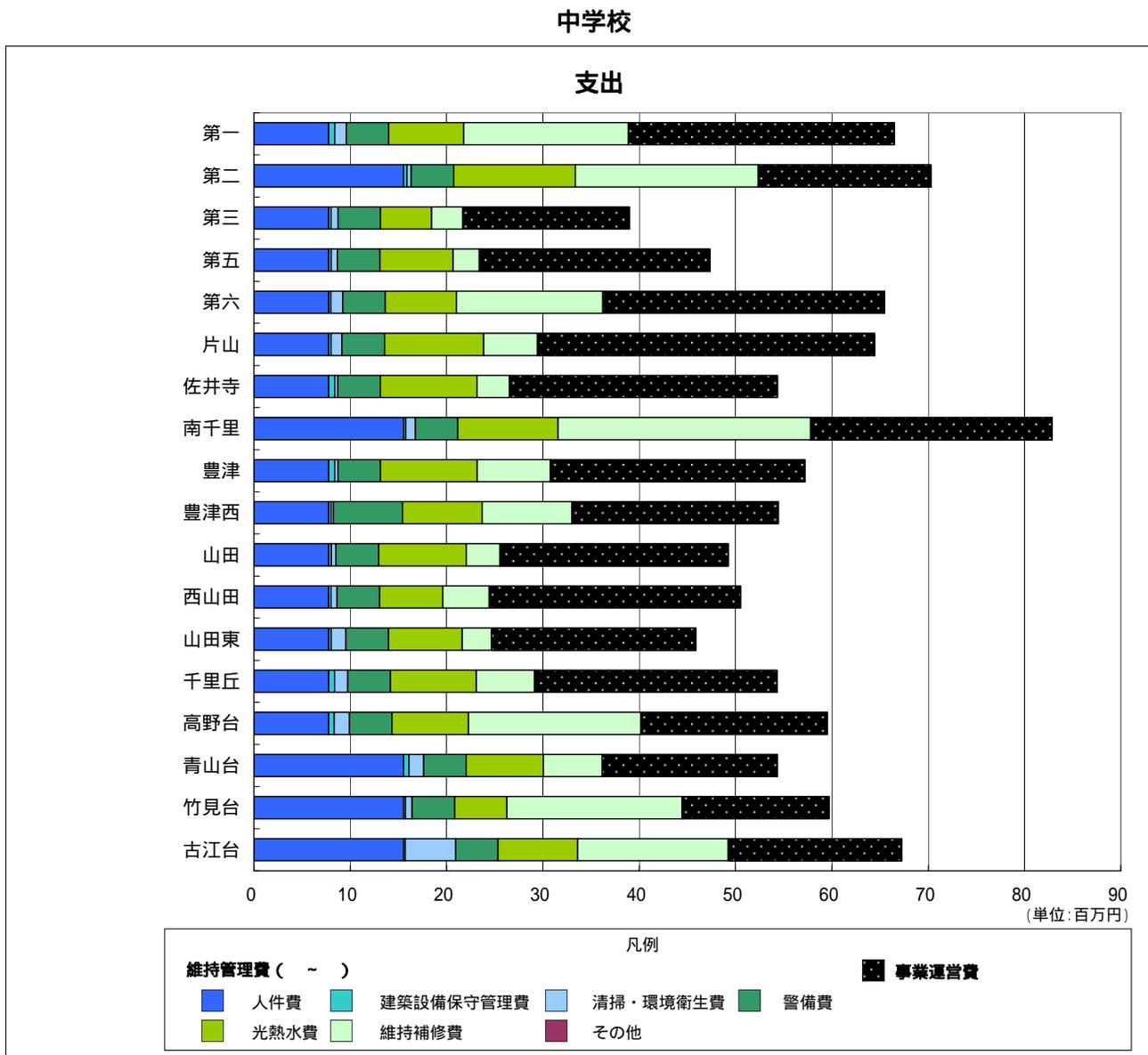


(エ) 支出の状況

中学校の支出状況は、維持補修費については、南千里中学校・第二中学校が他と比較して多くなっていますが、これらの差異は、年次的に学校ごとに行っている、防水改修工事等の大規模な維持補修工事を実施したことによるものです。今後も、年度ごとに学校間で差異は生じます。

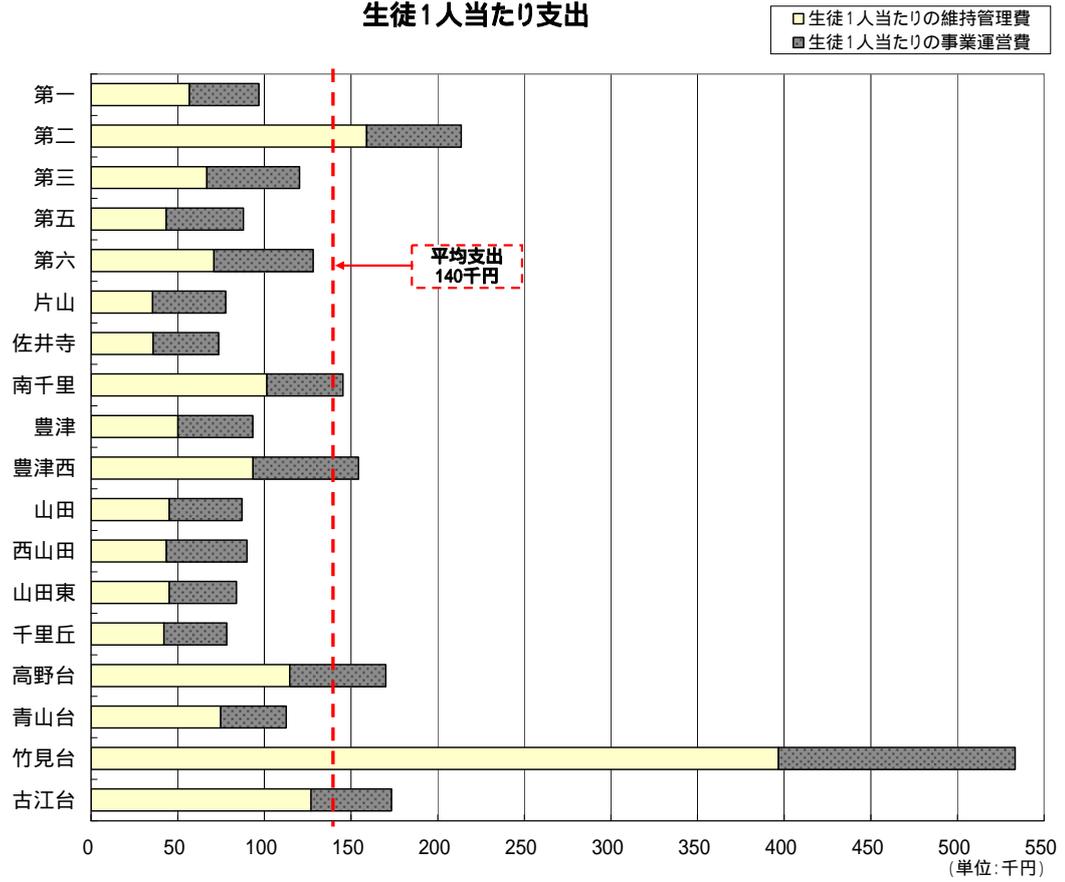
人件費の差異は、敷地面積が広い上位5校に校務員を2名配置していることによるものです。

支出状況を単純に生徒1人当たりでみると、74千円/人(佐井寺中学校)～533千円/人(竹見台中学校)となっています。施設の延床面積1㎡当たりでみると、4,781円/㎡(第二中学校)～12,324円/㎡(南千里中学校)となっています。

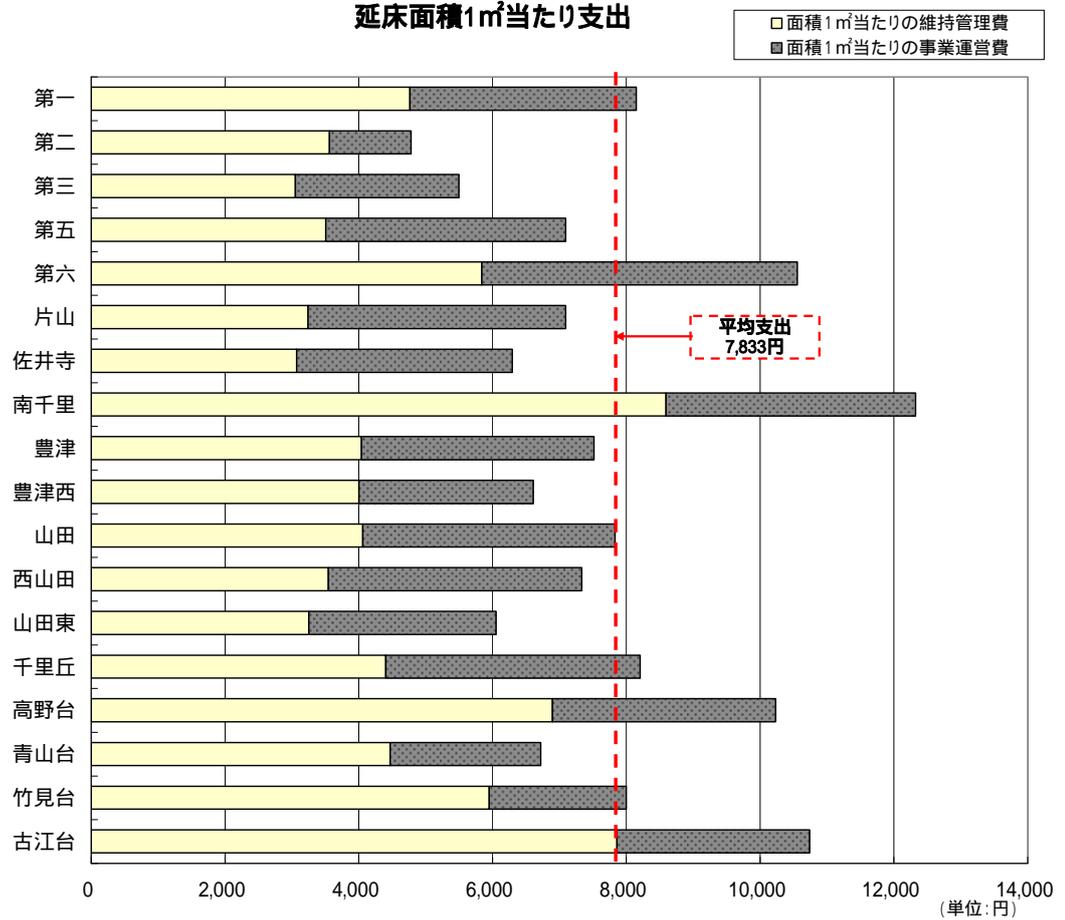


中学校

生徒1人当たり支出



延床面積1㎡当たり支出



(6) 社会福祉関連施設

ア 生きがい活動施設

(ア) 概要

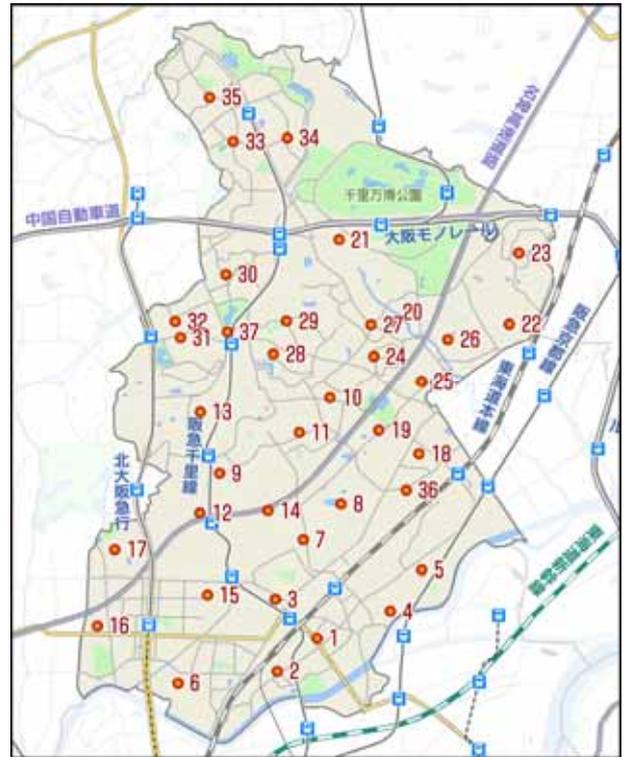
本市には、生きがい活動施設として、高齢者いこいの間、高齢者いこいの家、高齢者生きがい活動センターがあります。

高齢者いこいの間は、地域の高齢者の身近な活動拠点として、市内 35 か所にあります。

高齢者いこいの家は、高齢者の相互交流と社会参加を促進すると共に、高齢者の自立支援を図ることを目的に整備された施設です。

高齢者生きがい活動センターは、高齢者が健康や福祉、生きがいづくりに関する情報を得ることや、いきがい教室等を受講することにより教養を深め、また、相互に交流することで、仲間づくりや世代間交流をはかり、生きがいづくりの拠点として千里ニュータウンプラザ内に設置されています。

< 配置図 (生きがい活動施設) >



(イ) 建物の状況

高齢者いこいの間は、最も古い桃山台が昭和 51 年度 (1976 年度)、最も新しい岸一が平成 20 年度 (2008 年度) に建設されています。経過年数 30 年以上が 12 施設、20~29 年の施設が 14 施設となっています。

高齢者いこいの家は、昭和 62 年度 (1987 年度) に建設され 25 年が経過しており、高齢者生きがい活動センターは、平成 24 年度 (2012 年度) に建設された千里ニュータウンプラザ内に設置されています。

番号	施設名称	建設年度		単独・複合	延床面積 (㎡)	支出(千円)		
		昭和	平成			維持管理費	事業運営費	総額
1	吹一地区高齢者いこいの間	昭和61年	1986	単独	86	111	81	192
2	吹六地区高齢者いこいの間	昭和56年	1981	複合	42	63	50	113
3	吹二地区高齢者いこいの間	昭和55年	1980	複合	37	74	44	118
4	吹三地区高齢者いこいの間	平成2年	1990	複合	85	507	70	577
5	東地区高齢者いこいの間	昭和61年	1986	単独	85	228	83	311
6	吹南地区高齢者いこいの間	昭和62年	1987	複合	80	1	134	135
7	片山地区高齢者いこいの間	昭和59年	1984	複合	40	12	44	56
8	千一地区高齢者いこいの間	平成6年	1994	単独	95	202	70	272
9	千二地区高齢者いこいの間	昭和55年	1980	複合	38	29	180	209
10	東佐井寺地区高齢者いこいの間	昭和61年	1986	複合	43	128	51	179
11	佐井寺地区高齢者いこいの間	昭和62年	1987	複合	43	66	147	213
12	千三地区高齢者いこいの間	昭和54年	1979	複合	37	73	160	233
13	千里新田地区高齢者いこいの間	昭和62年	1987	複合	42	34	44	78
14	山手地区高齢者いこいの間	昭和62年	1987	単独	80	142	70	212
15	豊一地区高齢者いこいの間	平成9年	1997	複合	109	47	284	331
16	豊二地区高齢者いこいの間	昭和56年	1981	複合	42	46	44	90
17	江坂大池地区高齢者いこいの間	昭和60年	1985	複合	42	62	44	106
18	岸一地区高齢者いこいの間	平成20年	2008	複合	76	28	44	72
19	岸二地区高齢者いこいの間	昭和54年	1979	複合	38	16	44	60
20	山一地区高齢者いこいの間	昭和51年	1976	単独	140	0	250	250
21	北山田地区高齢者いこいの間	昭和61年	1986	複合	42	76	44	120
22	山二地区高齢者いこいの間	平成元年	1989	複合	105	1	77	78
23	東山田地区高齢者いこいの間	昭和58年	1983	複合	44	74	109	183
24	山三地区高齢者いこいの間	昭和53年	1978	複合	37	85	106	191
25	山五地区高齢者いこいの間	平成元年	1989	複合	43	74	44	118
26	南山田地区高齢者いこいの間	昭和55年	1980	複合	42	86	44	130
27	西山田地区高齢者いこいの間	昭和56年	1981	複合	44	44	44	88
28	佐竹台地区高齢者いこいの間	平成18年	2006	複合	58	0	10	10
29	高野台地区高齢者いこいの間	平成11年	1999	複合	63	0	10	10
30	津雲台地区高齢者いこいの間	平成11年	1999	複合	69	40	10	50
31	桃山台地区高齢者いこいの間	昭和51年	1976	複合	40	0	10	10
32	竹見台地区高齢者いこいの間	平成5年	1993	複合	45	0	10	10
33	古江台地区高齢者いこいの間	平成5年	1993	複合	44	0	10	10
34	藤白台地区高齢者いこいの間	平成14年	2002	複合	59	0	10	10
35	青山台地区高齢者いこいの間	昭和51年	1976	複合	30	0	10	10
36	高齢者いこいの家	昭和62年	1987	単独	449	6,377	13,136	19,513
37	高齢者生きがい活動センター*1	平成24年	2012	複合	465	-	-	-

*1 千里ニュータウンプラザに設置、 指定管理者制度活用施設
注) 山一地区高齢者いこいの間は民間施設のため開設年度

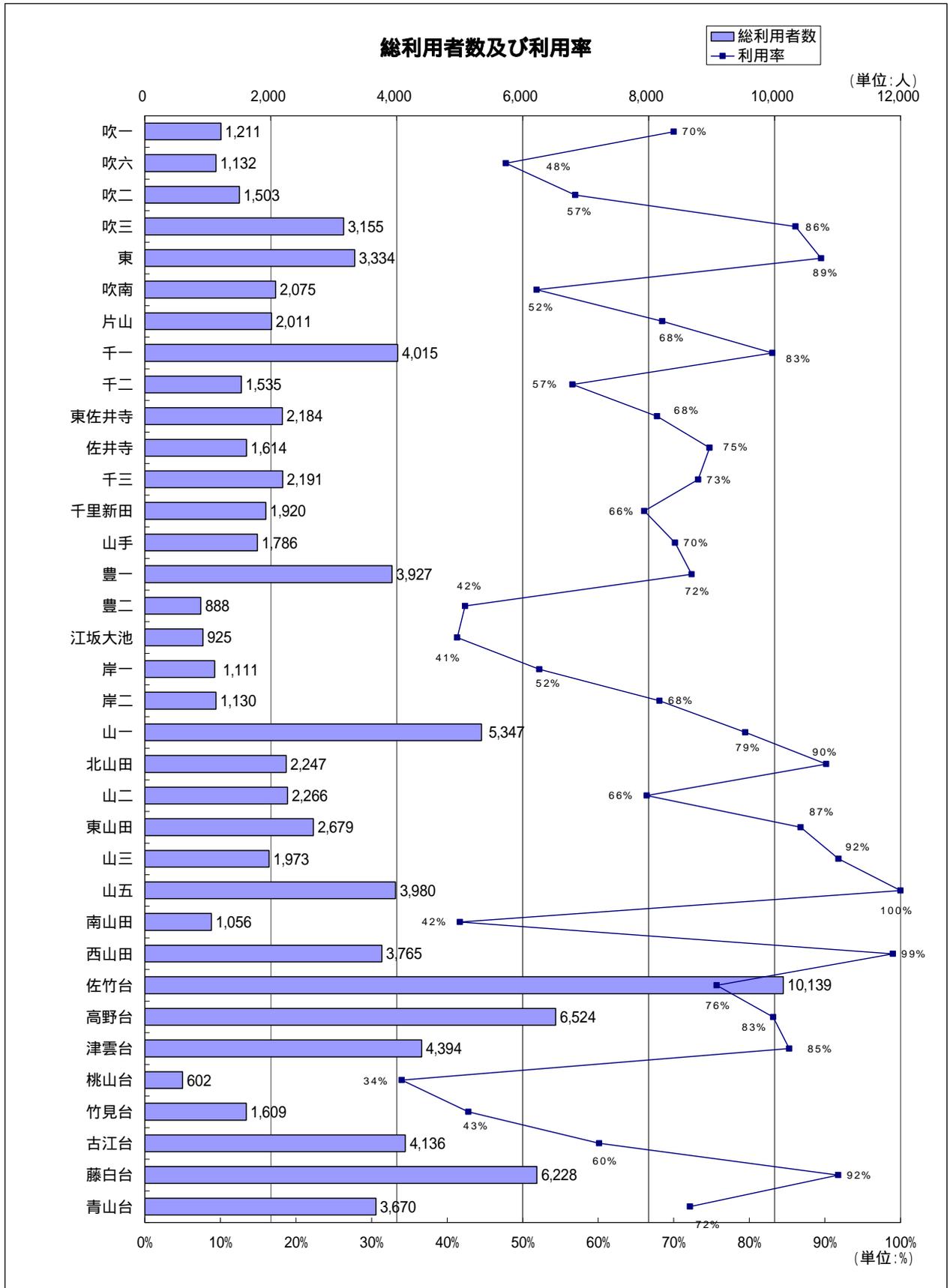
(ウ) 利用状況

高齢者いこいの間の利用状況は、602人/年(桃山台いこいの間、改修工事のため8~3月の間閉館)~10,139人/年(佐竹台いこいの間)となっており、施設によってばらつきがみられます。利用率(ここでは利用可能日数に対する利用日数)でも、50%以下の施設がみられます。

高齢者いこいの家の利用者数は、6,698人/年、利用率(利用率/利用可能率)は、59%となっています。

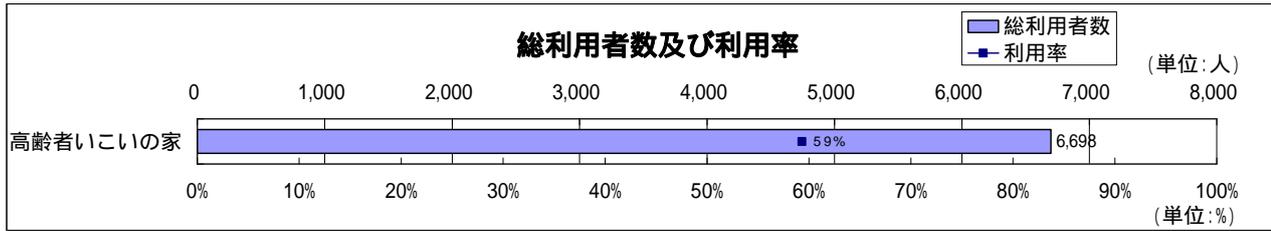
高齢者生きがい活動センターの利用状況は、新設のため、未集計となっています。

高齢者いこいの間



注) 吹一地区いこいの間は10~3月の間、桃山台地区いこいの間は8~3月の間改修工事のため閉館

高齢者いきいの家



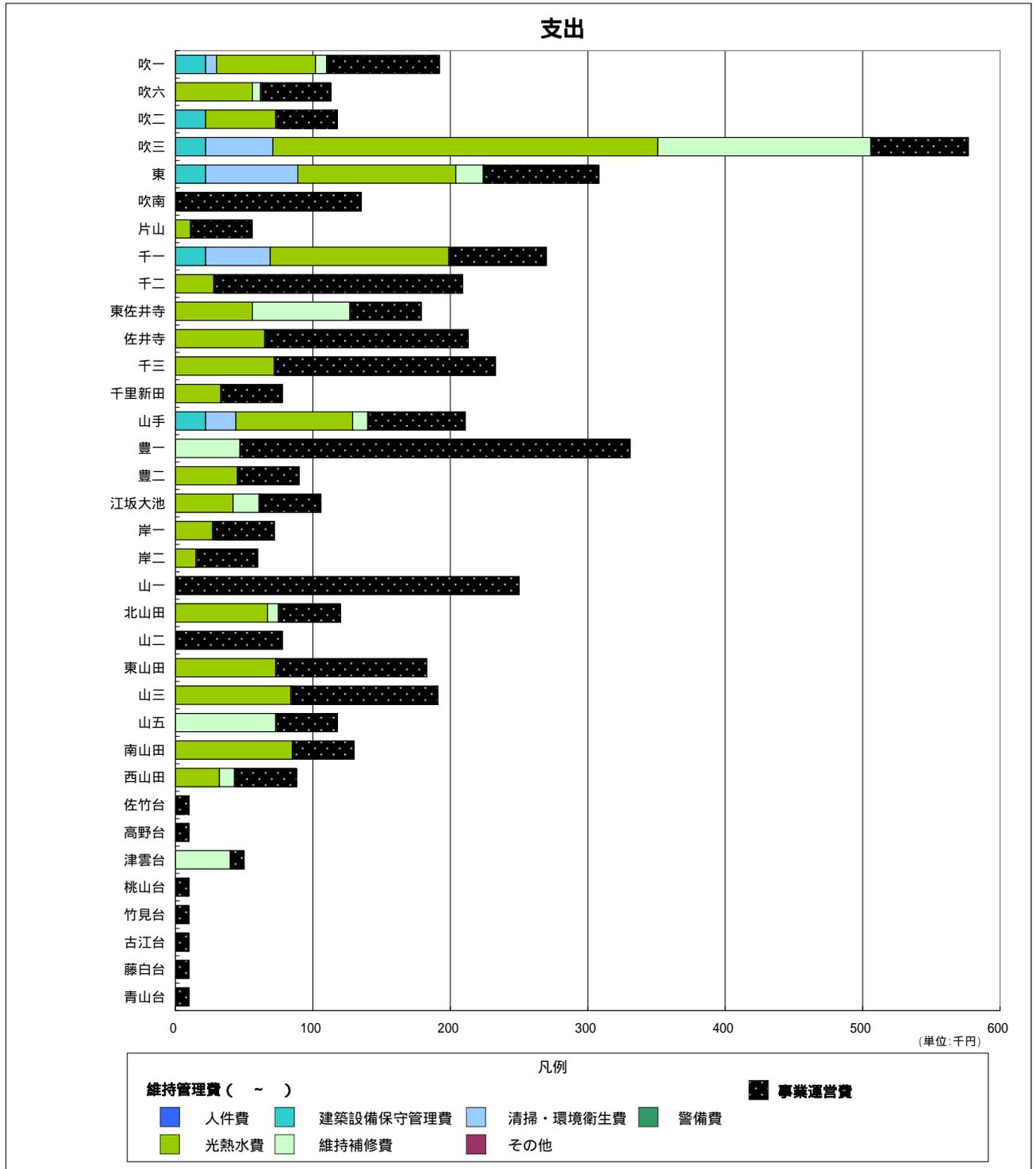
(エ) 支出の状況

高齢者いきいの間の支出状況は、施設によってばらつきのある状況となっています。これは、施設の形態として、「単独型」、「公民館等併設型」、「市民ホール利用型」、「民有施設補助型」等の種類があり、経費の負担区分も異なっていることが理由として考えられます。

支出状況を利用者 1 人当たり、延床面積 1 m²当たりで見ると、やはり施設によってばらつきがありますが、平均は 67 円/人、2,428 円/m²となっています。

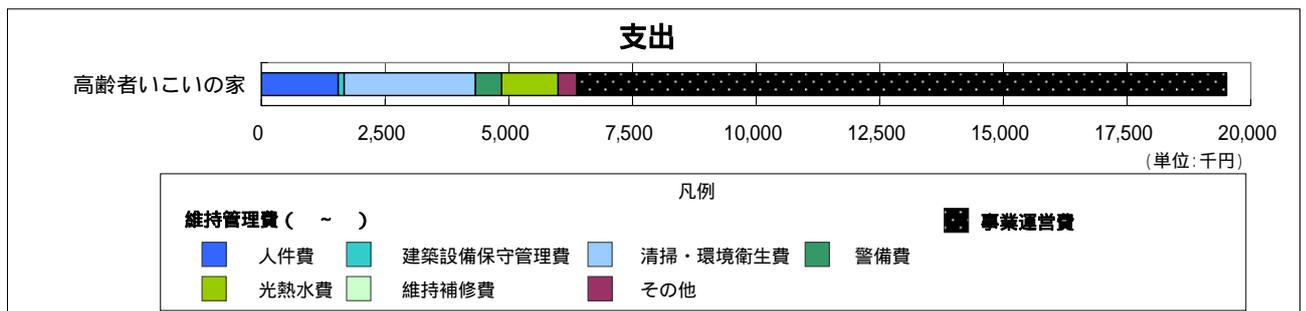
一方、高齢者いきいの家の支出状況は、19,513 千円/年となっており、利用者 1 人当たりで見ると 2,913 円/人、延床面積 1 m²当たりで見ると 43,459 円/m²となっています。

高齢者いこいの間

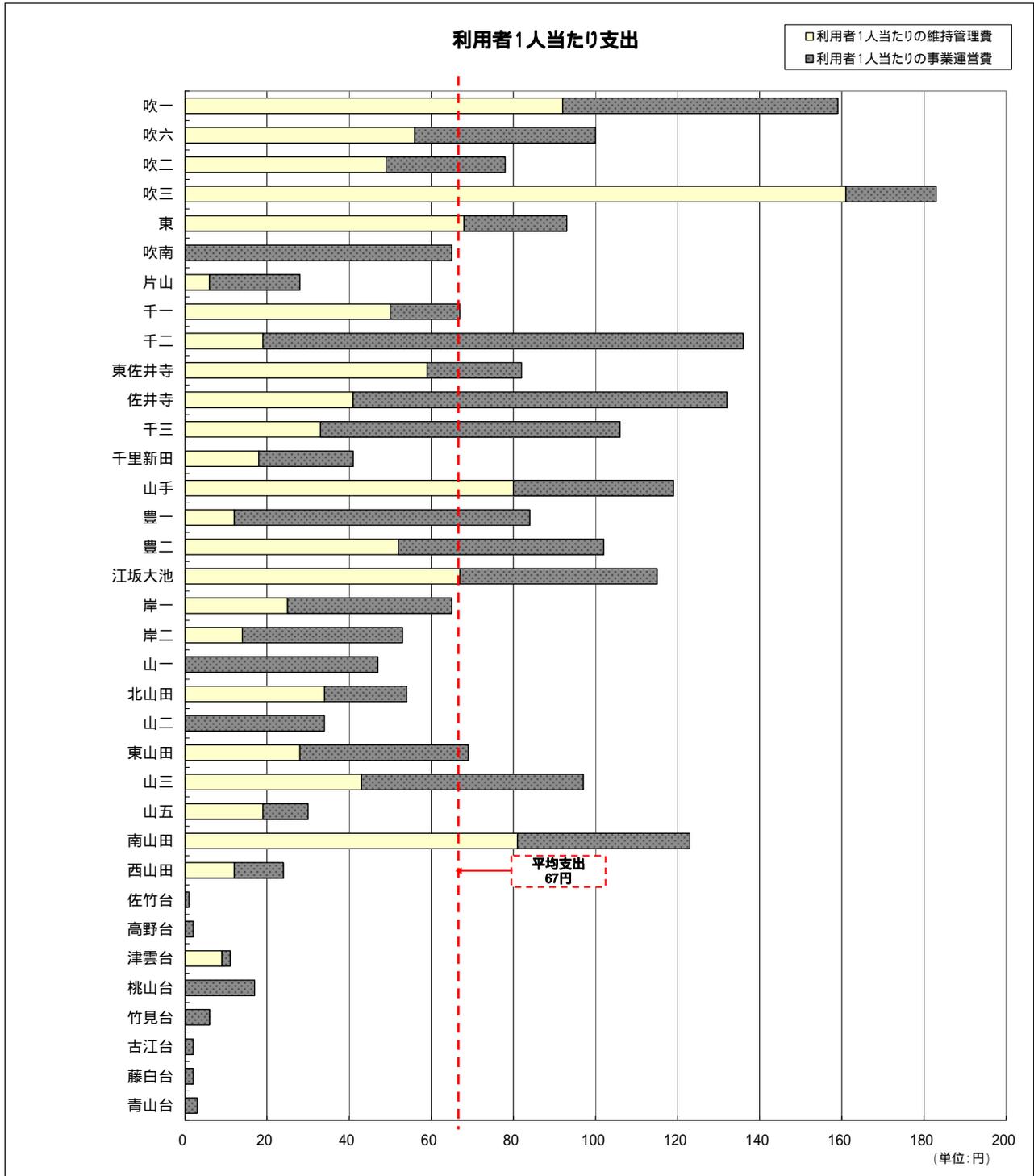


注) 吹三地区は安威川防災詰所も含む。ニュータウンでは光熱水費等を市民ホールで負担。

高齢者いこいの家

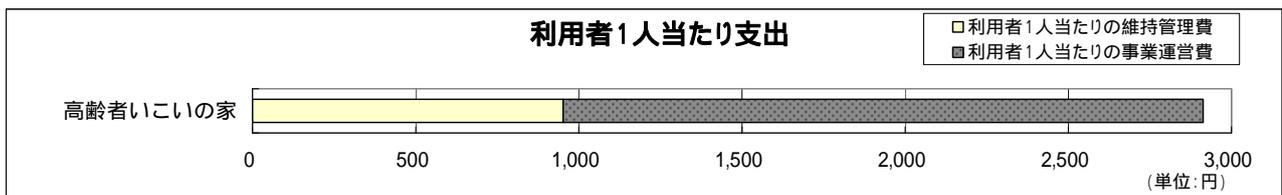


高齢者いきいの間

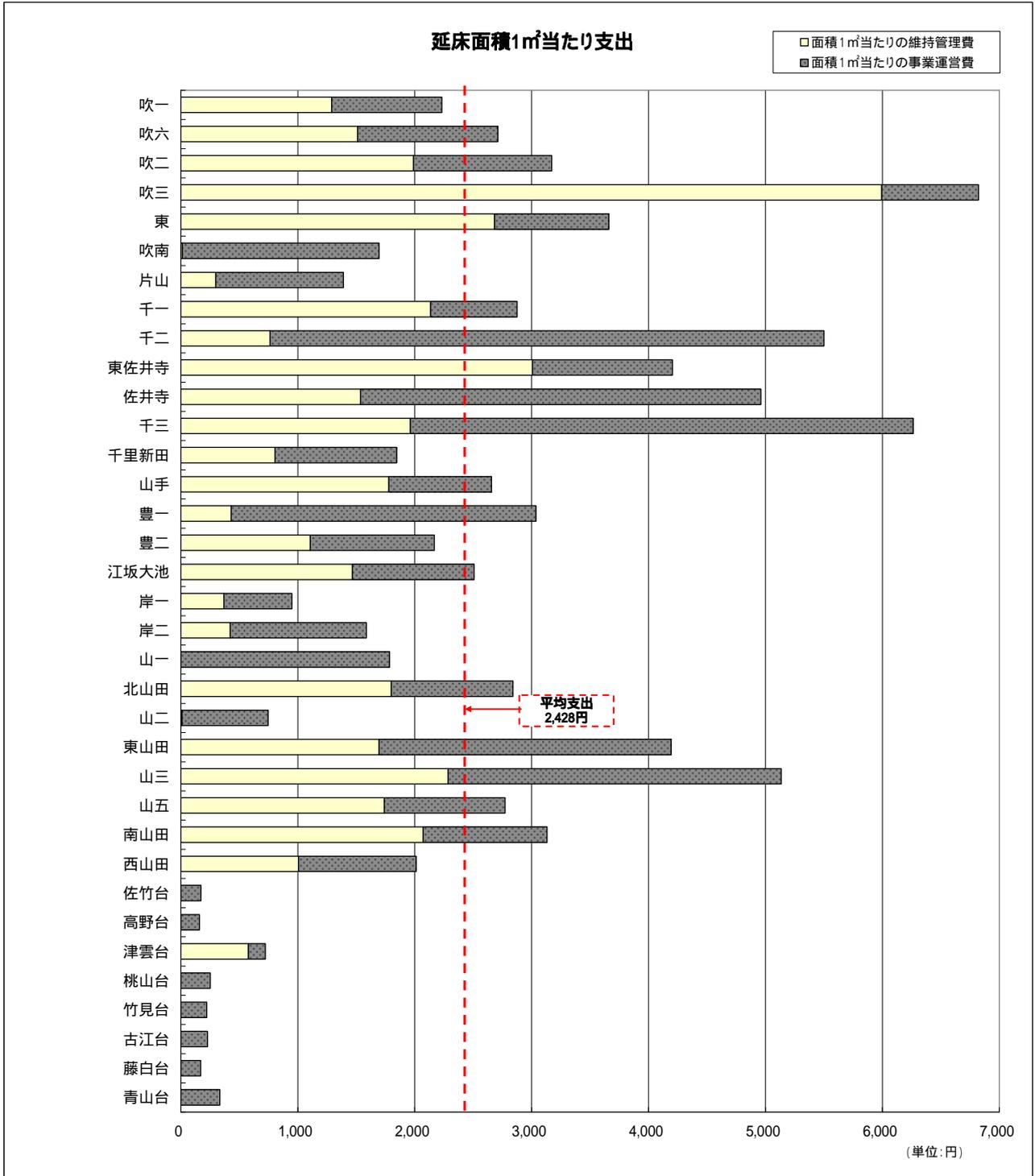


注) 吹三地区は安威川防災詰所も含む。ニュータウンでは光熱水費等を市民ホールで負担
 注) 吹一地区いきいの間は10~3月の間、桃山台地区いきいの間は8~3月の間改修工事のため閉館

高齢者いきいの家

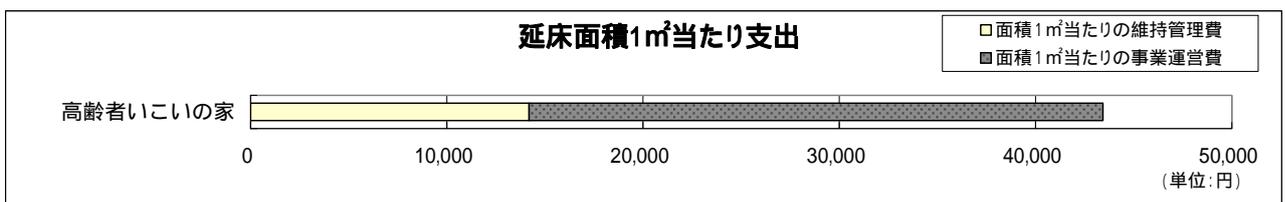


高齢者いこいの間



注) 吹三地区は安威川防災詰所も含む。ニュータウンでは光熱水費等を市民ホールで負担。

高齢者いこいの家



イ 高齢者・障がい者福祉施設

(ア) 概要

障害者支援交流センター（あいほうぶ吹田）は、重度障がい者の自立と社会参加を支援し、福祉ボランティア団体の活動や市民相互の交流の場となっています。事業としては、生活介護施設運営事業、短期入所施設運営事業、一般開放事業があります。

総合福祉会館は、老人福祉センター、障害者福祉センター、母子福祉センターの機能を備え、地域包括支援センター業務のほか、障がい者生活介護事業と障がい者を対象に各種教室事業を行っています。

デイサービスセンターは、日常生活において介護を要する高齢者に対し、日帰りで、入浴、食事など日常生活上の支援や機能訓練を行っています。

岸部中グループホームは、認知症の症状を抱えた高齢者が共同で生活する場で、入浴、食事など日常生活上の支援や機能訓練などを行っています。家庭的な雰囲気のもと可能な限り自立した生活を営むことができるよう環境を整えています。

市営岸部中住宅のうち 20 戸は、シルバーハウジング（高齢者世話付住宅）で、市ではシルバーハウジング生活援助員派遣事業により、生活援助員が居住する高齢者の相談に応じるほか、安否確認、緊急時の対応などの支援を行っています。こうした業務を行う場として、シルバーハウジングに隣接して生活援助員室とだんらん室があります。

介護老人保健施設は、介護保険で利用できるリハビリを中心とした医療サービスと日常生活の介護サービスを提供し、家庭復帰と在宅支援を目標にした心身の自立を支援する施設です。

(イ) 建物の状況

デイサービスセンターは、千里山西が既設の幼稚園を全面改修して開設されたもので、昭和 47 年度（1972 年度）に建設されてから 40 年が経過しています。また同様に南山田が昭和 57 年度（1982 年度）に建設されてから 30 年が経過しています。その他は、内本町が平成 7 年度（1995 年度）、亥の子谷が平成 10 年度（1998 年度）、藤白台が平成 15 年度（2003 年度）、岸部中が平成 16 年度（2004 年度）に建設された施設となっています。

岸部中グループホームは岸部中デイサービスセンターとの併設で、岸部中シルバーハウジング生活援助員室及びだんらん室と同様に市営岸部中住宅内にあり、岸部中デイサービスセンターと同じ建設年度になっています。

総合福祉会館は、昭和 61 年度（1986 年度）に建設され 26 年が経過しています。

また障害者支援交流センターは、平成 12 年度（2000 年度）に建設され、12 年が経過、介護老人保健施設は、平成 3 年度（1991 年度）に建設され、21 年が経過しています。

<配置図（高齢者・障がい者福祉施設）>



番号	施設名称	建設年度	単独・複合	延床面積 (㎡)	支出(千円)			
					維持管理費	事業運営費	総額	
1	障害者支援交流センター あいほうぶ吹田	平成12年	2000	単独	5,829	95,787	307,327	403,114
2	総合福祉会館	昭和61年	1986	単独	6,829	80,140	189,632	269,772
3	内本町デイサービスセンター	平成7年	1995	複合	663	326	0	326
4	亥の子谷デイサービスセンター	平成10年	1998	複合	292	326	0	326
5	南山田デイサービスセンター	昭和57年	1982	単独	830	2,334	0	2,334
6	千里山西デイサービスセンター	昭和47年	1972	単独	1,045	1,196	9	1,205
7	岸部中デイサービスセンター	平成16年	2004	複合	157	0	5	5
8	藤白台デイサービスセンター	平成15年	2003	複合	433	156	5	161
9	岸部中グループホーム	平成16年	2004	複合	458	249	5	254
10	市営岸部中住宅シルバーハウジング生活援助員室とだんらん室	平成16年	2004	複合	105	449	4,512	4,961
11	介護老人保健施設	平成3年	1991	単独	6,125	2,497	0	2,497

指定管理者制度活用施設

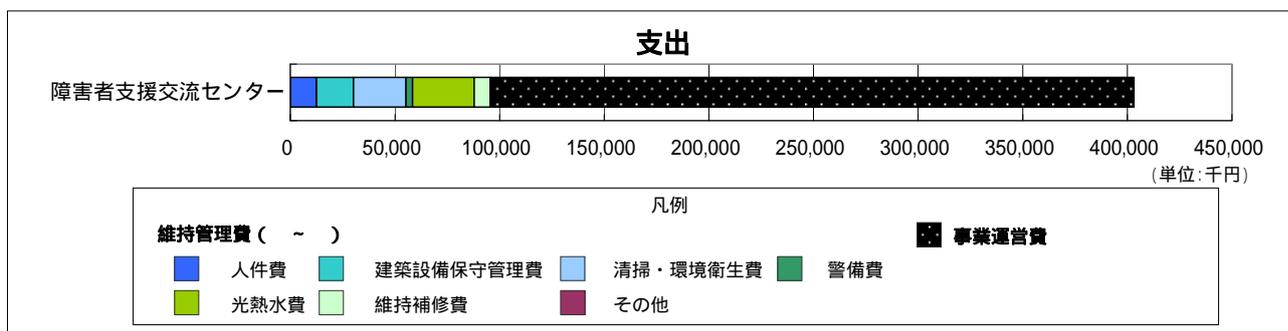
(ウ) 利用状況

障害者支援交流センターの利用状況は、生活介護施設運営事業が延べ 12,429 人/年、短期入所施設運営事業が延べ 3,050 人/年、一般開放事業が延べ 9,224 人/年となっています。

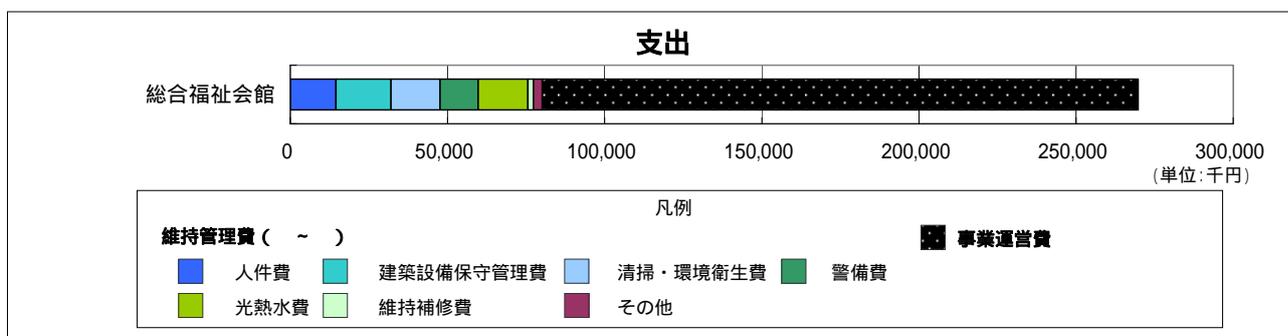
総合福祉会館の貸館の利用人数については、87,528 人/年となっています。

(エ) 支出の状況

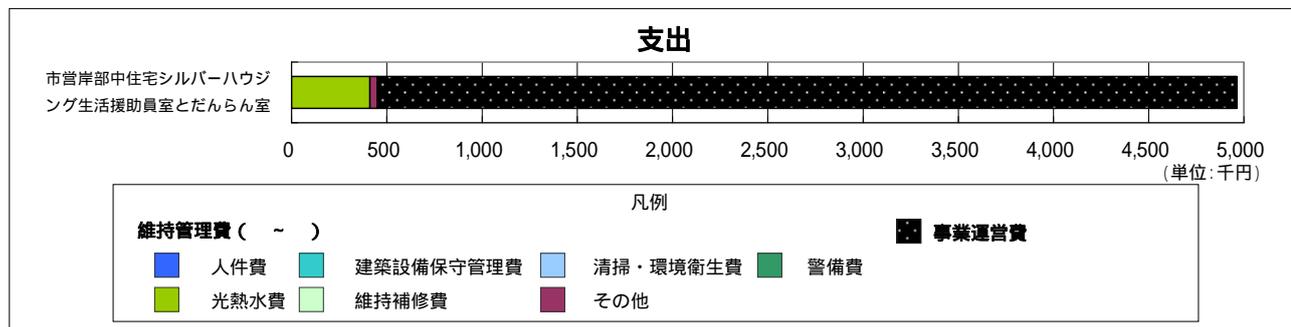
障害者支援交流センターの支出状況は、403 百万円/年となっています。



総合福祉会館の支出状況は、270 百万円/年となっています。



市営岸部中住宅シルバーハウジング生活援助員室とだんらん室の支出状況は、5 百万円/年となっています。



デイサービスセンター、グループホーム及び介護老人保健施設は、指定管理者が管理を行っており、事業運営は利用料金で賄われているため、本市が負担する事業運営費や施設の維持補修費を除く維持管理費は発生していません。

ウ 保健・医療施設

(ア) 概要

本市の医療施設としては、各種診療科目と検査、入院設備を備えた市民病院の他に、休日における応急的な医療を提供する休日急病診療所、内科等の診療を行う岸部診療所があります。

市民病院は、吹田市内の救急患者の約 4 割を受け入れるなど、救急医療や地域に不足している医療、不採算の医療を担い、他の医療機関と連携を図りながら、地域医療の充実に貢献しています。

岸部診療所は市が土地と建物を医療法人に貸付け、同法人が開設、運営しています。

保健センターは市民の健康の維持増進を図ることを目的とした施設で、分館を含め 2 か所あります。

< 配置図 (保健・医療施設) >



(イ) 建物の状況

市民病院は昭和 57 年度(1982 年度)に現在の場所に移転新築し、建設後約 30 年を経過しており、機械設備等の経年劣化をはじめ施設の老朽化が進み、近年の医療環境の変化や医療機器の増加等に伴い施設が狭あいとなっております。そのため、バリアフリー化や今後の医療環境の変化に対応することが難しく、災害時においても病院機能が不十分であるという問題等があります。

休日急病診療所は、昭和 53 年度(1978 年度)の建設後、34 年が経過しています。

岸部診療所は昭和 48 年度(1973 年度)の建設後 39 年が経過しています。

保健センターは、昭和 61 年度(1986 年度)の建設後 26 年経過、保健センター南千里分館は平成 24 年度(2012 年度)に建設された千里ニュータウンプラザ内に移転設置されています。

番号	施設名称	建設年度	単独・複合	延床面積(m ²)	支出(千円)			
					維持管理費	事業運営費	総額	
1	市民病院	昭和57年 ~平成9年	1982 ~1997	単独	34,926	469,305	9,153,967	9,623,272
2	休日急病診療所	昭和53年	1978	複合	728	8,096	72,543	80,639
3	岸部診療所	昭和48年	1973	複合	1,242	179	0	179
4	保健センター	昭和61年	1986	複合	2,651	5,641	338,962	344,603
5	保健センタ - 南千里分館 *1	平成24年	2012	複合	734	-	-	-

*1 千里ニュータウンプラザに設置

(ウ) 利用状況

市民病院の現在の病床数は 431 床で診療科は 20 科、平成 23 年度(2011 年度)の入院延べ患者数は 137,246 人/年で一日平均 375.0 人/日、病床利用率は 87%となっています。外来延べ患者数は 246,147 人/年で一日平均 1,008.8 人/日となっています。また、特に吹田市内における救急患者数では 48,288 人/年のうち、市民病院は 19,832 人/年で吹田市内の救急患者の 41.1%を占めます。

利用状況等

項目	数 値	備 考
病床数（利用率）	431 床（87%）	内未熟児 15 床
入院延人数	137,246 人/年 （375.0 人/日）	
外来患者延人数	246,147 人/年 （1,008.8 人/日）	
救急患者数	19,832 人/年	吹田市内の救急患者（48,288 人/年）の 41.1%

診療科目

<p>診療科目（20 科）</p> <p>内科、循環器科、神経内科、消化器内科、小児科、外科、整形外科、脳神経外科、産婦人科、耳鼻咽喉科、眼科、皮膚科、腎臓・泌尿器科、放射線科、リハビリテーション科、麻酔科（ペインクリニック）、精神科、心療内科、病理診断科、歯科（障がい者）</p> <p>専門外来</p> <p>セカンドオピニオン外来、緩和ケア外来、フットケア外来（糖尿病療養指導外来）、禁煙外来、女性総合外来他</p>

平成 25 年（2013 年）3 月現在

休日急病診療所は、休日の昼間における応急的な医療を市民に提供しており、患者数は延べ 5,041 人/年です。医師会、歯科医師会、薬剤師会の協力を得て、急病患者に対する診療業務を行っています。

岸部診療所は内科、小児科、歯科の診療を行っており、患者数は延べ 17,378 人/年です。

保健センターでは、乳幼児、成人、妊婦等を対象にした各種の健(検)診事業のほかに、健診のフォロー事業や健康に関する講座等を行っています。また、市内の公共団体など市民の健康維持増進に資する団体や医療関係者に、貸室を行っています。

(エ) 支出の状況

支出の状況は、市民病院は 9,623 百万円/年、休日急病診療所は 81 百万円/年、保健センターは、345 百万円/年となっています。

市民 1 人当たりで見ると、市民病院は 27,223 円/人、休日急病診療所は 228 円/人、保健センターは 975 円/人となっています。

また、延床面積 1 m²当たりで見ると、市民病院は 275,533 円/m²、休日急病診療所は 110,768 円/m²、保健センターは 129,990 円/m²となっています。

岸部診療所は、医療法人が開設、運営しており、本市が負担する経費はほとんど発生していません。

市民病院においては、診療報酬のマイナス改定などにより、経営的に厳しい状況が続いていましたが、平成 19 年(2007 年)に経営形態を地方公営企業法の一部適用から全部適用に変更し、平成 21 年度(2009 年度)に策定した「市立吹田市民病院改革プラン」に基づいて経営健全化を進めてきました。その結果、平成 22 年度(2010 年度)に約 1 億 7 千万円、平成 23 年度(2011 年度)に約 4 億 6 千万円の黒字決算となりましたが、累積欠損金は約 53 億 6 千万円あります。

エ 事務所・その他

(ア) 概要

地域保健福祉センターは内本町と亥の子谷、千里ニュータウンの3か所があります。保健福祉サービスの地域の拠点で、高齢者や障がい者の在宅福祉に関する相談窓口です。介護保険法に基づく地域包括支援センターとしての役割もあり、介護予防サービス計画策定事業などを行っています。

シルバーワークプラザには、吹田市シルバー人材センターの事務室があり、就業を希望する高齢者への職業の紹介等が行われています。

<配置図 (事務所・その他)>



(イ) 建物の状況

地域保健福祉センターは、内本町が平成7年度(1995年度)、亥の子谷が平成10年度(1998年度)に建設されており、千里ニュータウンは平成24年度(2012年度)に建設された千里ニュータウンプラザ内に設置された施設です。

シルバーワークプラザは、平成6年度(1994年度)に建設され、18年が経過しています。

番号	施設名称	建設年度	単独 複合	延床 面積 (㎡)	支出(千円)			
					維持管理費	事業運営費	総額	
1	内本町コミュニティセンター地域保健福祉センター	平成7年	1995	複合	1,491	4,273	64,160	68,433
2	亥の子谷コミュニティセンター地域保健福祉センター	平成10年	1998	複合	453	4,286	66,084	70,370
3	千里ニュータウン地域保健福祉センター*1	平成24年	2012	複合	269	-	-	-
4	シルバーワークプラザ	平成6年	1994	単独	713	4,559	75	4,634

*1 千里ニュータウンプラザに設置

(ウ) 利用状況

地域保健福祉センターは、相談のために高齢者や障がい者及びその家族が窓口を訪れるほか、各種保健福祉サービスを行ううえでの事務所として利用されています。

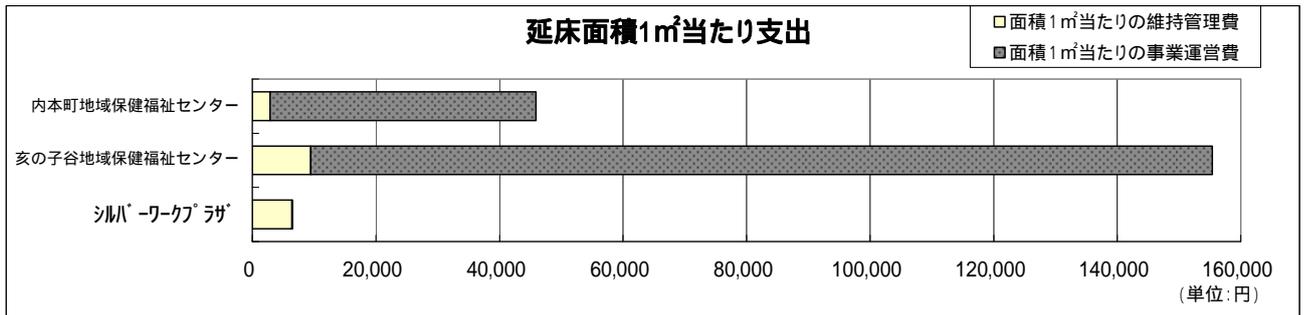
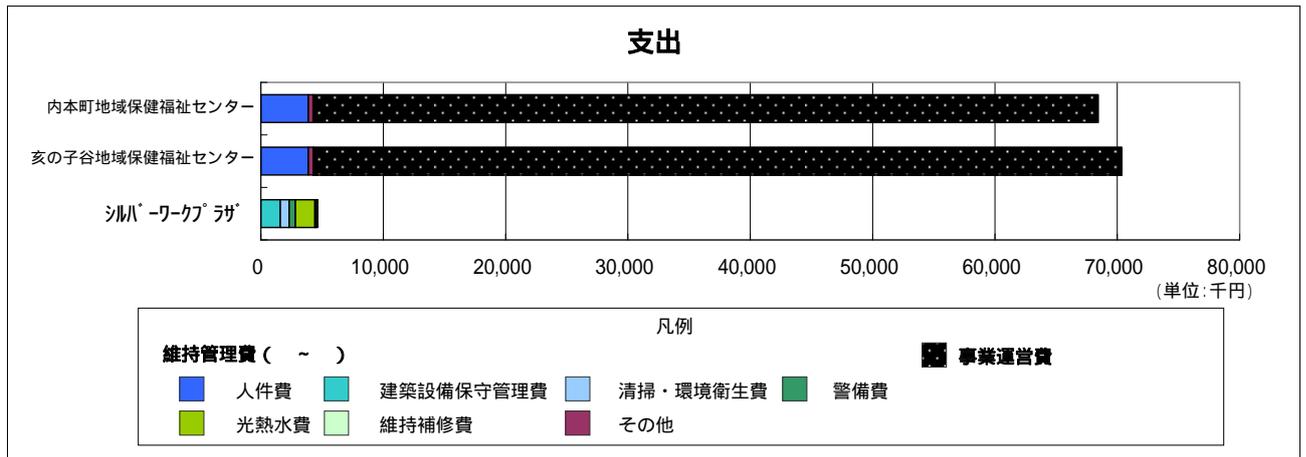
シルバーワークプラザは、一部が会議室等に使用されていますが、吹田市シルバー人材センターの事務所として利用されており、センターへの手続き等で施設を訪れる高齢者がいます。

(エ) 支出の状況

内本町コミュニティセンター地域保健福祉センターの支出状況は、68,433 千円/年で、延床面積 1 m²当たりで見ると 45,897 円/m²となっています。

亥の子谷コミュニティセンター地域保健福祉センターの支出状況は、70,370 千円/年で、延床面積 1 m²当たりで見ると 155,342 円/m²となっています。

シルバーワークプラザの支出状況は、4,634 千円/年で、延床面積 1 m²当たりで見ると 6,499 円/m²となっています。



(7) 住宅施設

ア 市営住宅

(ア) 概要

本市は、公営住宅法等に基づく市営住宅が22団地、55棟、1,204戸設置されています。そのうち借上型住宅として佐井寺南が丘、穂波町等10団地を提供しています。

(イ) 建物の状況

市営住宅は、最も古い江坂住宅(4棟)が昭和23年度(1948年度)に建設されており、ほとんどの住宅が1990年代までに建設されています。

<配置図 (市営住宅)>



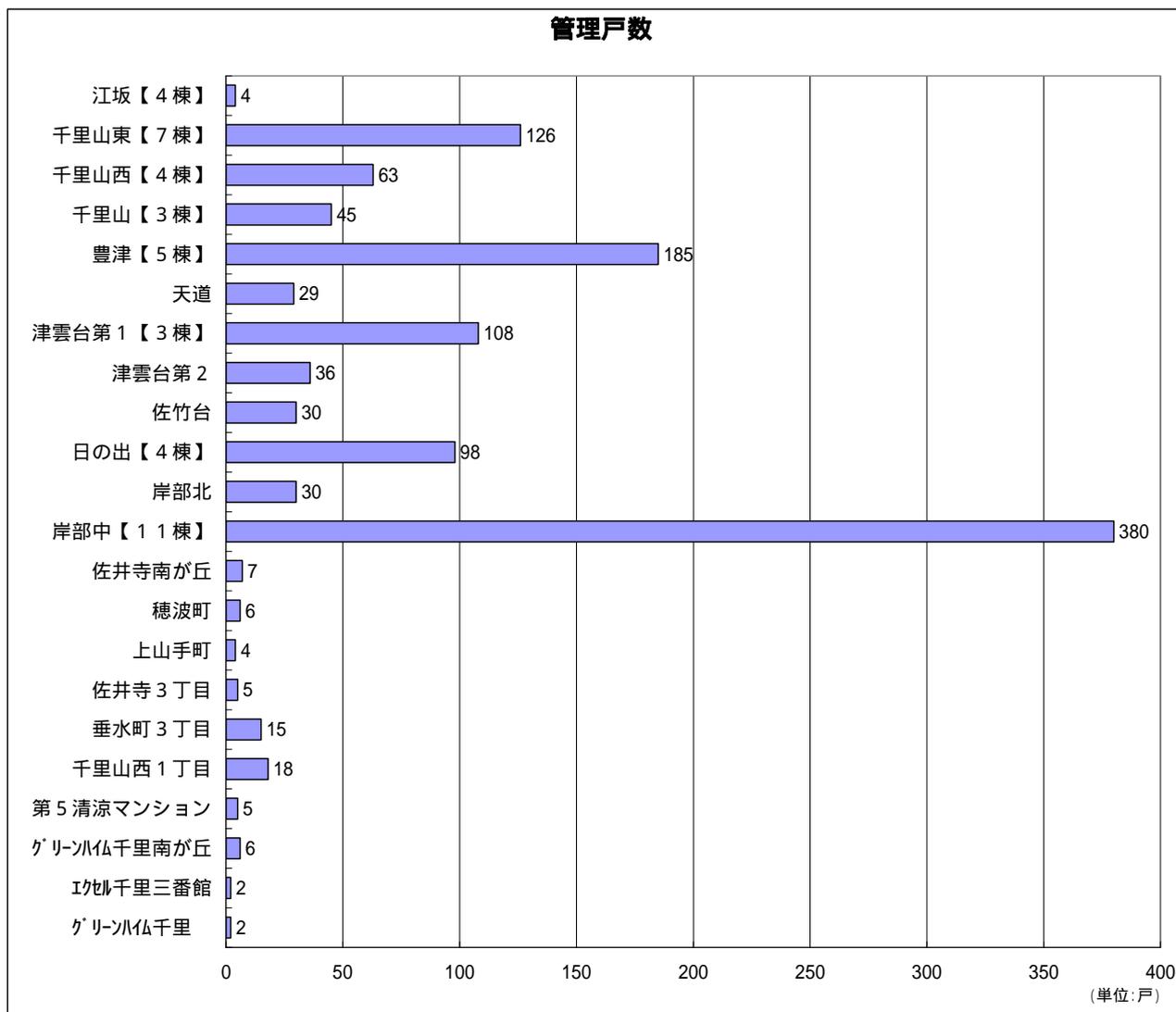
番号	施設名称	建設年度	単独 ・複合	延床 面積 (㎡)	支出(千円)		
					維持管理費	事業運営費	総額
1	市営江坂住宅[4棟]	昭和23年 1948	単独	116	99	4	103
2	市営千里山東住宅[7棟]	昭和62年 ~平成元年 1987 ~1989	単独	9,818	37,795	332	38,127
3	市営千里山西住宅[4棟]	昭和57年 1982	単独	4,625	1,970	149	2,119
4	市営千里山住宅[3棟]	昭和60年 1985	単独	3,784	3,103	141	3,244
5	市営豊津住宅[5棟]	昭和47 ~61年 1972 ~1986	単独	11,315	20,553	259	20,812
6	市営天道住宅	平成10年 1998	単独	2,283	2,714	69	2,783
7	市営津雲台第1住宅[3棟]	昭和45 ~46年 1970 ~1971	単独	5,185	882	127	1,009
8	市営津雲台第2住宅	平成7年 1995	単独	2,609	4,106	119	4,225
9	市営佐竹台住宅	昭和42年 1967	単独	1,781	284	35	319
10	市営日の出住宅[4棟]	昭和37 ~40年 1962 ~1965	単独	3,497	2,053	267	2,320
11	市営岸部北住宅	昭和47年 1972	単独	1,496	689	105	794
12	市営岸部中住宅[11棟]	昭和43年 ~平成19年 1968 ~2007	複合	24,334	35,365	1,174	36,539
13	市営佐井寺南が丘住宅	平成7年 1995	複合	257	6,916	8	6,924
14	市営穂波町住宅	平成8年 1996	複合	222	6,034	7	6,041
15	市営上山手町住宅	平成9年 1997	複合	255	5,447	4	5,451
16	市営佐井寺3丁目住宅	平成10年 1998	複合	169	3,881	6	3,887
17	市営垂水町3丁目住宅	平成13年 2001	単独	775	13,109	20	13,129
18	市営千里山西1丁目住宅	平成21年 2009	単独	997	19,466	23	19,489
19	市営第5清涼マンション住宅	平成9年 1997	複合	375	-	-	-
20	市営グリーンハイム千里南が丘住宅	平成7年 1995	複合	394	-	-	-
21	市営エクセル千里三番館住宅	平成10年 1998	複合	139	-	-	-
22	市営グリーンハイム千里住宅	平成4年 1992	複合	141	-	-	-

注) 13~22については借上型住宅(市が民間より賃借)

(ウ) 利用状況

市営住宅の入居者募集は、6月と12月の年2回を基本としていますが、住宅に困窮する低額所得者に対するセーフティネットの核としての市営住宅の入居希望者は多く、毎回の入居者募集に対しての倍率は高率で推移しており、利用者ニーズと戸数の不一致が問題となっています。

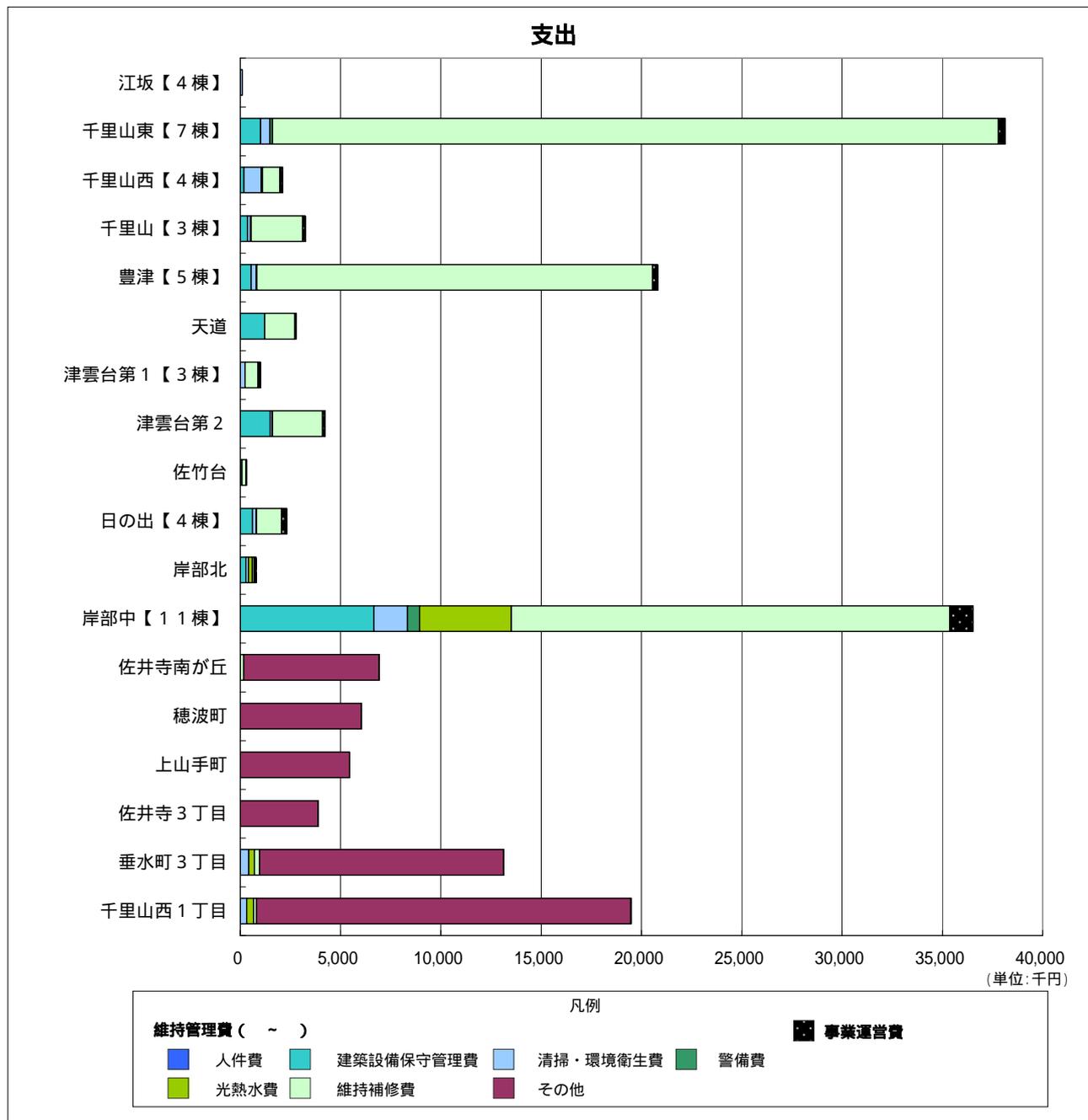
市営住宅



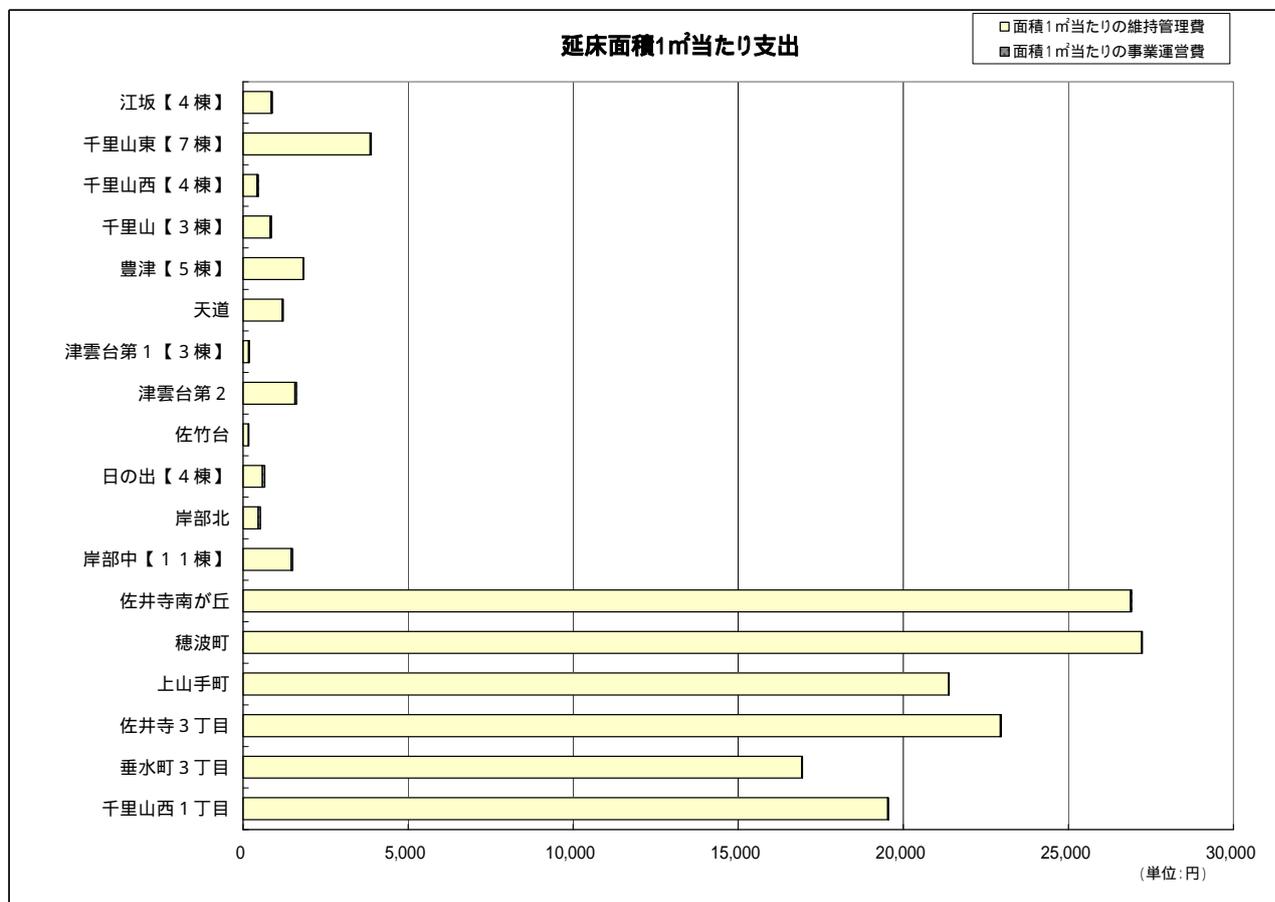
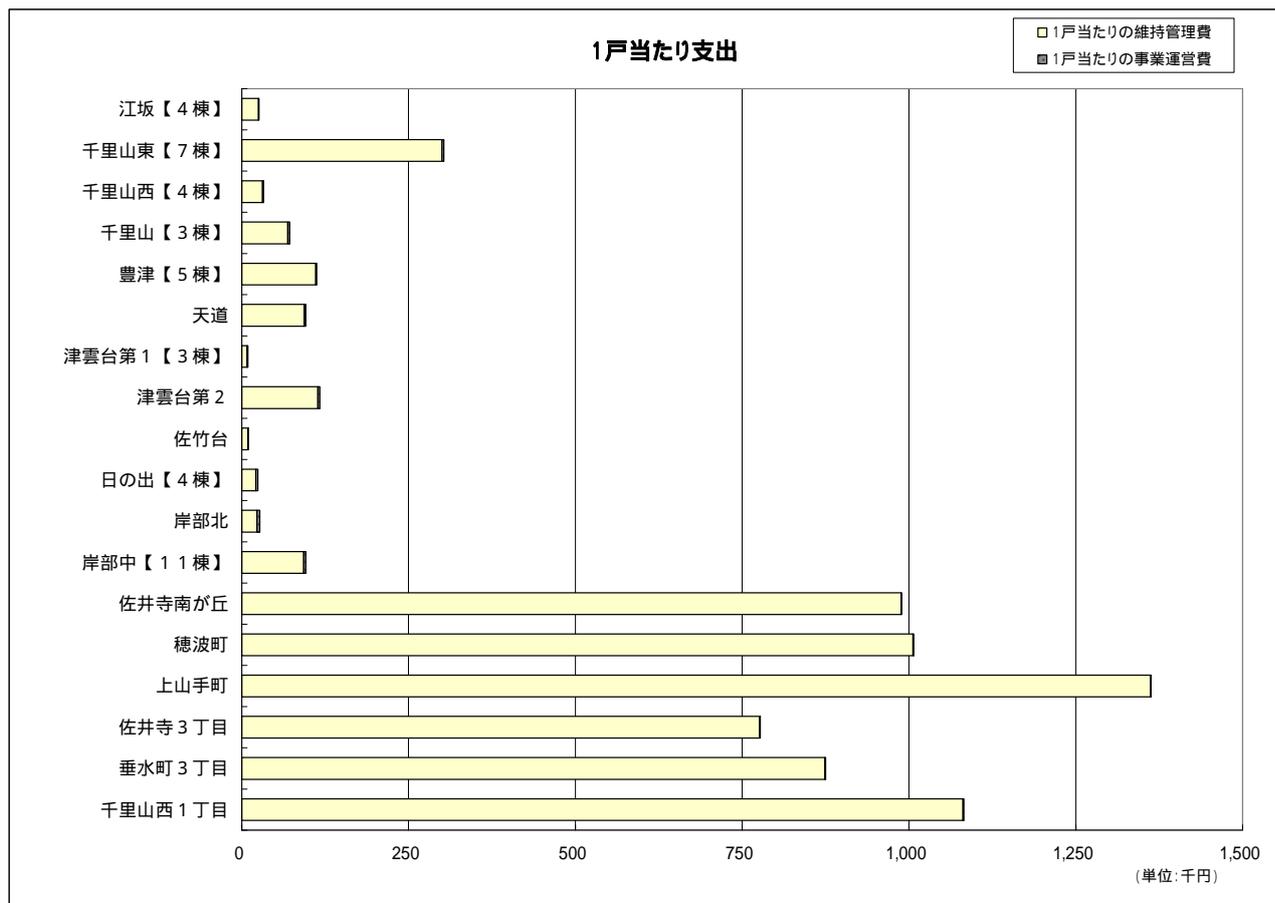
(エ) 支出の状況

1戸当たりの支出でみると、賃料の支払があるため、借上型住宅の支出が多くなっています。また、延床面積1㎡当たりでみると、同様に借上型住宅の支出が多くなっています。

市営住宅



市営住宅



(8) 交通施設

ア 交通施設（自転車駐車場等）

(ア) 概要

本市は、JR 吹田駅前、阪急吹田駅前、阪急豊津駅前、阪急関大前駅前、阪急南千里駅前、阪急山田駅前、阪急北千里駅前、江坂駅前、北大阪急行桃山台駅前、南高浜（阪急相川駅）に市営の自転車駐車場を設置しています。また、自転車等放置禁止区域内で撤去された自転車等を保管する場所として4か所の保管所（岸部、江坂、春日、吹田）を設置しています。本書では、自転車等の置場が建物内にあるもの（簡易な上屋のものを除く）を対象としています。

自動車駐車場は、江坂公園（機械式）があります。

< 配置図（交通施設） >



(イ) 建物の状況

自転車駐車場は、最も古いJR吹田駅前西自転車駐車場が昭和55年度（1980年度）建設で32年経過、最も新しい阪急南千里駅前西第2自転車駐車場が平成24年度（2012年度）建設ですが、1990年代以降に整備されたものが大半を占めています。

自動車駐車場は、江坂公園駐車が平成7年度（1995年度）建設で、17年経過しています。

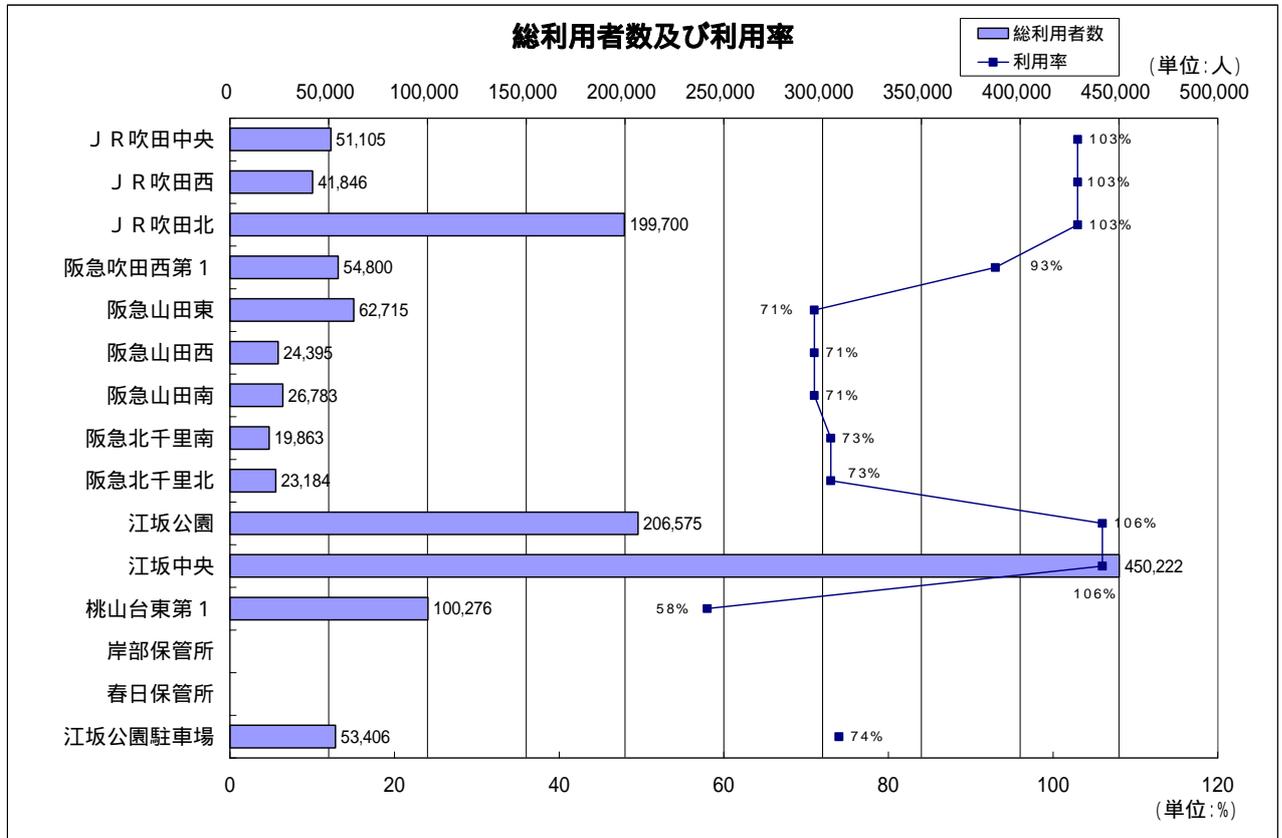
番号	施設名称	建設年度	単独・複合	延床面積(m ²)	支出(千円)			
					維持管理費	事業運営費	総額	
1	JR吹田駅前中央自転車駐車場	平成21年	2009	単独	891	959	8,172	9,131
2	JR吹田駅前西自転車駐車場	昭和55年	1980	単独	737	208	7,873	8,081
3	JR吹田駅前北自転車駐車場	平成10年	1998	単独	2,744	8,577	21,278	29,855
4	阪急吹田駅前西第1自転車駐車場	昭和61年	1986	単独	608	651	12,855	13,506
5	阪急南千里駅前西第2自転車駐車場*1	平成24年	2012	複合	521	-	-	-
6	阪急山田駅前東自転車駐車場	平成14年	2002	単独	2,122	12,290	16,278	28,568
7	阪急山田駅前西自転車駐車場	平成15年	2003	単独	1,958	2,878	6,388	9,266
8	阪急山田駅前南自転車駐車場	平成14年	2002	単独	837	4,062	7,142	11,204
9	阪急北千里駅前南自転車駐車場	平成5年	1993	単独	1,444	663	7,794	8,457
10	阪急北千里駅前北自転車駐車場	平成11年	1999	単独	1,038	2,515	10,045	12,560
11	江坂公園自転車駐車場	平成7年	1995	複合	9,176	8,036	22,593	30,629
12	江坂駅前中央自転車駐車場	平成9年	1997	単独	6,962	4,855	37,063	41,918
13	北大阪急行桃山台駅前東第1自転車駐車場	平成7年	1995	単独	2,395	3,461	13,973	17,434
14	岸部保管所	平成8年	1996	単独	1,278	736	11,467	12,203
15	春日保管所	平成11年	1999	単独	272	294	8,160	8,454
16	江坂公園駐車場	平成7年	1995	複合	3,934	40,304	28,876	69,180

*1 千里ニュータウンプラザに設置

(ウ) 利用状況

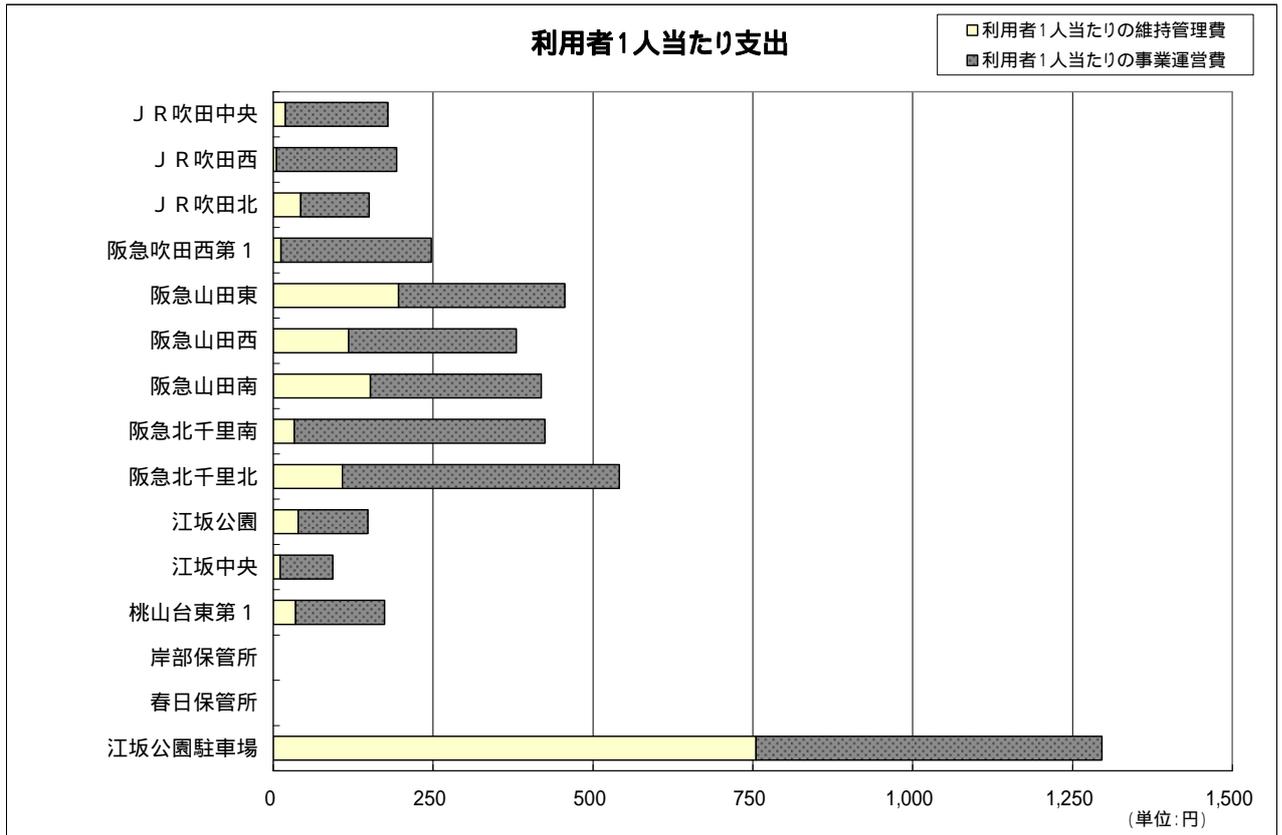
自転車駐車場は、通勤者の利用が多いため、定期利用者が多く、どれも高い利用率となっています。特に JR 線・北大阪急行線沿線の駅前自転車駐車場は、高くなっています。

自転車駐車場等

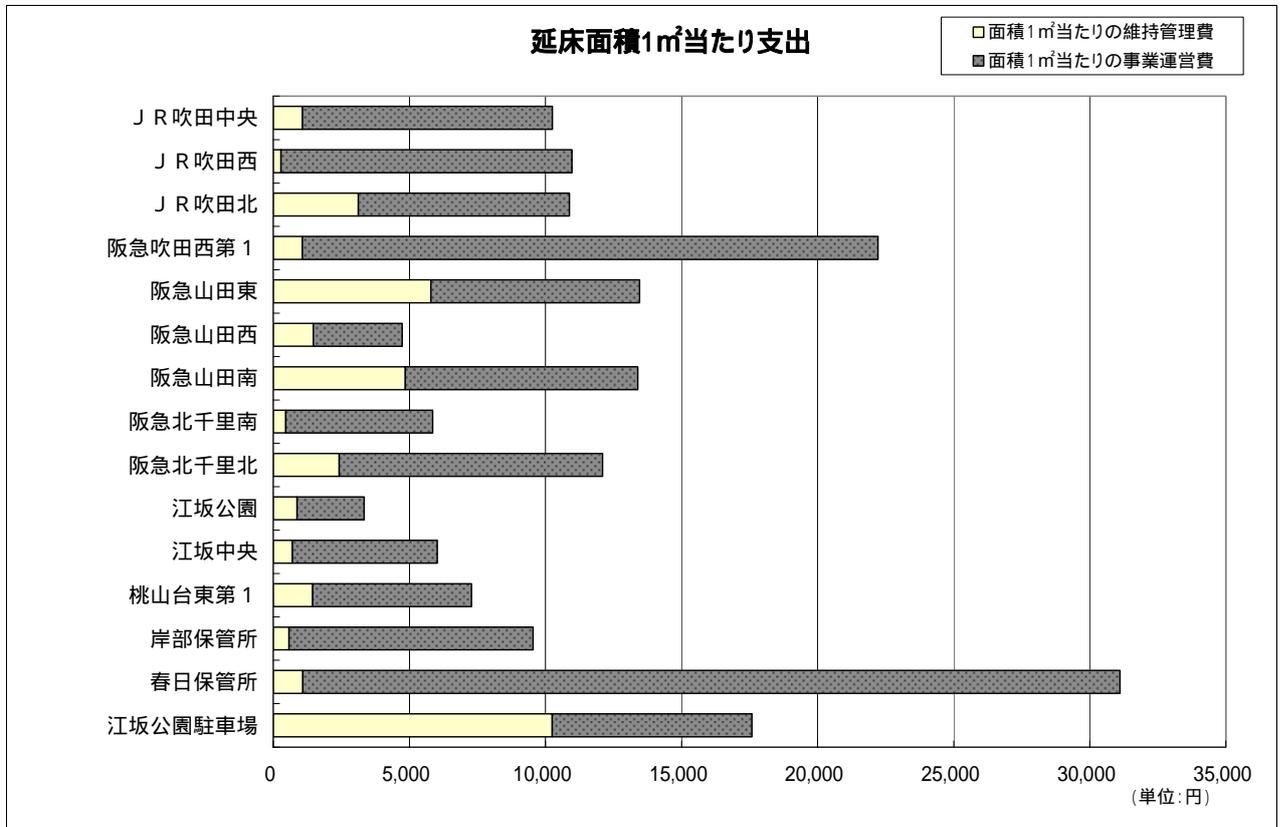


保管所は、利用者数の計上はなし。

自転車駐車場等



保管所は、利用者数の計上はなし。



(9) 環境関連施設

ア 火葬場

(ア) 概要

本市には、唯一の火葬場として、やすらぎ苑があります。

(イ) 建物の状況

やすらぎ苑は、平成20年度(2008年度)に建設された比較的新しい施設です。

(ウ) 利用状況

やすらぎ苑は、年間2,881件の利用があります。

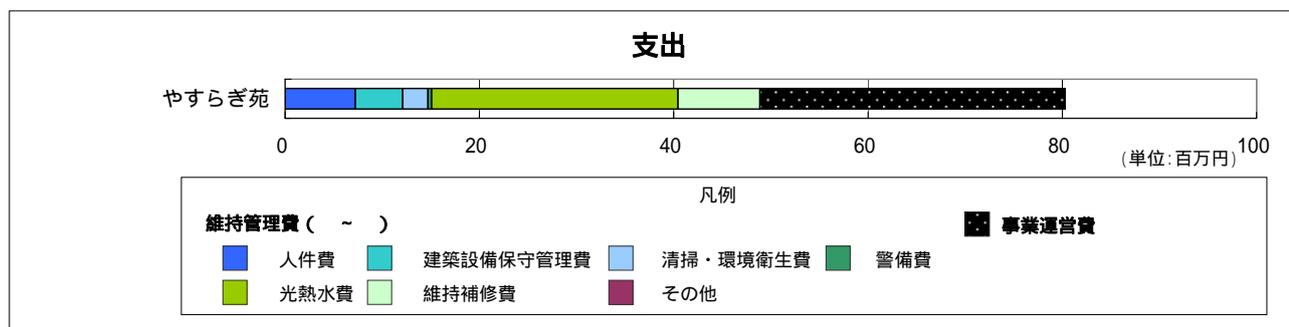
<配置図 (火葬場)>



(エ) 支出の状況

やすらぎ苑の支出状況は、80百万円/年(維持管理費49百万円/年、事業運営費31百万円/年)で、市民1人当たりでみると227円/人、施設の延床面積1㎡当たりでみると、33,494円/㎡となっています。

番号	施設名称	建設年度	単独・複合	延床面積(㎡)	支出(千円)			
					維持管理費	事業運営費	総額	
1	やすらぎ苑	平成20年	2008	単独	2,396	48,870	31,382	80,252



イ 環境啓発施設

(ア) 概要

本市には、ごみの減量、再資源化及び再生利用を図り、快適な生活環境づくりと循環型社会を形成するため、市民のリサイクル活動を推進する拠点施設である資源リサイクルセンター（くるくるプラザ）があります。

(イ) 建物の状況

資源リサイクルセンターは、平成 4 年度（1992 年度）に建設されてから 20 年が経過しており、施設の老朽化が進んでいます。

(ウ) 利用状況

資源リサイクルセンターの利用状況として、視察者、見学者、実践教室参加者、その他イベント参加者を含む年間来館者数の合計は、36,234 人/年となっており、貸室の利用率（利用可能枠に対する利用数）は、4%となっています。

(エ) 支出の状況

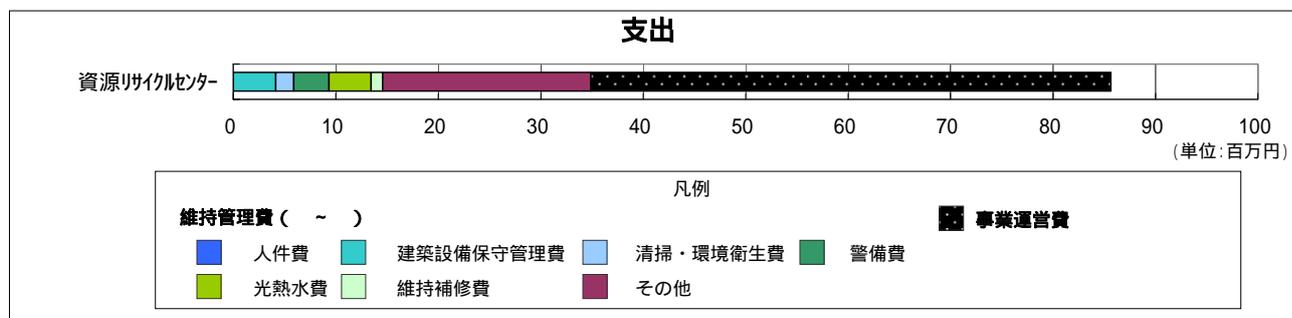
資源リサイクルセンターの支出状況は、86 百万円/年（維持管理費 35 百万円/年、事業運営費 51 百万円/年）で、市民 1 人当たりでみると 242 円/人、施設の延床面積 1 m²当たりでみると、17,310 円/m²となっています。

<配置図（環境啓発施設）>



番号	施設名称	建設年度	単独・複合	延床面積 (m ²)	支出(千円)		
					維持管理費	事業運営費	総額
1	資源リサイクルセンター(くるくるプラザ)	平成4年 1992	複合	4,947	34,896	50,737	85,633

指定管理者制度活用施設



(10) その他施設

ア その他施設

(ア) 概要

その他施設として、学校等跡地施設を利用している地区集会所（吹田東、千一、岸二、西山田、北山田）竹見台多目的施設があります。

(イ) 建物の状況

地区集会所は、最も古い千一地区が昭和44年度（1969年度）建設の建物を活用し43年が経過しており、その他も全て30年以上経過しています。

竹見台多目的施設も昭和53年度（1978年度）の建設で34年が経過しています。

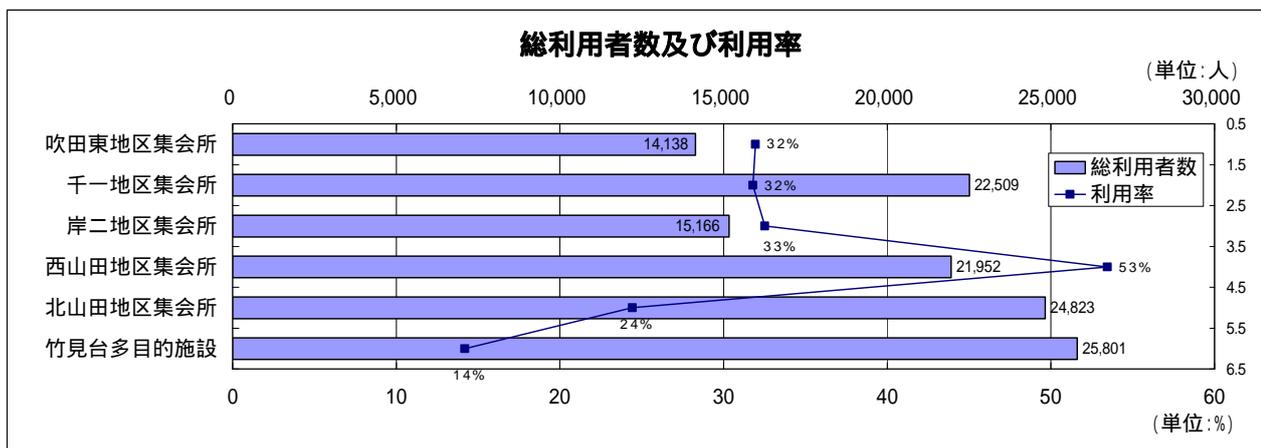
<配置図（その他施設）>



番号	施設名称	建設年度	単独・複合	延床面積 (㎡)	支出(千円)		
					維持管理費	事業運営費	総額
1	吹田東地区集会所	昭和45年 1970	単独	616	825	1,833	2,658
2	千一地区集会所	昭和44年 1969	単独	504	1,524	1,809	3,333
3	岸二地区集会所	昭和50年 1975	複合	609	267	1,809	2,076
4	西山田地区集会所	昭和55年 1980	複合	681	2,085	1,833	3,918
5	北山田地区集会所	昭和54年 1979	複合	631	684	1,833	2,517
6	竹見台多目的施設	昭和53年 1978	単独	3,896	10,490	3,528	14,018

(ウ) 利用状況

その他施設の利用状況は、施設によってばらつきはありますが、貸室利用率は最も高い西山田集会所で53%となっており、利用者数は14千人/年（吹田東地区集会所）～26千人/年（竹見台多目的施設）となっています。

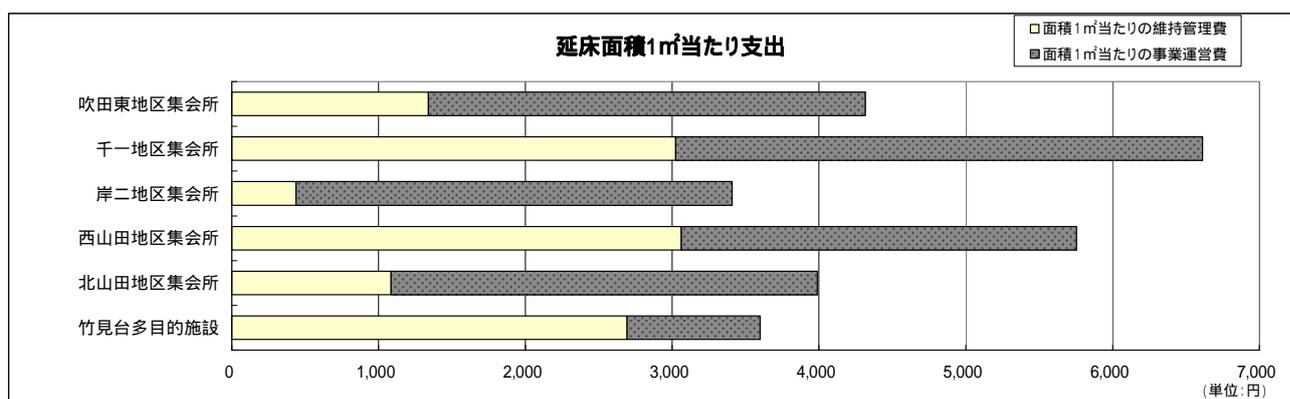
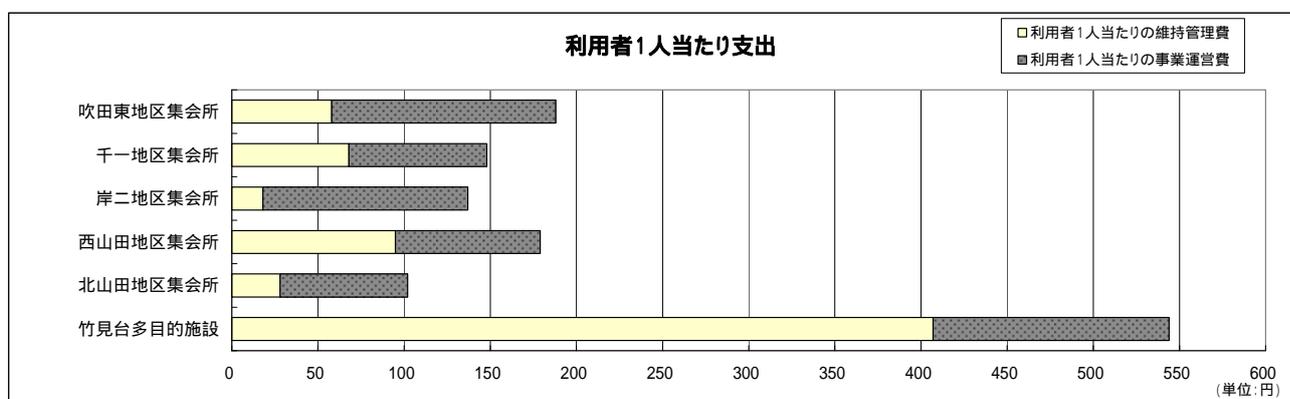
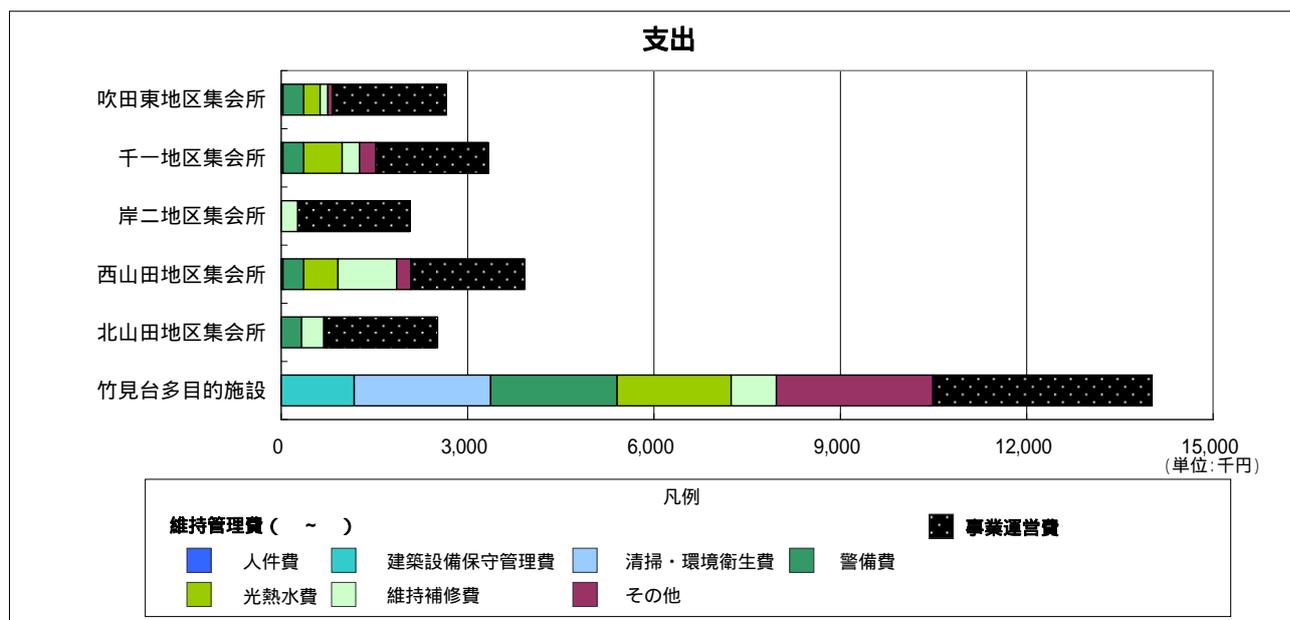


(エ) 支出の状況

その他施設の支出状況は、竹見台多目的施設は 14 百万円/年で、地区集会所は 2～4 百万円/年程度となっています。

利用者 1 人当たりで見ると、竹見台多目的施設は 543 円/人で、地区集会所は 101 円/人(北山田地区集会所)～188 円/人(吹田東地区集会所)となっています。

延床面積 1 m²あたりで見ると、竹見台多目的施設は 3,598 円/m²で、その他の地区集会所は 3,409 円/m²(岸二地区集会所)～6,613 円/m²(千一地区集会所)となっています。



第4章 今後の方向性

本章では、公共施設（一般建築物）のあり方について、本市が抱える課題を整理し総括するとともに、今後の方向性について示します。

1 本市の公共施設（一般建築物）の課題と将来推計の結果

本市の公共施設は、昭和30年代後半（1960年代前半）ごろから急増し、昭和40年代後半（1970年代前半）をピークに昭和60年代前半（1980年代後半）ごろまで比較的多くの整備が続きました。

こうした経緯から本市全体の課題として、昭和30年代後半（1960年代前半）に建てられた施設が築後50年に差し掛かってきており、今後は、これらの建物が更新時期を迎えていくことになります。これら公共施設（一般建築物）を現状規模のまま維持し続けること、建物の維持管理において、建設後の経過年数や損傷状況に応じてすべき修繕を行うこと、そして耐用年数を50年と想定して使い続け、建替えを行うことを前提として試算を行ったところ、今後30年で約1,812億円必要であるとの試算結果を得ました（この費用には、修繕更新費用以外の維持管理費や事業運営費は含まれていません。）。

また、用途別施設の利用状況において利用率の低い施設がみられることや、同じ用途の施設間においても、利用者（または市民）1人当たり支出や延床面積1㎡当たり支出で比べるとばらつきがみられるといった状況も明らかとなりました。

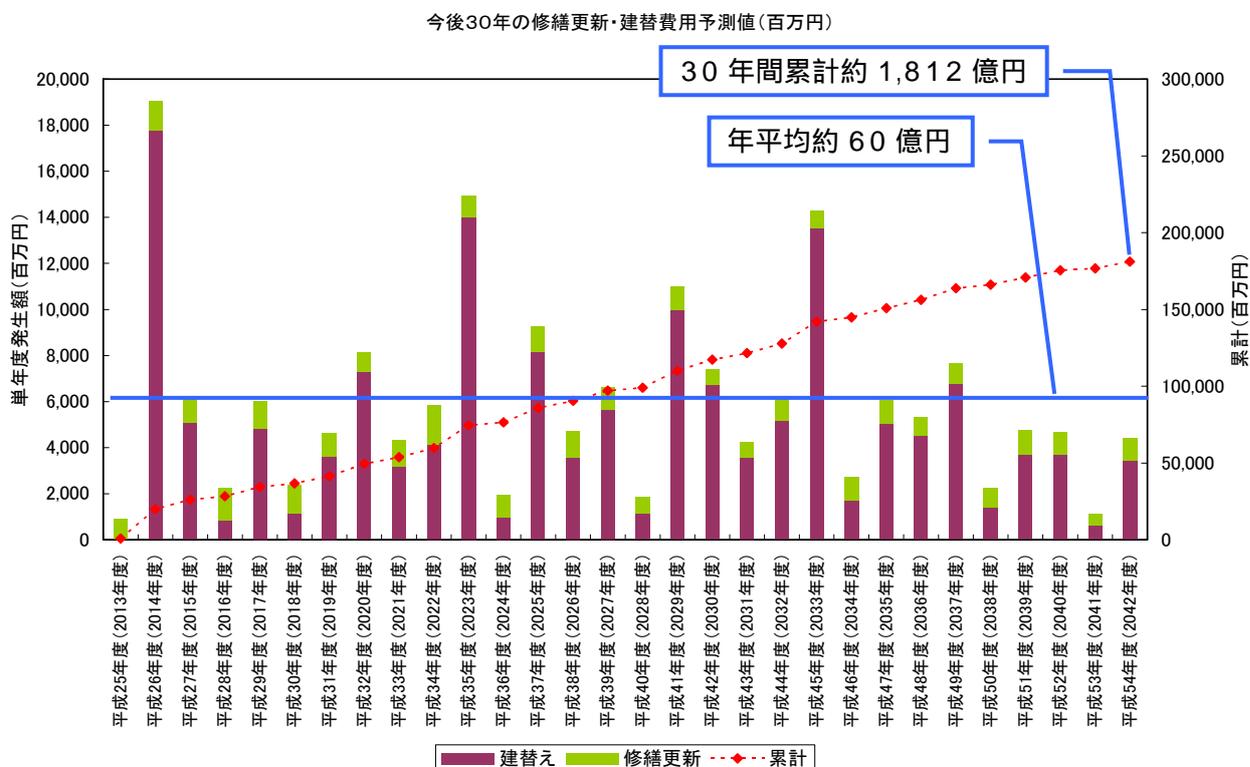
なお、本章での施設の修繕更新・建替え費用¹の試算に係る前提条件は、次のとおりです。

- ・修繕更新費用単価は、『平成17年版 建築物のライフサイクルコスト』（国土交通省大臣官房官庁営繕部監修）による Case3：「すべき」修繕コスト概算（屋根、外壁、主要設備など「時間計画保全とすべき」もののみを対象としたシミュレーション）を使用した（中規模事務所、学校、集合住宅の3種別とし、学校・集合住宅以外は中規模事務所を使用）。
- ・建替え費用単価は、『平成17年版 建築物のライフサイクルコスト』（国土交通省大臣官房官庁営繕部監修）による建設コストと解体再利用コストの概算の合計値を使用した（中規模事務所、学校、集合住宅の3種別とし、学校・集合住宅以外は中規模事務所を使用）。
- ・耐用年数は、50年と想定した。

- 1 修繕：劣化した部位・部材あるいは機器の性能・機能を原状（初期の水準）あるいは実用上支障の無い状態まで回復させること。ただし、保守の範囲に含まれる定期的な小部品の取替え等は除く。
- 更新：劣化した部位・部材や機器等を同性能・同仕様の新しい物に取替えること。
- 建替え：既存の建物を取壊し、新しく建物を建てること。

試算結果を下記のとおり、グラフで示します。

グラフ中の折れ線は、建替え費用と修繕更新費用を合わせた費用の累積額を示しています。今後30年間の累積費用は、約1,812億円と試算されます。



なお、現在、平成32年度（2020年度）までを計画期間として、耐震改修を進めており、これに係る累積費用（約73億円）を加えると、約1,885億円と試算されます。

こうした現状を踏まえ、今後の公共施設（一般建築物）の方向性を以下に示します。

2 今後の公共施設（一般建築物）の方向性

(1) 総合的、計画的な保全管理の検討（財務の視点）

公共施設全体の修繕・更新等費用について、将来試算を行いました。建物等については、発生する不具合に対して、計画的ではなく対症療法的な維持保全のみを実施していることから、施設の劣化や不具合のさらなる深刻化により更新時期が早まることも考えられるため、試算結果以上の修繕・更新費用が発生する恐れがあります。

こうした課題に対応するため、施設の修繕・更新等の情報を一元的に管理する市有建築物保全システムの導入を図り、その運用を開始しています。

本システムの活用を図り、点検等による不具合の早期発見や適切な対策手法の検討など、市が保有する施設全体について、効果的な維持管理を進めていく必要があります。

また、現在公会計制度改革の取り組みとして、大阪府モデルに基づく新公会計制度の導入を進めています。同制度により、将来世代の負担となる負債や減価償却費等の現金支出を伴わない費用についても把握が可能となります。

以上を踏まえ、個々の施設の更新時期を見据え、老朽化の進行による新たな不具合の発生時期も考慮した長期的な視点に立った保全計画を策定していくことが必要となります。

(2) 公共施設におけるサービスの検討(供給の視点)

公共施設のサービスは、価値基準が変化し、多様化する市民ニーズに柔軟に対応していくことが求められており、今後各施設において、公共施設の機能と求められるニーズ及び役割を精査していかなければなりません。

市民ニーズに対応した行政サービスの適正化という視点から、公共施設の建物機能だけに目を向けるのではなく、「このサービスはこの施設でなければ提供できないものなのか」という視点も必要です。多様化する市民ニーズや財政状況など、社会経済情勢の変化に対応していくためには、保有施設の量の見直しを行う必要があります。

量の見直しにあたっては、廃止に伴う代替機能の確保、施設の統合・複合化の組合せの実現性、再編実施に際しての職員再配置の効率性、コスト面での効果など多角的に実現性を検証し、実行可能な内容とすることが重要です。

(3) 公共施設における質向上の検討(品質の視点)

保有すべきとした施設については、質の見直しに取り組む必要があります。

災害の際の避難場所としての役割を担う公共施設において、耐震の課題に取り組むなど、安全性確保を前提にした施設にしていく必要があります。

また、適切な維持管理による省エネルギーなど具体的な環境問題への対策や、誰もが利用しやすいユニバーサルデザインの視点を踏まえた施設機能の向上など社会的要請に対応していく必要があります。

公共施設(一般建築物)の最適化を推進するに当たっては、施設の質的な見直しや総量の見直し、計画的な利活用や保全管理、再整備などが必要となります。

平成25年度(2013年度)は、本書から得られたデータを基礎として、(仮称)公共施設最適化計画の策定を行うとともに、上記の3つの視点について総合的かつ適切な調和を図りながら、公共施設の最適化を進めることとします。

資料編：対象施設一覧

対象施設一覧(1)

番号	施設名称	所在地	建設年度	単独・複合	延床面積(m ²)	支出(千円)			
						維持管理費	事業運営費	総額	
行政施設									
庁舎									
1	市役所本庁舎(低・中・高層棟・職員会館等)	泉町1丁目3番40号	昭和38年	1963	単独	27,770	254,653	36,611	291,264
2	市役所南千里庁舎	佐竹台1丁目6番1号	昭和56年	1981	単独	3,474	25,739	79	25,818
出張所等									
1	山田出張所	山田西2丁目5番1号	昭和56年	1981	複合	300	11,032	64,120	75,152
2	千里丘出張所	千里丘上14番30号	昭和60年	1985	単独	252	6,865	39,208	46,073
3	千里出張所*1	津雲台1丁目2番1号	平成24年	2012	複合	360	-	-	-
4	原市民サービスコーナー	原町4丁目26番8号	平成元年	1989	複合	21	400	9,082	9,482
5	岸部市民サービスコーナー	岸部南1丁目4番8号	平成2年	1990	複合	28	0	9,498	9,498
6	江坂市民サービスコーナー	江坂町1丁目19番1号	平成8年	1996	複合	109	621	11,676	12,297
7	北千里市民サービスコーナー	古江台4丁目2番D2-303号	平成2年	1990	複合	29	1,349	9,560	10,909
8	さんくす市民サービスコーナー	朝日町1番201号	平成元年	1989	複合	25	484	10,972	11,456
その他庁舎等									
1	事業課庁舎	津雲台7-7D138-101	昭和49年	1974	単独	2,484	18,200	2,529,001	2,547,201
2	環境保全課環境監視庁舎	南吹田2丁目12番47号	昭和62年	1987	複合	529	5,563	47,764	53,327
3	事業課業務グループ庁舎	川岸町20番1号	昭和51年	1976	単独	474	2,675	46,548	49,223
4	★消費生活センター	朝日町3番203号	昭和55年	1980	複合	156	2,533	17,947	20,480
5	観光センター	朝日町3番203号	平成21年	2009	複合	37	0	3,962	3,962
6	JOBナビすいた JOBカフェすいた	片山町1丁目1番メロート吹田1番館2F	平成20年	2008	複合	258	14,882	43,454	58,336
7	教育センター	出口町2番1号	昭和61年	1986	複合	786	8,187	53,697	61,884
消防施設									
1	中消防庁舎	五月が丘南5番2号	昭和58年	1983	単独	1,827	12,043	225,546	237,589
2	消防本部西消防署合同庁舎	江坂町1丁目21番6号	平成18年	2006	単独	4,728	26,397	509,523	535,920
3	東消防署	尺谷5番15号	昭和62年	1987	複合	1,109	8,871	294,930	303,801
4	南消防署	内本町1丁目23番14号	昭和50年	1975	単独	2,538	15,507	310,411	325,918
5	北消防署	藤白台1丁目1番50号	昭和41年	1966	単独	959	9,378	364,833	374,211
6	西消防署千里出張所	円山町25番36号	平成13年	2001	単独	634	5,301	155,302	160,603
7	東消防署岸部出張所	岸部北5丁目2番2号	平成6年	1994	複合	429	2,989	155,287	158,276
8	南消防署南正雀出張所	南正雀4丁目4番8号	昭和59年	1984	単独	141	1,525	62,097	63,622
9	山田分団、山田分団別所班	山田東2丁目33番1号	昭和42年	1967	複合	70	27	3,060	3,087
10	千里丘分団	尺谷5番15号	昭和62年	1987	複合	169	0	1,317	1,317
11	岸部分団	岸部北5丁目2番2号	平成6年	1994	複合	93	0	1,865	1,865
12	吹一分団	内本町3丁目6番12号	平成7年	1995	単独	74	1,189	4,054	5,243
13	吹二分団	泉町1丁目50番1号	平成10年	1998	単独	68	41	1,472	1,513
14	吹三分団	高城町6番17号	平成19年	2007	単独	83	110	2,003	2,113
15	千一分団	片山町4丁目5番1号	昭和51年	1976	単独	164	83	3,154	3,237
16	千二分団	千里山西5丁目1番7号	昭和48年	1973	単独	194	54	1,167	1,221
17	豊津分団	江坂町3丁目100番1号	平成8年	1996	単独	70	106	1,921	2,027
18	千二分団春日班	春日1丁目11番6号	昭和45年	1970	単独	26	0	350	350
19	消防署長公舎	末広町1番16号	平成3年	1991	単独	224	77	0	77
20	安威川防災詰所	南高浜町34番1号	平成2年	1990	複合	109	186	177	363

*1 千里ニュータウンプラザに設置、指定管理者制度活用施設

注) サービスコーナー、消費生活センター、観光センター、JOBナビすいたJOBカフェすいた、千二分団春日班は開設年度

対象施設一覧(2)

番号	施設名称	所在地	建設年度	単独・複合	延床面積(m ²)	支出(千円)			
						維持管理費	事業運営費	総額	
文化・交流施設									
市民交流施設									
1	★文化会館 メインアター	泉町2丁目29番1号	昭和59年	1984	単独	16,120	205,065	199,800	404,865
2	★吹田歴史文化まちづくりセンター 浜屋敷	南高浜町6番21号	平成15年	2003	単独	524	5,219	19,033	24,252
3	★津雲台市民ホール	津雲台4丁目1番1号	平成11年	1999	複合	438	2,786	1,829	4,615
4	★高野台市民ホール	高野台1丁目6番1号	平成11年	1999	複合	507	3,310	1,831	5,141
5	★佐竹台市民ホール	佐竹台2丁目5番1号	平成18年	2006	複合	555	1,980	1,833	3,813
6	★桃山台市民ホール	桃山台2丁目5番5号	昭和42年	1967	複合	384	503	1,819	2,322
7	★青山台市民ホール	青山台2丁目1番20号	昭和62年	1987	複合	169	805	1,832	2,637
8	★藤白台市民ホール	藤白台2丁目9番1-114号	平成14年	2002	複合	474	1,728	1,829	3,557
9	★古江台市民ホール	古江台2丁目10番21号	平成5年	1993	複合	298	1,132	1,821	2,953
10	★竹見台市民ホール	竹見台3丁目5番3号	平成5年	1993	複合	205	788	1,828	2,616
11	★岸部市民センター	岸部南1丁目4番8号	平成元年	1989	複合	952	1,055	33,427	34,482
12	★豊一市民センター	垂水町1丁目53番7号	平成9年	1997	単独	628	242	26,010	26,252
13	★千里丘市民センター	千里丘上14番37号	平成7年	1995	単独	1,496	1,170	34,631	35,801
14	千里市民センター *1	津雲台1丁目2番1号	平成24年	2012	複合	667	-	-	-
15	★山田ふれあい文化センター	山田東1丁目28番9号	平成4年	1992	単独	1,453	1,444	50,774	52,218
16	★内本町コミュニティセンターコミュニティプラザ	内本町2丁目2番12号	平成7年	1995	複合	1,264	20,348	19,019	39,367
17	★亥の子谷コミュニティセンターコミュニティプラザ	山田西1丁目26番20号	平成10年	1998	複合	1,529	21,261	19,444	40,705
特定テーマ施設等									
1	千里ニュータウン情報館 *1	津雲台1丁目2番1号	平成24年	2012	複合	207	-	-	-
2	交流活動館	岸部中1丁目22番2号	昭和46年	1971	単独	1,863	35,976	40,552	76,528
3	男女共同参画センター デュオ	出口町2番1号	昭和61年	1986	複合	2,062	20,810	88,920	109,730
4	★南山田市民ギャラリー	山田市場9-1-110号ライオンズガーデン千里丘1階	平成15年	2003	単独	54	299	2,551	2,850
5	平和折念資料館 *1	津雲台1丁目2番1号	平成24年	2012	複合	304	-	-	-
6	千里花とみどりの情報センター *1	津雲台1丁目2番1号	平成24年	2012	複合	252	-	-	-
7	★江坂花とみどりの情報センター	江坂町1丁目19番1号	平成7年	1995	複合	385	15,572	6,897	22,469
8	★勤労者会館	昭和町12番1号	昭和60年	1985	単独	2,903	59,465	51,720	111,185
9	★市民公益活動センター *1	津雲台1丁目2番1号	平成24年	2012	複合	499	-	-	-

*1 千里ニュータウンプラザに設置、 指定管理者制度活用施設
注) 吹田歴史文化まちづくりセンター浜屋敷は開設年度

対象施設一覧(3)

番号	施設名称	所在地	建設年度	単独・複合	延床面積(m ²)	支出(千円)			
						維持管理費	事業運営費	総額	
社会教育施設									
生涯学習施設									
1	吹一地区公民館	内本町3丁目19番21号	昭和36年	1961	単独	185	3,534	1,239	4,773
2	吹一地区公民館さんくす分館	朝日町3番505号	平成16年	2004	複合	96	6,342	0	6,342
3	吹二地区公民館	泉町2丁目11番45号	昭和43年	1968	複合	201	3,590	1,434	5,024
4	吹三地区公民館	高城町19番7号	昭和38年	1963	単独	272	3,734	1,248	4,982
5	吹六地区公民館	南清和園町40番1号	昭和55年	1980	複合	350	3,554	1,196	4,750
6	千一地区公民館	藤が丘町4番4号	昭和39年	1964	単独	199	3,572	1,305	4,877
7	千二地区公民館	千里山東2丁目19番23号	昭和44年	1969	複合	400	7,538	1,235	8,773
8	千三地区公民館	千里山西1丁目12番1号	昭和53年	1978	複合	352	4,037	1,272	5,309
9	山一地区公民館	山田東2丁目33番1号	昭和42年	1967	複合	399	3,373	1,446	4,819
10	山二地区公民館	千里丘下23番19号	昭和36年	1961	複合	412	4,213	1,794	6,007
11	山三地区公民館	山田西1丁目26番2号	昭和52年	1977	複合	338	3,859	1,459	5,318
12	岸一地区公民館	岸部中3丁目20番1号	平成20年	2008	複合	412	5,783	1,235	7,018
13	岸二地区公民館	岸部北4丁目15番20号	昭和54年	1979	複合	346	3,717	1,898	5,615
14	豊一地区公民館	垂水町3丁目15番35号	昭和45年	1970	単独	454	4,839	1,927	6,766
15	豊二地区公民館	豊津町47番1号	昭和55年	1980	複合	341	3,720	1,065	4,785
16	南吹田地区公民館	南吹田5丁目8番24号	昭和43年	1968	単独	220	3,681	1,897	5,578
17	南千里地区公民館*1	津雲台1丁目2番1号	平成24年	2012	複合	566	-	-	-
18	南山田地区公民館	山田市場18番6号	昭和54年	1979	複合	362	3,787	1,212	4,999
19	山手地区公民館	山手町1丁目8番15号	昭和42年	1967	単独	205	3,701	2,602	6,303
20	吹田東地区公民館	吹東町3番6号	昭和49年	1974	単独	332	3,553	2,000	5,553
21	北千里地区公民館	古江台4丁目2番D7	昭和55年	1980	複合	744	10,305	1,415	11,720
22	西山田地区公民館	山田西2丁目5番1号	昭和56年	1981	複合	341	3,228	1,931	5,159
23	東山田地区公民館	新芦屋上32番1号	昭和57年	1982	複合	362	4,212	1,680	5,892
24	片山地区公民館	朝日が丘町15番1号	昭和58年	1983	複合	380	3,267	2,359	5,626
25	江坂大池地区公民館	江坂町3丁目63番6号	昭和59年	1984	複合	360	3,635	1,310	4,945
26	東佐井寺地区公民館	五月が丘西5番1号	昭和60年	1985	複合	380	3,236	2,188	5,424
27	北山田地区公民館	山田東4丁目43番20号	昭和60年	1985	複合	361	3,618	1,525	5,143
28	佐井寺地区公民館	佐井寺南が丘1番1号	昭和61年	1986	複合	359	3,672	2,520	6,192
29	千里新田地区公民館	千里山西6丁目30番41号	昭和61年	1986	複合	360	3,652	1,637	5,289
30	山五地区公民館	山田南45番13号	昭和63年	1988	複合	362	3,814	2,400	6,214
31	中央図書館	出口町18番9号	昭和46年	1971	単独	3,392	57,116	229,238	286,354
32	千里図書館*1	津雲台1丁目2番1号	平成24年	2012	複合	931	-	-	-
33	千里図書館北千里分室	古江台4丁目2番D7	昭和55年	1980	複合	155	426	41,130	41,556
34	さんくす図書館	朝日町3番501号	平成5年	1993	複合	883	49,225	109,922	159,147
35	江坂図書館	江坂町1丁目19番1号	平成7年	1995	複合	512	4,807	71,741	76,548
36	千里山・佐井寺図書館(ちさと)	千里山松が丘25番1号	平成15年	2003	単独	3,328	31,378	113,228	144,606
37	千里丘図書館	千里丘上14番33号	平成24年	2012	単独	840	-	-	-
38	山田駅前図書館*2	山田西4丁目2番43号	平成22年	2010	複合	1,233	13,282	104,629	117,911
39	山田駅前図書館山田分室	山田西2丁目5番1号	昭和61年	1986	複合	380	2,442	47,038	49,480
40	博物館	岸部北4丁目10番1号	平成3年	1991	単独	3,298	89,955	55,649	145,604
41	旧西尾家住宅 吹田文化創造交流館	内本町2丁目15番11号	平成17年	2005	単独	1,477	21,270	1,716	22,986
42	旧中西家住宅 吹田吉志部文人墨客迎賓館	岸部中4丁目13番21号	平成19年	2007	単独	812	12,100	0	12,100
43	山手小学校地域交流室	山手町2丁目15番43号	平成10年	1998	複合	144	37	1,807	1,844

*1 千里ニュータウンプラザに設置、*2 子育て青少年拠点夢つながり未来館に設置

注) 吹一地区公民館さんくす分館、さんくす図書館、旧西尾家住宅、旧中西家住宅、山手小学校地域交流室は開設年度

対象施設一覧(4)

番号	施設名称	所在地	建設年度	単独・複合	延床面積(m ²)	支出(千円)			
						維持管理費	事業運営費	総額	
社会教育施設									
青少年施設									
1	★勤労青少年ホーム	寿町2丁目19番20号	昭和44年	1969	単独	1,047	5,111	24,862	29,973
2	★自然体験交流センター わくわくの郷	藤白台5丁目20番1号	平成21年	2009	単独	1,976	33,472	32,604	66,076
3	少年自然の家 もくもくの里	滋賀県高島市今津町南生見	昭和55年	1980	単独	2,744	29,110	50,313	79,423
4	青少年クリエイティブセンター	岸部中1丁目16番1号	昭和56年	1981	単独	3,406	52,417	38,806	91,223
5	青少年活動サポートプラザ*1	山田西4丁目2番43号	平成22年	2010	複合	3,614	100,663	67,442	168,105
スポーツ施設									
1	★中の島市民プール	中の島町6番1号	昭和53年	1978	単独	771	0	17,949	17,949
2	★片山市民プール	出口町31番1号	昭和37年	1962	単独	3,683	3,447	129,664	133,111
3	★北千里市民プール	藤白台5丁目5番2号	昭和48年	1973	単独	1,274	0	17,949	17,949
4	★南千里市民プール	高野台1丁目4番10号	昭和48年	1973	単独	263	0	17,193	17,193
5	片山市民体育館	出口町31番2号	昭和47年	1972	単独	4,347	63,101	34,361	97,462
6	北千里市民体育館	藤白台5丁目5番1号	昭和53年	1978	単独	4,487	67,955	29,665	97,620
7	山田市民体育館	山田西3丁目84番1号	昭和61年	1986	単独	5,445	66,054	27,978	94,032
8	南吹田市民体育館	南吹田5丁目34番1号	平成元年	1989	単独	3,717	55,585	23,925	79,510
9	目黒市民体育館	目黒町1番11号	平成8年	1996	単独	11,731	105,823	24,986	130,809
10	★武道館「洗心館」	山田北2番1号	平成4年	1992	単独	9,064	1,621	92,510	94,131
11	★総合運動場	竹谷町37番1号	平成5年	1993	単独	9,766	1,995	85,924	87,919
12	★中の島スポーツグラウンド	中の島町6番1号	昭和39年	1964	単独	819	500	34,772	35,272
13	★桃山台スポーツグラウンド	桃山台5丁目5番1号	昭和46年	1971	単独	479	45	22,394	22,439
14	★山田スポーツグラウンド	山田西2丁目17番1号	昭和57年	1982	単独	263	0	10,759	10,759
15	★南正雀スポーツグラウンド	南正雀2丁目33番30号	平成2年	1990	単独	359	833	16,535	17,368

*1 子育て青少年拠点夢つながり未来館に設置、指定管理者制度活用施設
注) 北千里市民プール、南千里市民プール、桃山台スポーツグラウンドは開設年度

対象施設一覧(5)

番号	施設名称	所在地	建設年度	単独・複合	延床面積(m ²)	支出(千円)			
						維持管理費	事業運営費	総額	
子ども・子育て支援施設									
児童福祉施設									
1	吹田保育園	昭和町24番1号	昭和46年	1971	単独	1,046	13,833	184,558	198,391
2	山田保育園	山田市場19番9号	昭和44年	1969	単独	694	14,699	178,906	193,605
3	いずみ保育園	泉町2丁目11番43号	昭和41年	1966	単独	790	14,010	188,042	202,052
4	北千里保育園	古江台3丁目9番2号	昭和42年	1967	単独	799	15,573	181,936	197,509
5	南千里保育園	桃山台1丁目4番1号	昭和43年	1968	単独	1,403	18,125	242,714	260,839
6	ことぶき保育園	岸部中2丁目2番1号	昭和46年	1971	単独	1,154	16,698	183,469	200,167
7	岸部保育園	岸部北2丁目2番2号	昭和43年	1968	単独	987	15,434	170,954	186,388
8	千里山保育園	千里山東2丁目19番23号	昭和47年	1972	複合	756	17,272	188,019	205,291
9	東保育園	南正雀4丁目1番1号	昭和47年	1972	単独	974	13,797	158,919	172,716
10	藤白台保育園	藤白台4丁目8番1号	昭和48年	1973	単独	1,213	17,207	240,036	257,243
11	垂水保育園	垂水町1丁目6番9号	昭和49年	1974	単独	882	15,251	174,789	190,040
12	吹一保育園	内本町1丁目23番28号	昭和49年	1974	単独	865	14,851	167,764	182,615
13	南保育園	穂波町15番30号	昭和51年	1976	単独	873	14,540	176,783	191,323
14	吹六保育園	南清和園町40番31号	昭和52年	1977	単独	865	14,217	167,096	181,313
15	片山保育園	出口町32番1号	昭和53年	1978	単独	888	14,836	184,715	199,551
16	千三保育園	千里山西1丁目12番1号	昭和53年	1978	単独	943	15,526	178,879	194,405
17	西山田保育園	山田西2丁目14番1号	昭和54年	1979	単独	993	16,143	172,588	188,731
18	山三保育園	山田西1丁目27番15号	昭和57年	1982	単独	978	15,256	185,072	200,328
19	原町児童センター(スマイルハラーセン)	原町4丁目26番8号	昭和37年	1962	複合	467	5,865	23,941	29,806
20	朝日が丘児童センター(仲良しハウス)	朝日が丘町15番1号	昭和59年	1984	複合	448	6,418	20,138	26,556
21	五月が丘児童センター(さつきっこ)	五月が丘西5番1号	昭和61年	1986	複合	420	6,061	22,014	28,075
22	南吹田児童センター(ワクワク☆キッズセンター)	南吹田5丁目21番27号	昭和63年	1988	複合	415	5,422	23,757	29,179
23	山田西児童センター(ジーセンター)	山田西1丁目5番1号	平成4年	1992	単独	451	6,153	20,503	26,656
24	豊一児童センター(SMILEセンター)	垂水町3丁目7番13号	平成6年	1994	単独	486	6,123	21,911	28,034
25	寿町児童センター(キッズランド寿)	寿町2丁目8番16号	平成7年	1995	単独	450	5,721	21,067	26,788
26	竹見台児童センター(たけのっこ)	竹見台3丁目5番3号	平成5年	1993	複合	451	6,240	22,271	28,511
27	★千里山竹園児童センター(クローバーセンター)	千里山竹園2丁目1番5号	平成21年	2009	単独	526	1,977	20,915	22,892
28	千里丘児童会館(あそまな館)	千里丘上26番19号	昭和55年	1980	単独	392	6,373	23,447	29,820
29	高城児童会館(吹田っ子ひろば たかしろ)	高城町6番2号	昭和37年	1962	単独	604	6,961	21,430	28,391
30	こども発達支援センター	片山町2丁目11番40号	平成19年	2007	複合	2,309	25,073	371,592	396,665
31	わかたけ園	朝日が丘町17番5号	昭和56年	1981	単独	1,129	14,444	153,320	167,764

指定管理者制度活用施設

対象施設一覧(6)

番号	施設名称	所在地	建設年度	単独・複合	延床面積(m ²)	支出(千円)			
						維持管理費	事業運営費	総額	
子ども・子育て支援施設									
子育て支援施設									
1	バンビ親子教室	出口町19番2号	昭和62年	1987	複合	248	0	86,651	86,651
2	のびのび子育てプラザ*1	山田西4丁目2番43号	平成22年	2010	複合	626	16,952	47,756	64,708
3	佐竹台地域交流室	佐竹台2丁目4番20号	平成22年	2010	複合	156	420	0	420
4	吹一留守家庭児童育成室	元町30番35号	昭和50年	1975	複合	95	587	20,044	20,631
5	吹二留守家庭児童育成室	泉町3丁目15番18号	昭和46年	1971	複合	131	604	25,500	26,104
6	吹三留守家庭児童育成室	高城町18番39号	昭和47年	1972	複合	192	729	32,296	33,025
7	東留守家庭児童育成室	幸町20番1号	昭和50年	1975	複合	128	641	17,493	18,134
8	南留守家庭児童育成室	南吹田5丁目12番1号	平成20年	2008	複合	273	791	30,914	31,705
9	吹六留守家庭児童育成室	南清和園町43番1号	昭和50年	1975	複合	128	709	8,034	8,743
10	千一留守家庭児童育成室	片山町4丁目32番10号	昭和53年	1978	複合	128	586	18,911	19,497
11	千二留守家庭児童育成室	千里山松が丘25番1号	昭和50年	1975	複合	112	589	16,342	16,931
12	千三留守家庭児童育成室	千里山西2丁目13番1号	昭和52年	1977	複合	224	605	28,259	28,864
13	千里新田留守家庭児童育成室	春日4丁目10番1号	平成11年	1999	複合	164	551	21,469	22,020
14	佐井寺留守家庭児童育成室	佐井寺3丁目3番1号	昭和58年	1983	複合	172	571	20,140	20,711
15	東佐井寺留守家庭児童育成室	五月が丘西4番1号	平成元年	1989	複合	130	624	14,860	15,484
16	岸一留守家庭児童育成室	岸部中2丁目19番1号	昭和54年	1979	複合	98	534	8,105	8,639
17	岸二留守家庭児童育成室	岸部北4丁目12番1号	昭和51年	1976	複合	130	565	21,421	21,986
18	豊一留守家庭児童育成室	江坂町1丁目15番42号	平成18年	2006	複合	265	947	44,354	45,301
19	豊二留守家庭児童育成室	江坂町2丁目5番1号	昭和54年	1979	複合	131	553	24,137	24,690
20	江坂大池留守家庭児童育成室	江坂町3丁目13番1号	昭和55年	1980	複合	68	545	8,068	8,613
21	山手留守家庭児童育成室	山手町2丁目15番43号	昭和48年	1973	複合	159	713	30,921	31,634
22	片山留守家庭児童育成室	朝日が丘町16番1号	昭和61年	1986	複合	146	568	24,101	24,669
23	山一留守家庭児童育成室	山田東2丁目33番2号	平成20年	2008	複合	201	544	14,789	15,333
24	山二留守家庭児童育成室	千里丘下19番1号	昭和52年	1977	複合	119	559	14,880	15,439
25	山三留守家庭児童育成室	山田西1丁目4番1号	昭和51年	1976	複合	128	560	17,518	18,078
26	山五留守家庭児童育成室	山田西1丁目6番1号	昭和61年	1986	複合	64	719	10,720	11,439
27	東山田留守家庭児童育成室	青葉丘南15番10号	昭和61年	1986	複合	149	582	18,886	19,468
28	南山田留守家庭児童育成室	千里丘西9番1号	平成20年	2008	複合	213	618	40,399	41,017
29	西山田留守家庭児童育成室	山田西2丁目10番1号	昭和54年	1979	複合	128	723	10,984	11,707
30	北山田留守家庭児童育成室	山田北1番1号	昭和55年	1980	複合	128	1,054	21,634	22,688
31	佐竹台留守家庭児童育成室	佐竹台4丁目12番1号	昭和43年	1968	複合	202	716	14,803	15,519
32	高野台留守家庭児童育成室	高野台2丁目16番1号	昭和41年	1966	複合	174	531	12,058	12,589
33	津雲台留守家庭児童育成室	津雲台4丁目7番1号	昭和45年	1970	複合	176	918	14,789	15,707
34	古江台留守家庭児童育成室	古江台5丁目6番1号	昭和45年	1970	複合	177	954	22,801	23,755
35	藤白台留守家庭児童育成室	藤白台3丁目3番1号	昭和46年	1971	複合	130	767	24,229	24,996
36	青山台留守家庭児童育成室	青山台2丁目5番1号	昭和42年	1967	複合	128	749	21,340	22,089
37	桃山台留守家庭児童育成室	桃山台1丁目5番1号	昭和46年	1971	複合	105	1,830	8,069	9,899
38	千里たけみ留守家庭児童育成室	竹見台3丁目3番1号	平成15年	2003	複合	128	537	10,772	11,309
39	岸部診療所病児・病後児保育室	岸部中1丁目15番1号	平成20年	2008	複合	447	2,070	26,478	28,548

* 1 子育て青少年拠点夢つながり未来館に設置

注) バンビ親子教室、佐竹台地域交流室と全ての留守家庭児童育成室、岸部診療所病児・病後児保育室は開設年度

対象施設一覧(7)

番号	施設名称	所在地	建設年度	単独・複合	延床面積(㎡)	支出(千円)			
						維持管理費	事業運営費	総額	
学校施設									
幼稚園									
1	吹田第一幼稚園	元町30番44号	昭和40年	1965	複合	831	2,843	30,971	33,814
2	吹田第三幼稚園	高城町18番39号	昭和54年	1979	複合	683	9,971	35,240	45,211
3	吹田南幼稚園	南吹田5丁目12番2号	昭和47年	1972	複合	746	4,902	35,390	40,292
4	千里第二幼稚園	千里山松が丘25番1号	昭和54年	1979	複合	626	11,938	36,202	48,140
5	千里新田幼稚園	春日4丁目10番1号	昭和53年	1978	複合	701	5,836	30,067	35,903
6	東佐井寺幼稚園	五月が丘西4番1号	昭和56年	1981	複合	628	2,221	39,015	41,236
7	岸部第一幼稚園	岸部中2丁目19番1号	昭和46年	1971	複合	813	2,858	29,982	32,840
8	豊津第一幼稚園	江坂町1丁目15番42号	昭和47年	1972	複合	703	4,207	38,966	43,173
9	江坂大池幼稚園	江坂町3丁目13番1号	昭和53年	1978	複合	607	2,592	31,013	33,605
10	片山幼稚園	朝日が丘町16番1号	昭和54年	1979	複合	626	6,478	38,934	45,412
11	山田第一幼稚園	山田東2丁目33番3号	※	-	-	-	3,700	30,930	34,630
12	山田第三幼稚園	山田西1丁目4番1号	昭和53年	1978	複合	783	2,520	34,363	36,883
13	東山田幼稚園	青葉丘南15番10号	昭和55年	1980	複合	629	2,719	35,669	38,388
14	南山田幼稚園	千里丘西9番1号	昭和51年	1976	複合	600	2,828	39,054	41,882
15	佐竹台幼稚園	佐竹台5丁目12番1号	昭和37年	1962	単独	1,300	4,817	34,594	39,411
16	古江台幼稚園	古江台2丁目11番4号	昭和44年	1969	単独	689	4,770	43,343	48,113
小学校									
1	吹田第一小学校	元町30番35号	昭和4年	1929	複合	5,358	44,105	47,038	91,143
2	吹田第二小学校	泉町3丁目15番18号	昭和37年	1962	複合	7,047	40,093	52,745	92,838
3	吹田第三小学校	高城町18番39号	昭和45年	1970	複合	6,336	34,056	46,951	81,007
4	吹田東小学校	幸町20番1号	昭和32年	1957	複合	6,549	28,713	40,552	69,265
5	吹田南小学校	南吹田5丁目12番1号	昭和44年	1969	複合	6,684	60,286	64,631	124,917
6	吹田第六小学校	南清和園町43番1号	昭和47年	1972	複合	6,391	25,200	35,086	60,286
7	千里第一小学校	片山町4丁目32番10号	昭和10年	1935	複合	7,012	41,757	67,797	109,554
8	千里第二小学校	千里山松が丘25番1号	昭和31年	1956	複合	7,733	42,457	55,040	97,497
9	千里第三小学校	千里山西2丁目13番1号	昭和43年	1968	複合	6,885	38,123	62,868	100,991
10	千里新田小学校	春日4丁目10番1号	昭和53年	1978	複合	6,828	45,775	57,168	102,943
11	佐井寺小学校	佐井寺3丁目3番1号	昭和57年	1982	複合	6,887	28,487	60,033	88,520
12	東佐井寺小学校	五月が丘西4番1号	昭和56年	1981	複合	7,257	30,151	58,542	88,693
13	岸部第一小学校	岸部中2丁目19番1号	昭和38年	1963	複合	9,977	41,555	51,753	93,308
14	岸部第二小学校	岸部北4丁目12番1号	昭和36年	1961	複合	7,313	36,631	49,078	85,709
15	豊津第一小学校	江坂町1丁目15番42号	昭和47年	1972	複合	8,379	31,434	65,756	97,190
16	豊津第二小学校	江坂町2丁目5番1号	昭和44年	1969	複合	7,803	62,674	40,645	103,319
17	江坂大池小学校	江坂町3丁目13番1号	昭和53年	1978	複合	6,608	26,296	48,342	74,638
18	山手小学校	山手町2丁目15番43号	昭和33年	1958	複合	6,506	27,208	46,637	73,845
19	片山小学校	朝日が丘町16番1号	昭和54年	1979	複合	7,075	32,131	54,142	86,273
20	山田第一小学校	山田東2丁目33番2号	昭和37年	1962	複合	5,036	45,698	52,680	98,378
21	山田第二小学校	千里丘下19番1号	昭和37年	1962	複合	6,746	40,724	44,107	84,831
22	山田第三小学校	山田西1丁目4番1号	昭和49年	1974	複合	9,372	28,083	45,670	73,753
23	山田第五小学校	山田西1丁目6番1号	昭和60年	1985	複合	6,405	26,231	34,932	61,163
24	東山田小学校	青葉丘南15番10号	昭和55年	1980	複合	7,341	33,735	74,746	108,481
25	南山田小学校	千里丘西9番1号	昭和51年	1976	複合	9,359	44,493	76,228	120,721
26	西山田小学校	山田西2丁目10番1号	昭和53年	1978	複合	6,433	37,037	44,138	81,175
27	北山田小学校	山田北1番1号	昭和54年	1979	複合	7,692	31,253	42,981	74,234
28	佐竹台小学校	佐竹台4丁目12番1号	昭和38年	1963	複合	6,333	34,463	40,458	74,921
29	高野台小学校	高野台2丁目16番1号	昭和37年	1962	複合	6,393	26,628	64,311	90,939
30	津雲台小学校	津雲台4丁目7番1号	昭和38年	1963	複合	6,906	41,505	46,383	87,888
31	古江台小学校	古江台5丁目6番1号	昭和38年	1963	複合	6,652	30,871	42,807	73,678
32	藤白台小学校	藤白台3丁目3番1号	昭和39年	1964	複合	7,731	63,253	51,365	114,618
33	青山台小学校	青山台2丁目5番1号	昭和39年	1964	複合	7,625	30,837	39,492	70,329
34	桃山台小学校	桃山台1丁目5番1号	昭和41年	1966	複合	6,861	32,553	54,757	87,310
35	千里たけみ小学校	竹見台3丁目3番1号	昭和41年	1966	複合	12,118	23,769	42,430	66,199

1 山田第一幼稚園は平成25年3月まで仮設リース園舎を使用

対象施設一覧(8)

番号	施設名称	所在地	建設年度	単独・複合	延床面積(m ²)	支出(千円)			
						維持管理費	事業運営費	総額	
学校施設									
中学校									
1	第一中学校	千里山西2丁目2番1号	昭和39年	1964	単独	8,158	38,874	27,595	66,469
2	第二中学校	岸部北1丁目21番1号	昭和47年	1972	単独	14,702	52,349	17,938	70,287
3	第三中学校	中の島町3番51号	昭和50年	1975	単独	7,091	21,650	17,323	38,973
4	第五中学校	幸町21番1号	昭和35年	1960	単独	6,676	23,399	23,945	47,344
5	第六中学校	穂並町16番1号	昭和44年	1969	単独	6,205	36,231	29,249	65,480
6	片山中学校	竹谷町35番1号	昭和51年	1976	単独	9,086	29,436	34,988	64,424
7	佐井寺中学校	五月が丘南5番1号	昭和57年	1982	単独	8,641	26,539	27,832	54,371
8	南千里中学校	桃山台4丁目2番1号	昭和54年	1979	単独	6,724	57,787	25,082	82,869
9	豊津中学校	垂水町3丁目32番50号	昭和34年	1959	単独	7,612	30,758	26,461	57,219
10	豊津西中学校	豊津町6番1号	昭和49年	1974	単独	8,244	33,000	21,453	54,453
11	山田中学校	山田市場15番1号	昭和36年	1961	単独	6,293	25,539	23,736	49,275
12	西山田中学校	山田西2丁目11番1号	昭和53年	1978	単独	6,892	24,414	26,128	50,542
13	山田東中学校	山田東4丁目33番1号	昭和60年	1985	単独	7,585	24,674	21,213	45,887
14	千里丘中学校	青葉丘南15番1号	昭和51年	1976	単独	6,619	29,139	25,170	54,309
15	高野台中学校	高野台4丁目5番1号	昭和37年	1962	単独	5,821	40,131	19,414	59,545
16	青山台中学校	青山台4丁目2番1号	昭和38年	1963	単独	8,091	36,144	18,216	54,360
17	竹見台中学校	竹見台1丁目3番1号	昭和41年	1966	単独	7,468	44,435	15,293	59,728
18	古江台中学校	古江台1丁目1番1号	昭和47年	1972	単独	6,264	49,232	18,031	67,263
社会福祉関連施設									
生きがい活動施設									
1	吹一地区高齢者いきいの間	内本町1丁目11番7号	昭和61年	1986	単独	86	111	81	192
2	吹六地区高齢者いきいの間	南清和園町40番1号	昭和56年	1981	複合	42	63	50	113
3	吹二地区高齢者いきいの間	泉町2丁目11番45号	昭和55年	1980	複合	37	74	44	118
4	吹三地区高齢者いきいの間	南高浜町34番1号	平成2年	1990	複合	85	507	70	577
5	東地区高齢者いきいの間	吹東町17番8号	昭和61年	1986	単独	85	228	83	311
6	吹南地区高齢者いきいの間	南吹田5丁目21番27号	昭和62年	1987	複合	80	1	134	135
7	片山地区高齢者いきいの間	朝日が丘町15番1号	昭和59年	1984	複合	40	12	44	56
8	千一地区高齢者いきいの間	原町2丁目12番1号	平成6年	1994	単独	95	202	70	272
9	千二地区高齢者いきいの間	千里山東2丁目19番23号	昭和55年	1980	複合	38	29	180	209
10	東佐井寺地区高齢者いきいの間	五月が丘西5番1号	昭和61年	1986	複合	43	128	51	179
11	佐井寺地区高齢者いきいの間	佐井寺南が丘1番1号	昭和62年	1987	複合	43	66	147	213
12	千三地区高齢者いきいの間	千里山西1丁目12番1号	昭和54年	1979	複合	37	73	160	233
13	千里新田地区高齢者いきいの間	千里山西6丁目30番41号	昭和62年	1987	複合	42	34	44	78
14	山手地区高齢者いきいの間	山手町3丁目37番10号	昭和62年	1987	単独	80	142	70	212
15	豊一地区高齢者いきいの間	垂水町2丁目7番25号	平成9年	1997	複合	109	47	284	331
16	豊二地区高齢者いきいの間	豊津町47番1号	昭和56年	1981	複合	42	46	44	90
17	江坂大池地区高齢者いきいの間	江坂町3丁目63番6号	昭和60年	1985	複合	42	62	44	106
18	岸一地区高齢者いきいの間	岸部中3丁目20番1号	平成20年	2008	複合	76	28	44	72
19	岸二地区高齢者いきいの間	岸部北4丁目15番20号	昭和54年	1979	複合	38	16	44	60
20	山一地区高齢者いきいの間	山田東1丁目8番1号	昭和51年	1976	単独	140	0	250	250
21	北山田地区高齢者いきいの間	山田東4丁目43番20号	昭和61年	1986	複合	42	76	44	120
22	山二地区高齢者いきいの間	千里丘下23番19号	平成元年	1989	複合	105	1	77	78
23	東山田地区高齢者いきいの間	新芦屋上32番1号	昭和58年	1983	複合	44	74	109	183
24	山三地区高齢者いきいの間	山田西1丁目26番2号	昭和53年	1978	複合	37	85	106	191
25	山五地区高齢者いきいの間	山田南45番13号	平成元年	1989	複合	43	74	44	118
26	南山田地区高齢者いきいの間	山田市場18番6号	昭和55年	1980	複合	42	86	44	130
27	西山田地区高齢者いきいの間	山田西2丁目5番1号	昭和56年	1981	複合	44	44	44	88
28	佐竹台地区高齢者いきいの間	佐竹台2丁目5番1号	平成18年	2006	複合	58	0	10	10
29	高野台地区高齢者いきいの間	高野台1丁目6番1号	平成11年	1999	複合	63	0	10	10
30	津雲台地区高齢者いきいの間	津雲台4丁目1番1号	平成11年	1999	複合	69	40	10	50
31	桃山台地区高齢者いきいの間	桃山台2丁目5番5号	昭和51年	1976	複合	40	0	10	10
32	竹見台地区高齢者いきいの間	竹見台3丁目5番3号	平成5年	1993	複合	45	0	10	10
33	古江台地区高齢者いきいの間	古江台2丁目10番21号	平成5年	1993	複合	44	0	10	10
34	藤白台地区高齢者いきいの間	藤白台2丁目9番1-114	平成14年	2002	複合	59	0	10	10
35	青山台地区高齢者いきいの間	青山台2丁目1番20号	昭和51年	1976	複合	30	0	10	10
36	高齢者いきいの家	岸部中1丁目24番11号	昭和62年	1987	単独	449	6,377	13,136	19,513
37	★高齢者生きがい活動センター*1	津雲台1丁目2番1号	平成24年	2012	複合	465	-	-	-

*1 千里ニュータウンプラザに設置、指定管理者制度活用施設
注) 山一地区高齢者いきいの間は民間施設のため開設年度

対象施設一覧(9)

番号	施設名称	所在地	建設年度	単独・複合	延床面積(m ²)	支出(千円)			
						維持管理費	事業運営費	総額	
社会福祉関連施設									
高齢者・障がい者福祉施設									
1	障害者支援交流センター あいほうぶ吹田	千里万博公園12番27号	平成12年	2000	単独	5,829	95,787	307,327	403,114
2	総合福祉会館	出口町19番2号	昭和61年	1986	単独	6,829	80,140	189,632	269,772
3	★内本町デイサービスセンター	内本町2丁目2番12号	平成7年	1995	複合	663	326	0	326
4	★亥の子谷デイサービスセンター	山田西1丁目26番20号	平成10年	1998	複合	292	326	0	326
5	★南山山田デイサービスセンター	尺谷27番1号	昭和57年	1982	単独	830	2,334	0	2,334
6	★千里山西デイサービスセンター	千里山西2丁目13番2号	昭和47年	1972	単独	1,045	1,196	9	1,205
7	★岸部中デイサービスセンター	岸部中1丁目26番1-101号	平成16年	2004	複合	157	0	5	5
8	★藤白台デイサービスセンター	藤白台2丁目9番1-115号	平成15年	2003	複合	433	156	5	161
9	★岸部中グループホーム	岸部中1丁目26番1-102号	平成16年	2004	複合	458	249	5	254
10	市営岸部中住宅シルバーハウジング生活援助員室 とたんらん室	岸部中1丁目26番1号棟	平成16年	2004	複合	105	449	4,512	4,961
11	★介護老人保健施設	片山町2丁目13番25号	平成3年	1991	単独	6,125	2,497	0	2,497
保健・医療施設									
1	市民病院	片山町2丁目13番20号	昭和57年 ～平成9年	1982 ～1997	単独	34,926	469,305	9,153,967	9,623,272
2	休日急病診療所	津雲台1丁目1	昭和53年	1978	複合	728	8,096	72,543	80,639
3	岸部診療所	岸部中1丁目15番1号	昭和48年	1973	複合	1,242	179	0	179
4	保健センター	出口町19番2号	昭和61年	1986	複合	2,651	5,641	338,962	344,603
5	保健センター南千里分館 * 1	津雲台1丁目2番1号	平成24年	2012	複合	734	-	-	-
事務所・その他									
1	内本町コミュニティセンター地域保健福祉センター	内本町2丁目2番12号	平成7年	1995	複合	1,491	4,273	64,160	68,433
2	亥の子谷コミュニティセンター地域保健福祉センター	山田西1丁目26番20号	平成10年	1998	複合	453	4,286	66,084	70,370
3	千里ニュータウン地域保健福祉センター * 1	津雲台1丁目2番1号	平成24年	2012	複合	269	-	-	-
4	シルバーワークプラザ	千里山松が丘26番23号	平成6年	1994	単独	713	4,559	75	4,634

* 1 千里ニュータウンプラザに設置、 指定管理者制度活用施設

対象施設一覧(10)

番号	施設名称	所在地	建設年度	単独・複合	延床面積(m ²)	支出(千円)			
						維持管理費	事業運営費	総額	
住宅施設									
市営住宅									
1	市営江坂住宅【4棟】	江坂町2丁目26番	昭和23年	1948	単独	116	99	4	103
2	市営千里山東住宅【7棟】	千里山東2丁目1番・6番	昭和62年 ～平成元年	1987 ～1989	単独	9,818	37,795	332	38,127
3	市営千里山西住宅【4棟】	千里山西1丁目6番	昭和57年	1982	単独	4,625	1,970	149	2,119
4	市営千里山住宅【3棟】	千里山月が丘2番	昭和60年	1985	単独	3,784	3,103	141	3,244
5	市営豊津住宅【5棟】	豊津町46番・50番	昭和47 ～61年	1972 ～1986	単独	11,315	20,553	259	20,812
6	市営天道住宅	天道町8番	平成10年	1998	単独	2,283	2,714	69	2,783
7	市営津雲台第1住宅【3棟】	津雲台6丁目20番	昭和45 ～46年	1970 ～1971	単独	5,185	882	127	1,009
8	市営津雲台第2住宅	津雲台6丁目19番	平成7年	1995	単独	2,609	4,106	119	4,225
9	市営佐竹台住宅	佐竹台4丁目2番	昭和42年	1967	単独	1,781	284	35	319
10	市営日の出住宅【4棟】	日の出町7番	昭和37 ～40年	1962 ～1965	単独	3,497	2,053	267	2,320
11	市営岸部北住宅	岸部北1丁目17番	昭和47年	1972	単独	1,496	689	105	794
12	市営岸部中住宅【11棟】	岸部中1丁目10番・12番・26番 2丁目8番	昭和43年 ～平成19年	1968 ～2007	複合	24,334	35,365	1,174	36,539
	AB棟	岸部中1丁目26番	平成16年 ～平成19年	2004 ～2007		10,194			
	西123号館	岸部中1丁目12番	昭和49年 ～平成4年	1974 ～1992		8,117			
	西ABC号館	岸部中1丁目10番	昭和43年	1968		2,181			
	EFG号館	岸部中2丁目8番	昭和44年 ～昭和46年	1969 ～1971		3,842			
13	市営佐井寺南が丘住宅	佐井寺南が丘16番	平成7年	1995	複合	257	6,916	8	6,924
14	市営穂波町住宅	穂波町5番	平成8年	1996	複合	222	6,034	7	6,041
15	市営上山手町住宅	上山手町50番	平成9年	1997	複合	255	5,447	4	5,451
16	市営佐井寺3丁目住宅	佐井寺3丁目8番	平成10年	1998	複合	169	3,881	6	3,887
17	市営垂水町3丁目住宅	垂水町3丁目5番	平成13年	2001	単独	775	13,109	20	13,129
18	市営千里山西1丁目住宅	千里山西1丁目9番	平成21年	2009	単独	997	19,466	23	19,489
19	市営第5清涼マンション住宅	山田東1丁目35番	平成9年	1997	複合	375	-	-	-
20	市営グリーンハイム千里南が丘住宅	佐井寺南が丘10番	平成7年	1995	複合	394	-	-	-
21	市営エクセル千里三番館住宅	山田市場10番	平成10年	1998	複合	139	-	-	-
22	市営グリーンハイム千里Ⅱ住宅	山手町4丁目36番	平成4年	1992	複合	141	-	-	-

注) 13～22 については借上型住宅(市が民間より賃借)

対象施設一覧(11)

番号	施設名称	所在地	建設年度	単独・複合	延床面積(m ²)	支出(千円)			
						維持管理費	事業運営費	総額	
交通施設									
交通施設(自転車駐車場等)									
1	JR吹田駅前中央自転車駐車場	朝日町1番5号	平成21年	2009	単独	891	959	8,172	9,131
2	JR吹田駅前西自転車駐車場	元町1番1号	昭和55年	1980	単独	737	208	7,873	8,081
3	JR吹田駅前北自転車駐車場	片山町1丁目2番1号	平成10年	1998	単独	2,744	8,577	21,278	29,855
4	阪急吹田駅前西第1自転車駐車場	泉町2丁目16番1号	昭和61年	1986	単独	608	651	12,855	13,506
5	阪急南千里駅前西第2自転車駐車場*1	津雲台1丁目20番11、20番40、20番41及び20番58の区域の一部	平成24年	2012	複合	521	-	-	-
6	阪急山田駅前東自転車駐車場	山田西4丁目2番36号	平成14年	2002	単独	2,122	12,290	16,278	28,568
7	阪急山田駅前西自転車駐車場	津雲台5丁目19番5号	平成15年	2003	単独	1,958	2,878	6,388	9,266
8	阪急山田駅前南自転車駐車場	山田西4丁目1番25号	平成14年	2002	単独	837	4,062	7,142	11,204
9	阪急北千里駅前南自転車駐車場	古江台4丁目2番10号	平成5年	1993	単独	1,444	663	7,794	8,457
10	阪急北千里駅前北自転車駐車場	青山台4丁目1番1号	平成11年	1999	単独	1,038	2,515	10,045	12,560
11	江坂公園自転車駐車場	江坂町1丁目19番1号	平成7年	1995	複合	9,176	8,036	22,593	30,629
12	江坂駅前中央自転車駐車場	豊津町100番2号	平成9年	1997	単独	6,962	4,855	37,063	41,918
13	北大阪急行桃山台駅前東第1自転車駐車場	桃山台2丁目9番1号	平成7年	1995	単独	2,395	3,461	13,973	17,434
14	岸部保管所	岸部中3丁目15番14号	平成8年	1996	単独	1,278	736	11,467	12,203
15	春日保管所	春日3丁目50番1号	平成11年	1999	単独	272	294	8,160	8,454
16	江坂公園駐車場	江坂町1丁目19番1号	平成7年	1995	複合	3,934	40,304	28,876	69,180
環境関連施設									
火葬場									
1	やすらぎ苑	吹東町17番1号	平成20年	2008	単独	2,396	48,870	31,382	80,252
環境啓発施設									
1	★資源リサイクルセンター(くるくるプラザ)	千里万博公園4番1号	平成4年	1992	複合	4,947	34,896	50,737	85,633
その他施設									
その他施設									
1	吹田東地区集会所	幸町20番2号	昭和45年	1970	単独	616	825	1,833	2,658
2	千一地区集会所	原町2丁目14番27号	昭和44年	1969	単独	504	1,524	1,809	3,333
3	岸二地区集会所	岸部北4丁目12番1号	昭和50年	1975	複合	609	267	1,809	2,076
4	西山田地区集会所	山田西2丁目10番1号	昭和55年	1980	複合	681	2,085	1,833	3,918
5	北山田地区集会所	山田北1番1号	昭和54年	1979	複合	631	684	1,833	2,517
6	竹見台多目的施設	竹見台3丁目3番1号	昭和53年	1978	単独	3,896	10,490	3,528	14,018

*1 千里ニュータウンプラザに設置、指定管理者制度活用施設

平成 23 年度（2011 年度）～平成 24 年度（2012 年度）に廃止した施設一覧

施設名称	所在地
市民協働学習センター	古江台3丁目8番1号
市民会館	朝日町5番32号（摂津ビル）
いずみ母子ホーム	泉町2丁目11番43号
吹二地区集会所	泉町3丁目15番18号
北千里小学校地域活動室	古江台3丁目8番1号
JR吹田駅南立体駐車場	元町6番6号
桃山台小学校地域交流室	桃山台1丁目5番1号
地域教育部生涯学習推進室生涯学習課(北千里事務室)	古江台3丁目8番1号
北千里病後児保育室	古江台3丁目9番2号

移転した旧施設一覧

旧施設名称	旧所在地
千里出張所	津雲台1丁目1番D1
千里市民センター	津雲台1丁目1番D1
平和祈念資料室	出口町2番1号男女共同参画センター内
南千里地区公民館	津雲台1丁目1番D2
千里図書館	津雲台1丁目1番D2
保健センター南千里分館	津雲台1丁目1
高野台地域包括支援センター	高野台4丁目3番1号

注) 旧所在地は、移転前の所在地を示しています。

平成24年（2012年）9月に千里ニュータウンプラザに移転しました。

吹田市施設白書

平成 25 年 (2013 年) 3 月

編集・発行 吹田市行政経営部資産経営室

〒564-8550 吹田市泉町 1 丁目 3 番 40 号

電話 06-6384-1231 (代表)